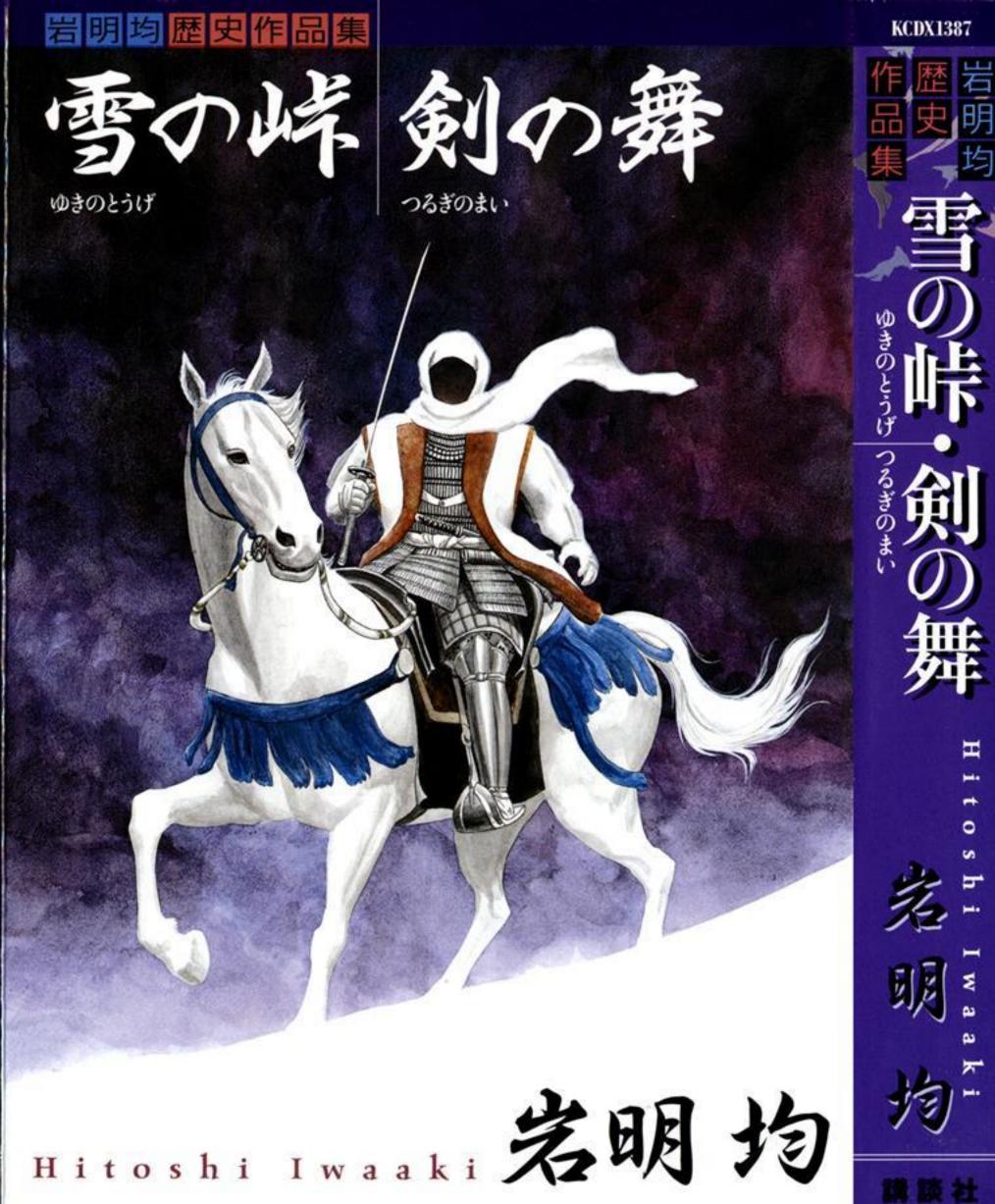
品集雪の峠剣の舞







ISBN4-06-334387-1 C9979 ¥680E (0)

講談社

定価:本体 680円(税別)

雑誌 46317-87

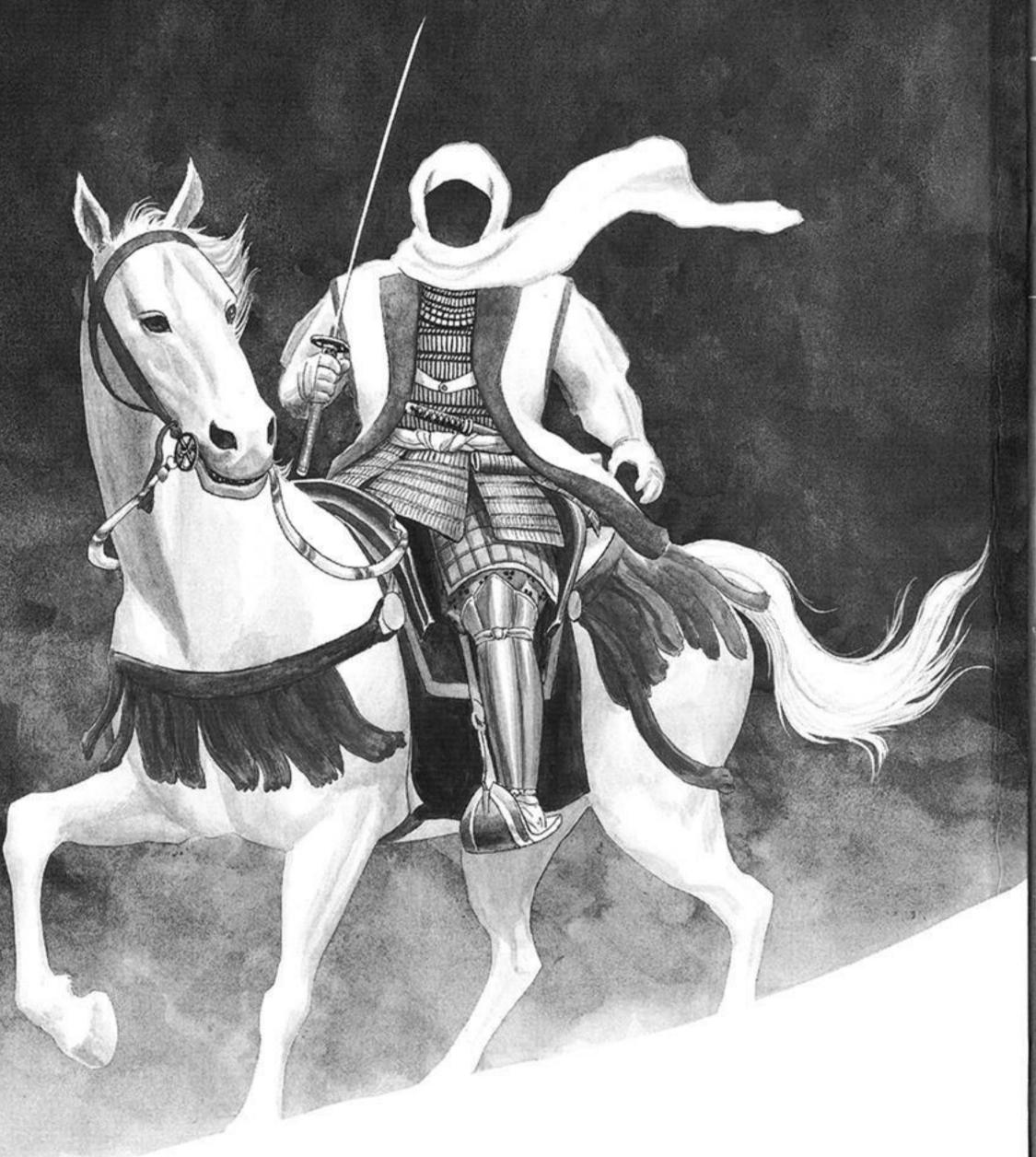




岩明均歷史作品集 雪の峠剣の舞

ゆきのとうげ

つるぎのまい



Hitoshi Iwaaki 岩明 挡

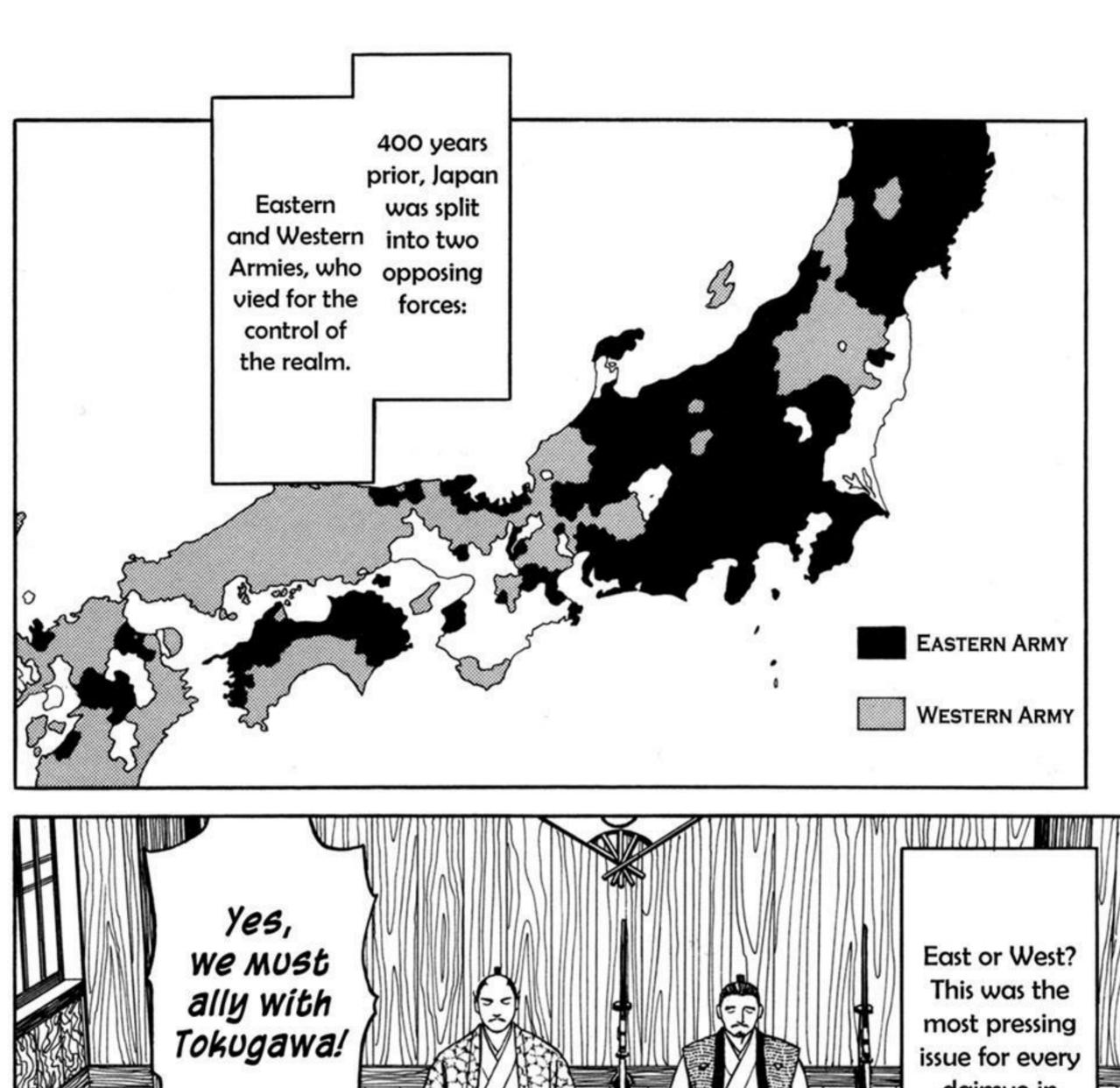
KCDX1387

講談社

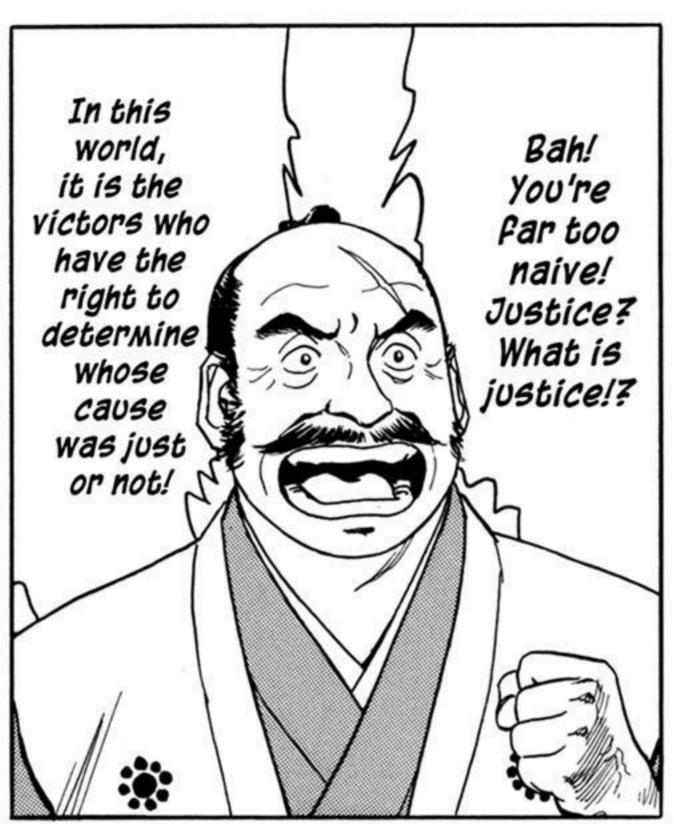


Snow Ridge Chapter 1: Northern Sea

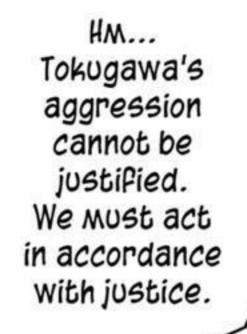














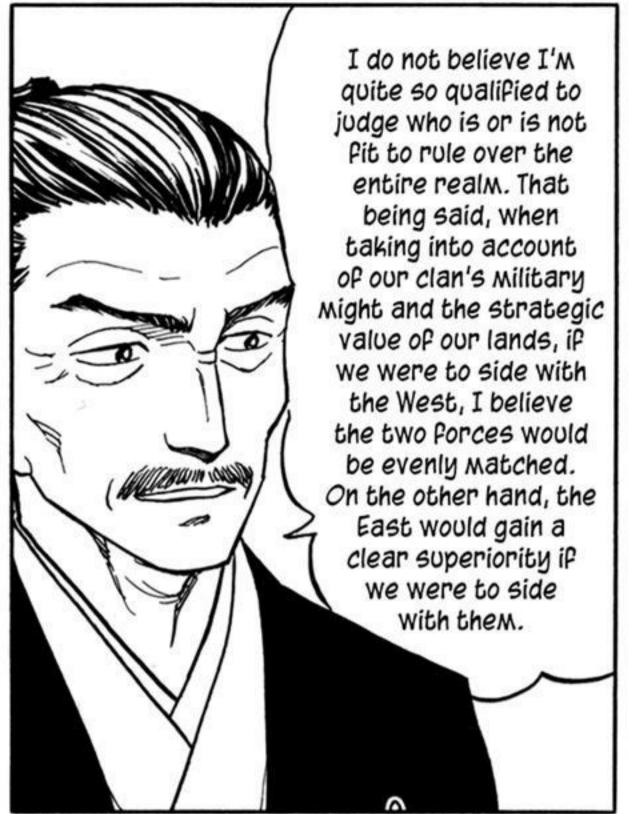








*Ōtono: Elder lord; A current daimyo's father



















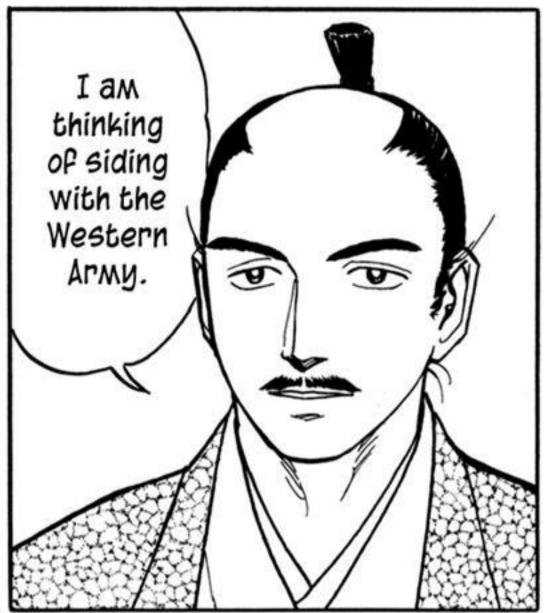




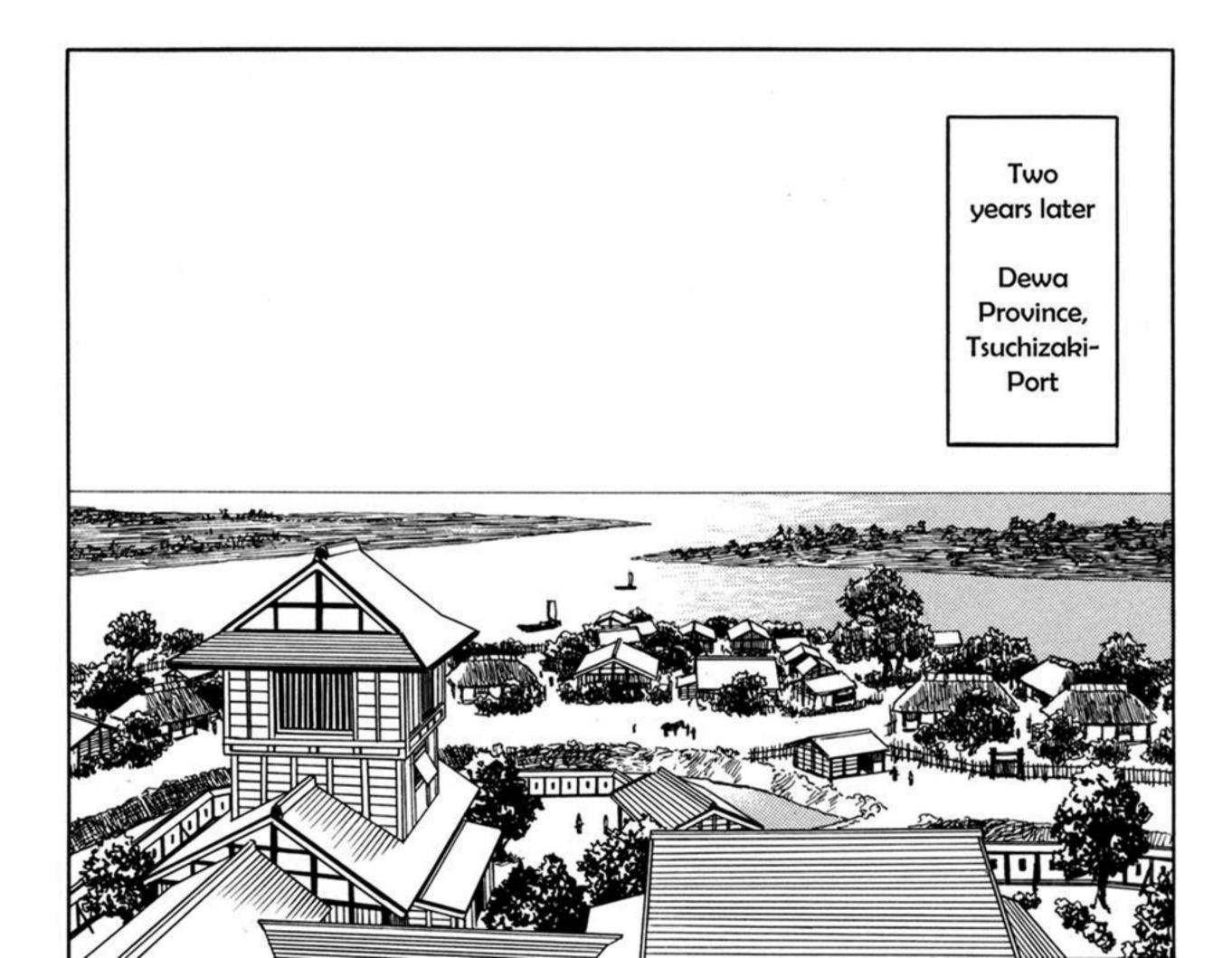








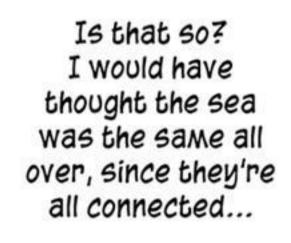
In Keichō year 2 (1600), the Tokugawa-led Eastern Army triumphed at the Battle of Sekigahara.









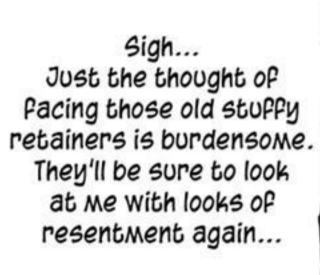




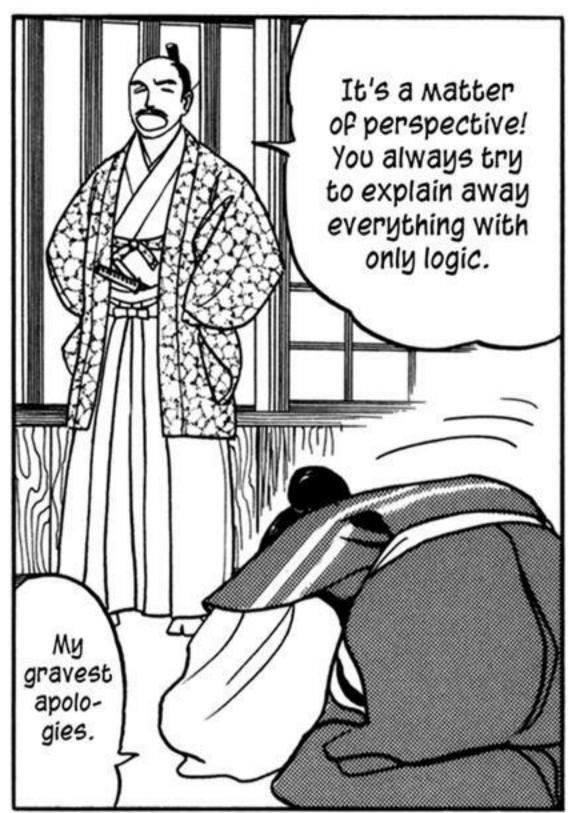




















Yes, it is a

matter that we

have all been

disheartened

by, after all.

However, the

meeting today

is to discuss

the very course

of our Satake

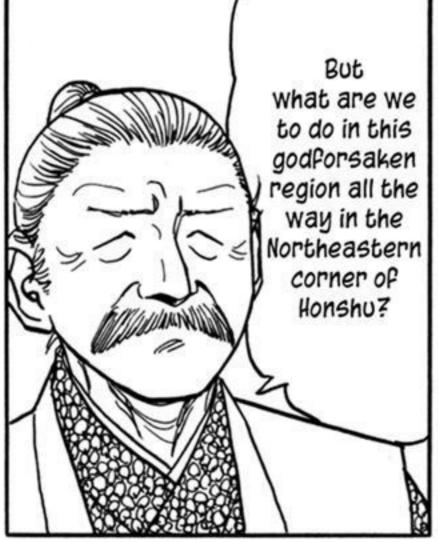
clan's future!



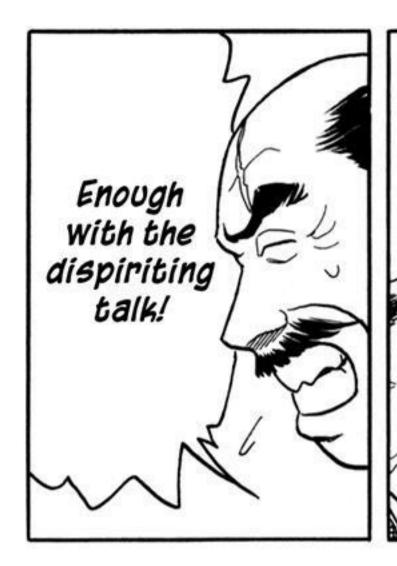








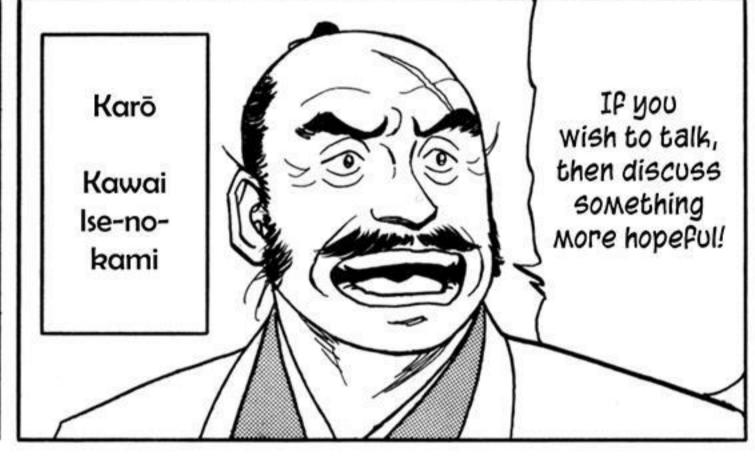














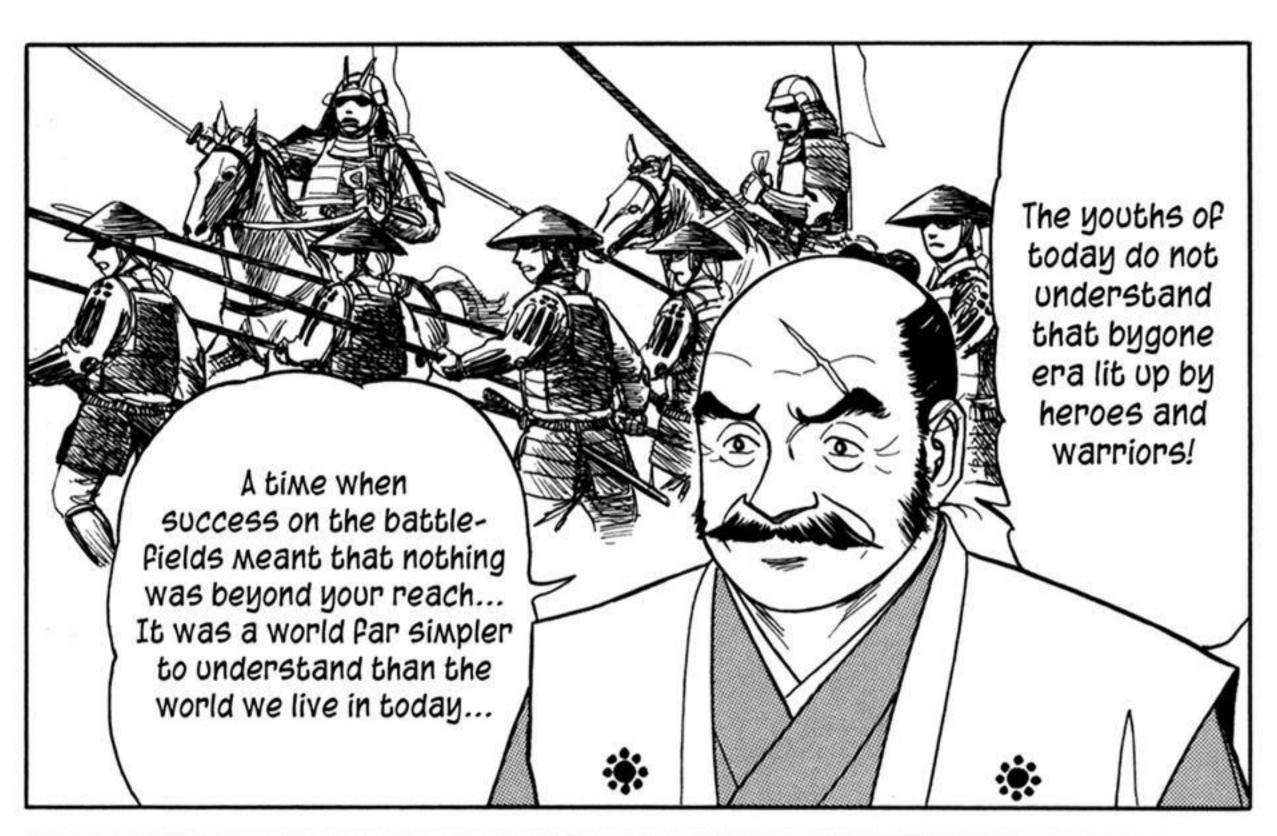




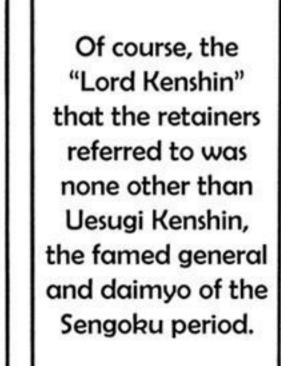
^{*}Karō: Highest-ranking vassal under a daimyo

^{*}Jūshin: The senior vassal/statesman of sorts, ranked just below the Karō

^{* -}no-kami: Originally meant provincial governor but merely denoted an honourary title by the Sengoku period

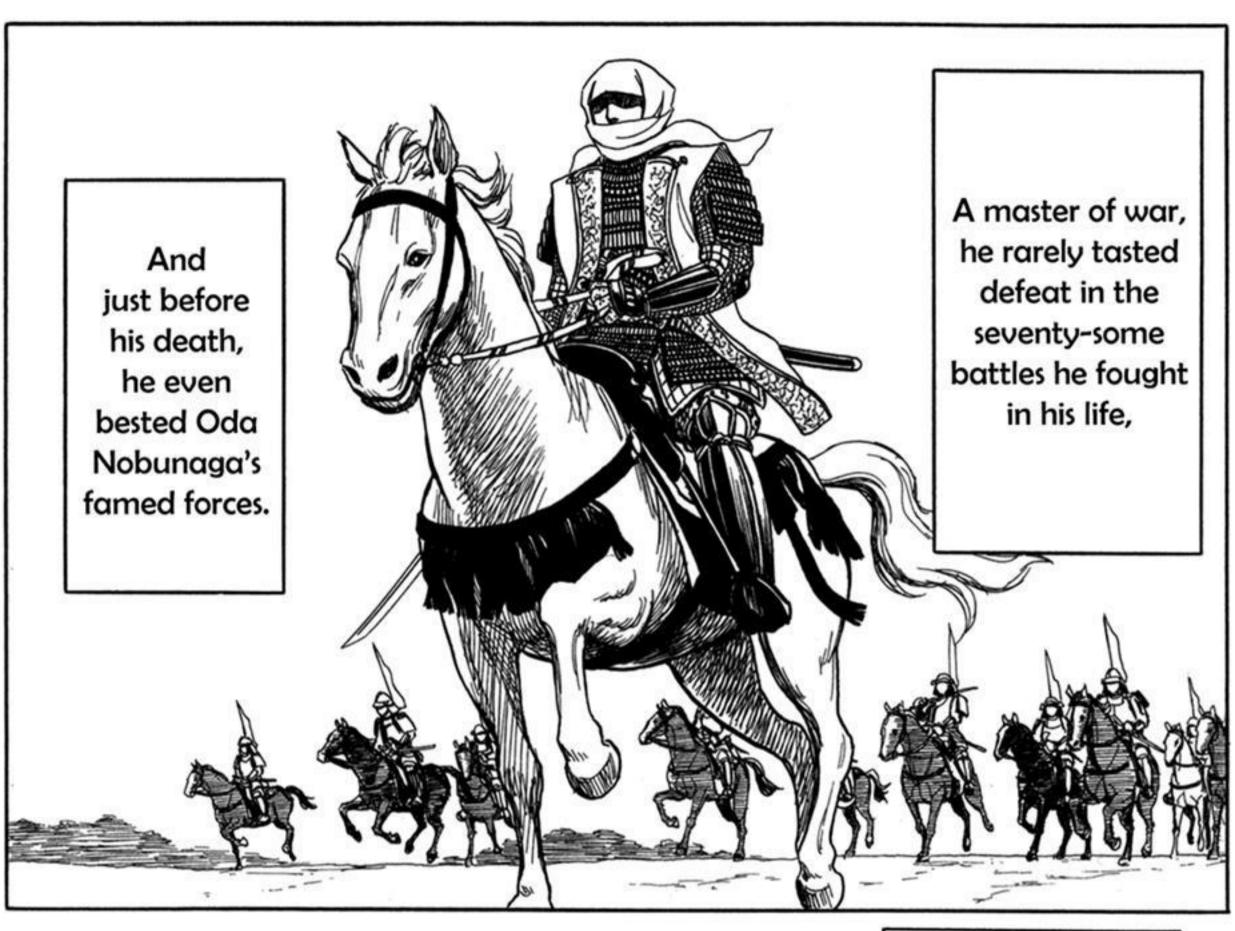












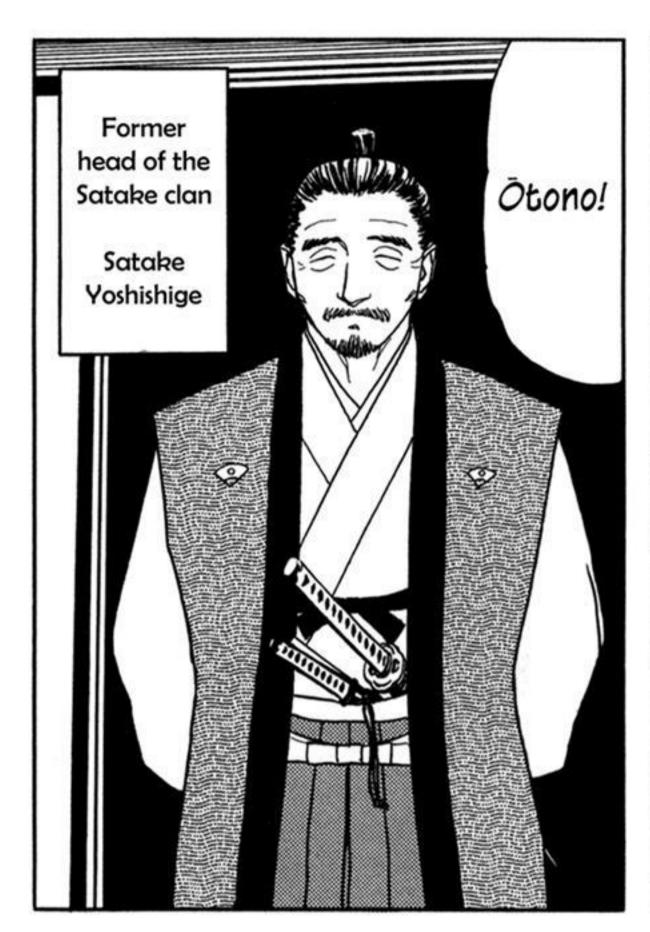


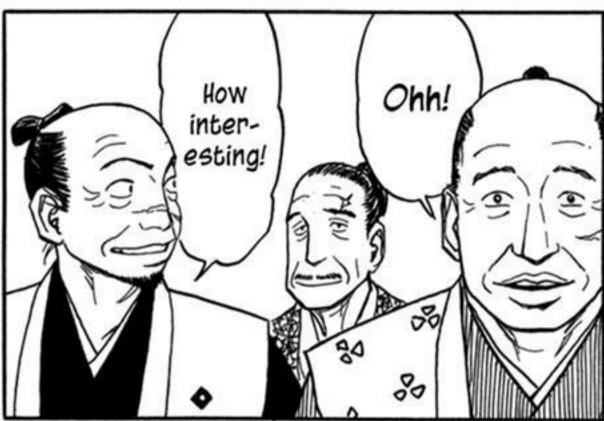
Barely
twenty-five years
after his death,
Kenshin had
already become
a legendary
figure whom
every warrior
aspired to be.



And Kajiwara Mino was one of the few men still alive who had the fortune of once seeing the legendary Uesugi Kenshin in person.



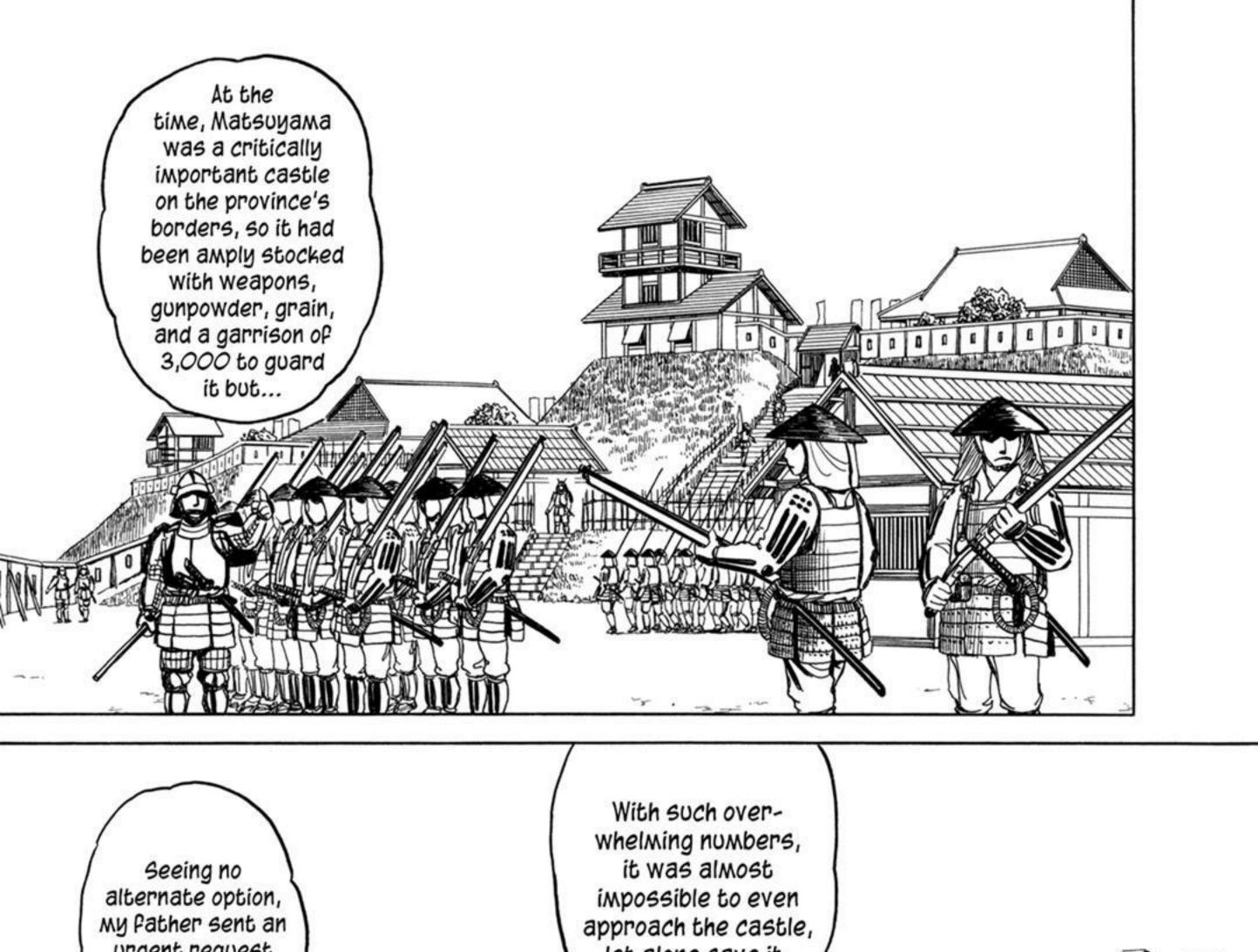






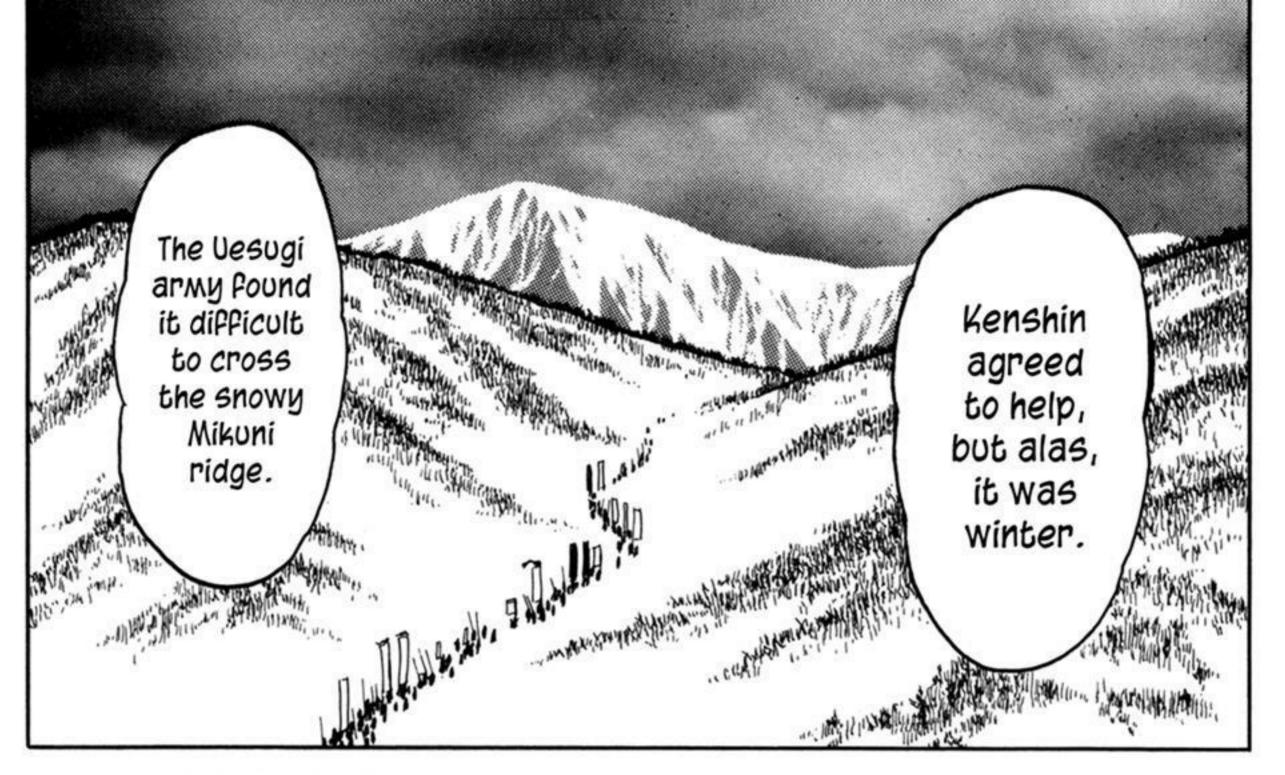


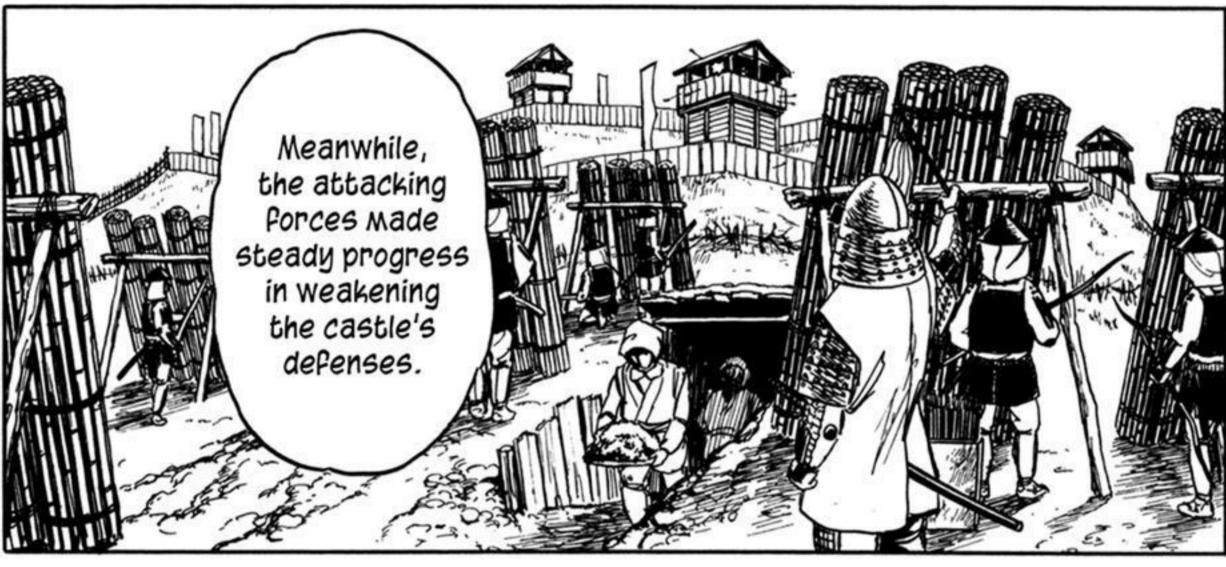






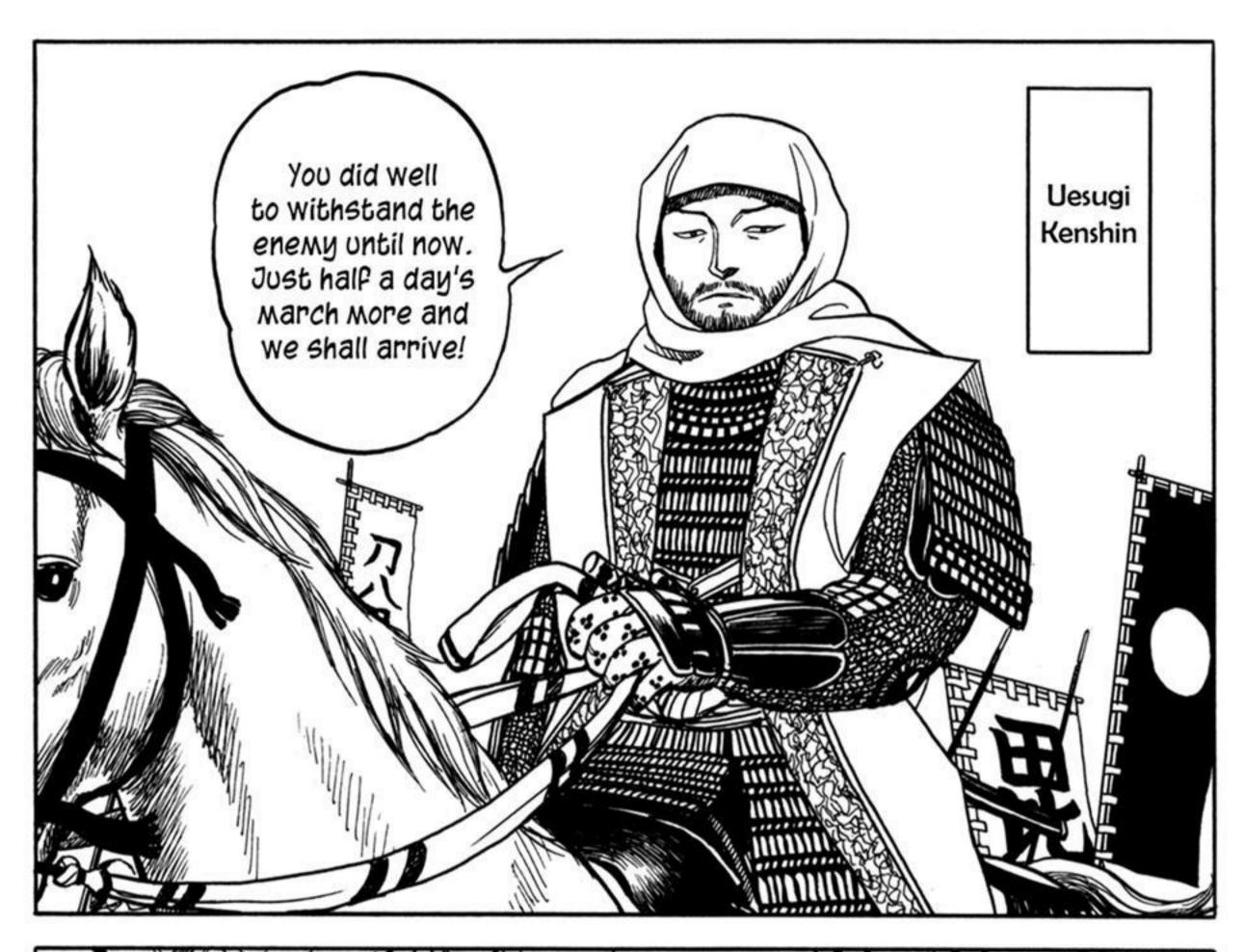


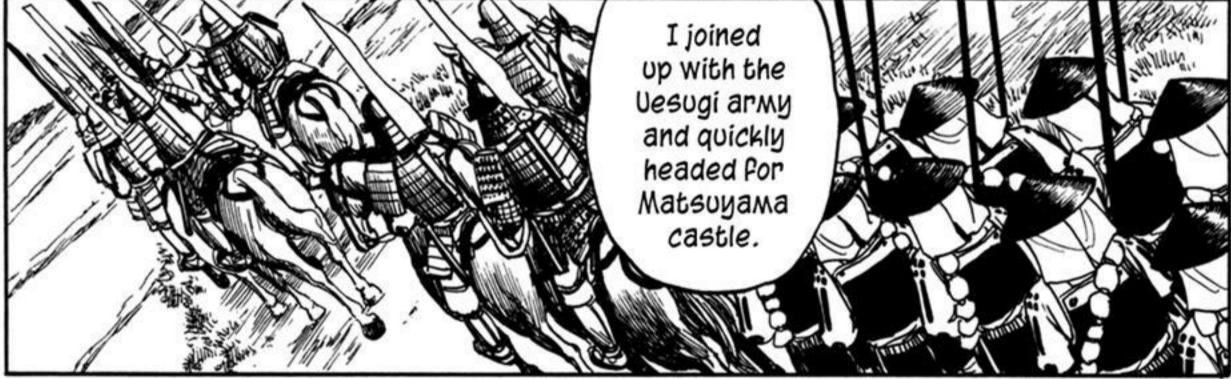










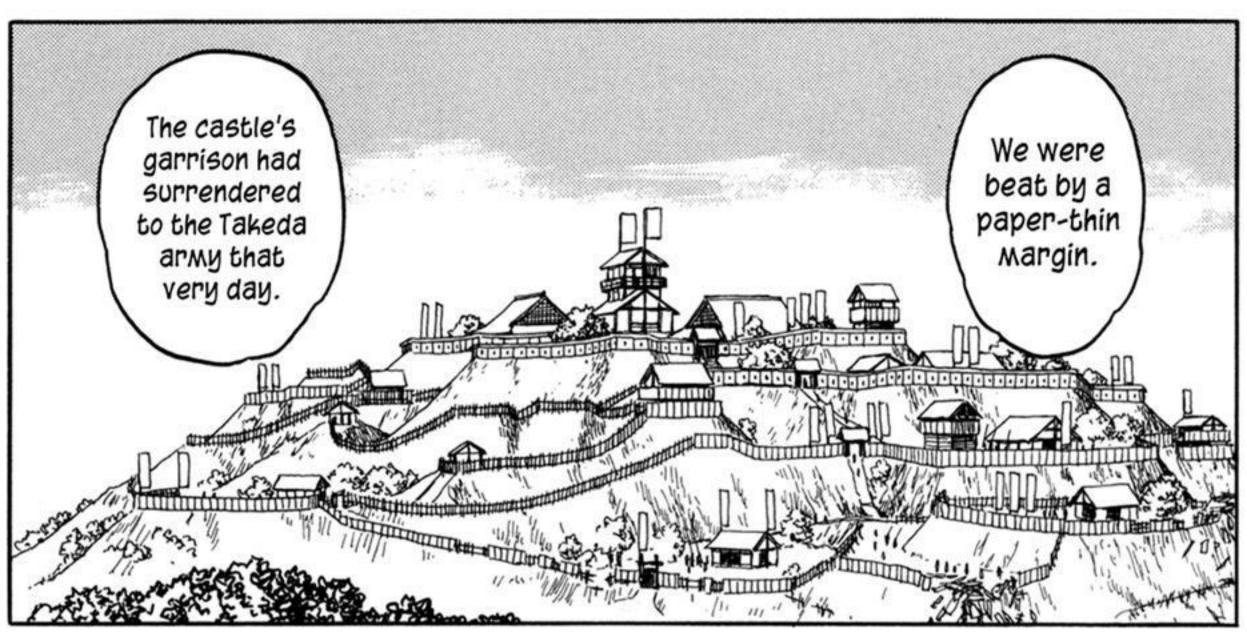




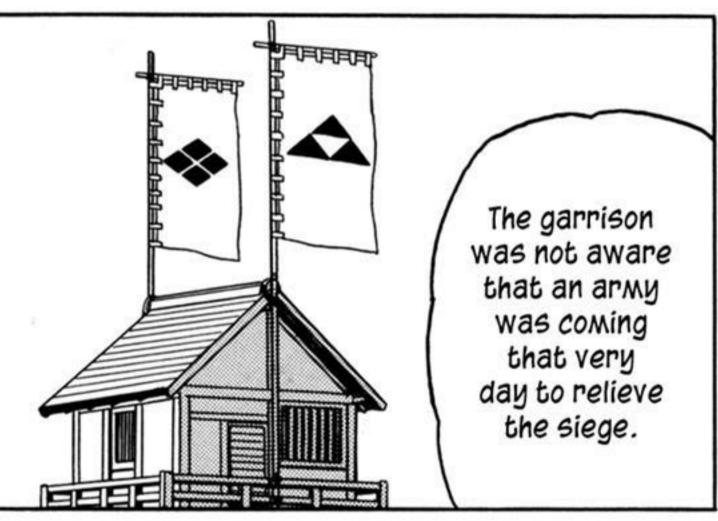


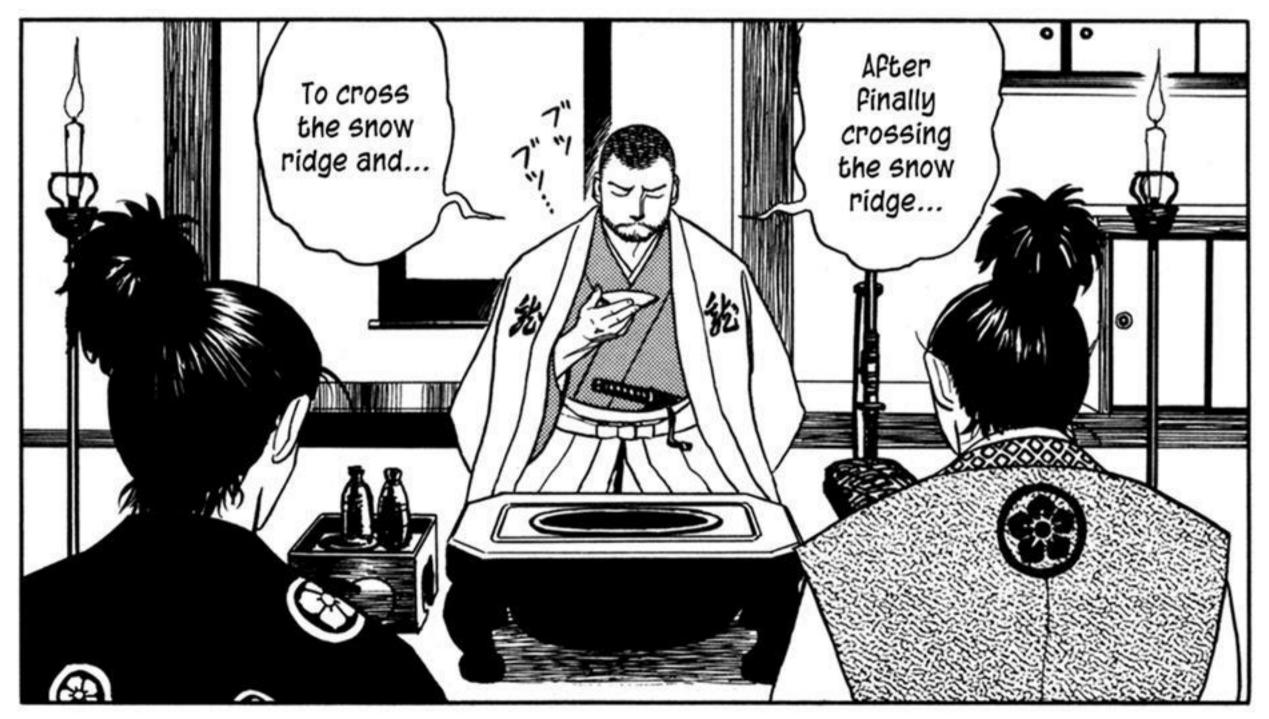


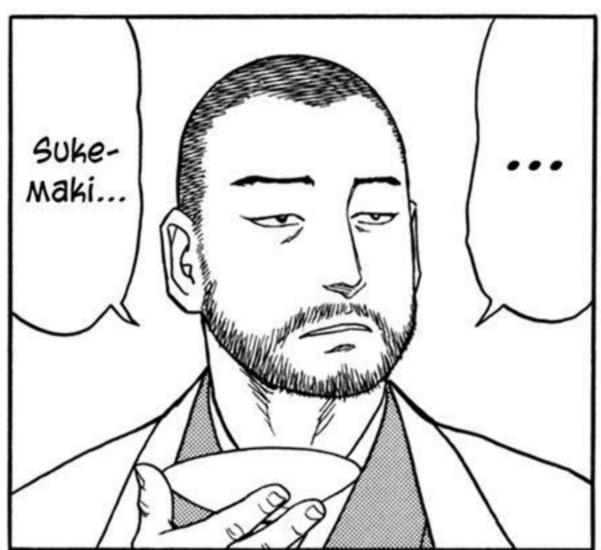
*One li is roughly 3.9 kilometers.



































Yes ...

Kenshin

did not wish

to rob two

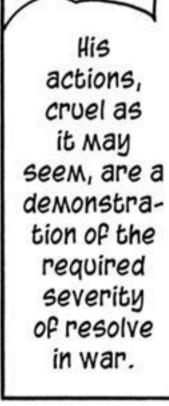
children of

their lives

by his own

hand.

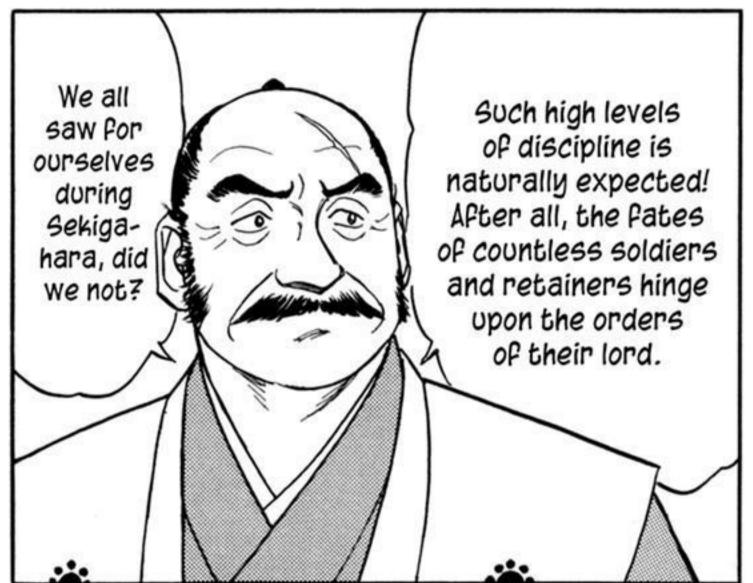




However, the leader of tens of thousands of soldiers must show unwavering resolve when starting a war.













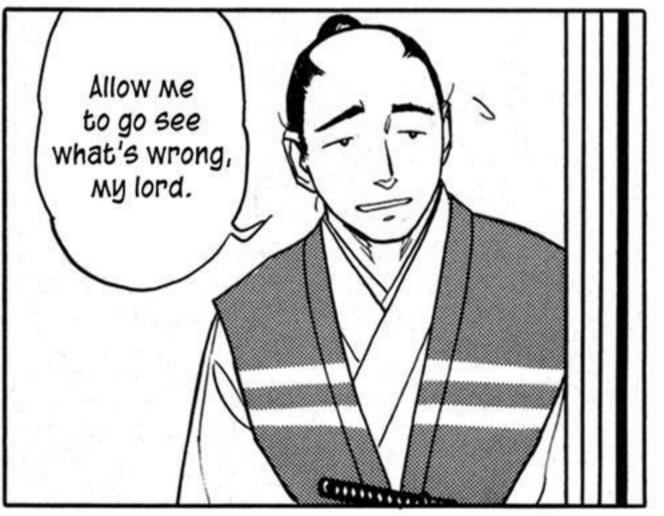










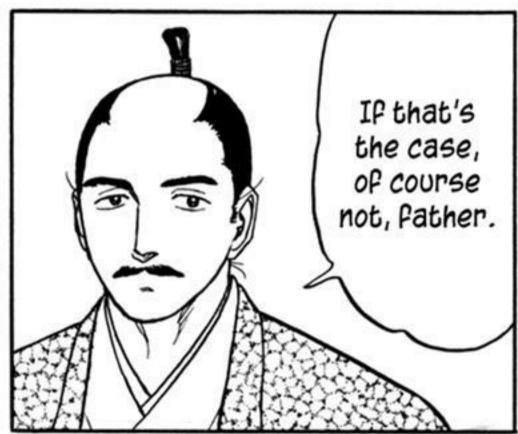














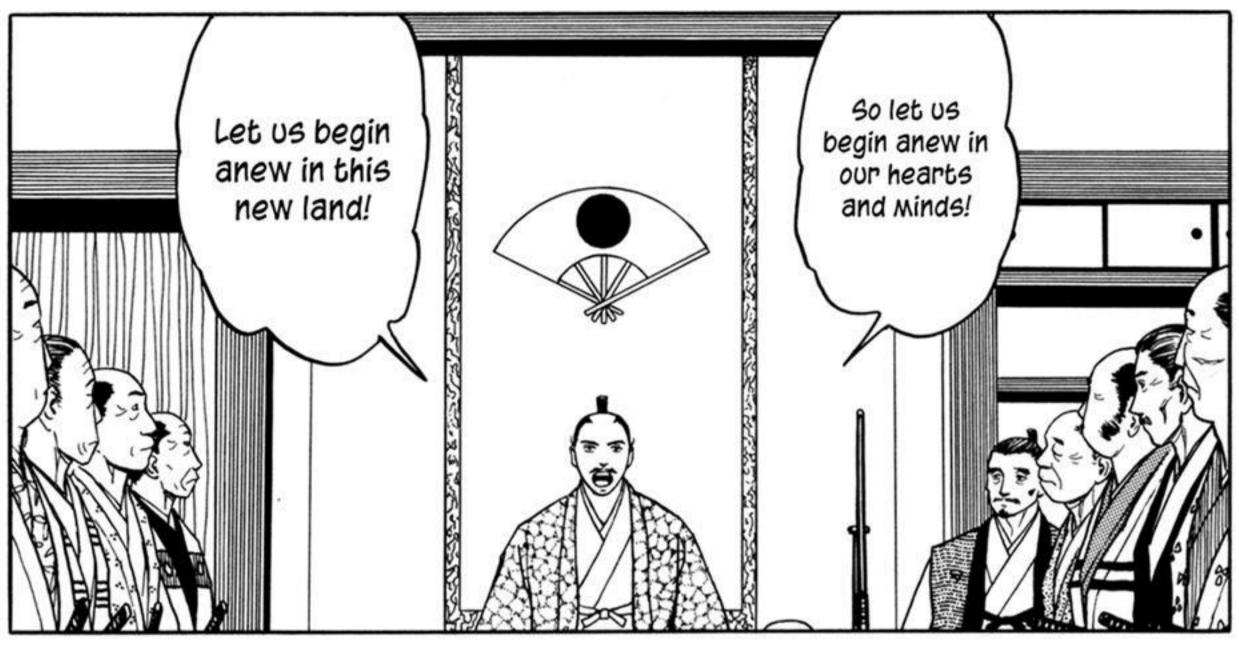




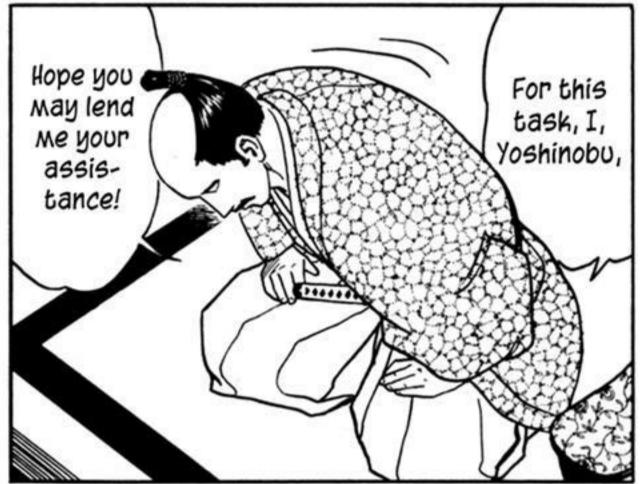


















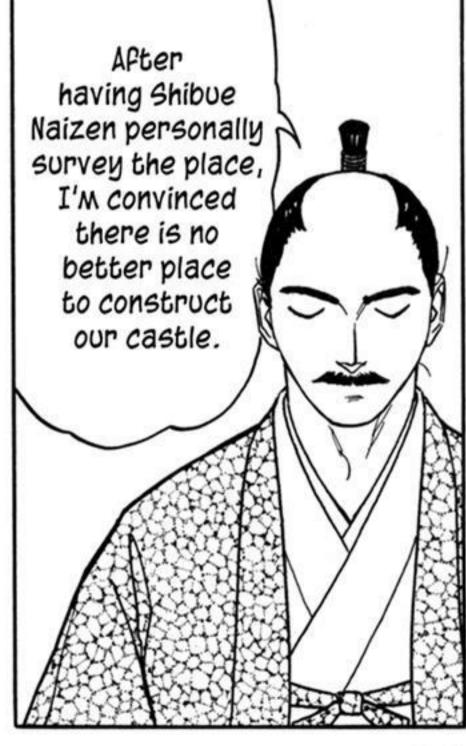








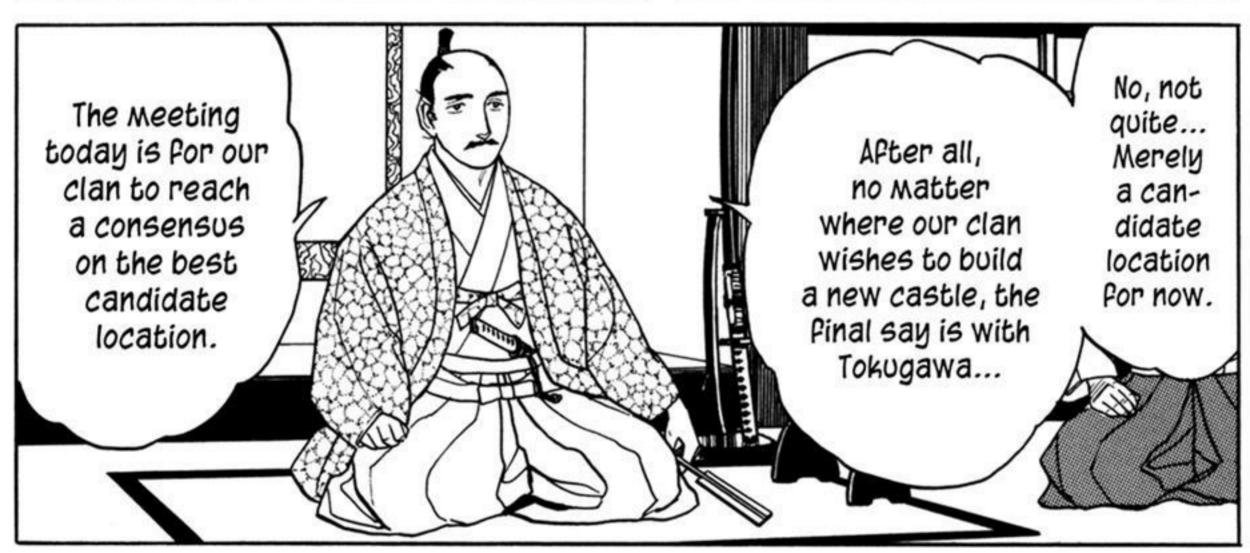






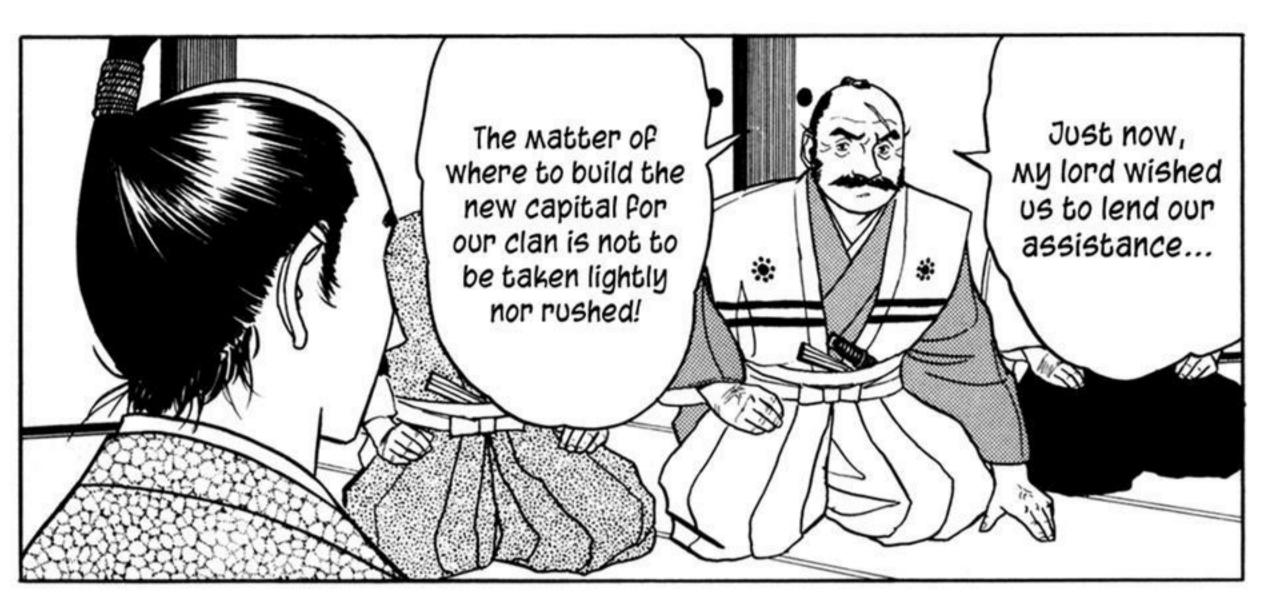


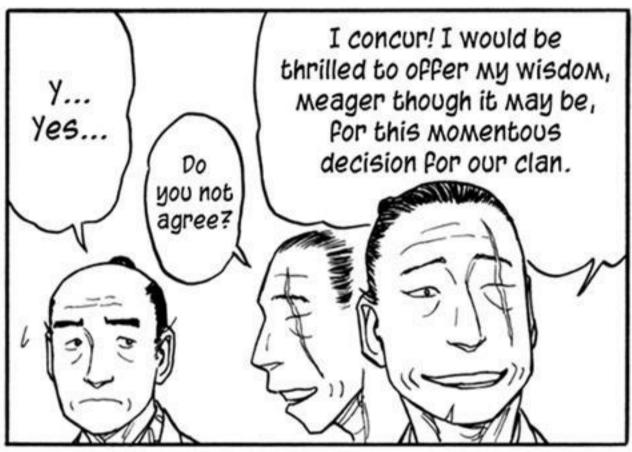


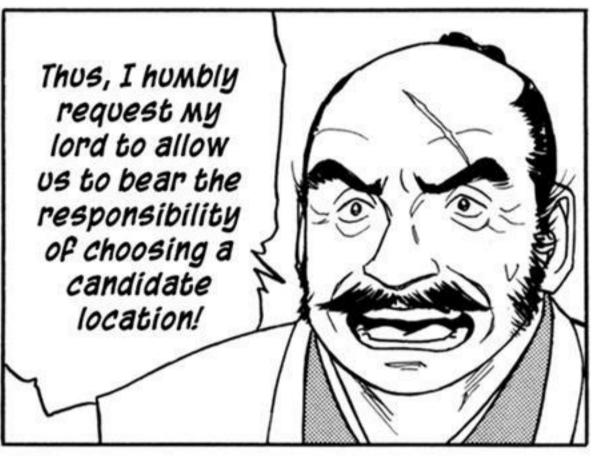


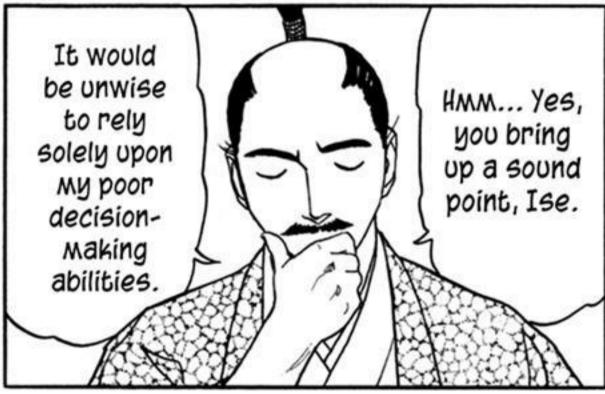










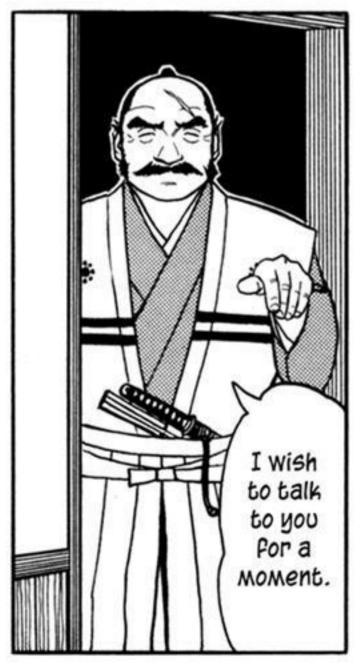


















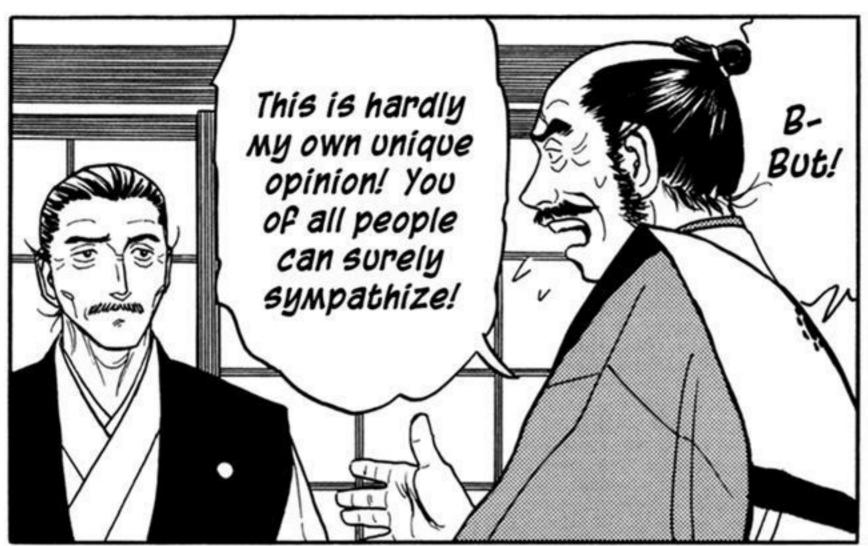






























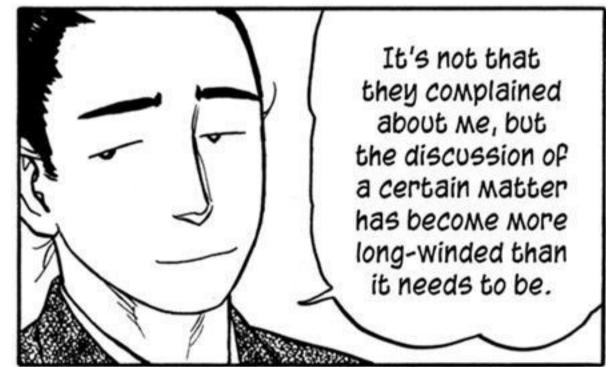


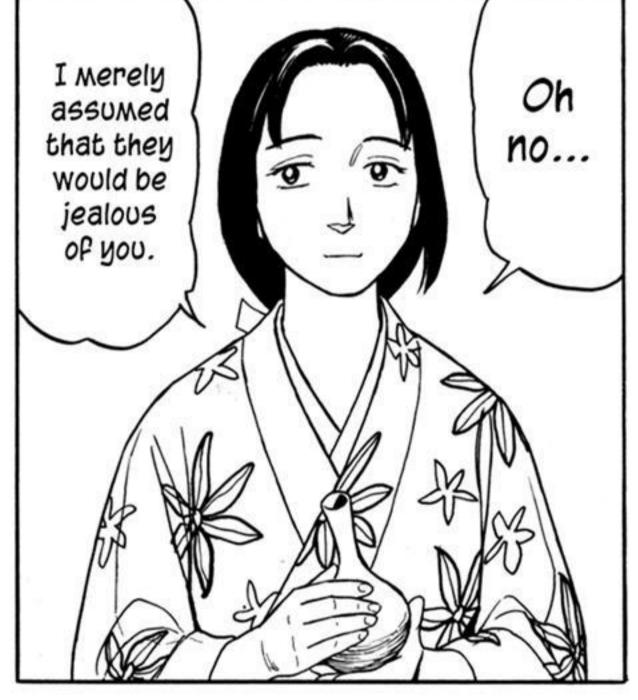














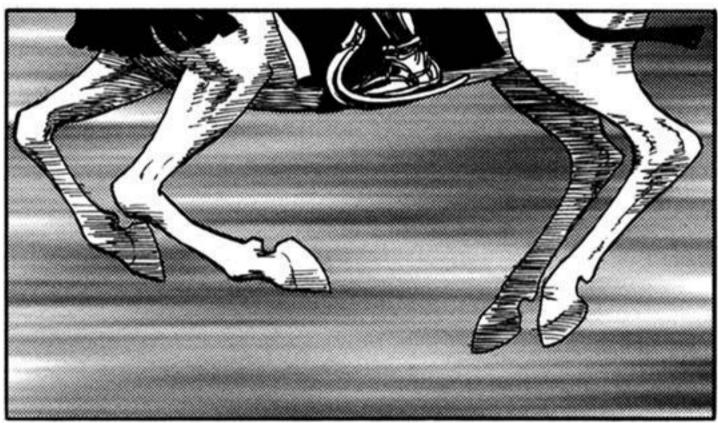














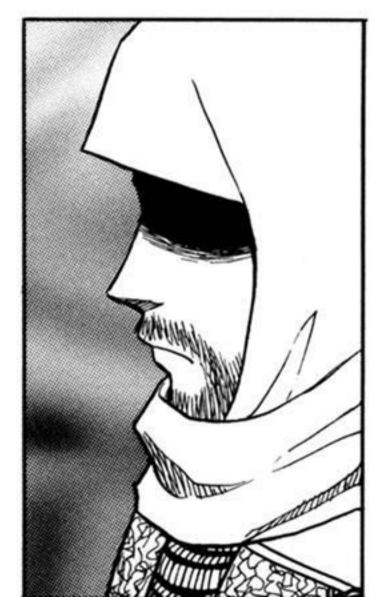




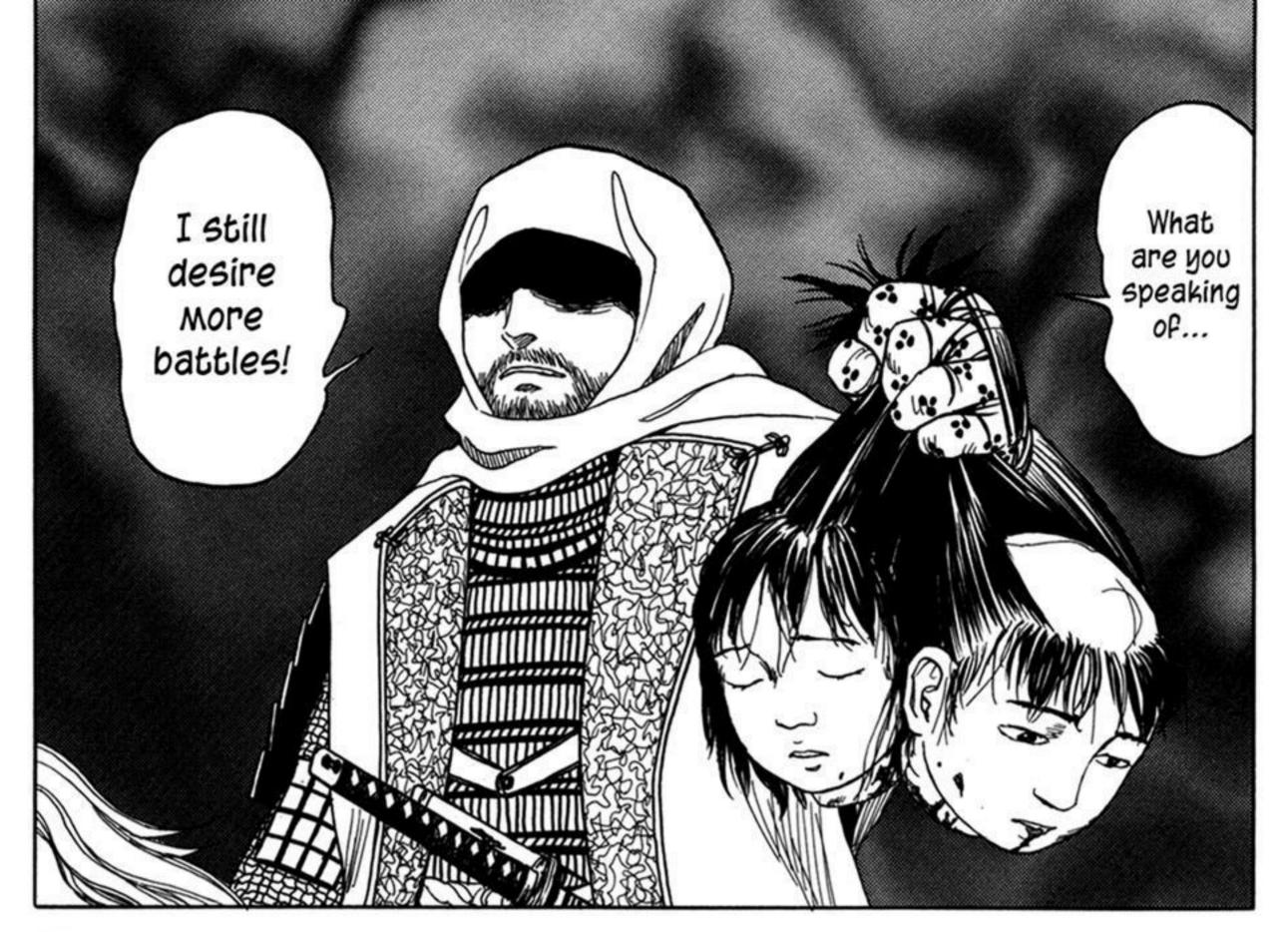




















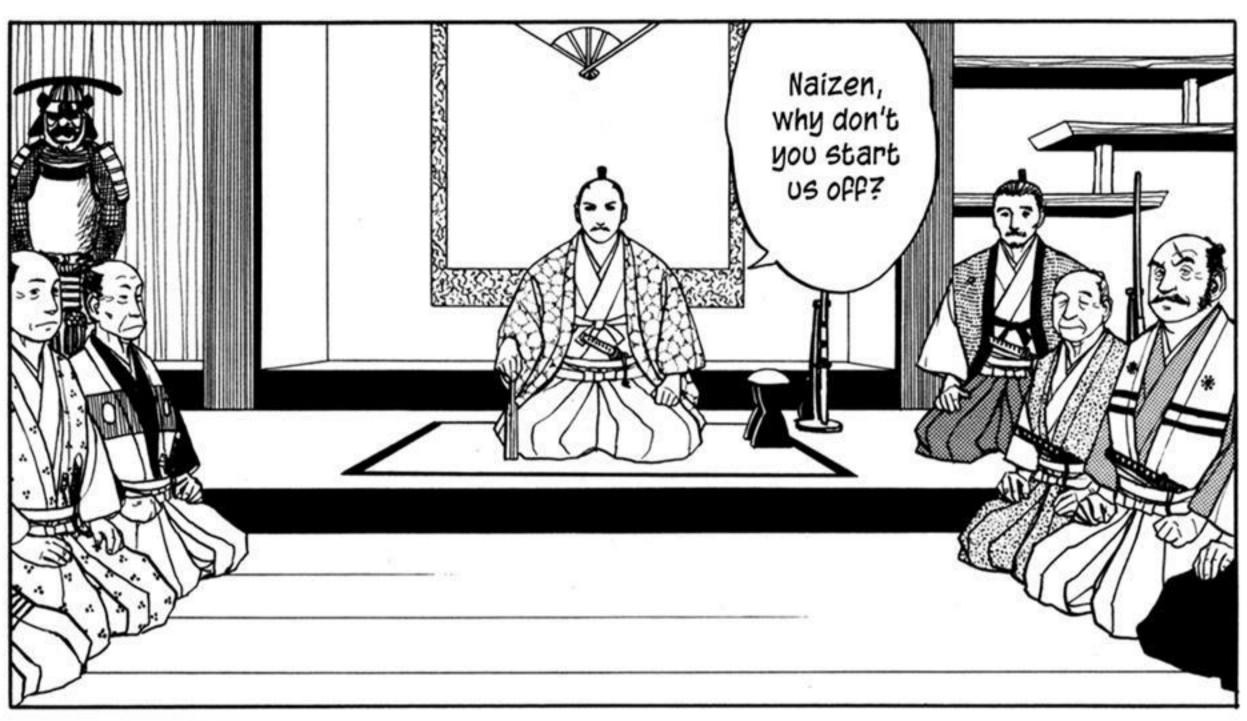


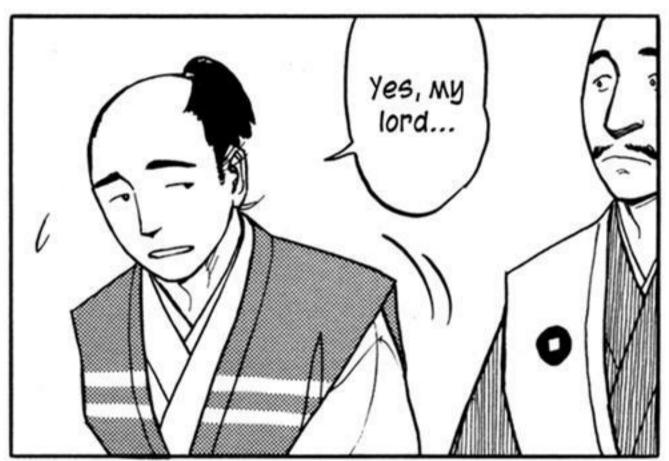




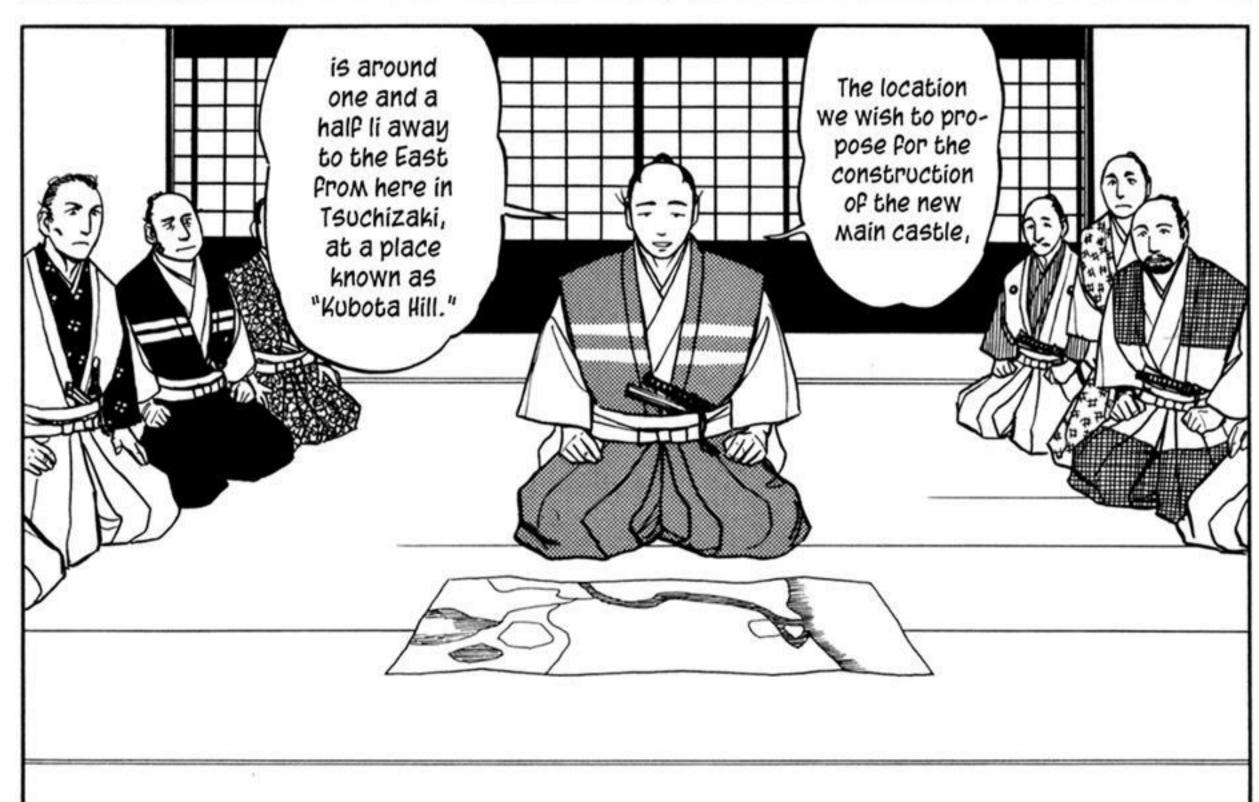




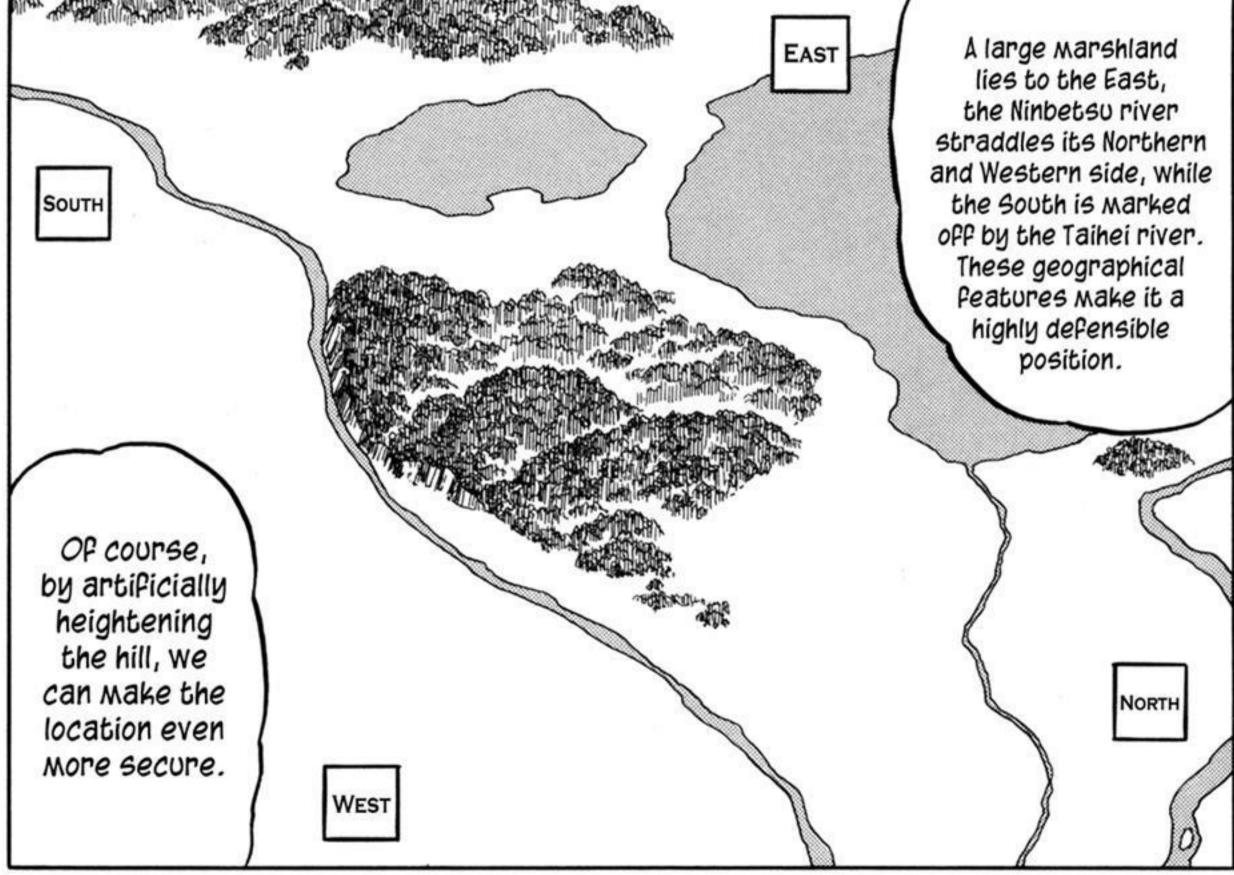


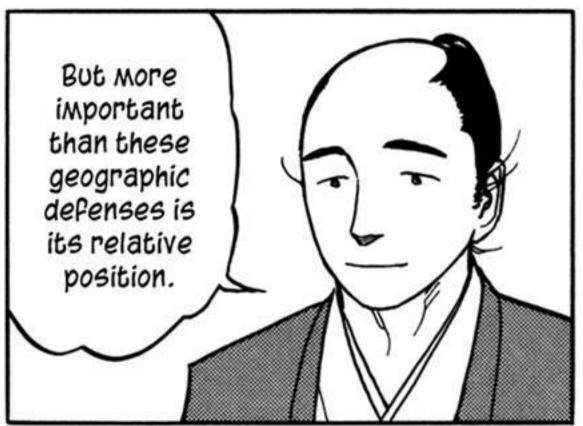




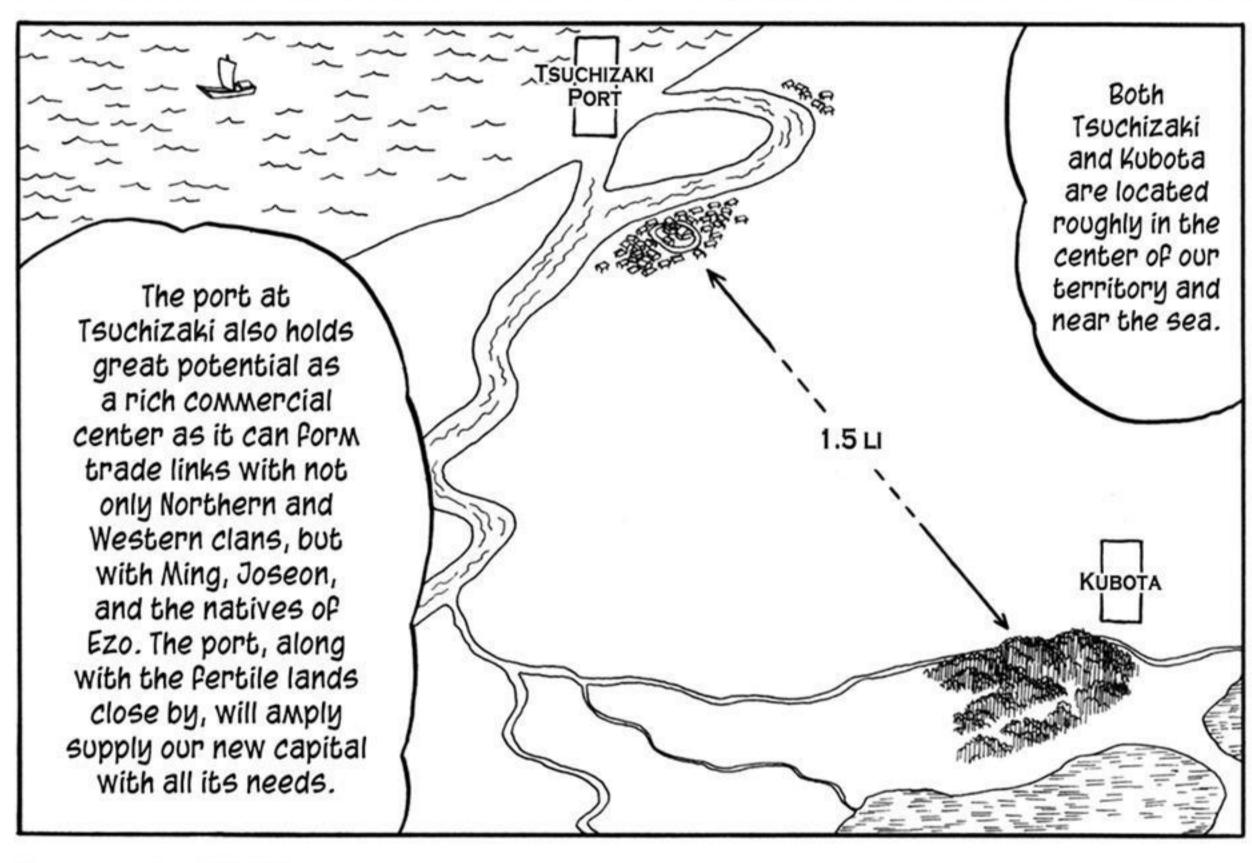


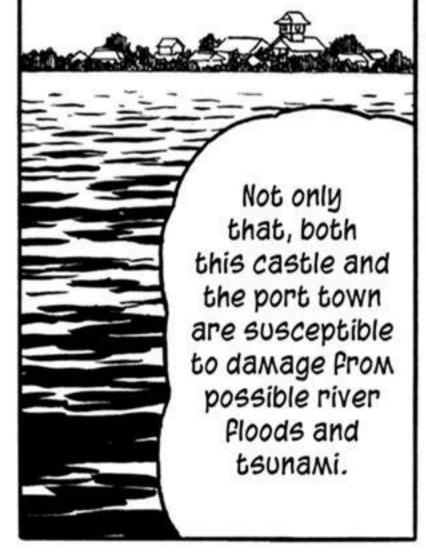


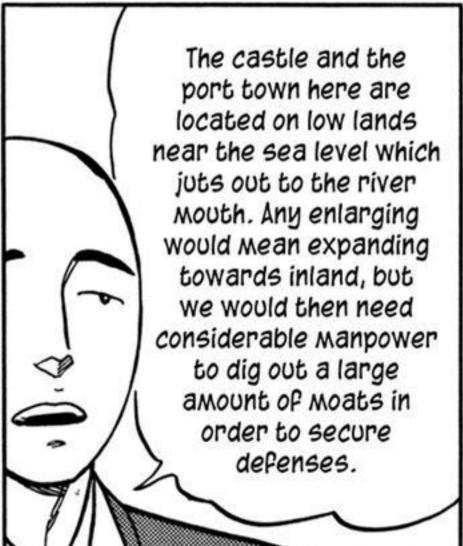






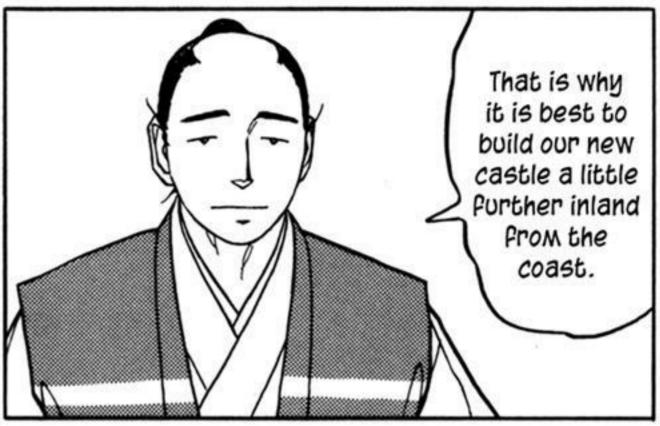












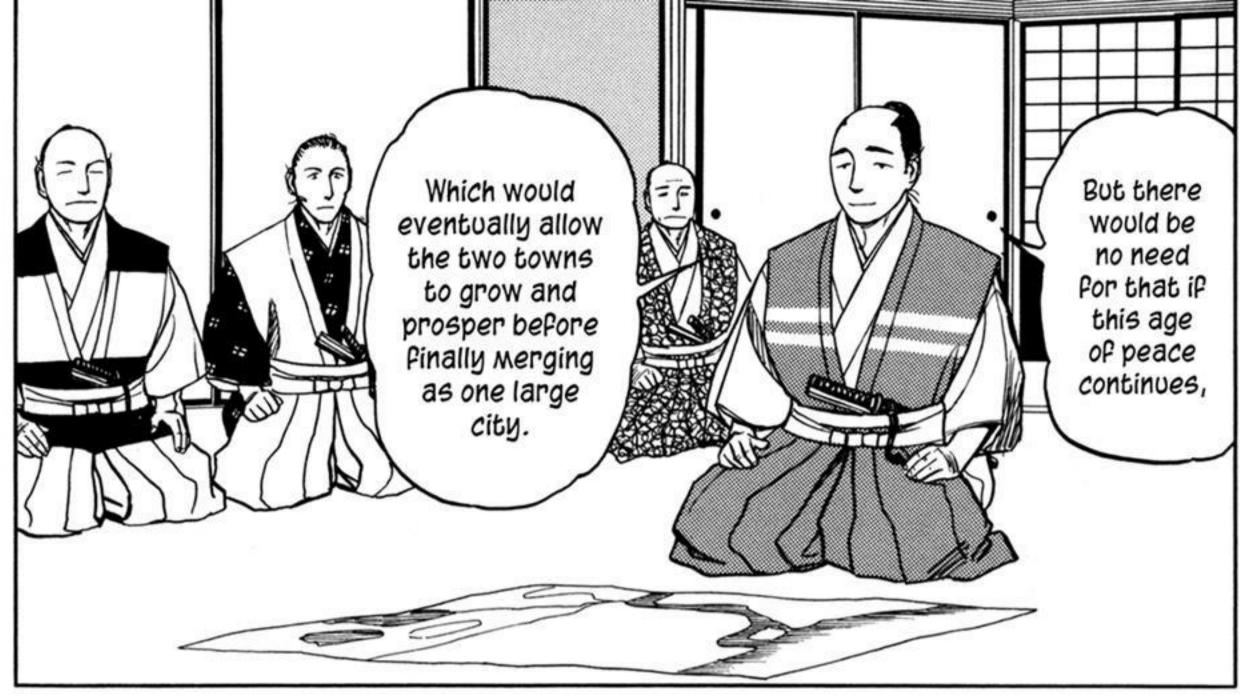
Two towns with distinct functions...
By situating them close together but not too close, one will complement the other without negatively hindering either's growth, ensuring the development of a prosperous center for our province!

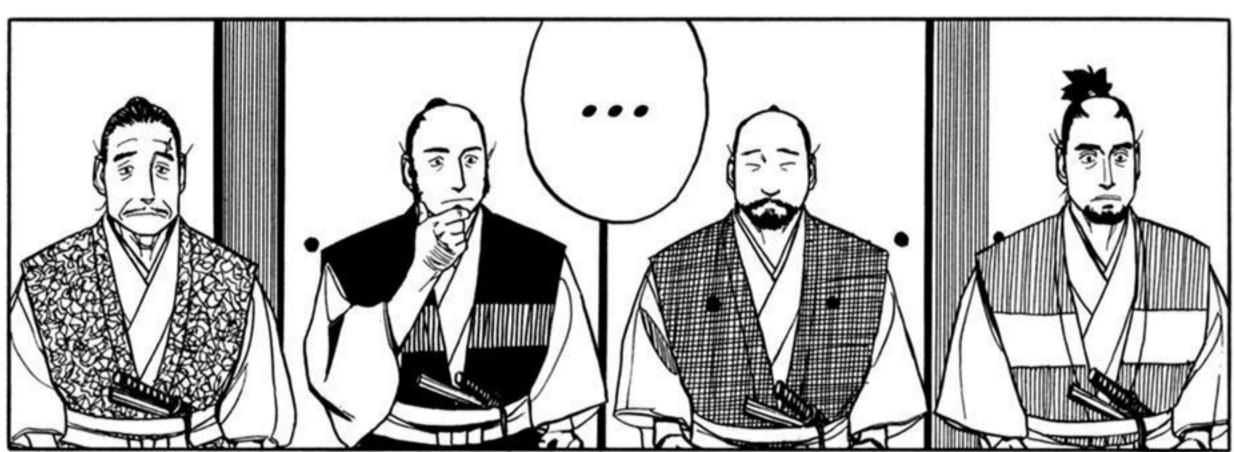


















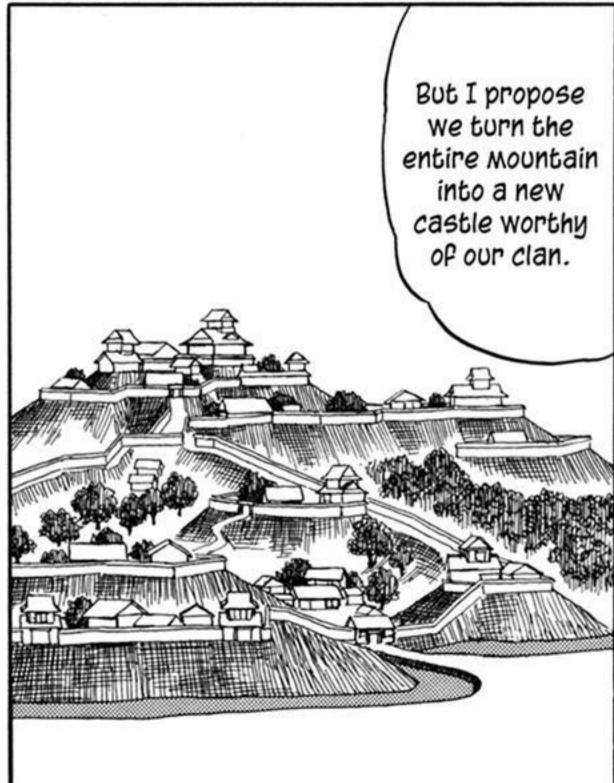


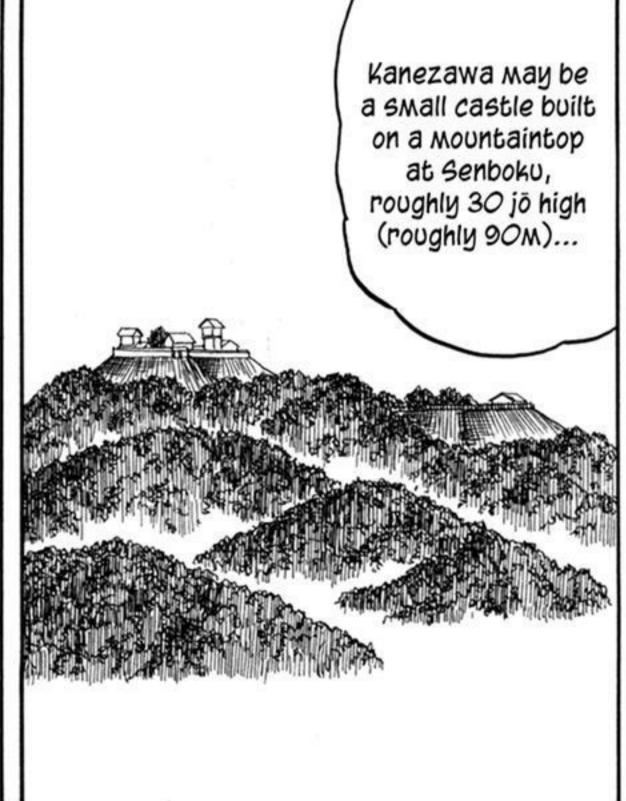








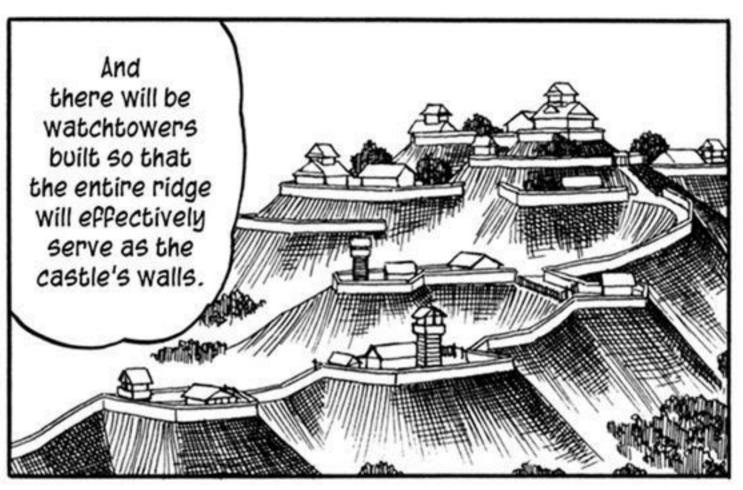




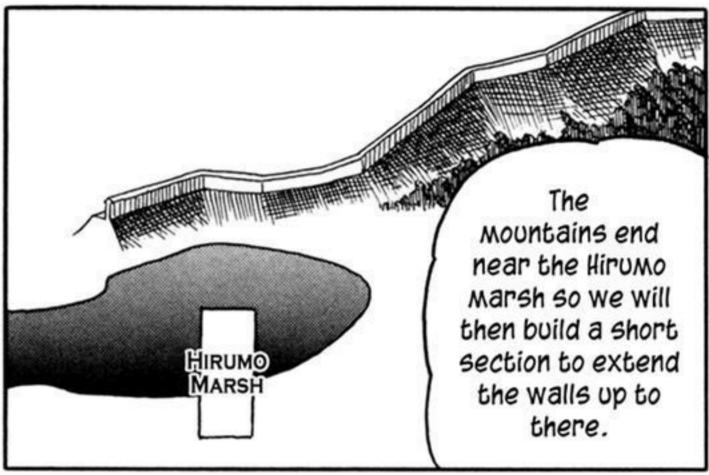








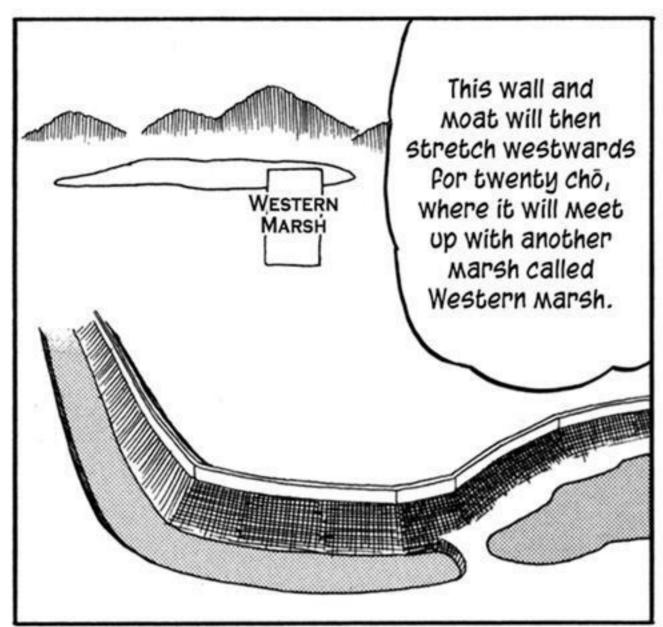


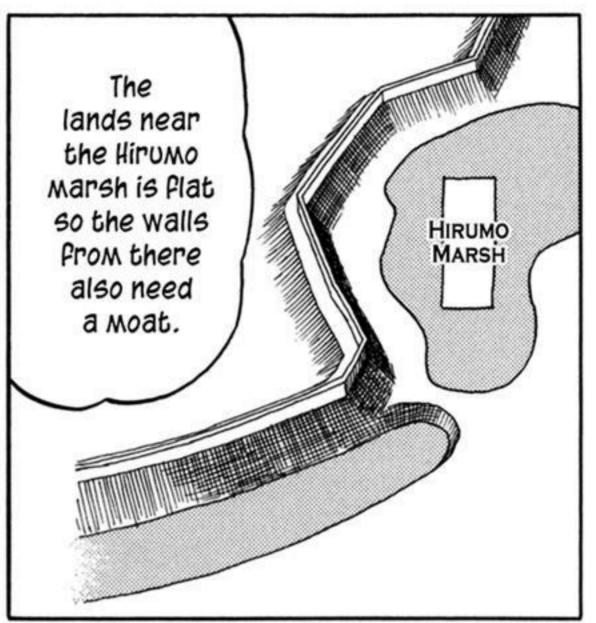


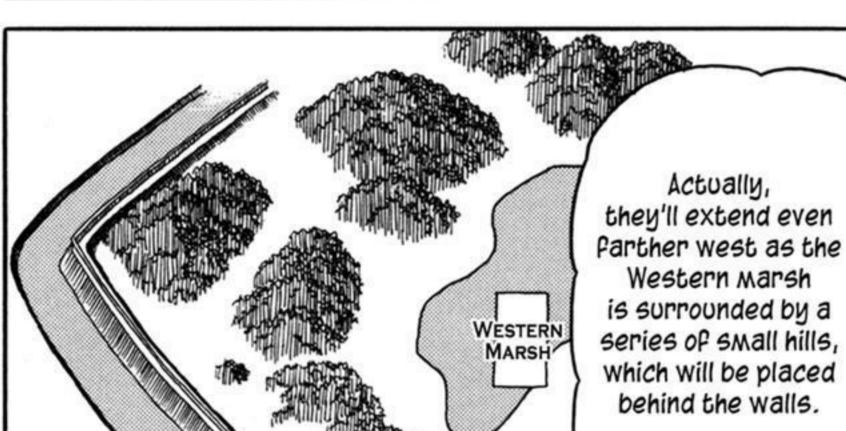




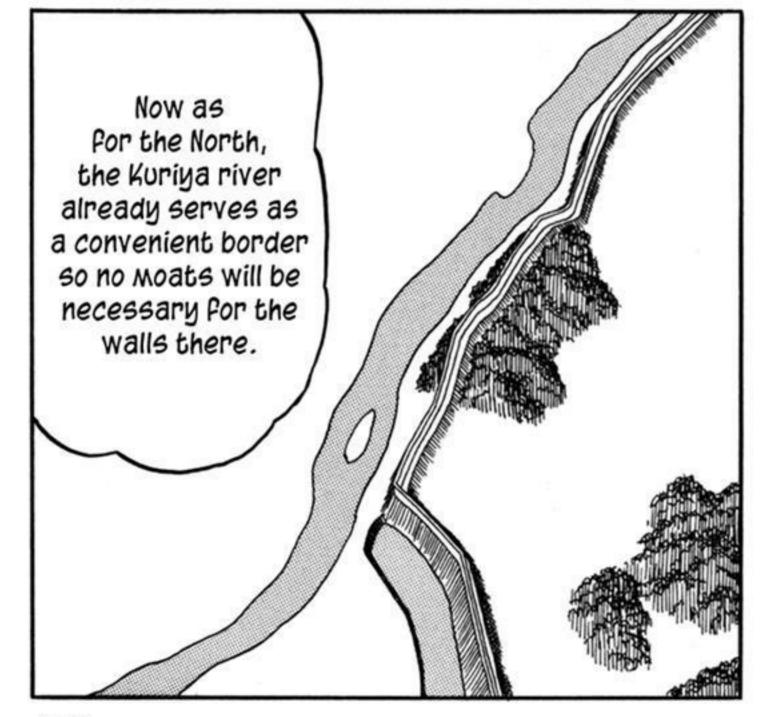






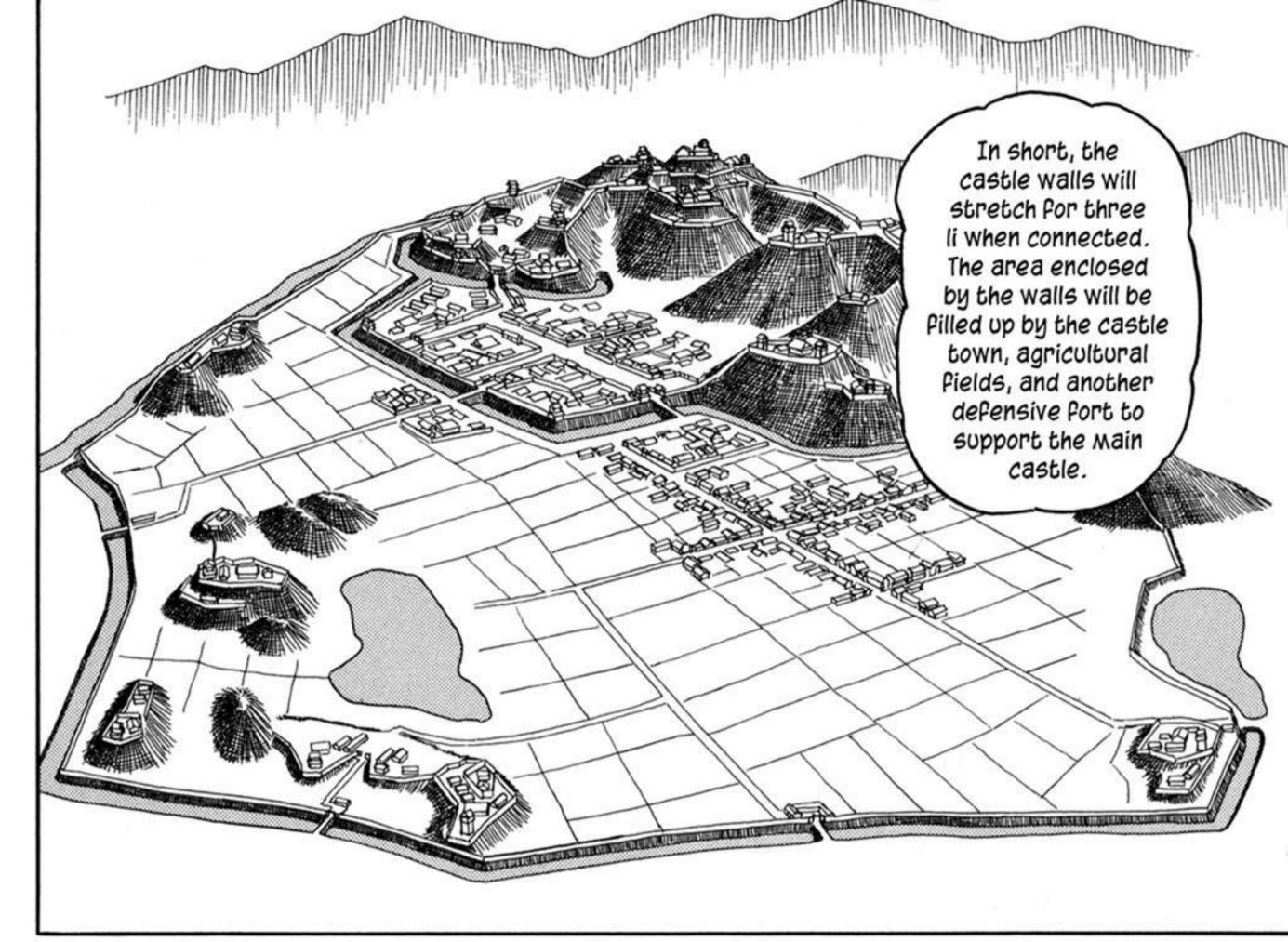










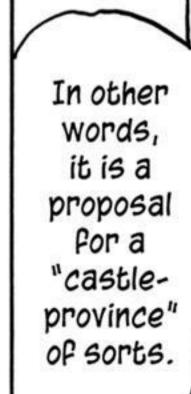






(ALLA IUWA



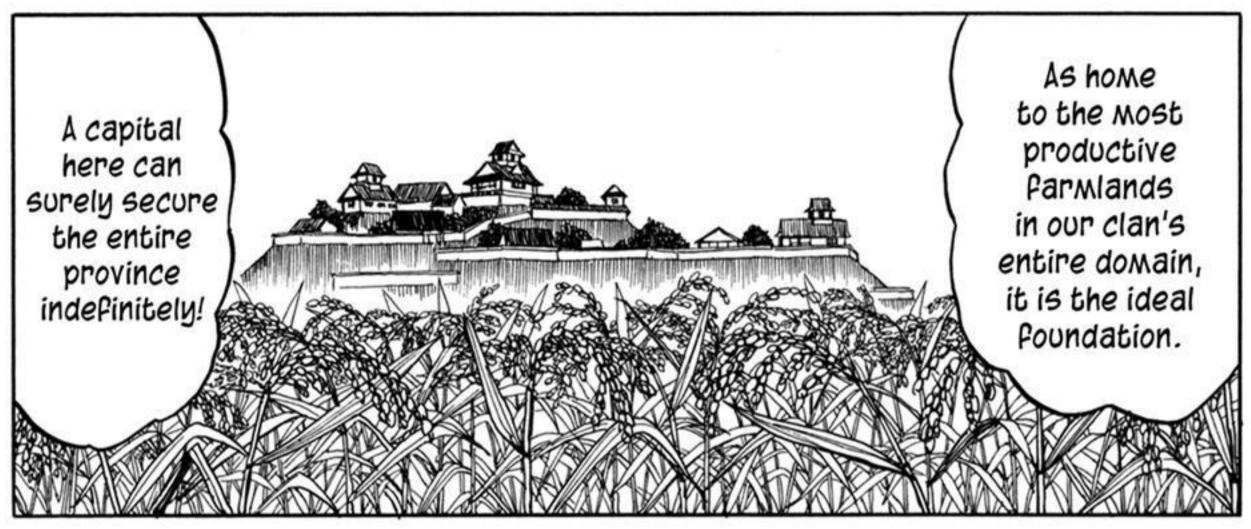


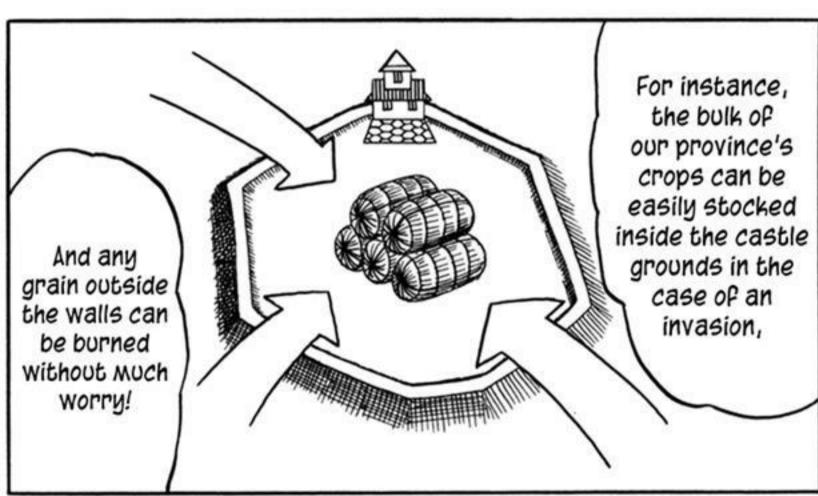
That is the prime objective for the scale of my proposal.

I do not believe so. Admittedly, the construction for this undertaking might not be fully complete even during the reign of my lord's successor, but this castle can surely survive for years and years even if tens of thousands of enemy troops were to try and lay siege.



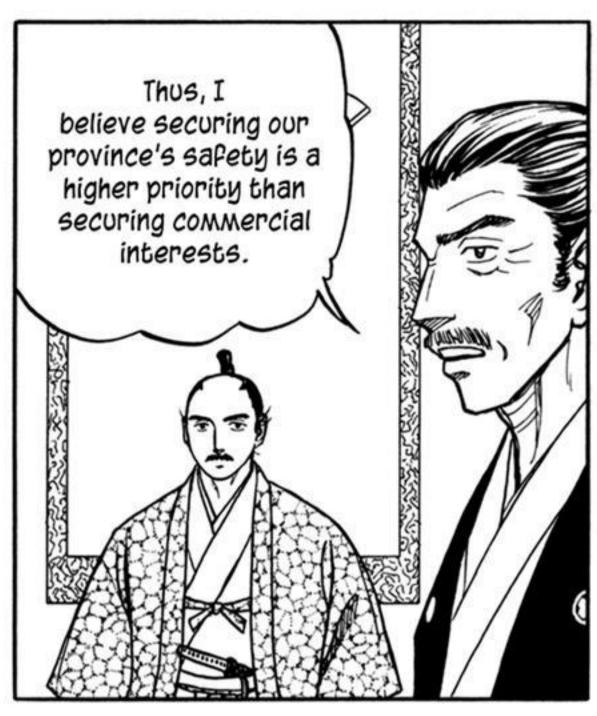






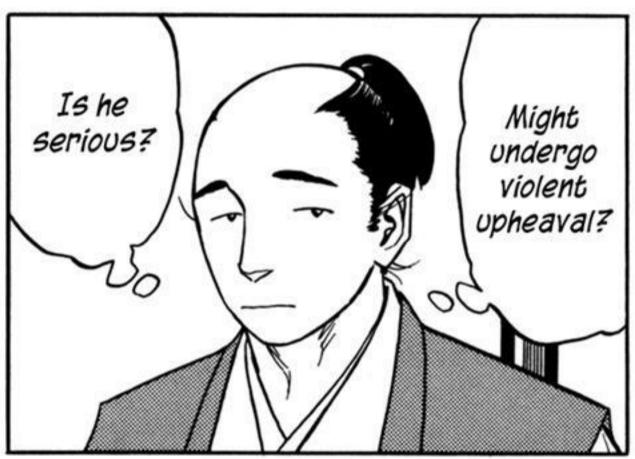


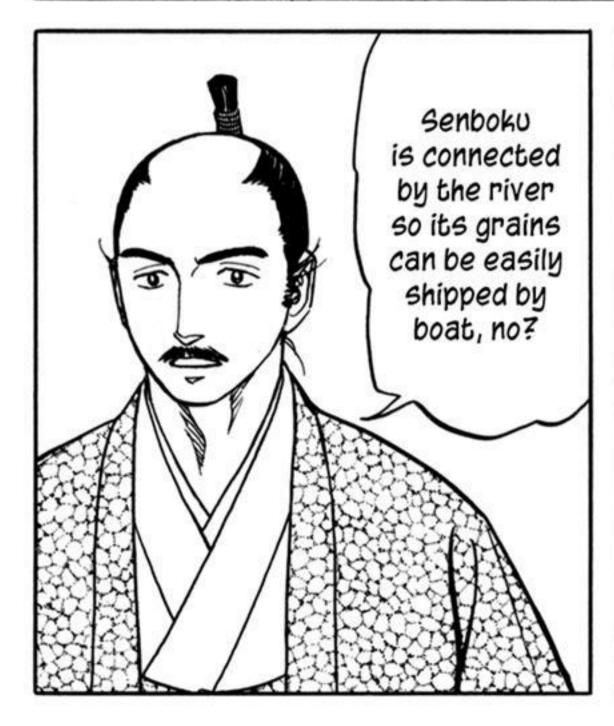


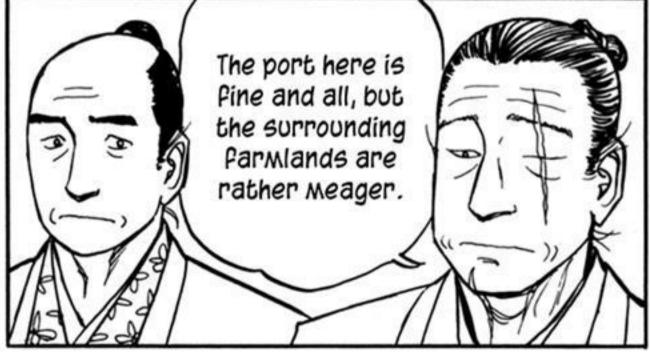








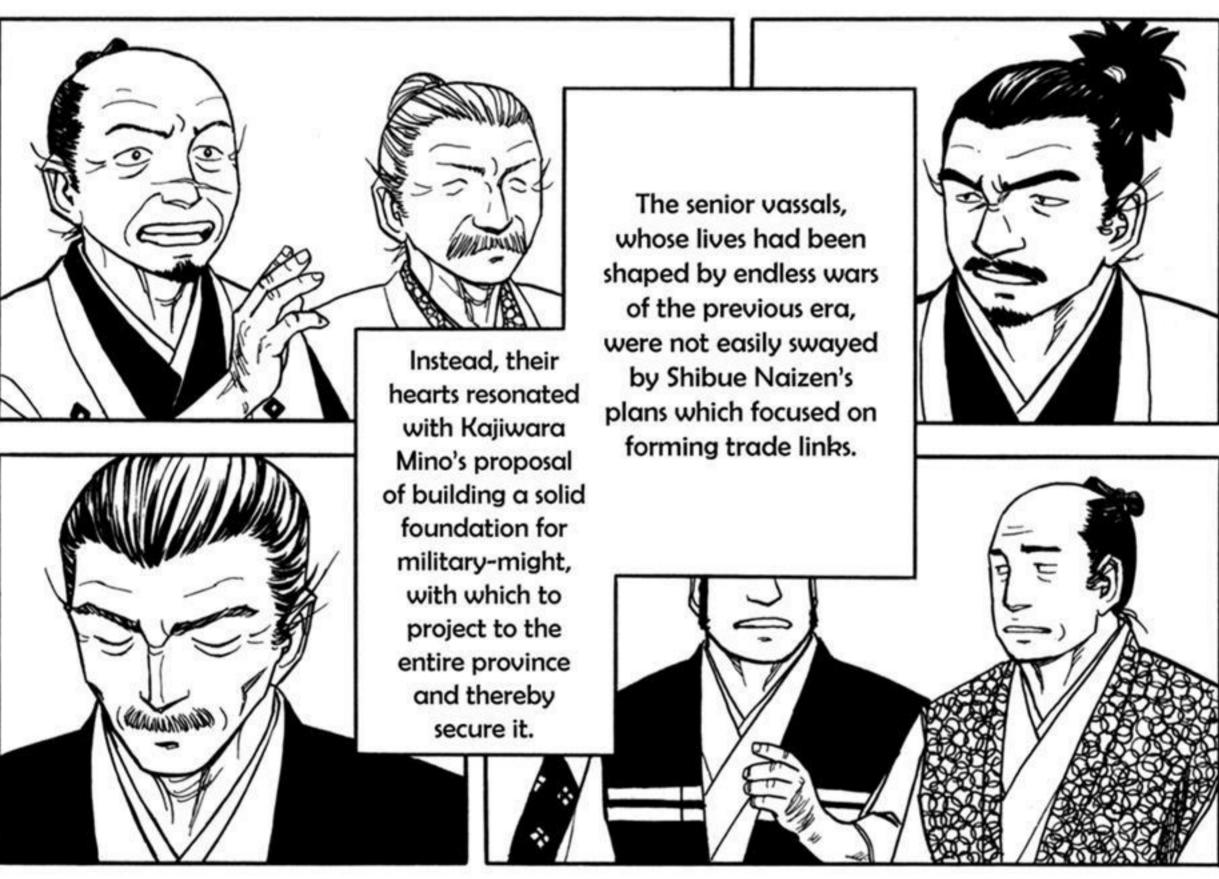








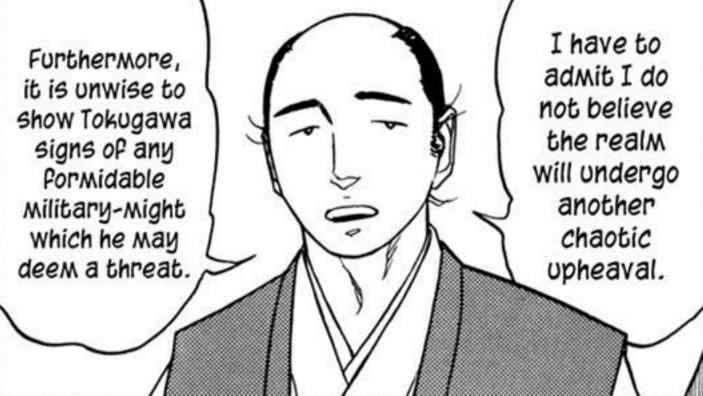


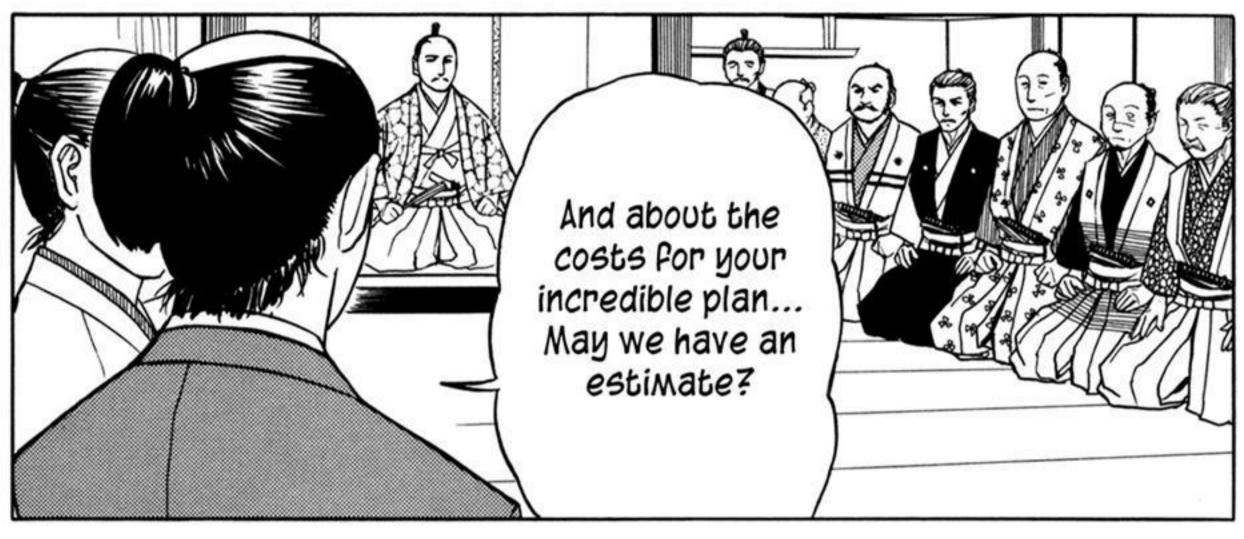


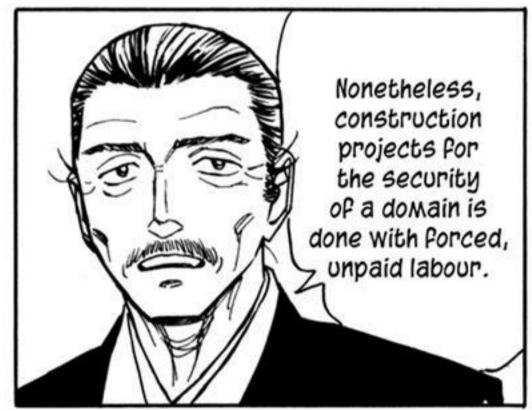


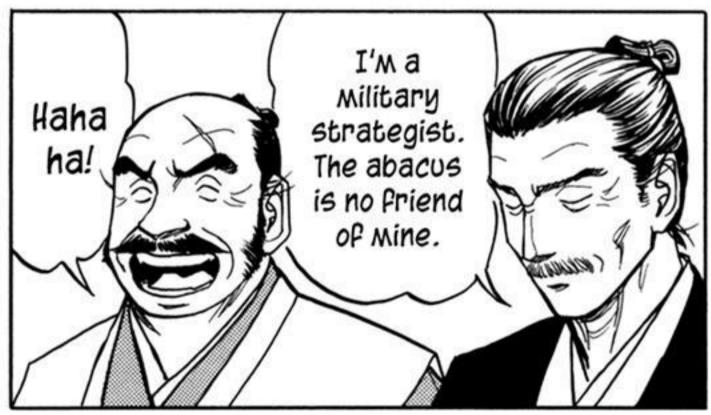




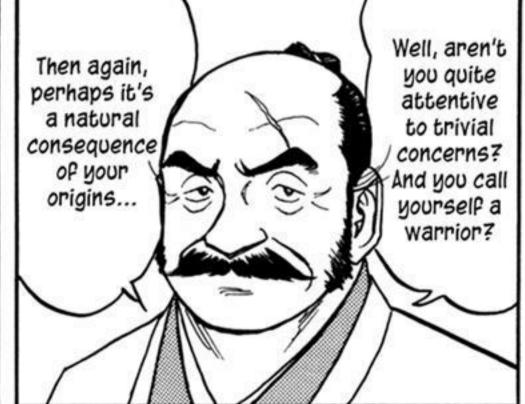


































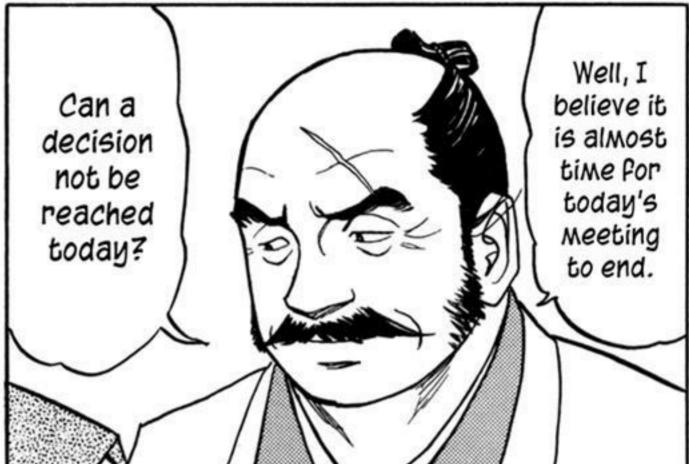
















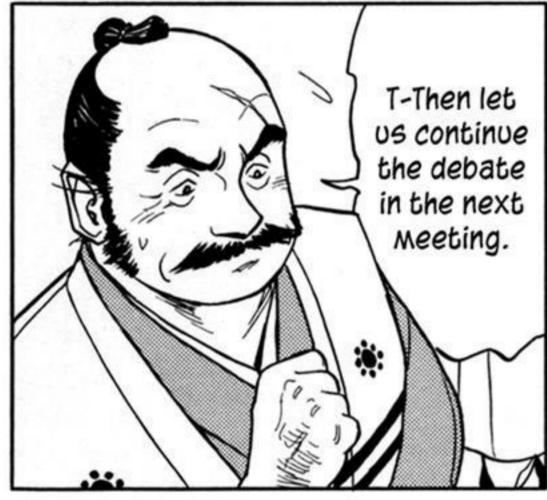






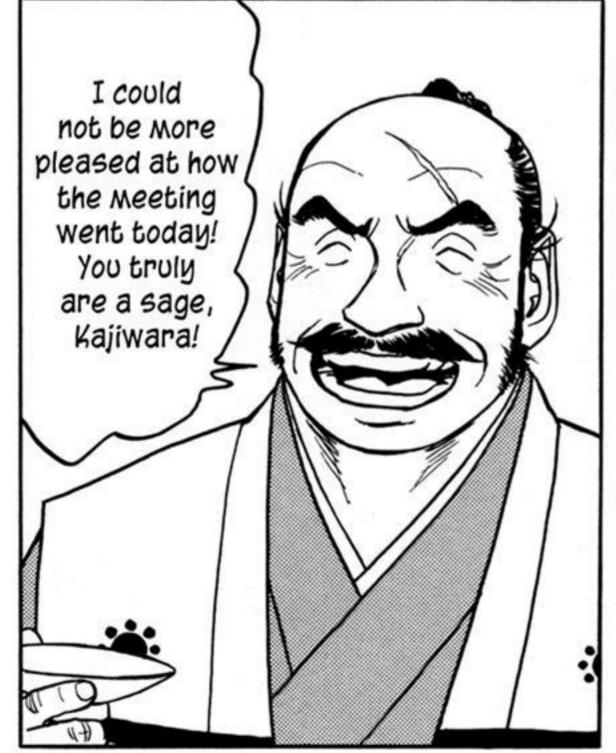










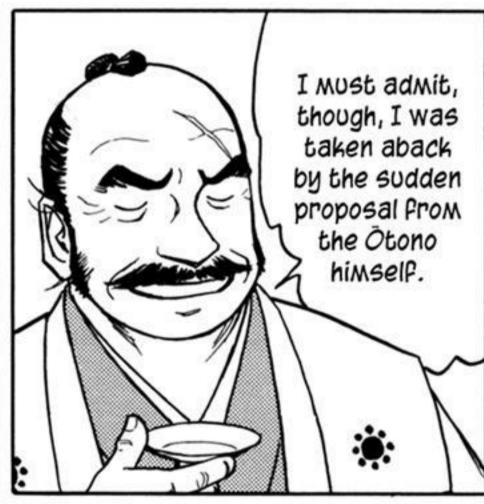


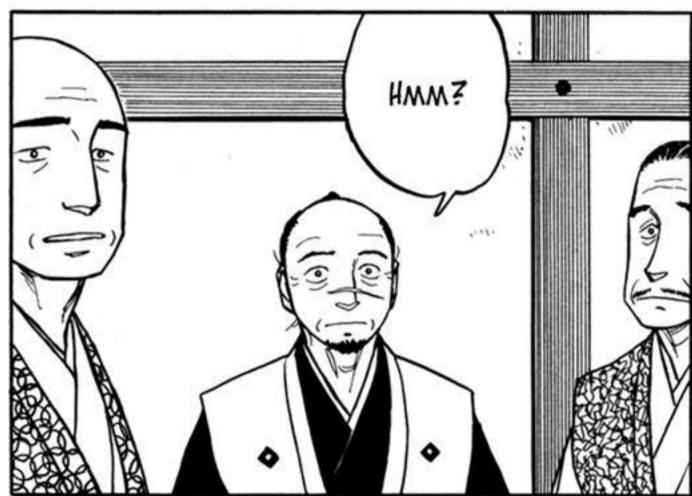








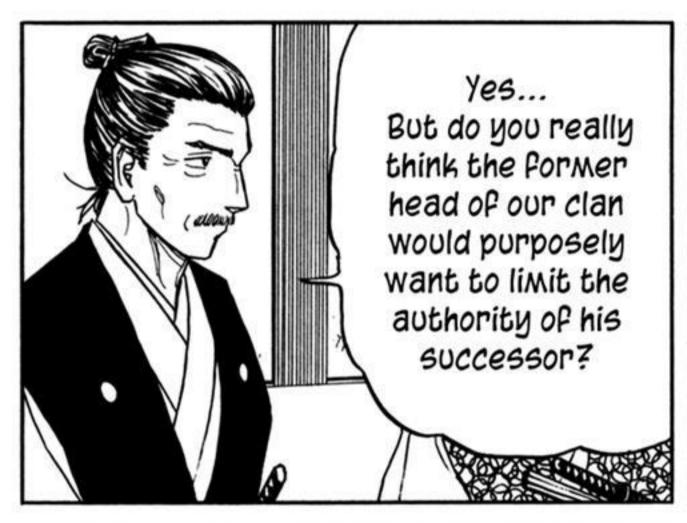


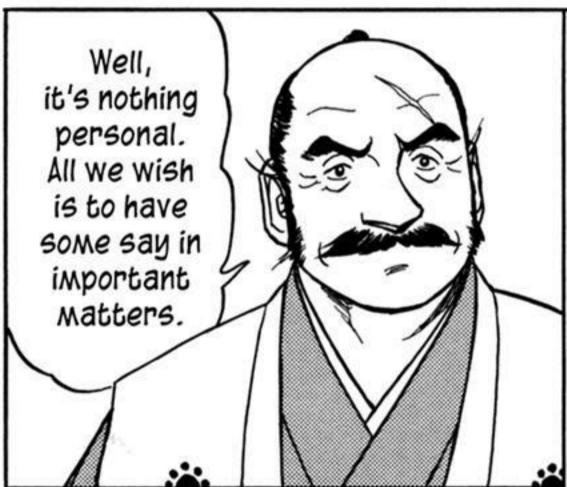




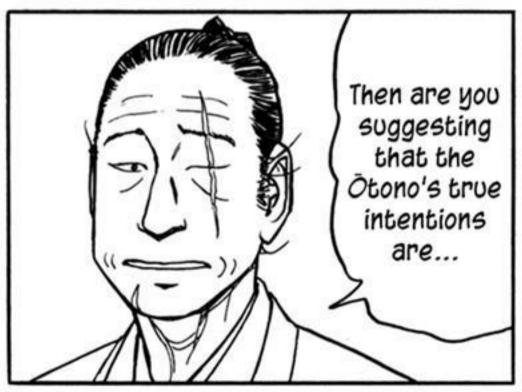


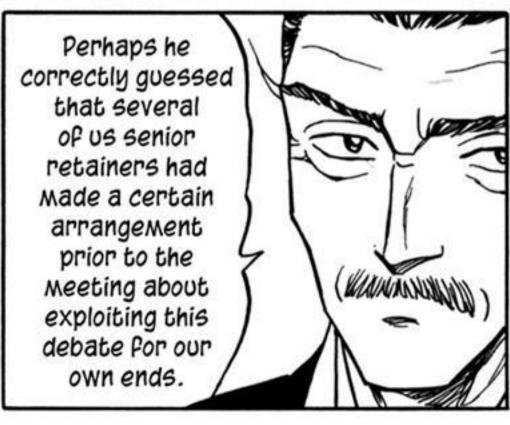


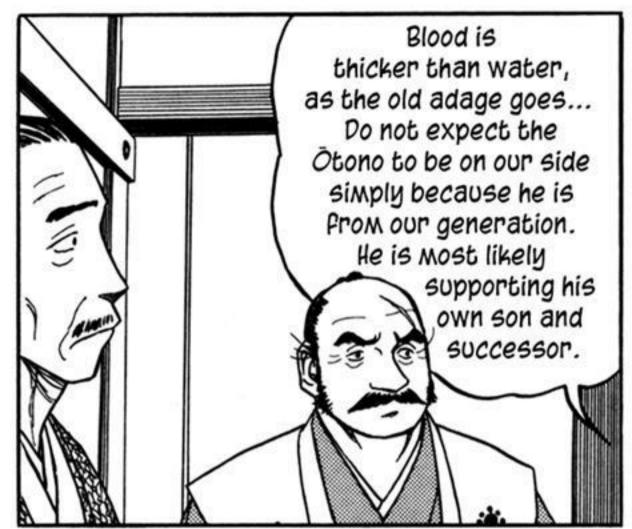




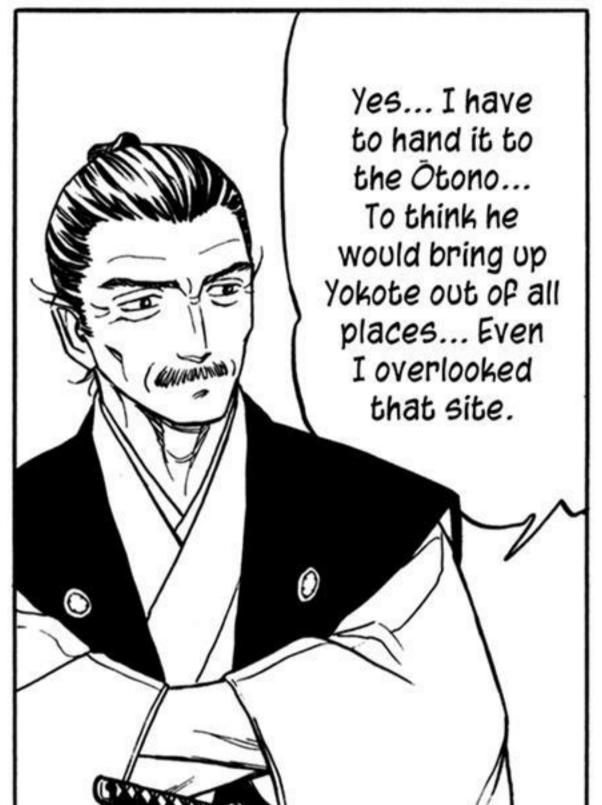






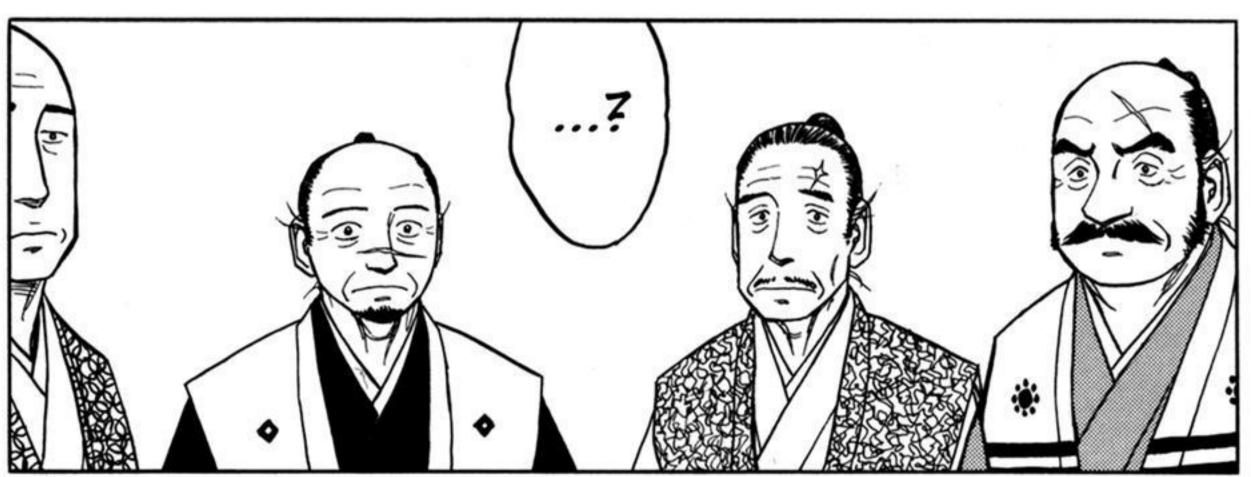




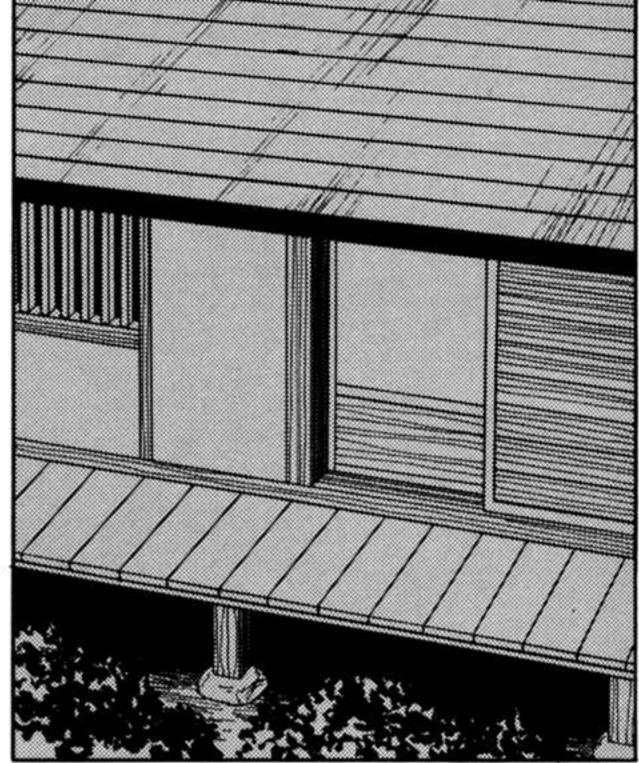
















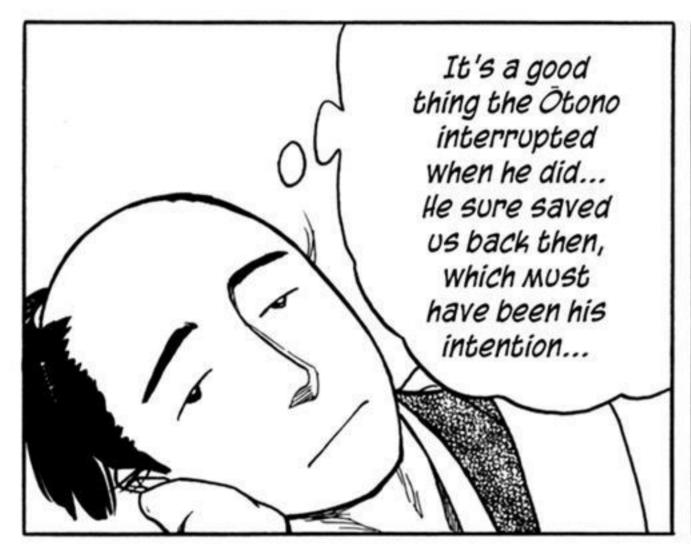


















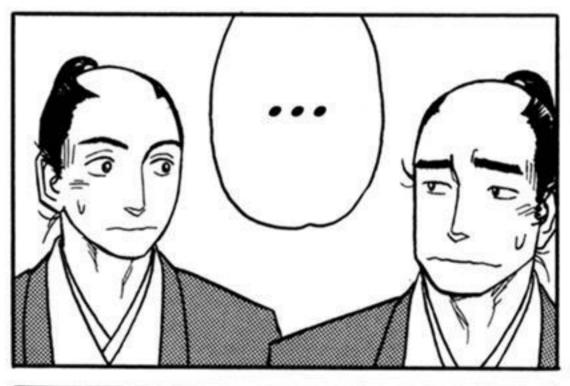








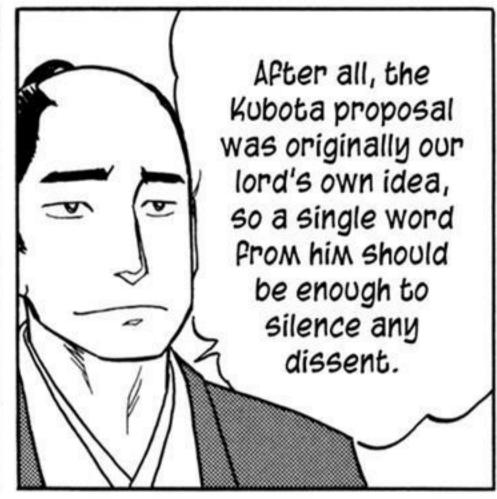




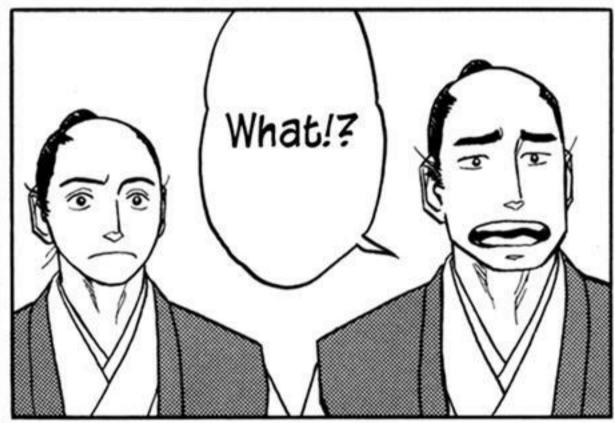


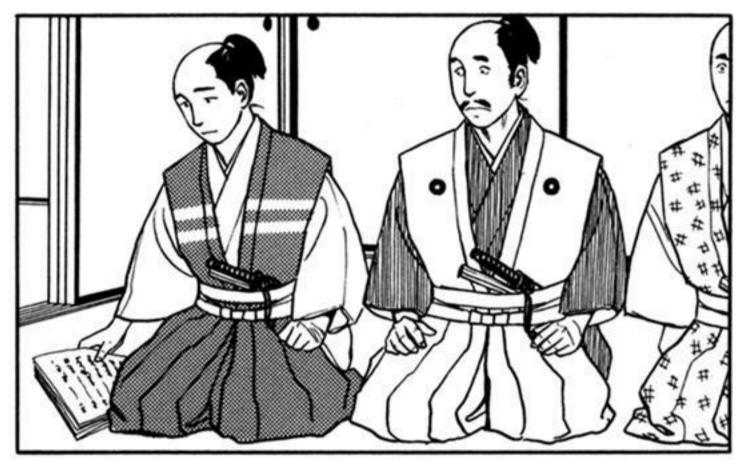


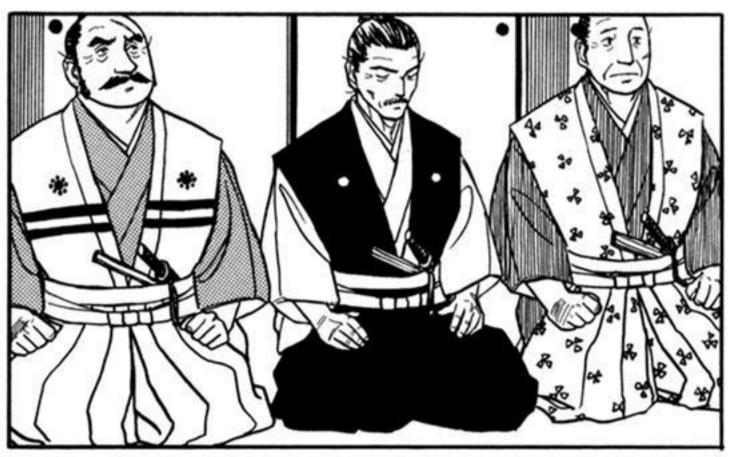




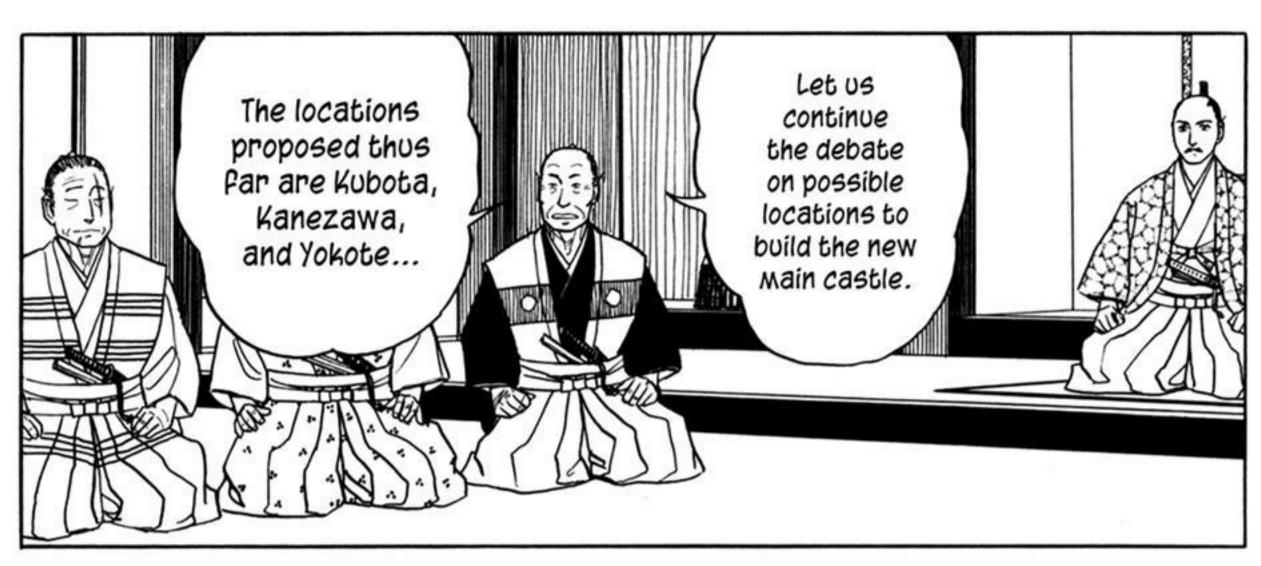






























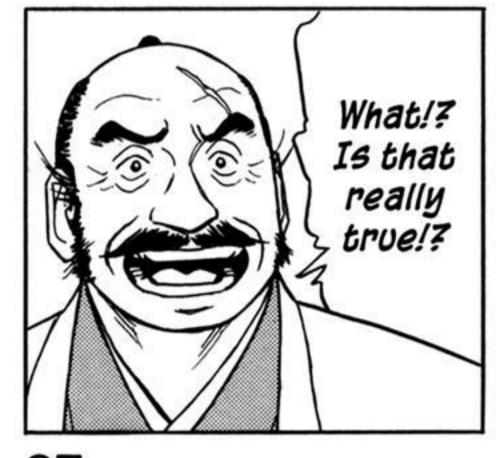


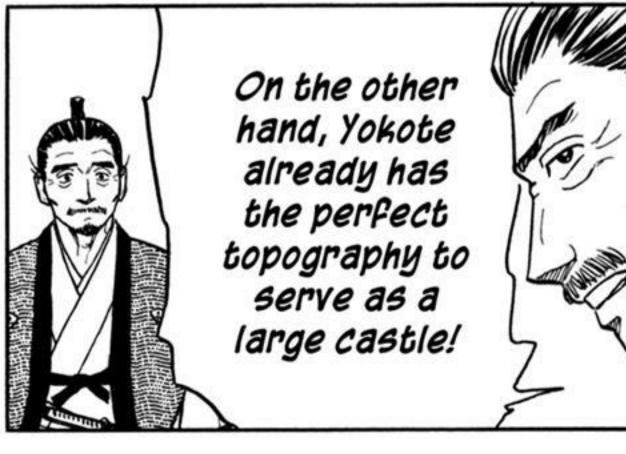




As Shibue Naizen Feared, building the castle at Kanezawa would consume far too much time and resources.





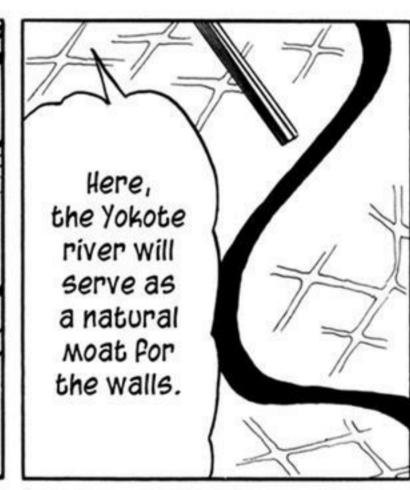


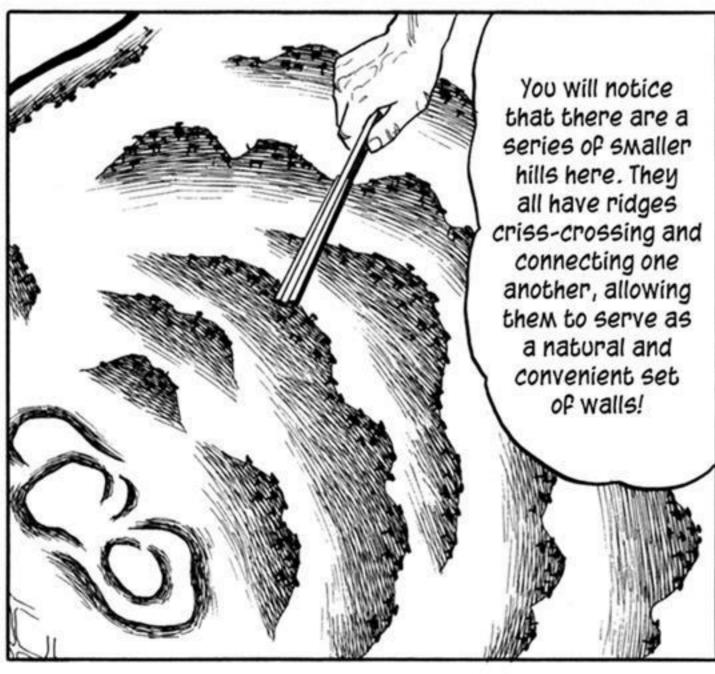
































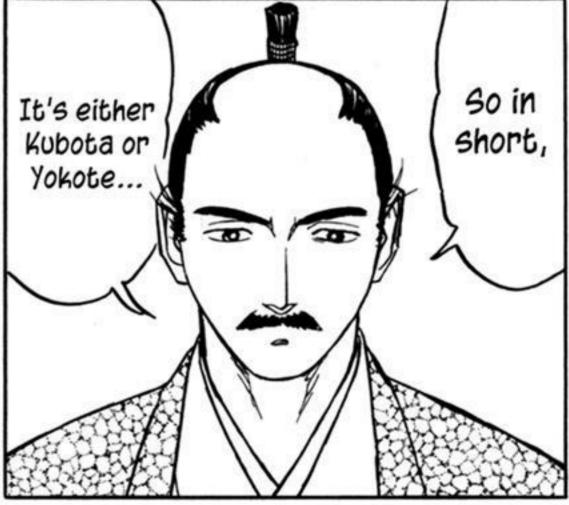


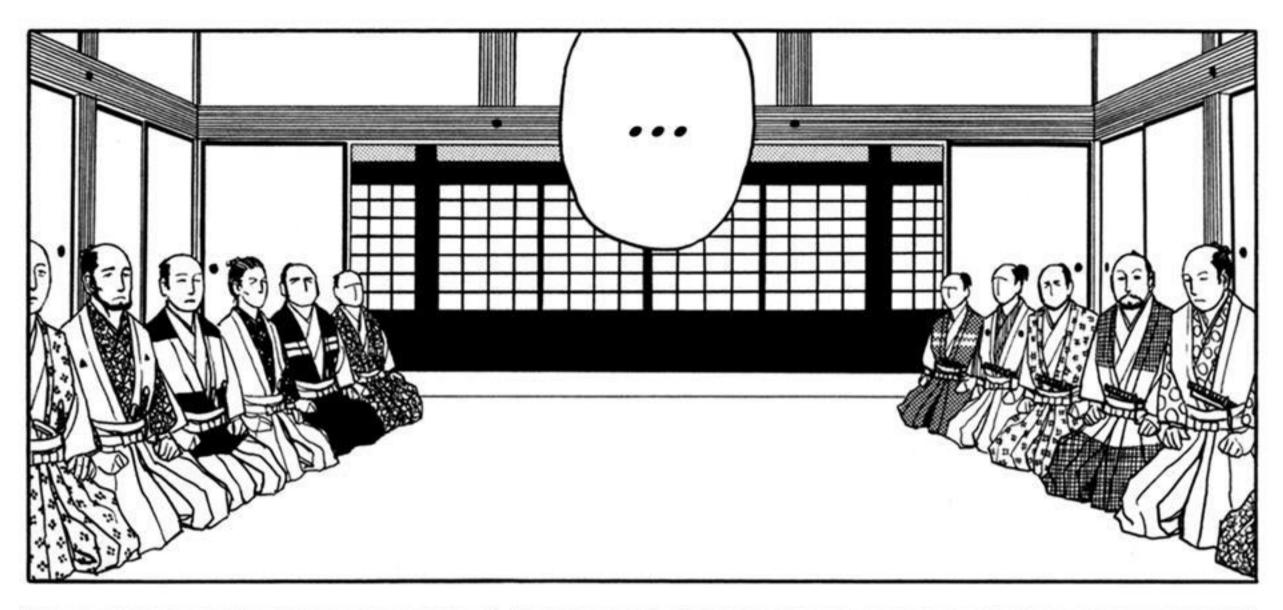




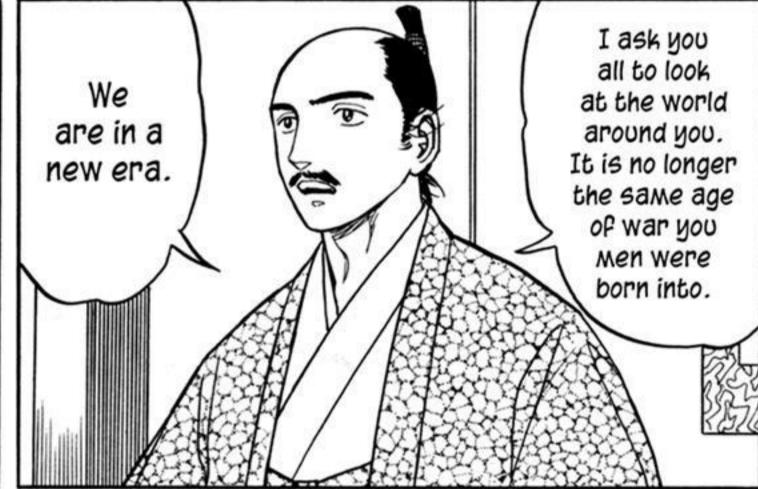












Toss aside
thoughts of war...?
But war is all that
we learned and all
that we can do...
What are we to do
from now on...?



The realm will not go through such a violent upheaval again.
You are chasing after a bygone era...
Wake up from your dreams and toss aside thoughts of war!









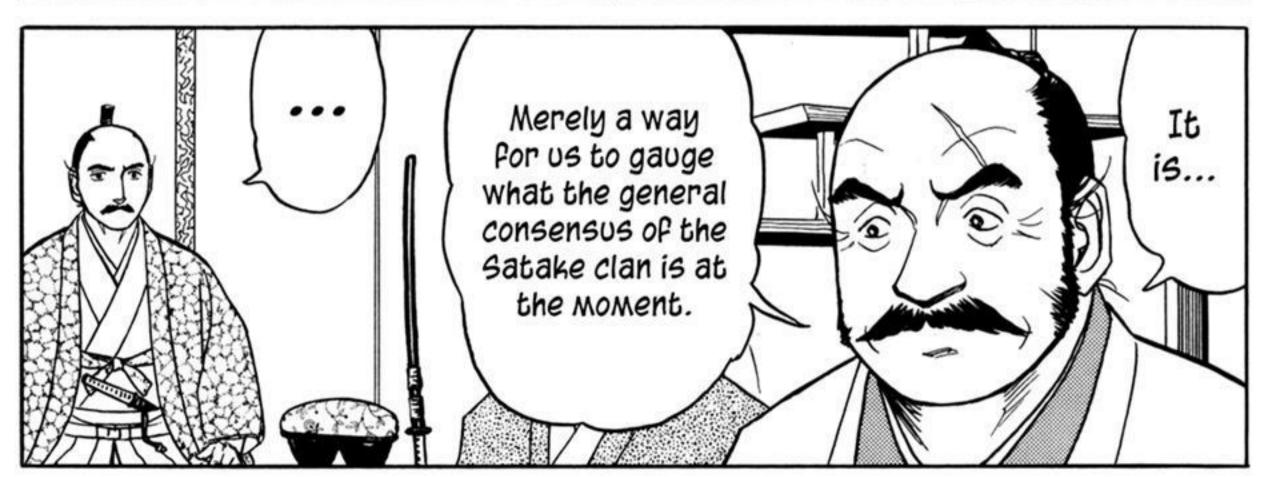




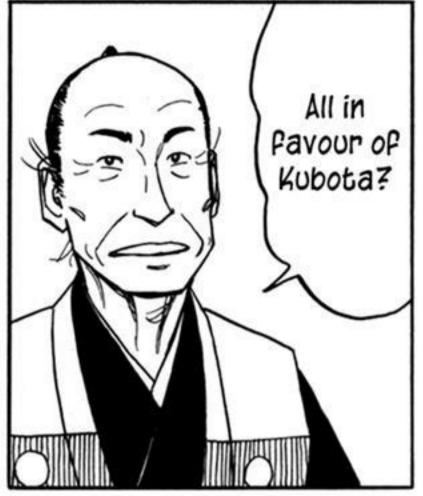




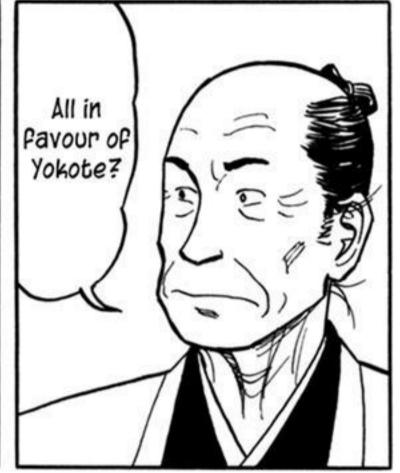


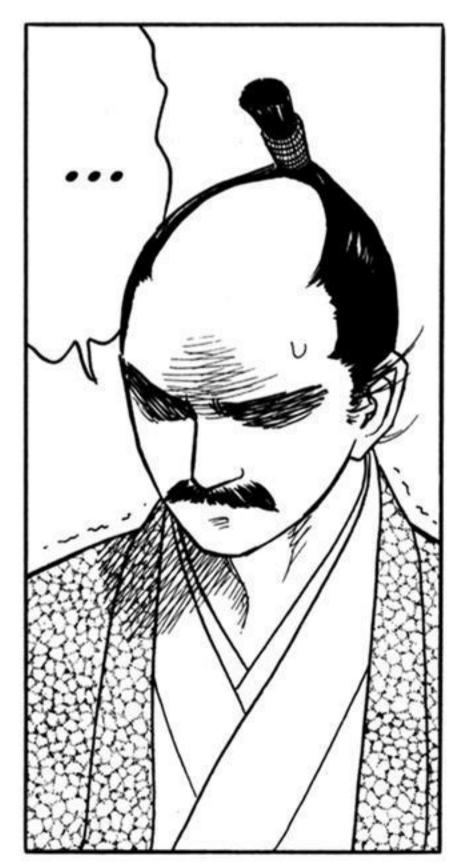














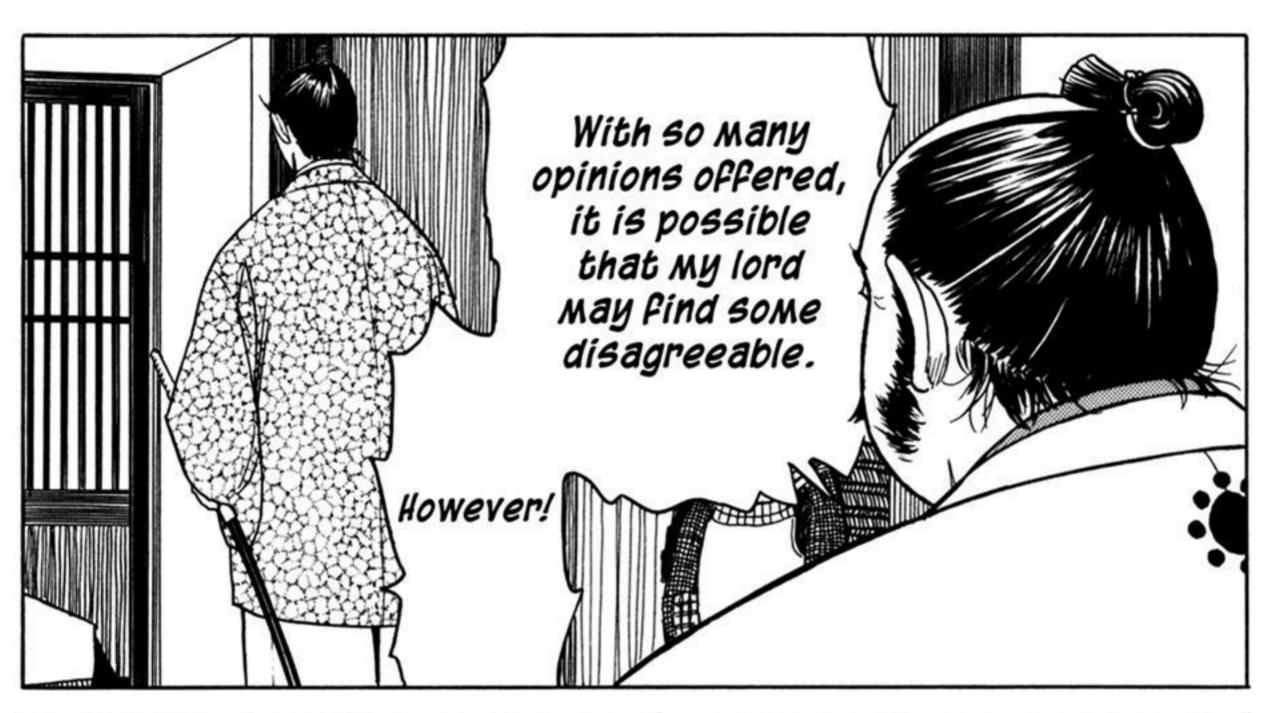




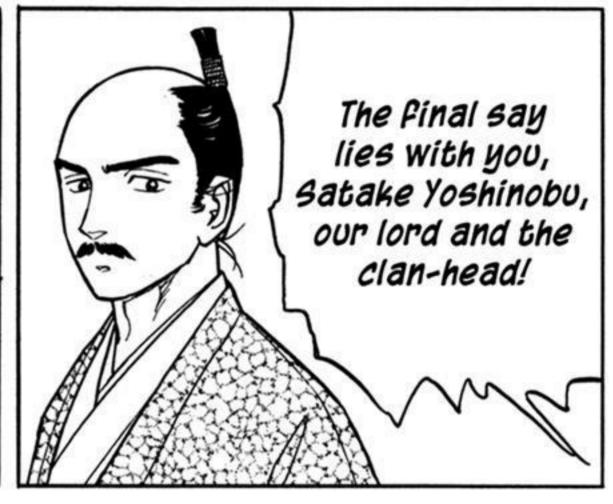








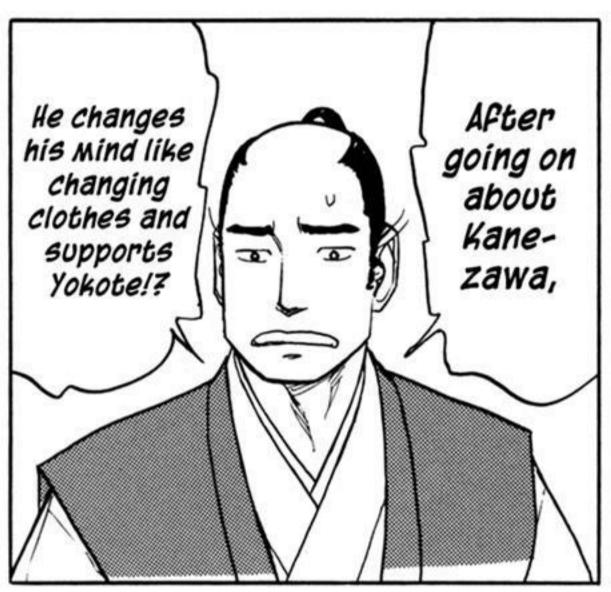






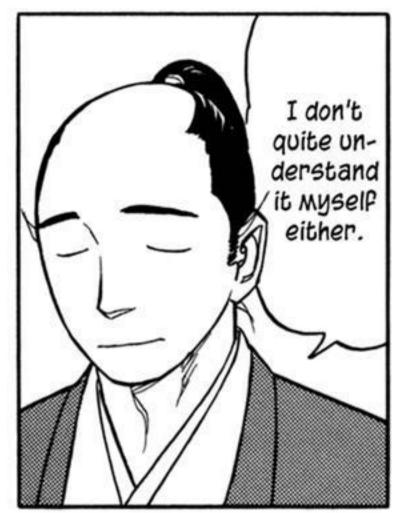


Yokote is confirmed as the site of the Satake clan's new main castle



















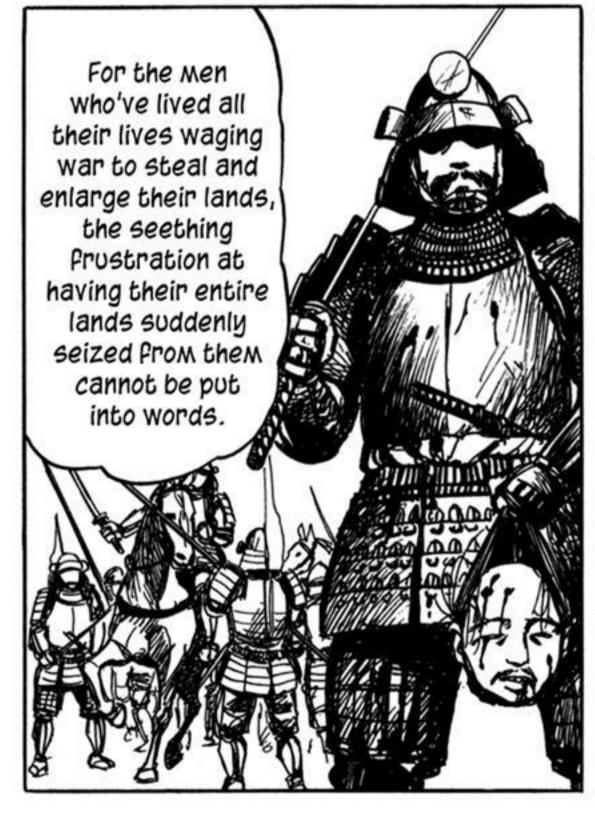


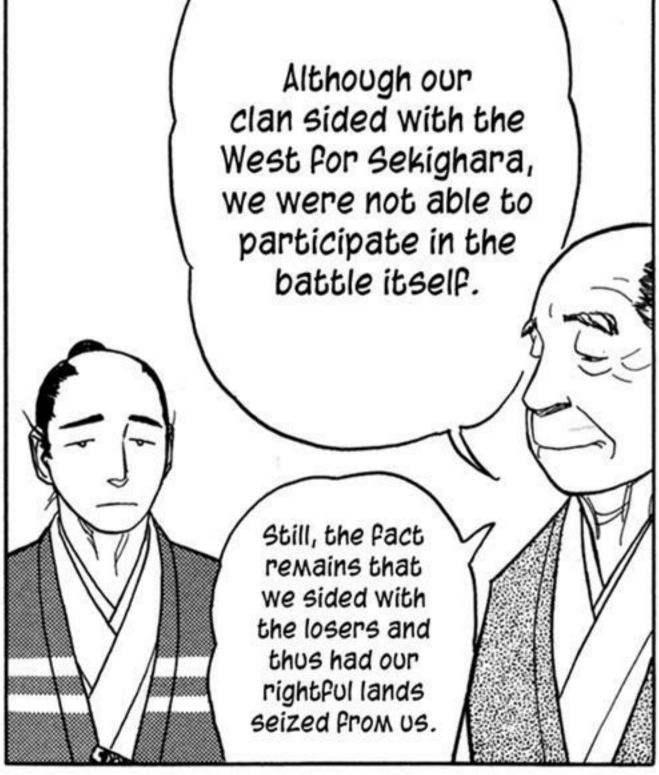


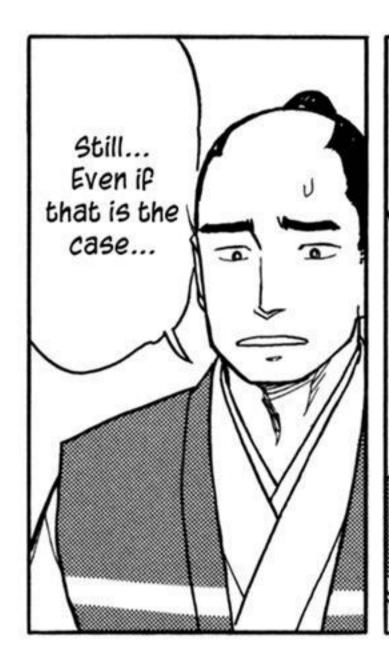


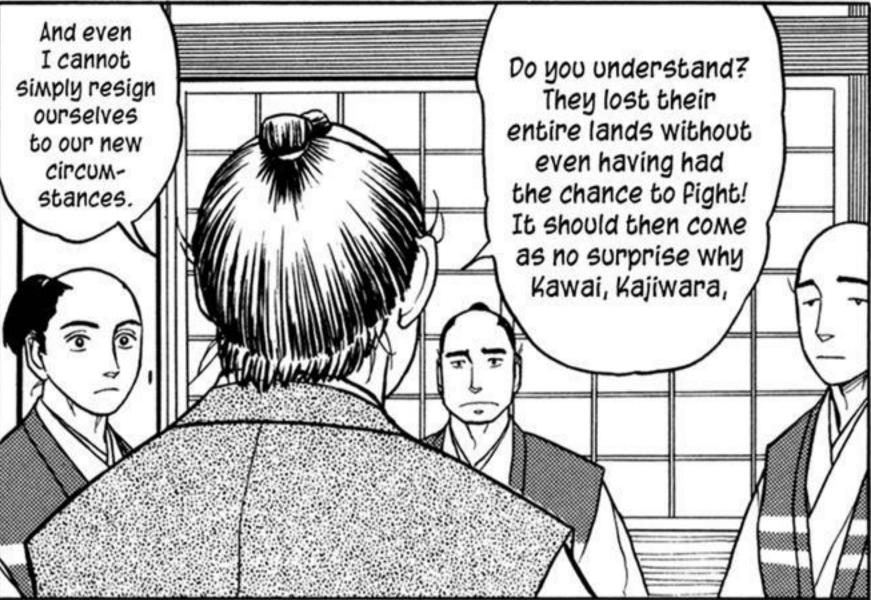














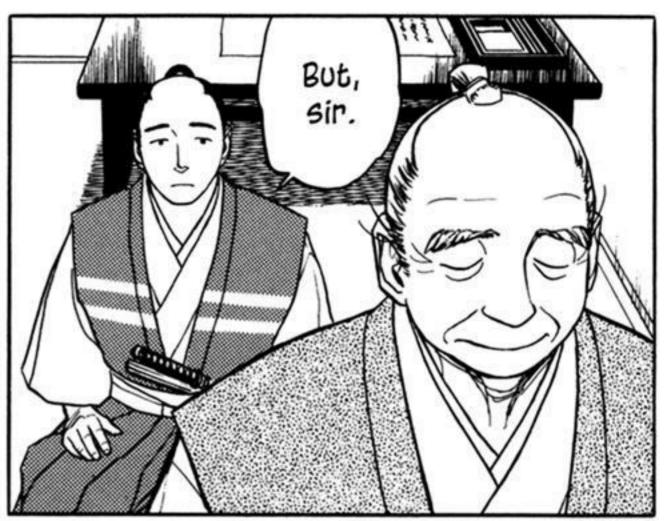
That is why you must make them accept it on their own terms! If you truly wish to silence us old-timers, then you must do it through war! Win over them through war!

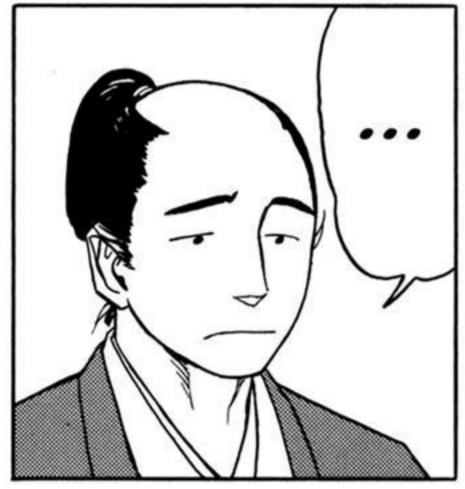


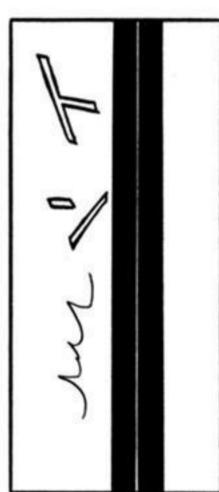




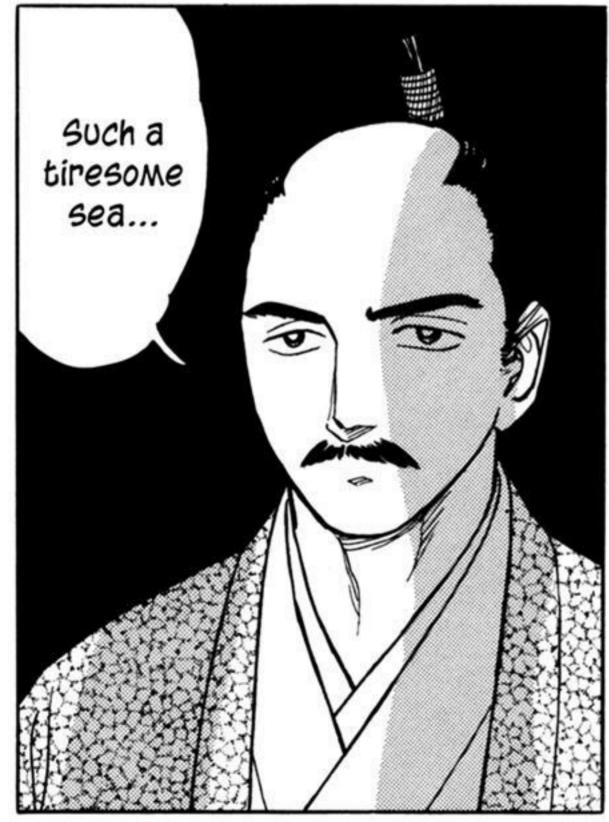




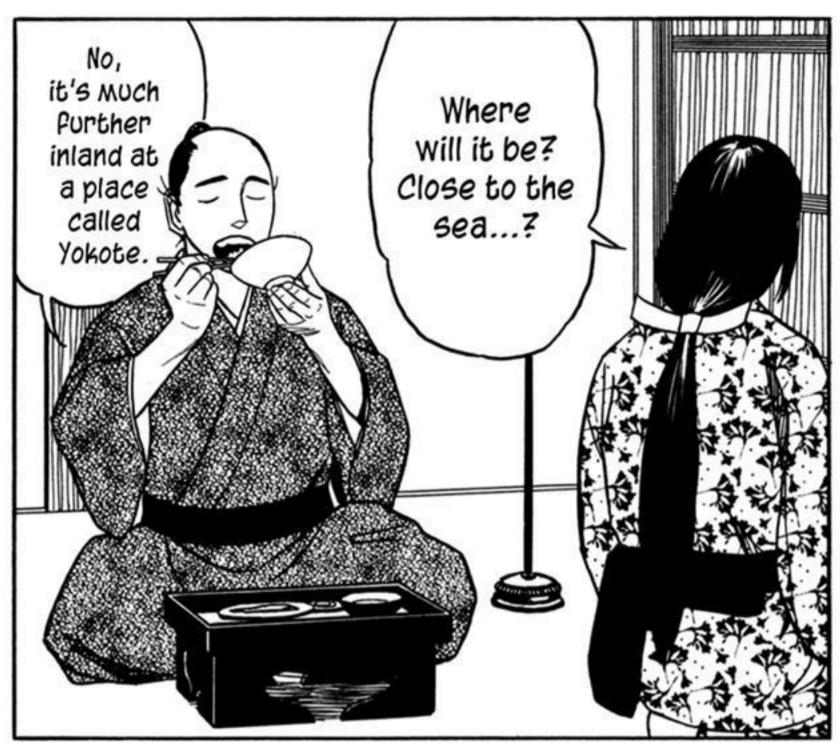


































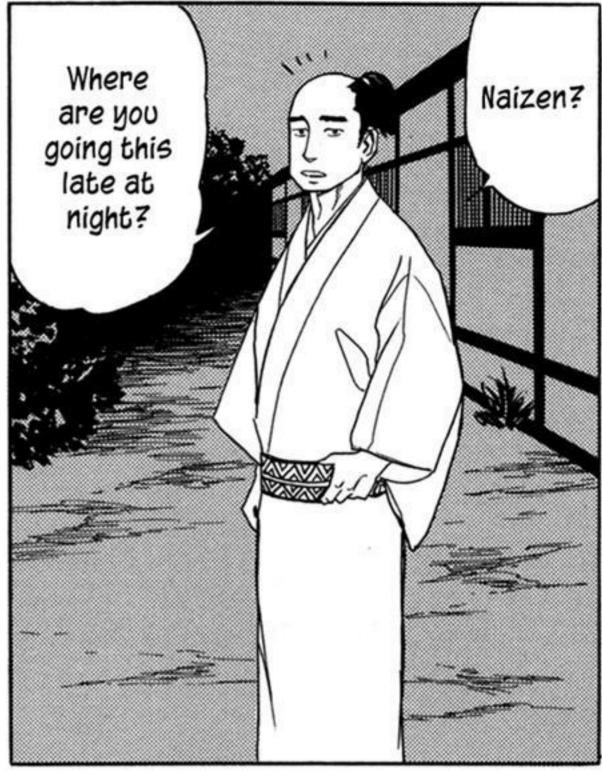


















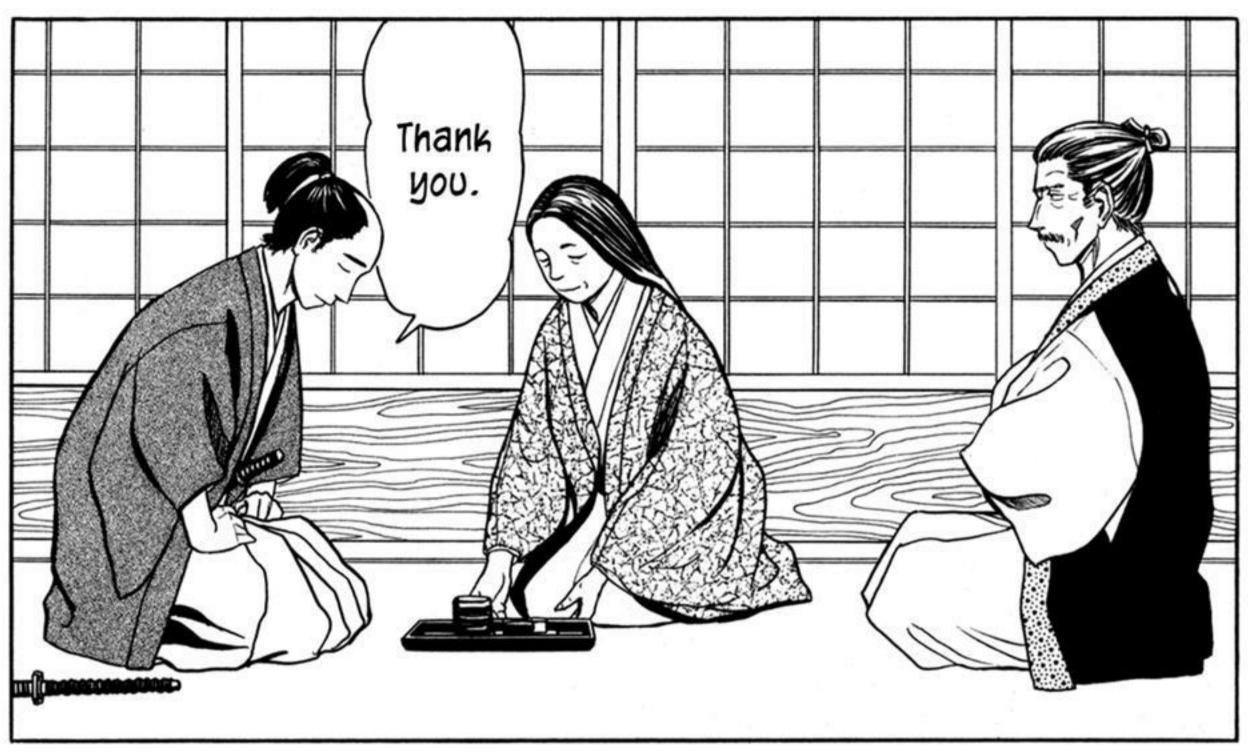








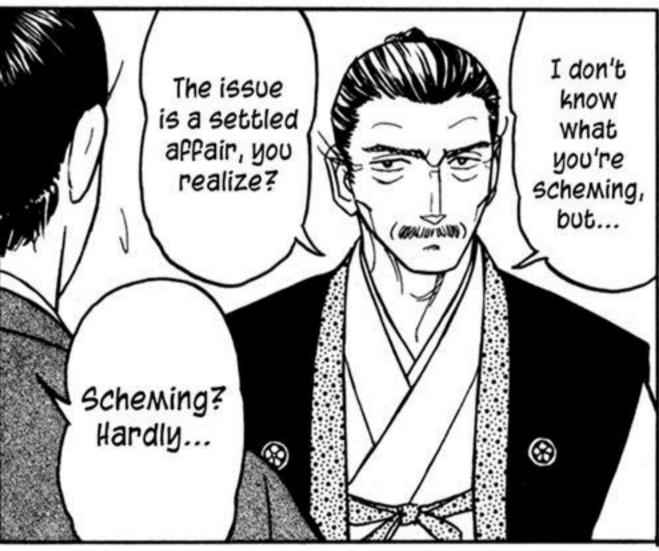


































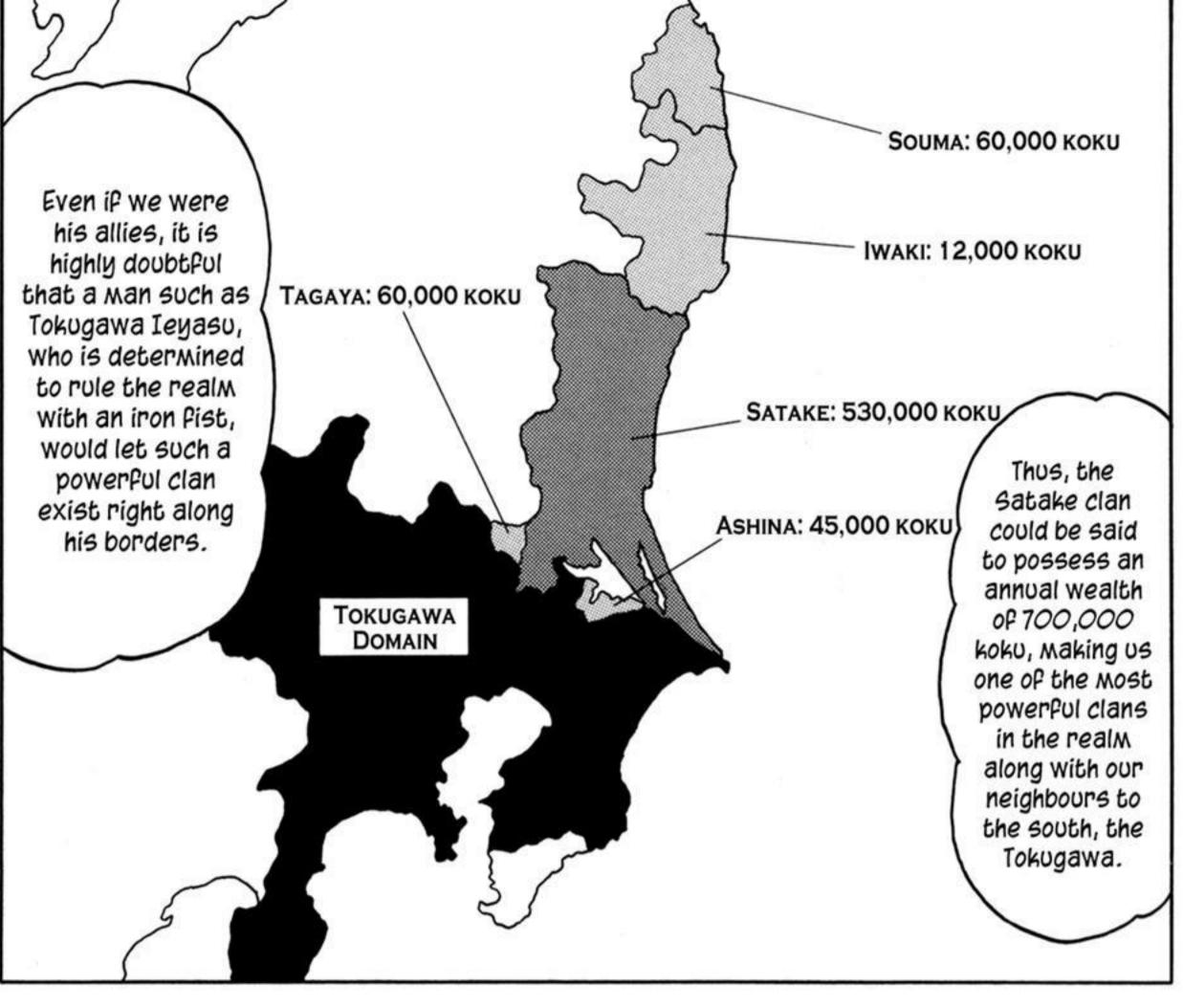






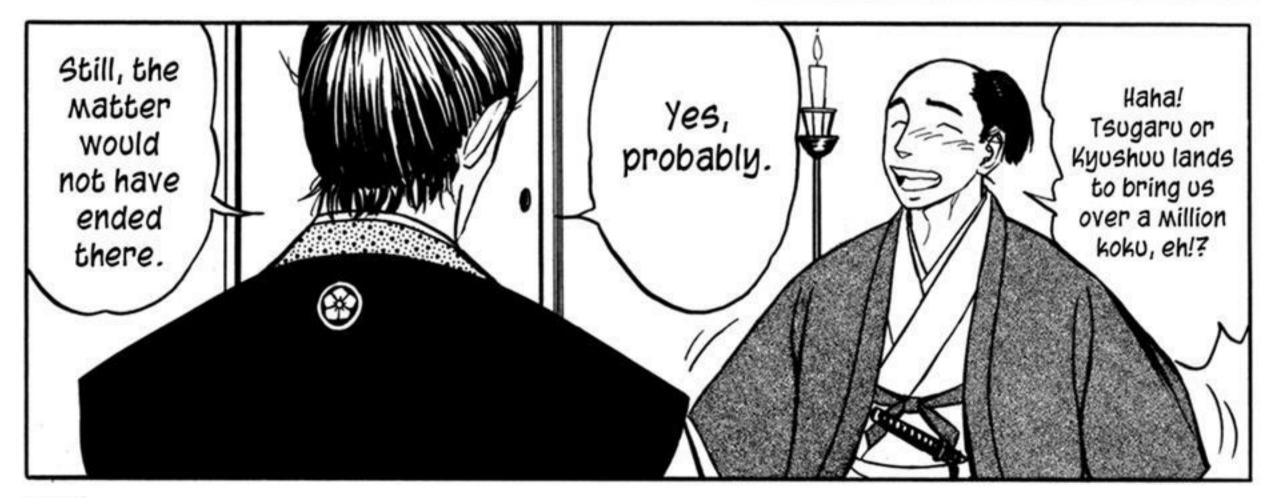


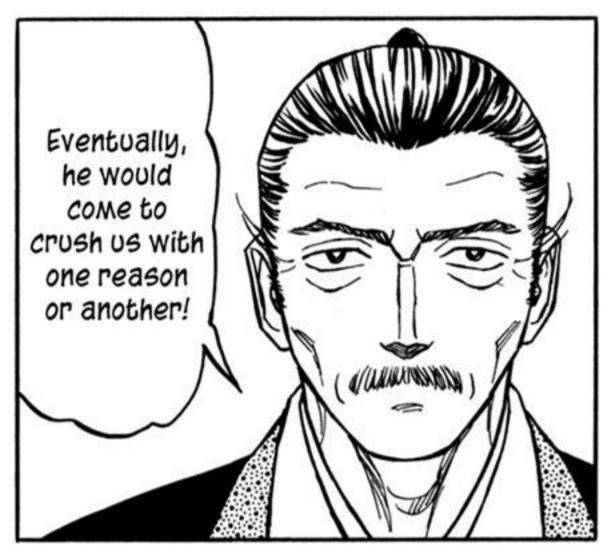


















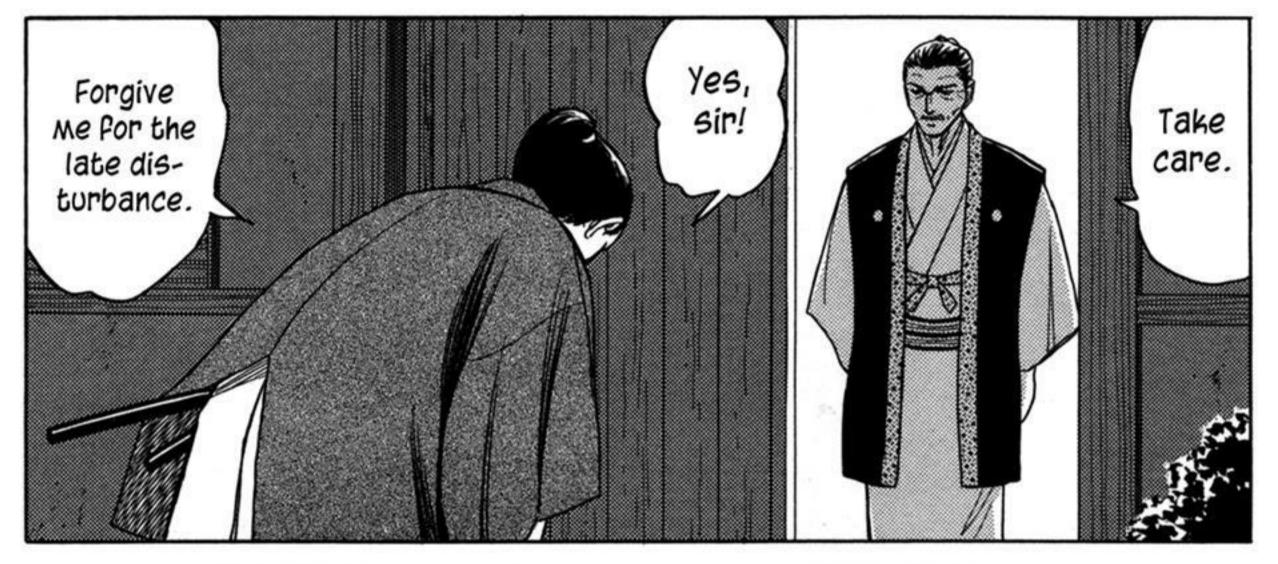










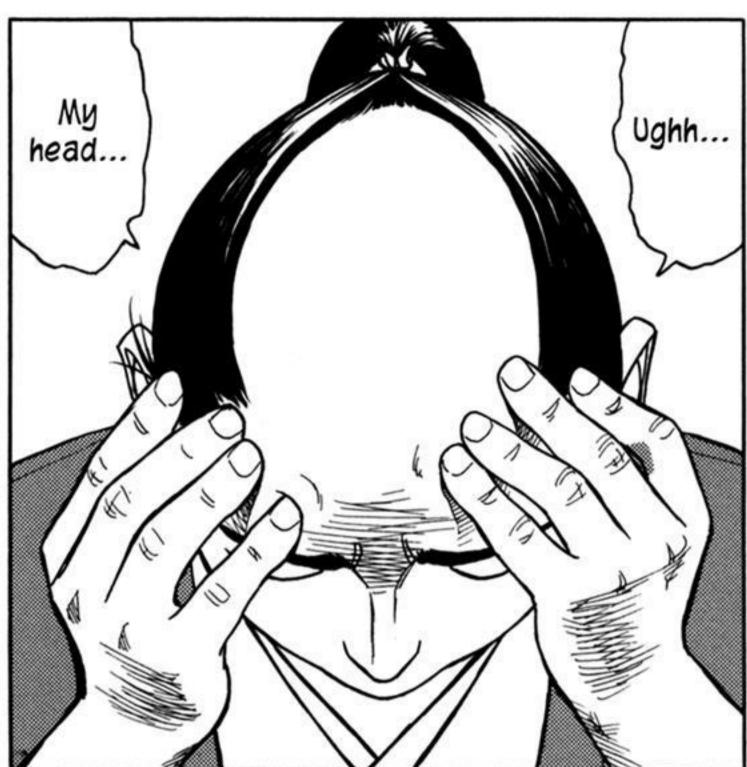














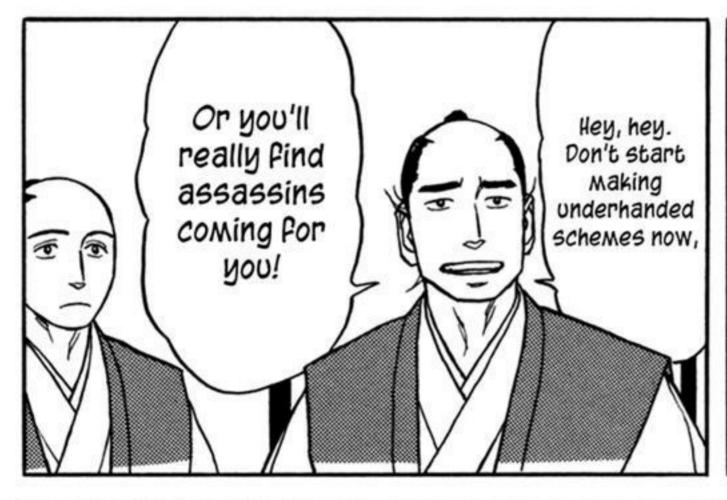










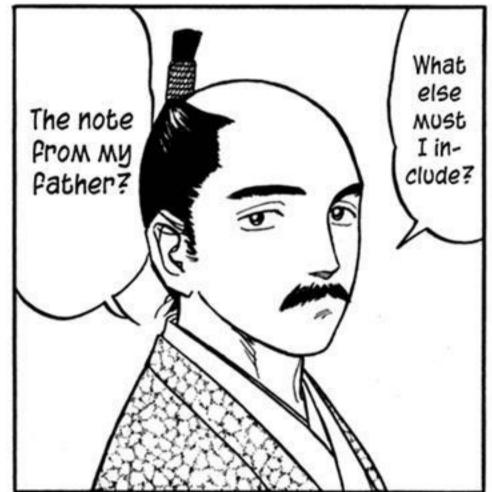






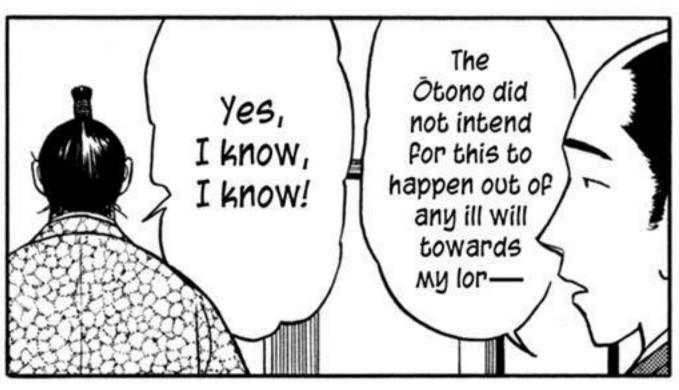










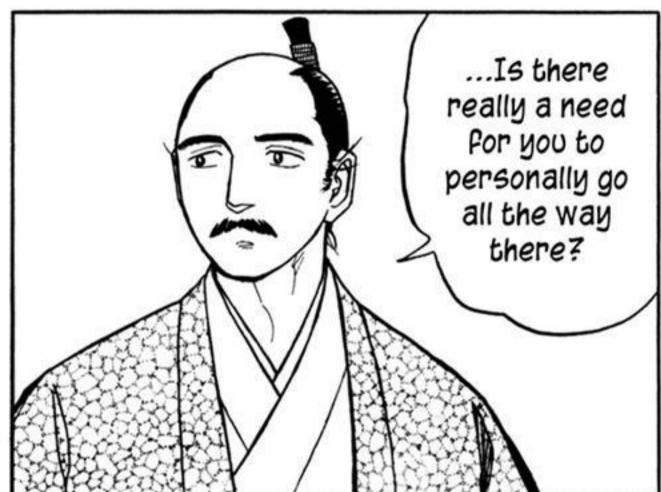








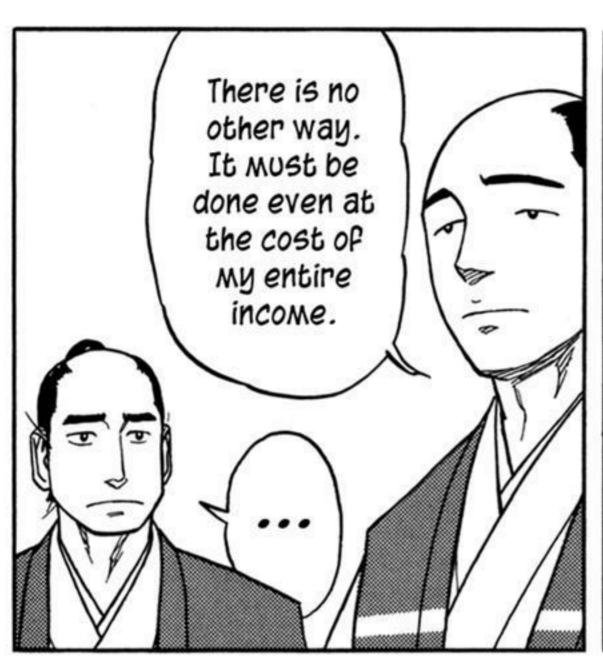




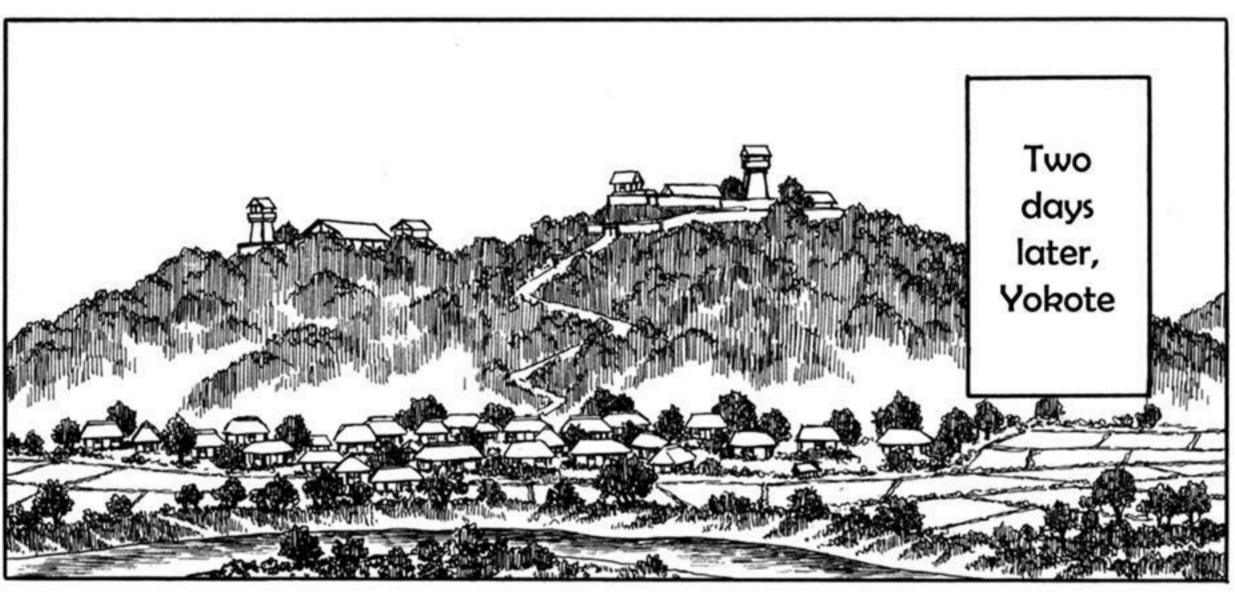




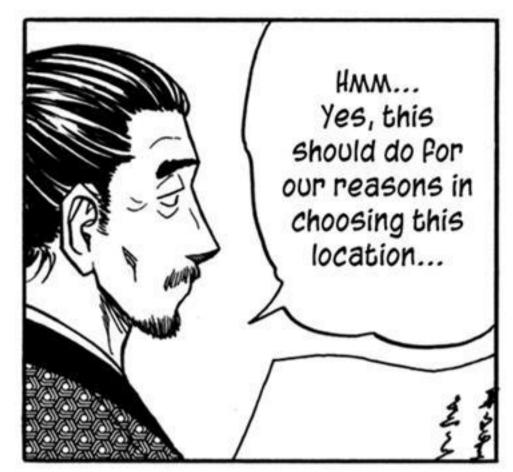










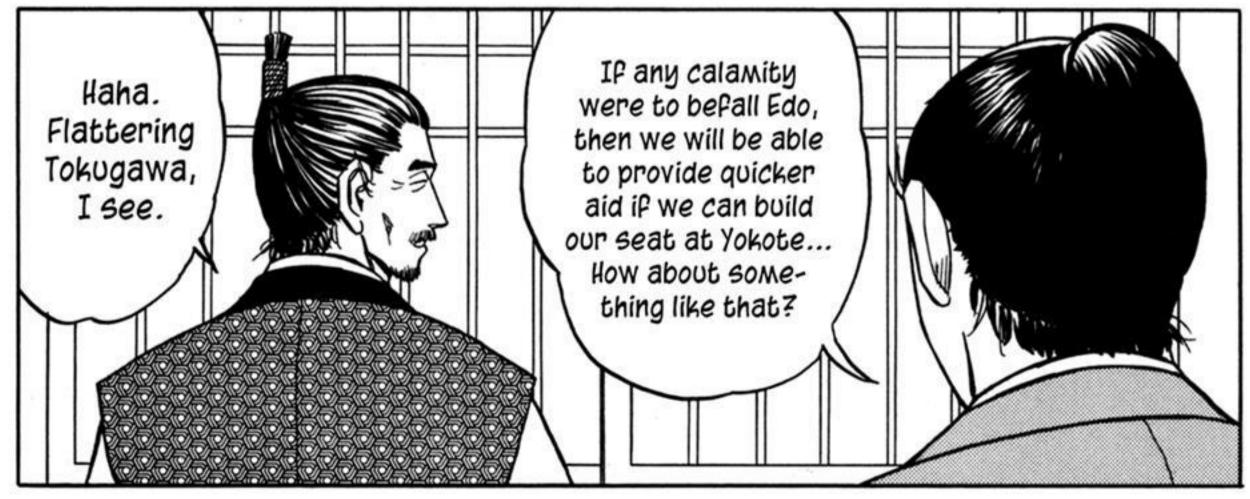






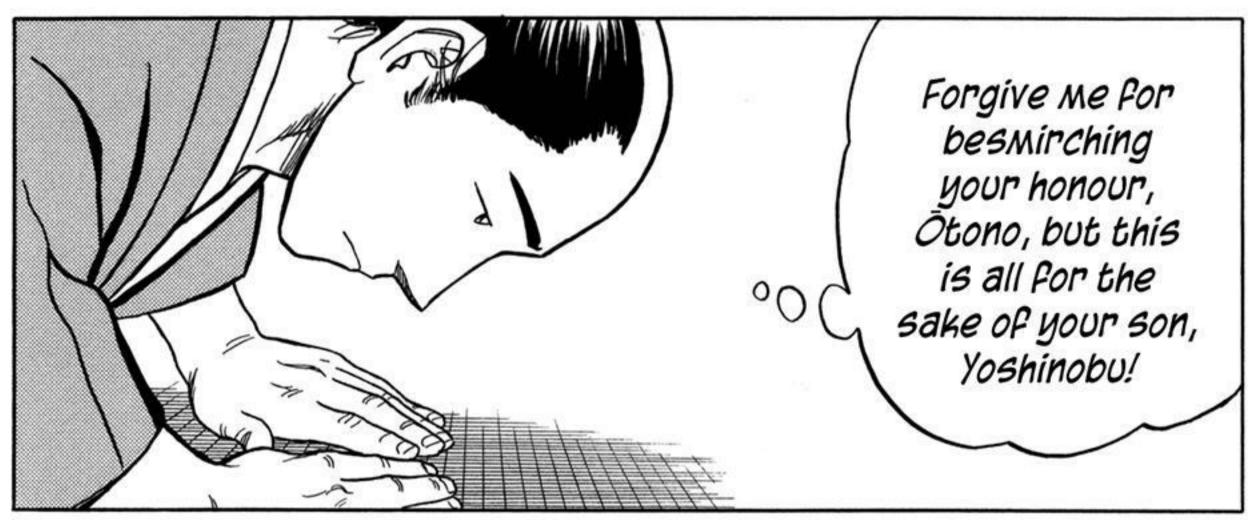


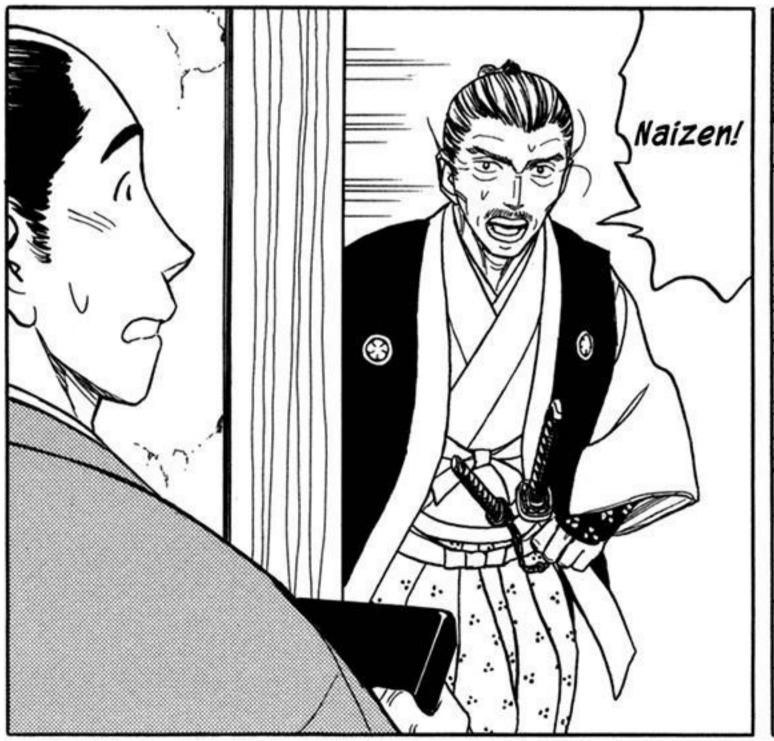








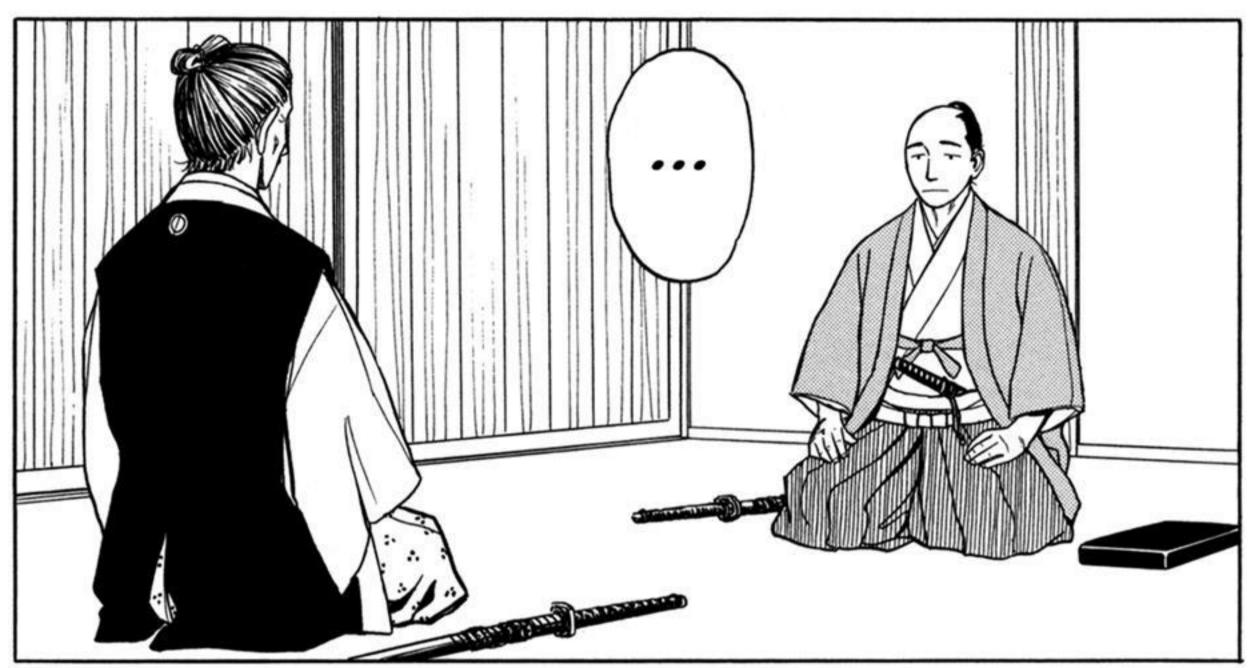






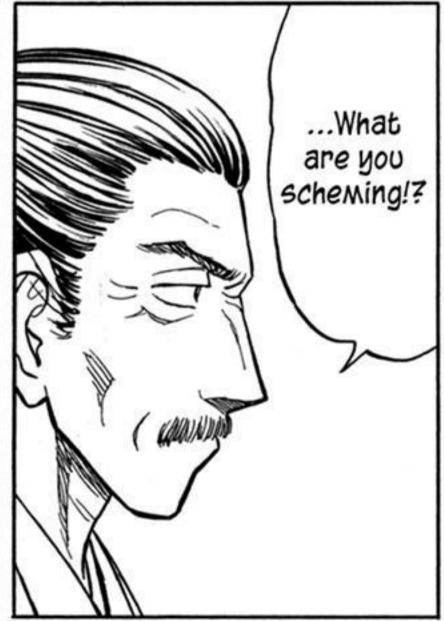




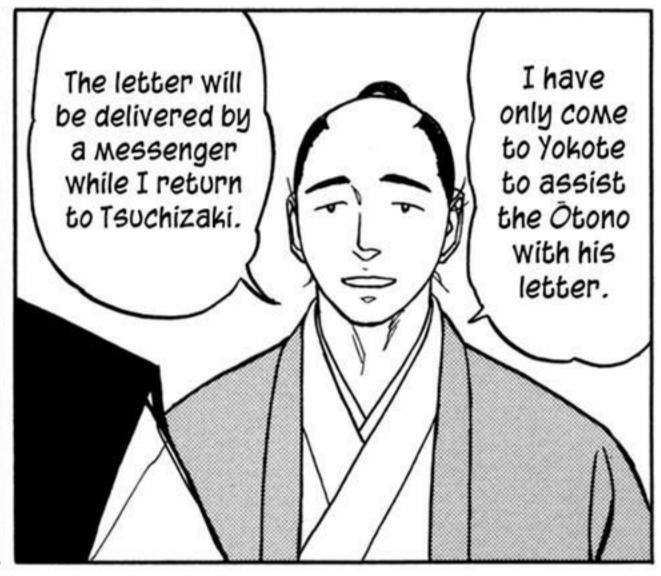




















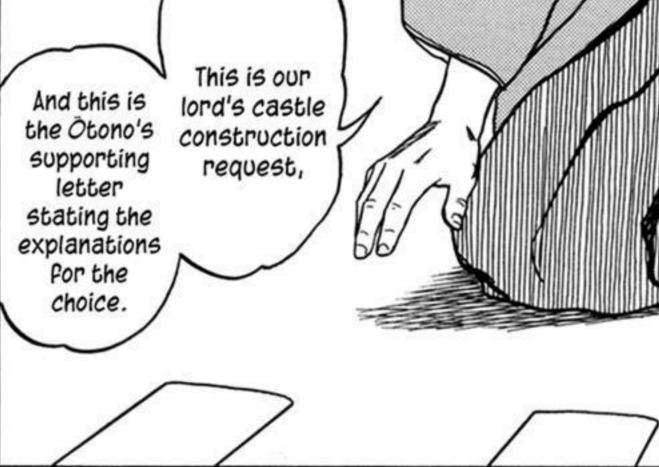










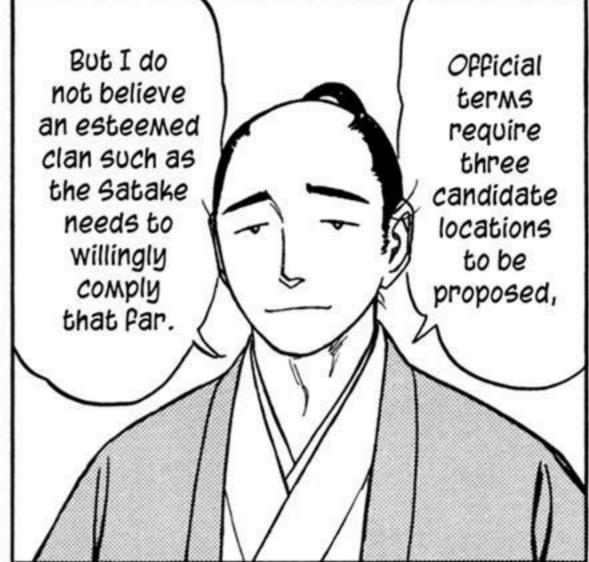
















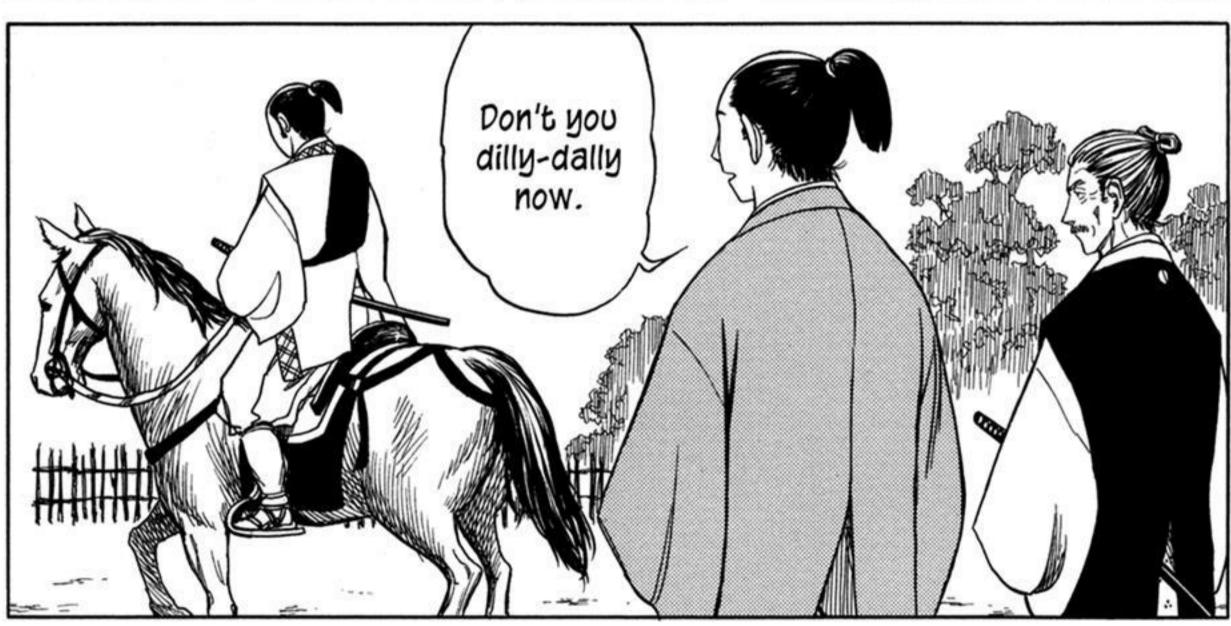






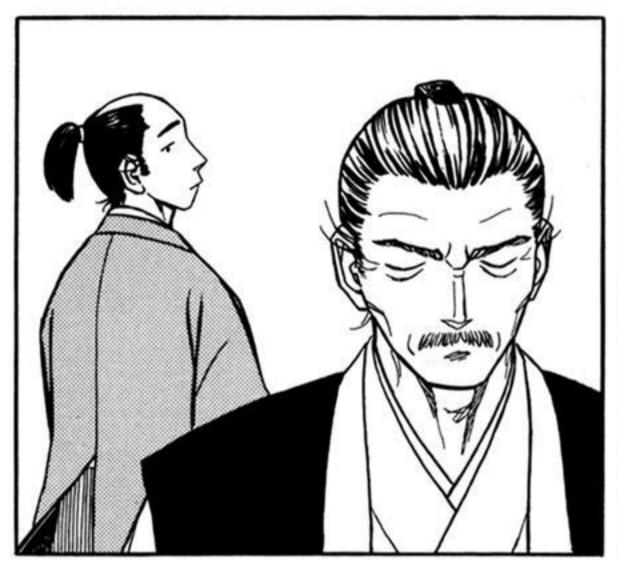
















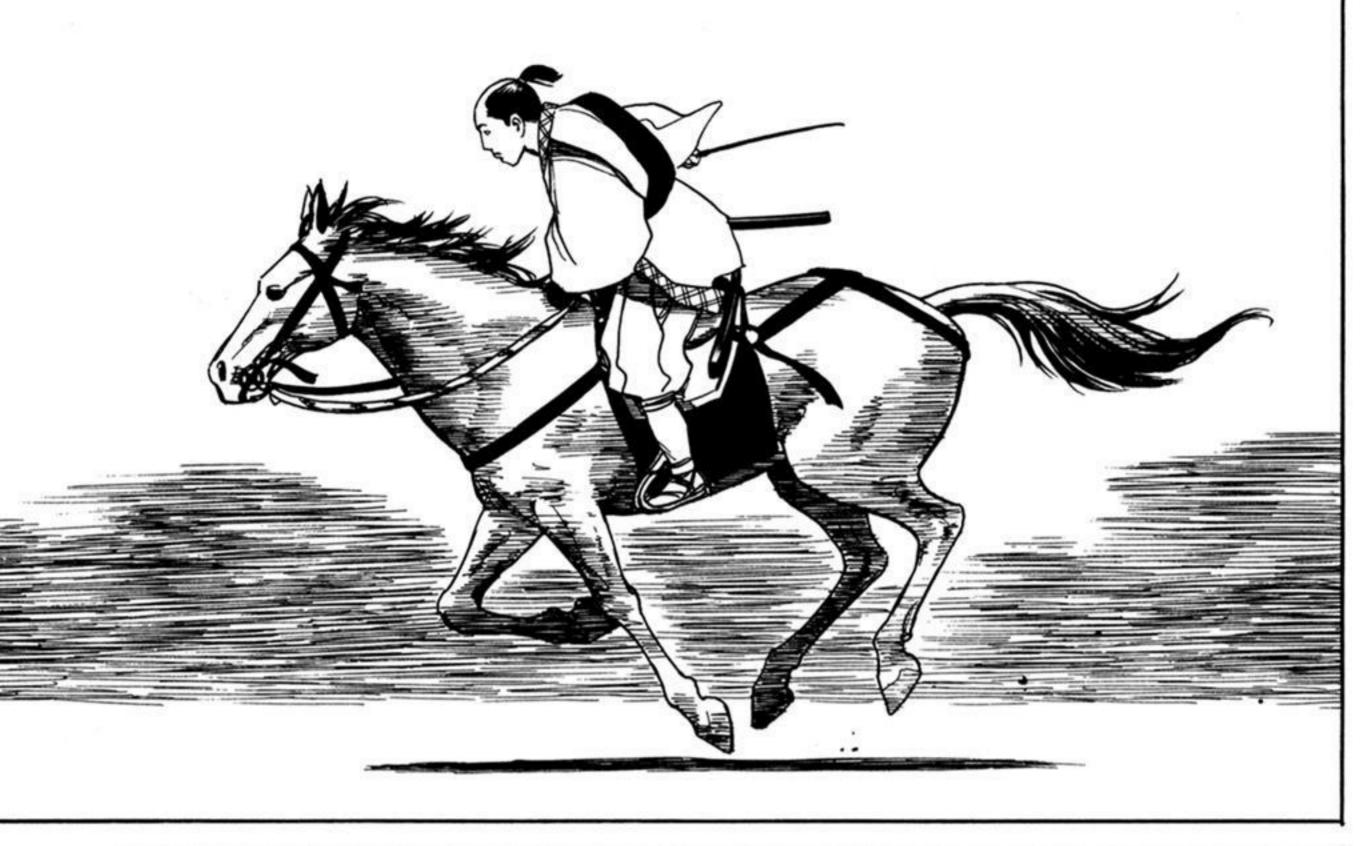
This is war...!

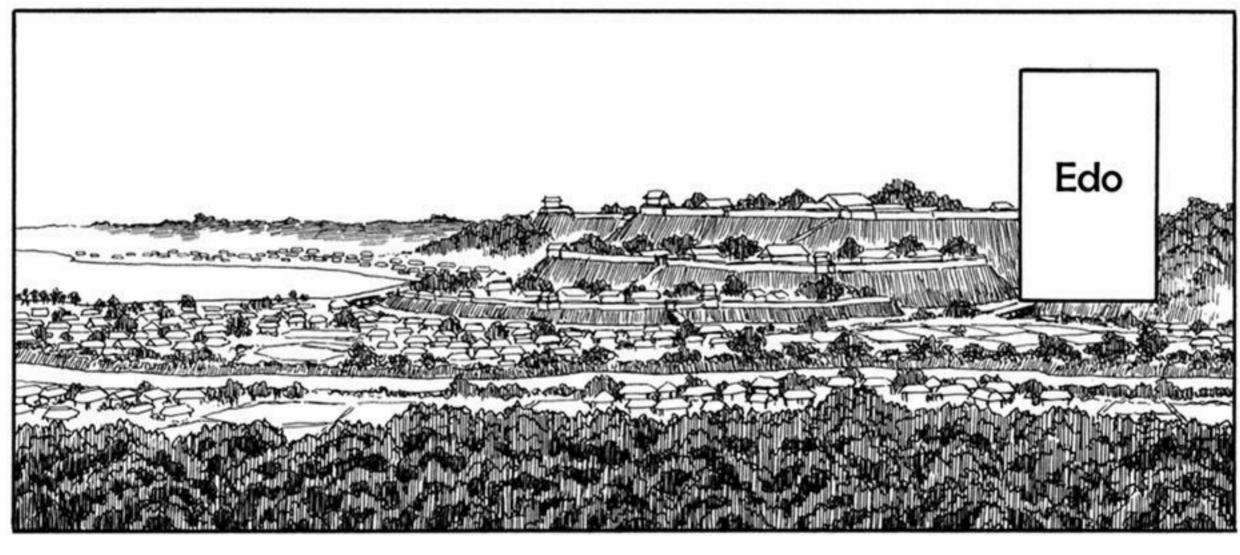
Kajiwara...





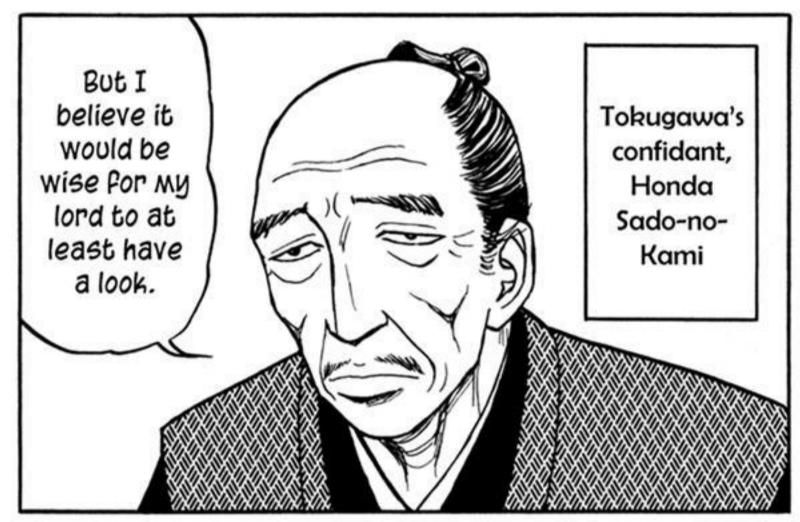






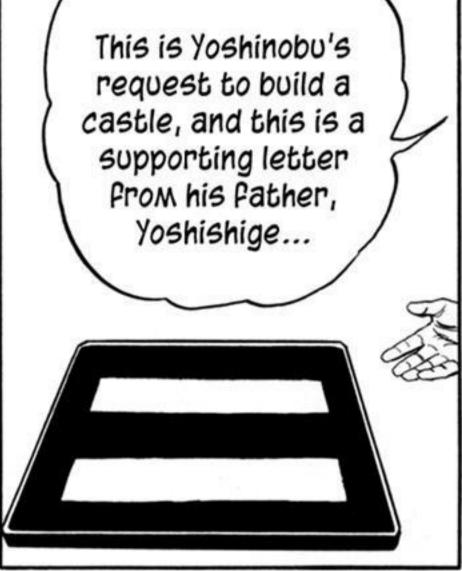






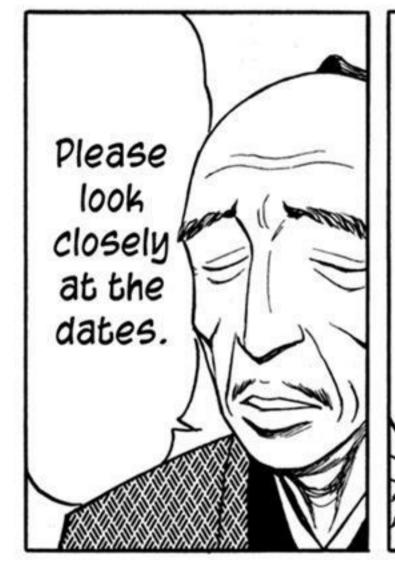






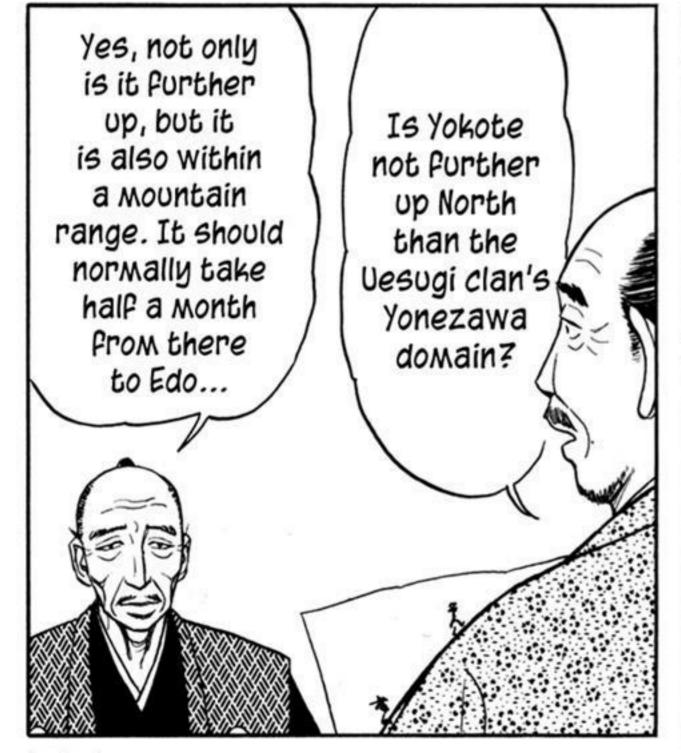










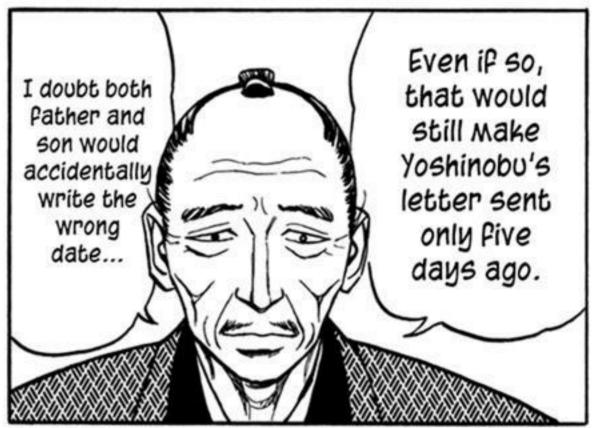


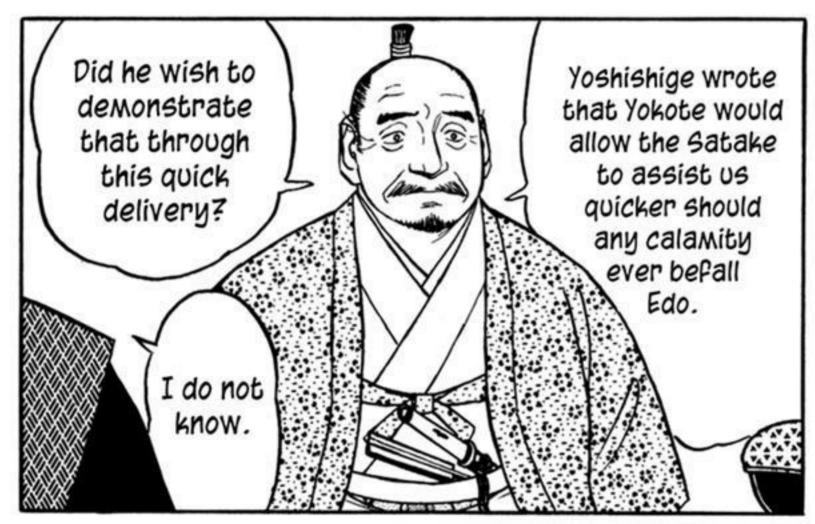


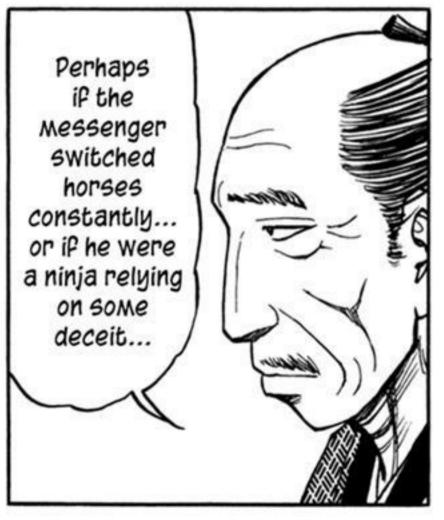


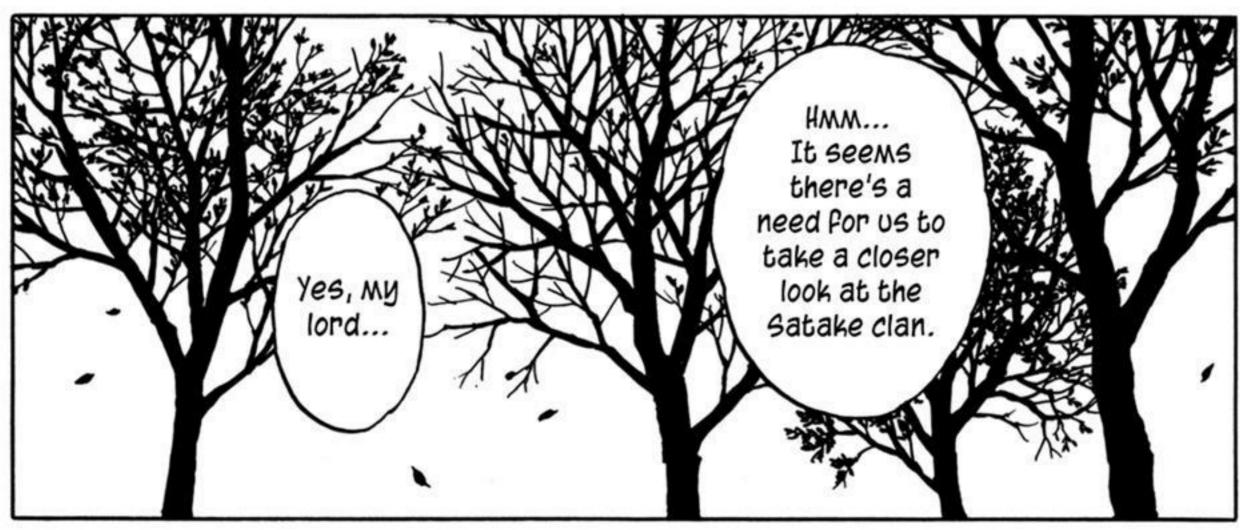




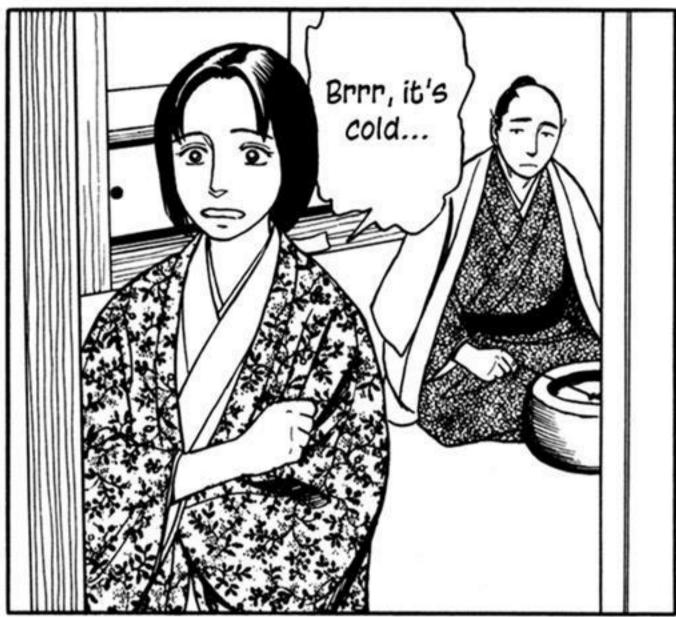






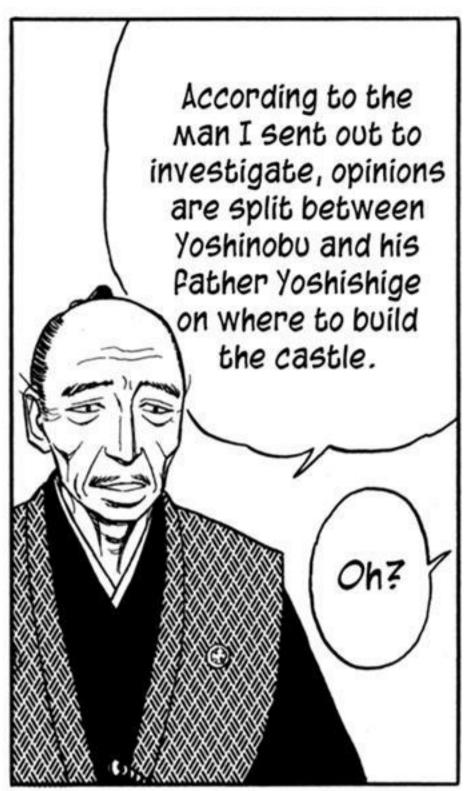




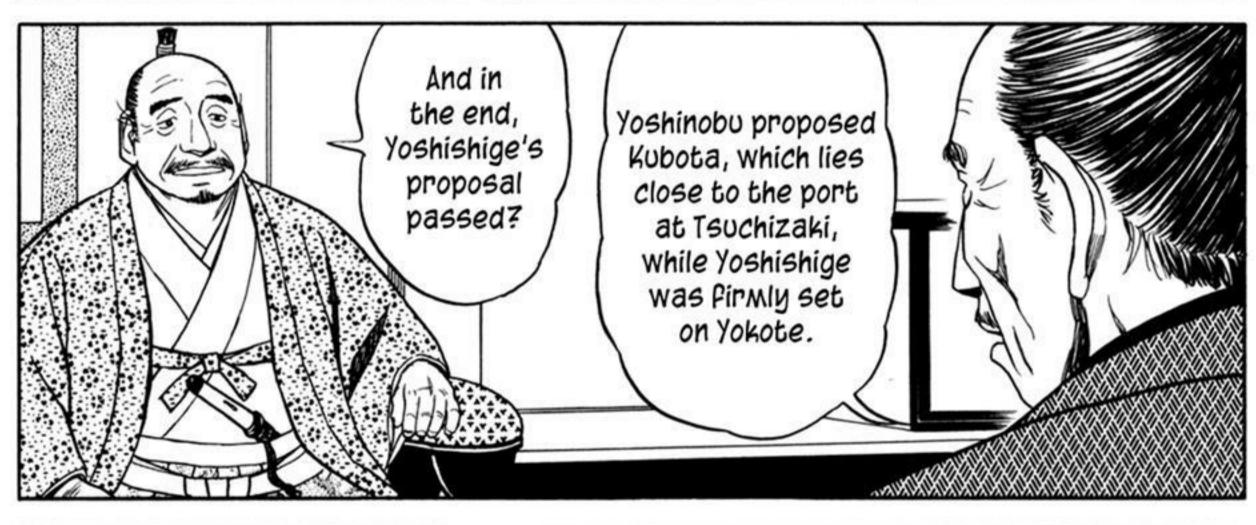








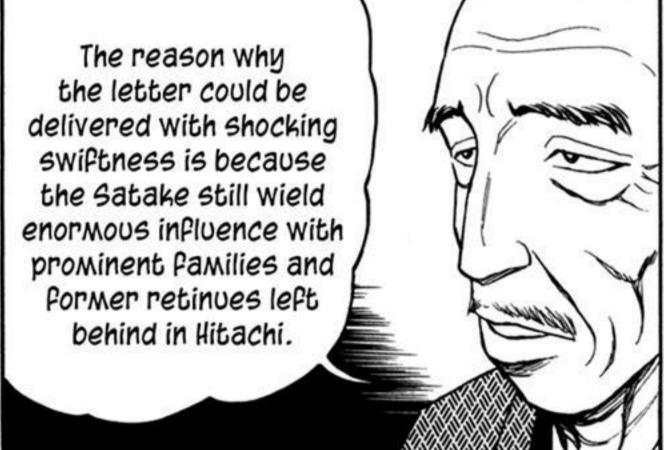


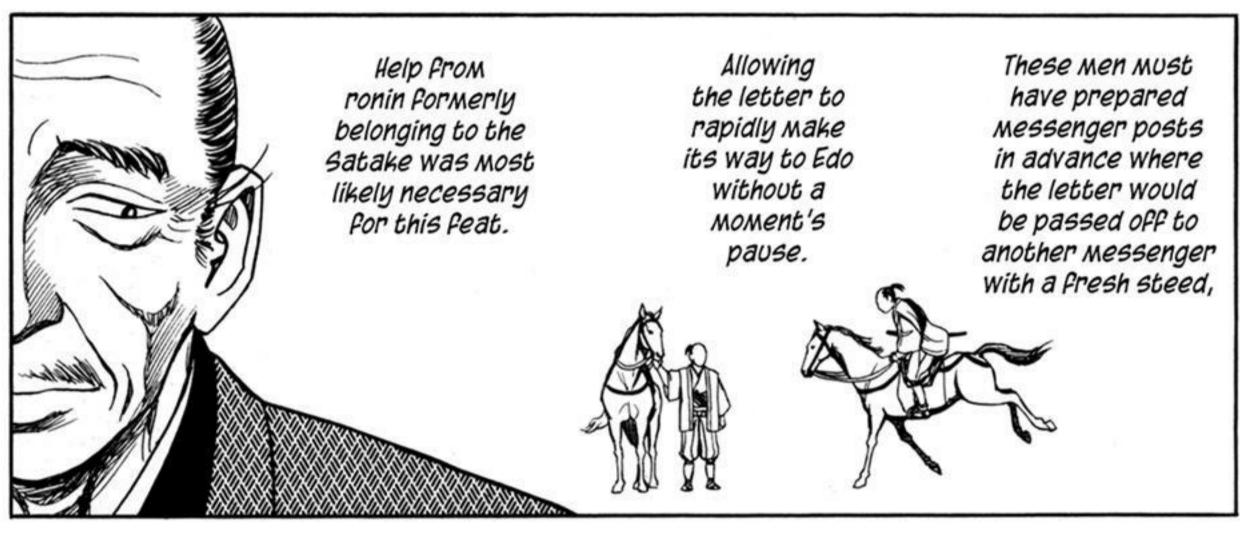














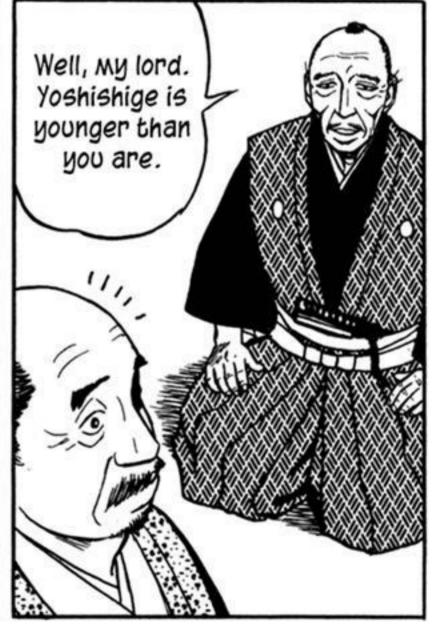




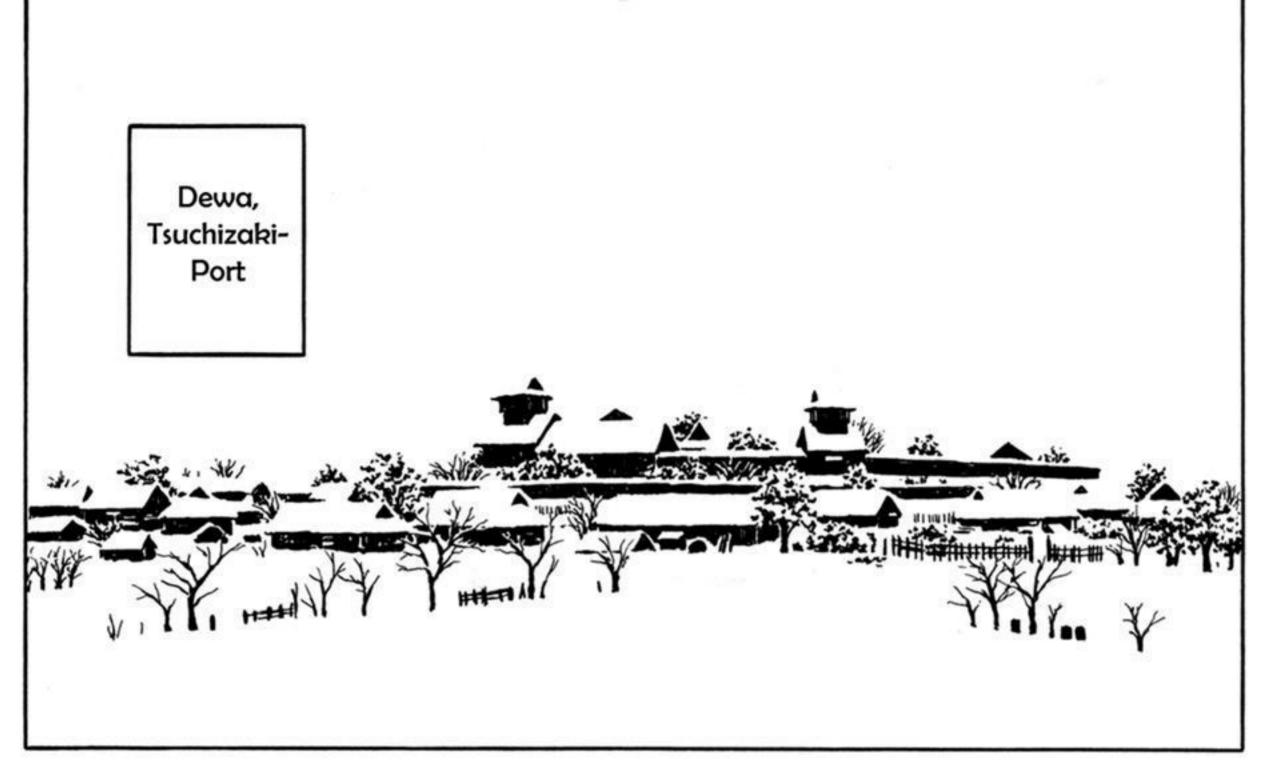




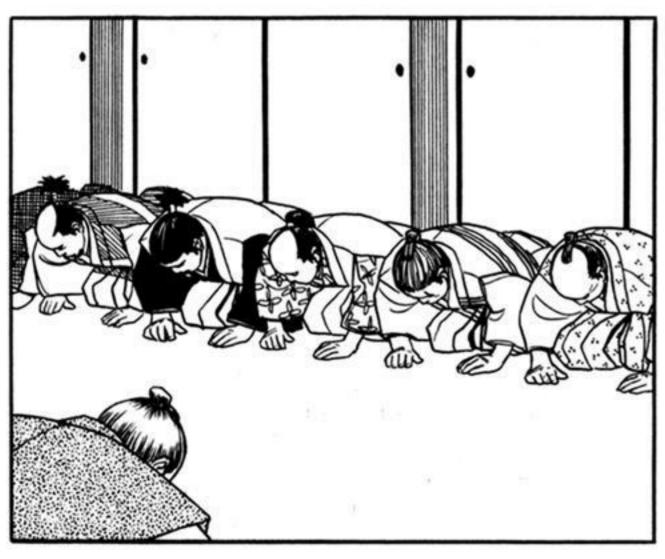




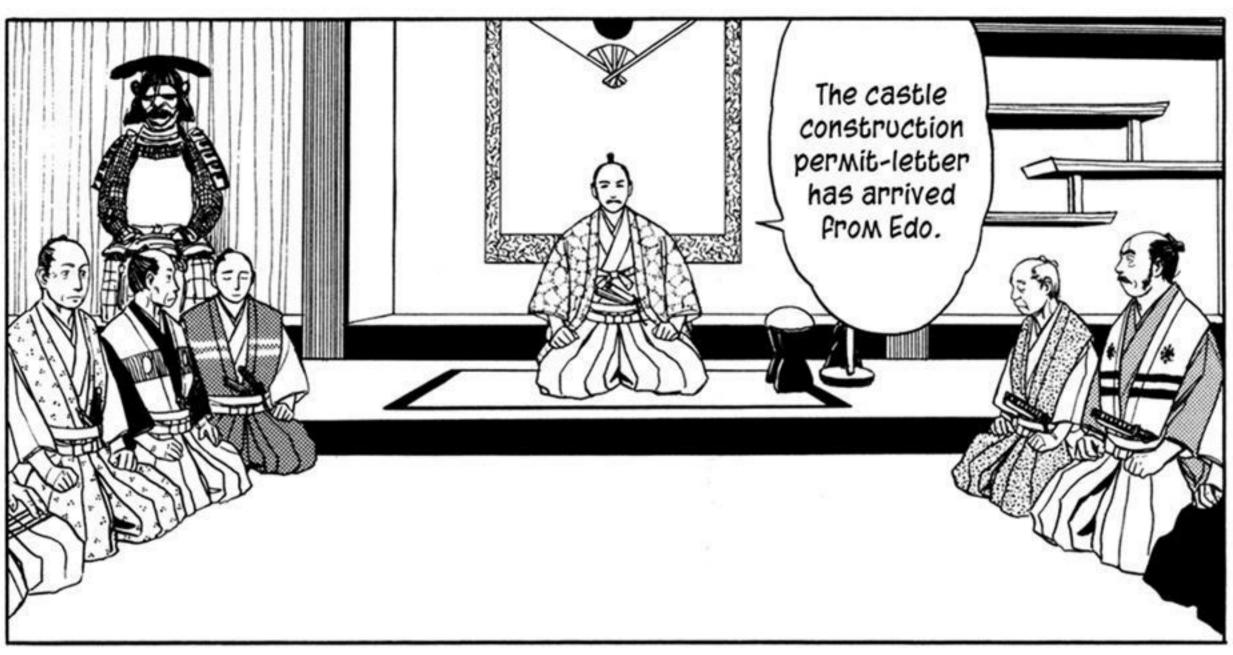






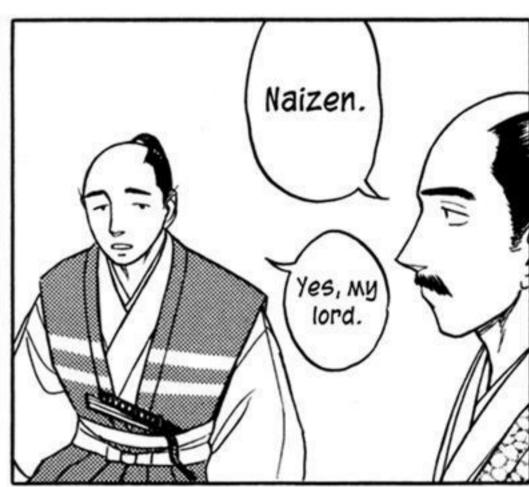


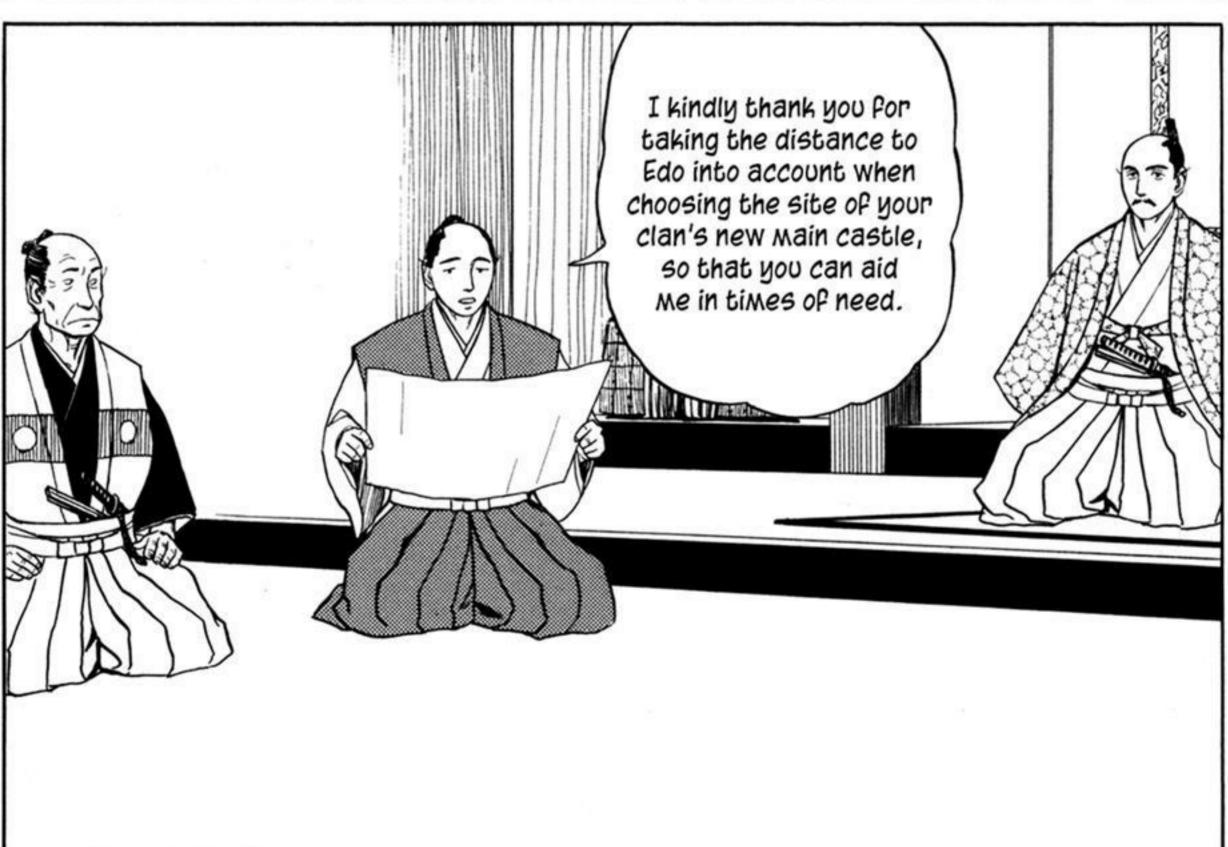
















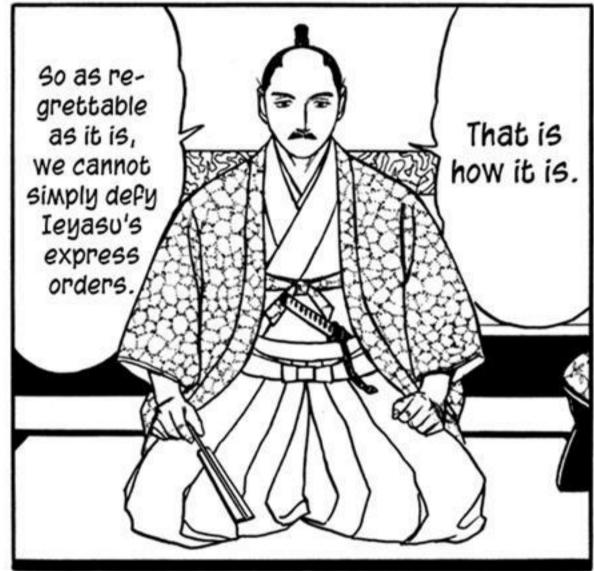






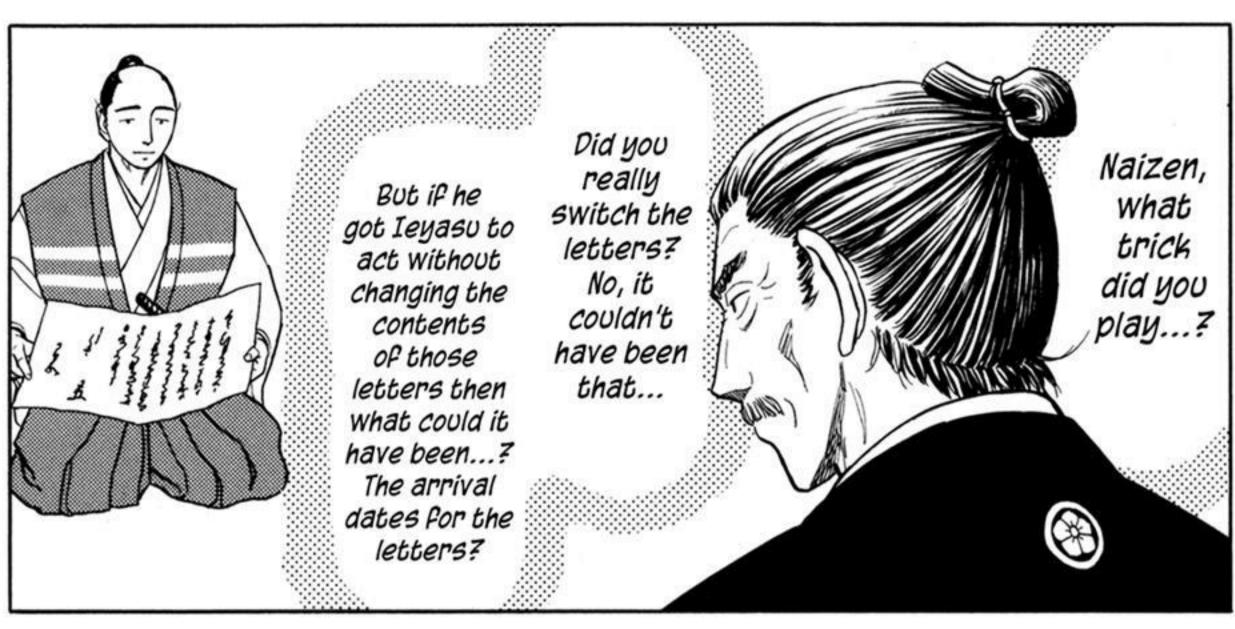














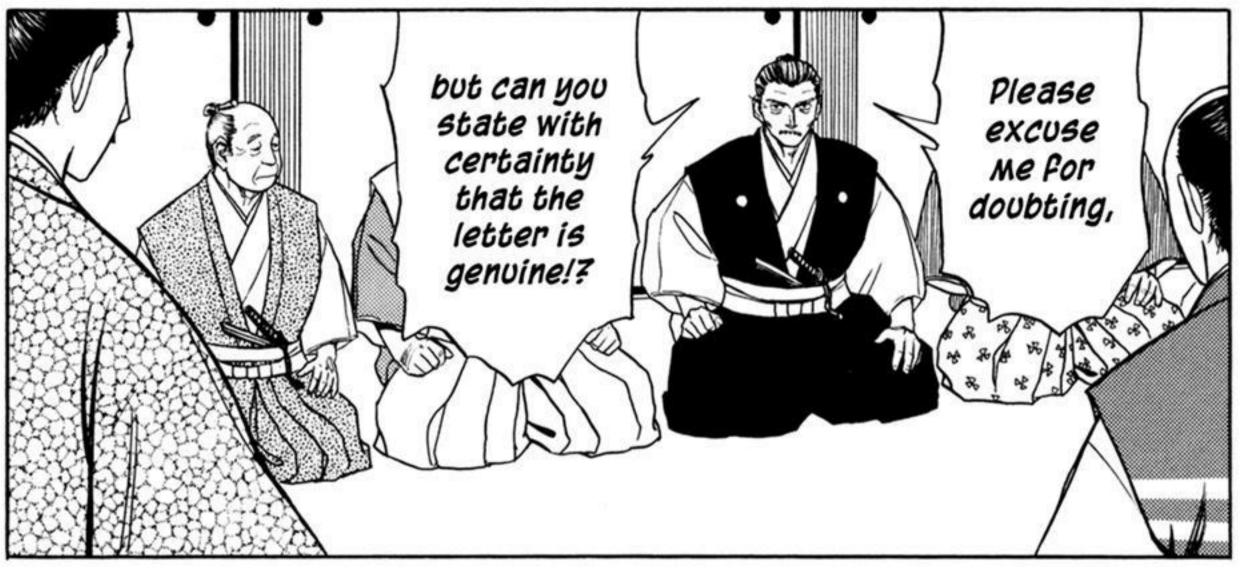














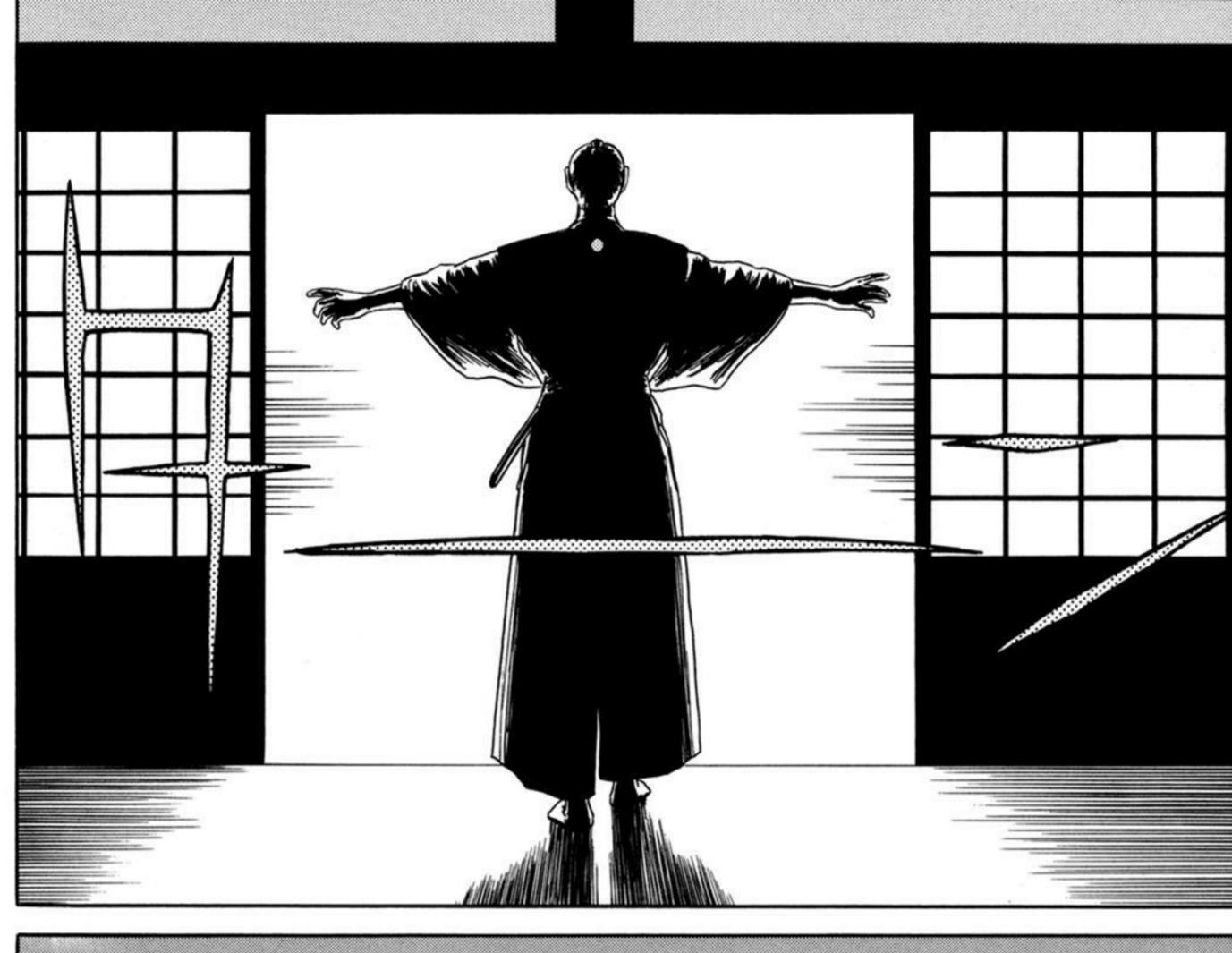
Kajiwara! Your objection is out of line!







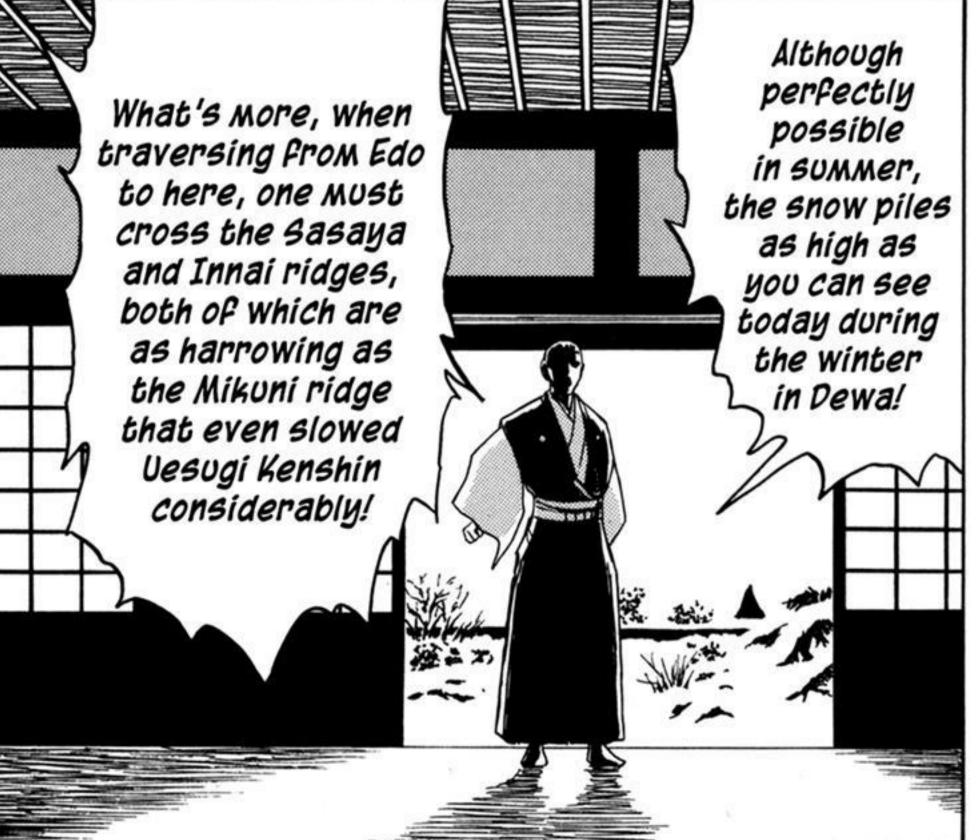








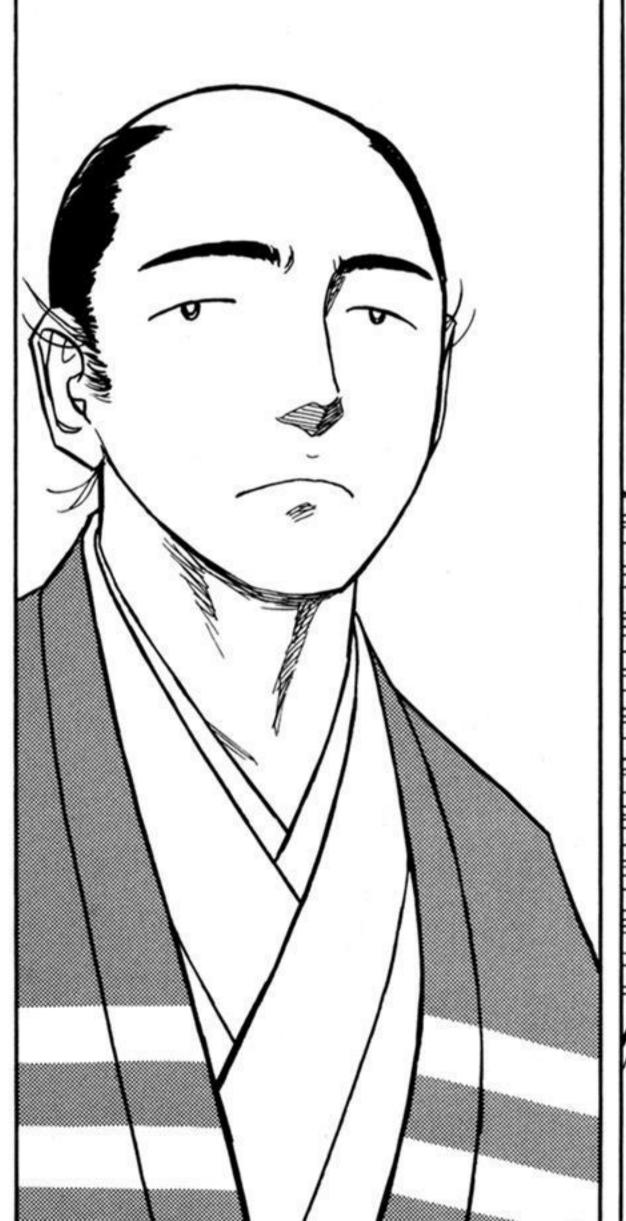








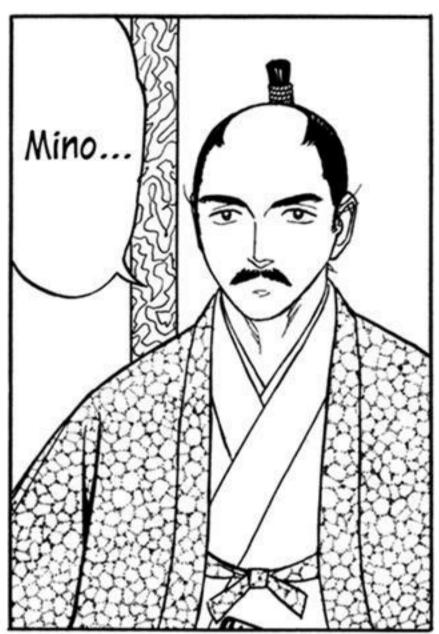






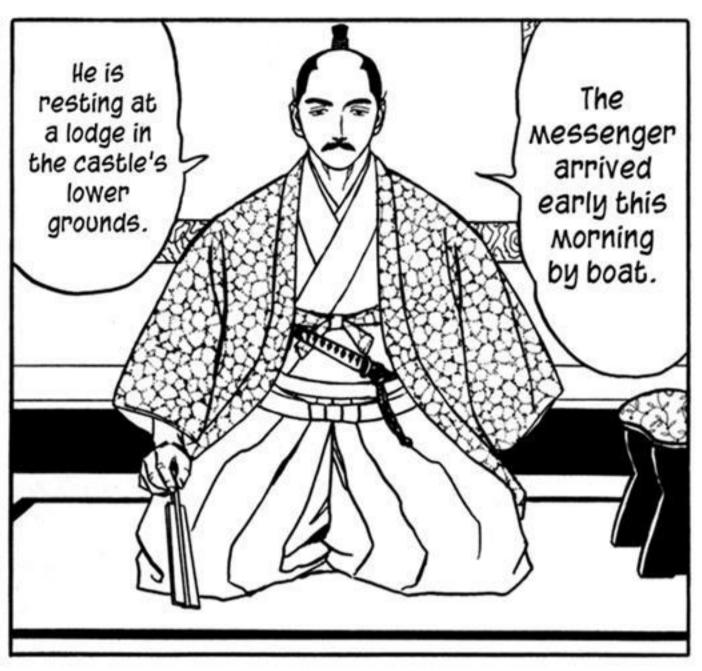






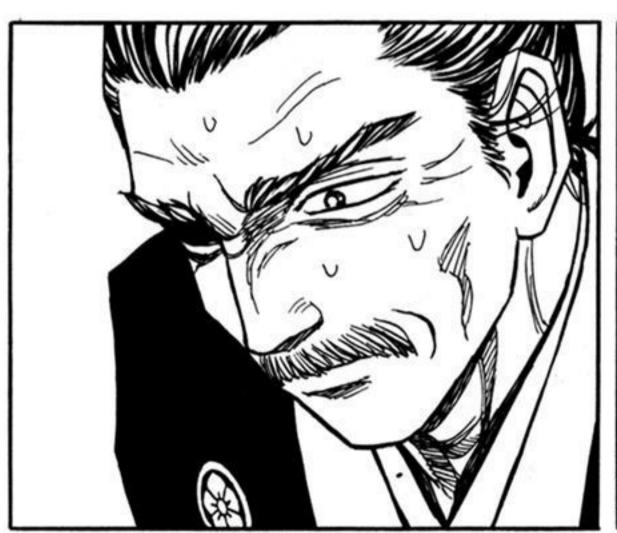


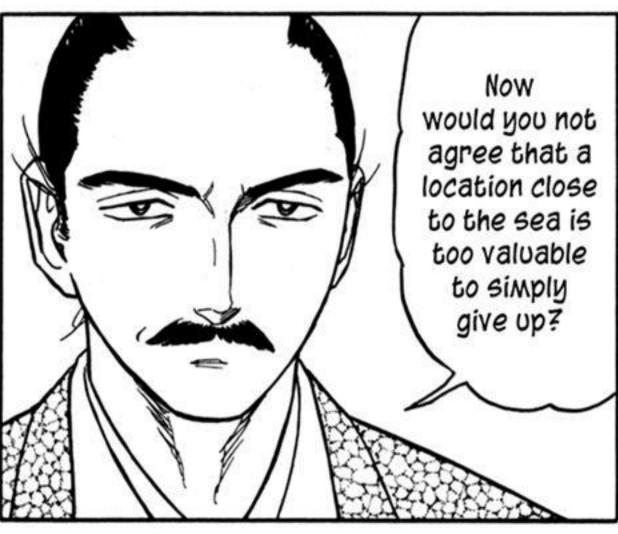




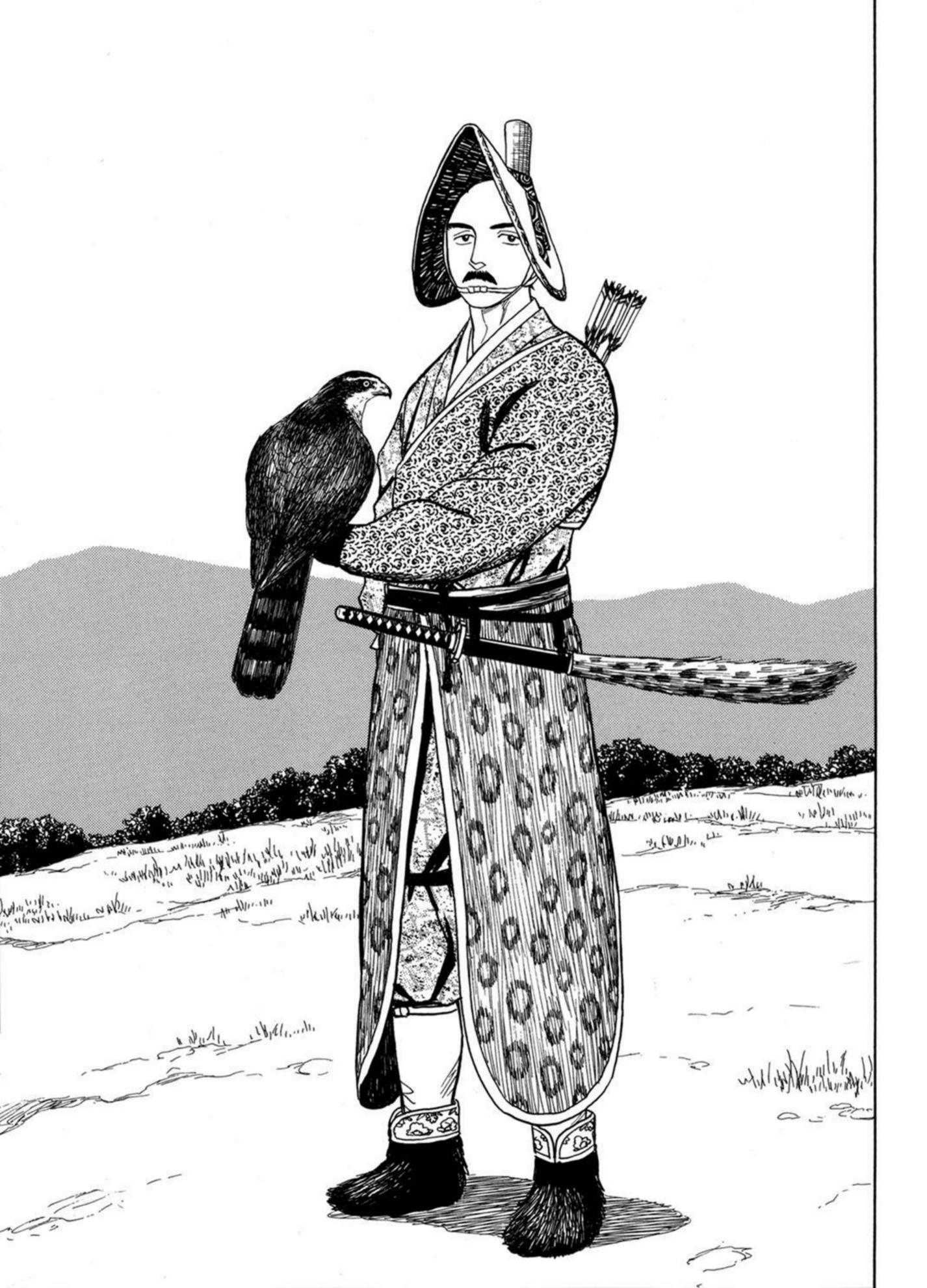


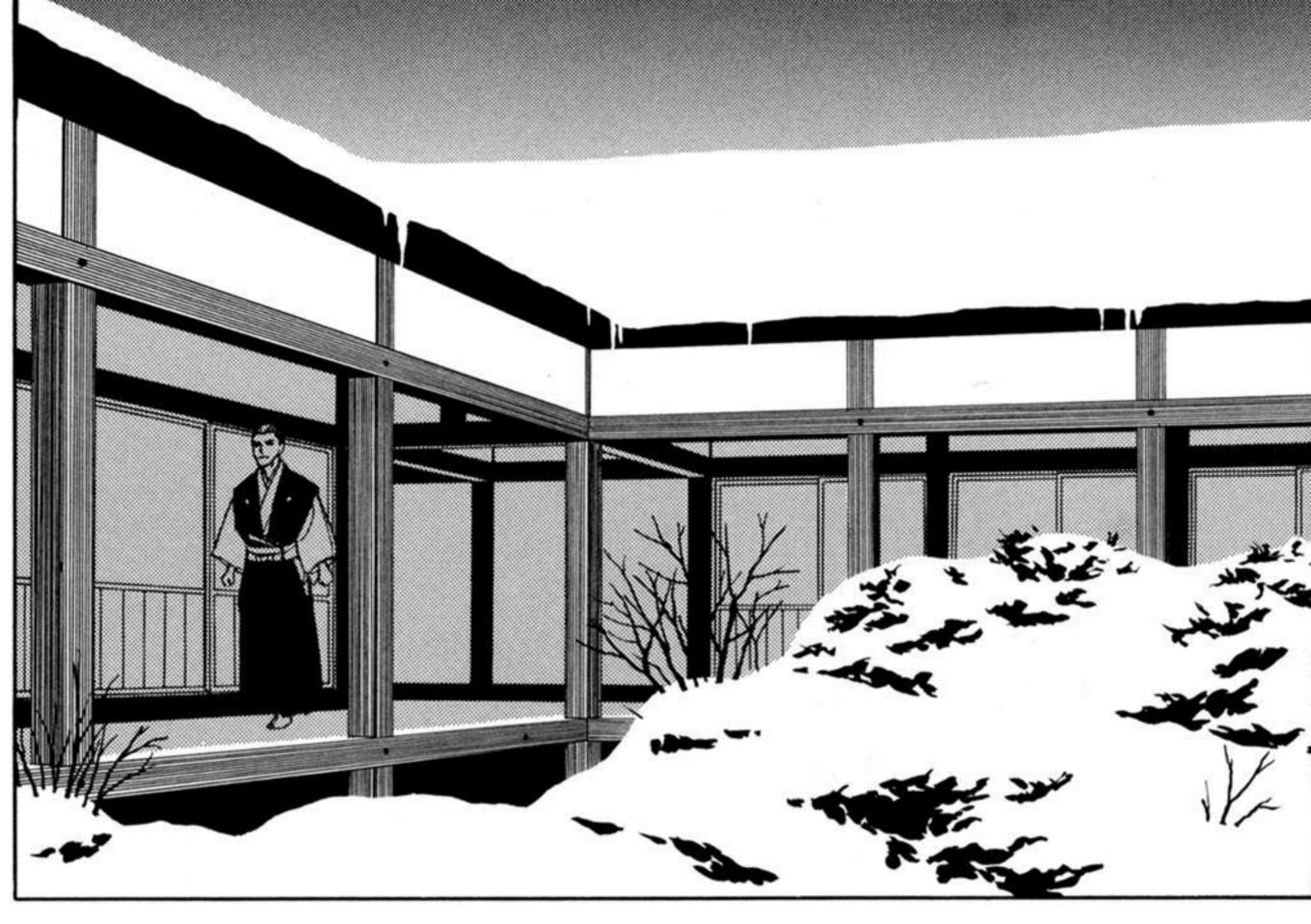






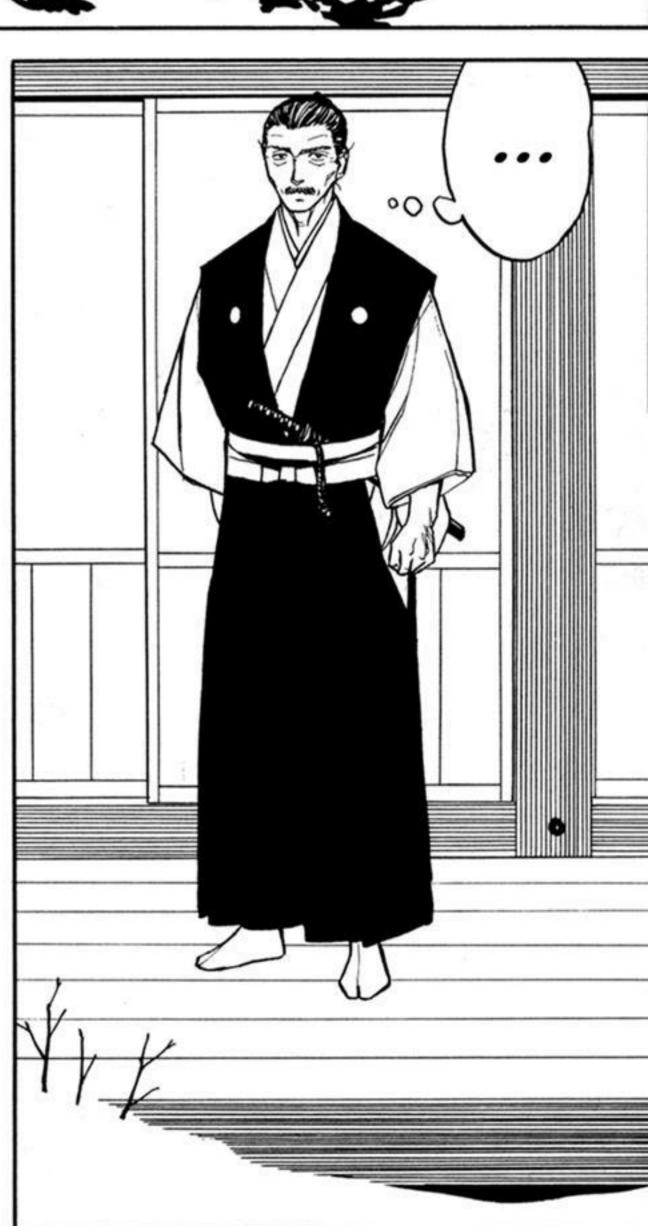
Chapter 4: Beyond the Ridge









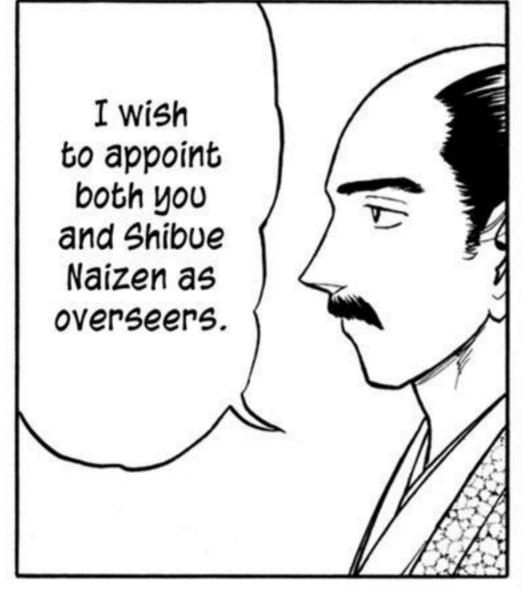


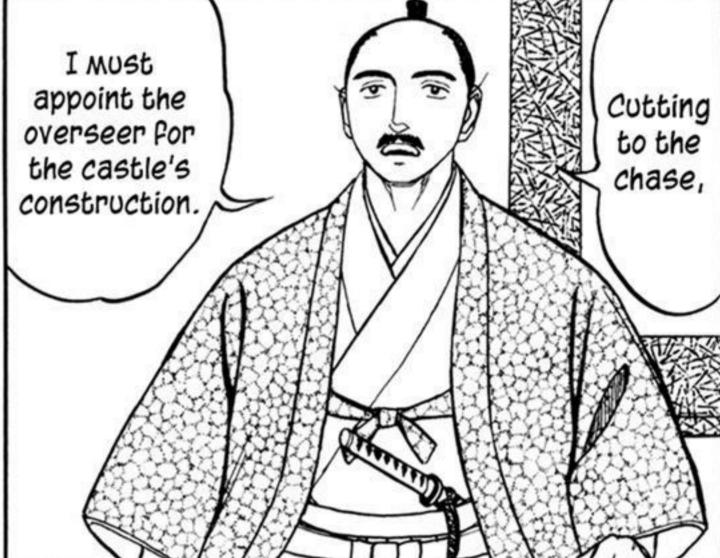










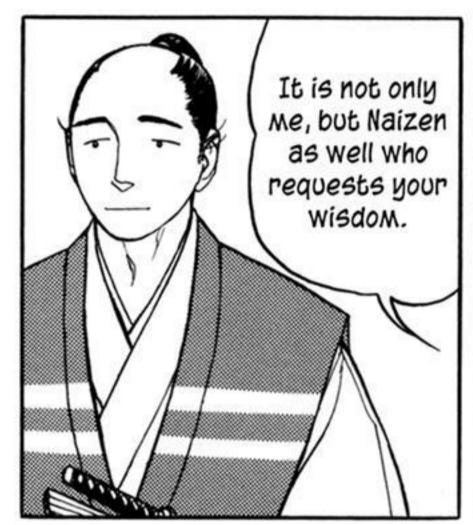




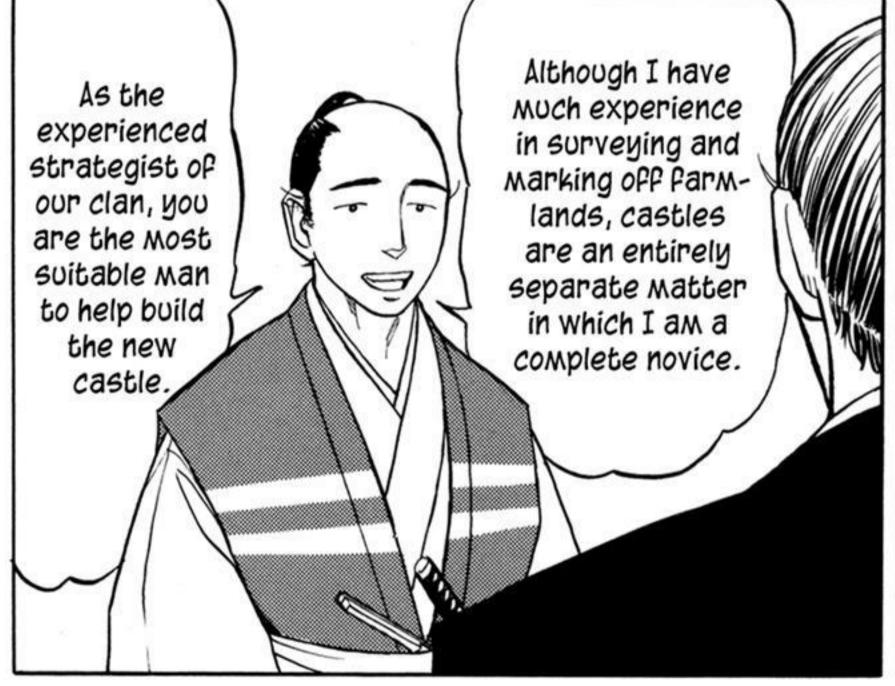






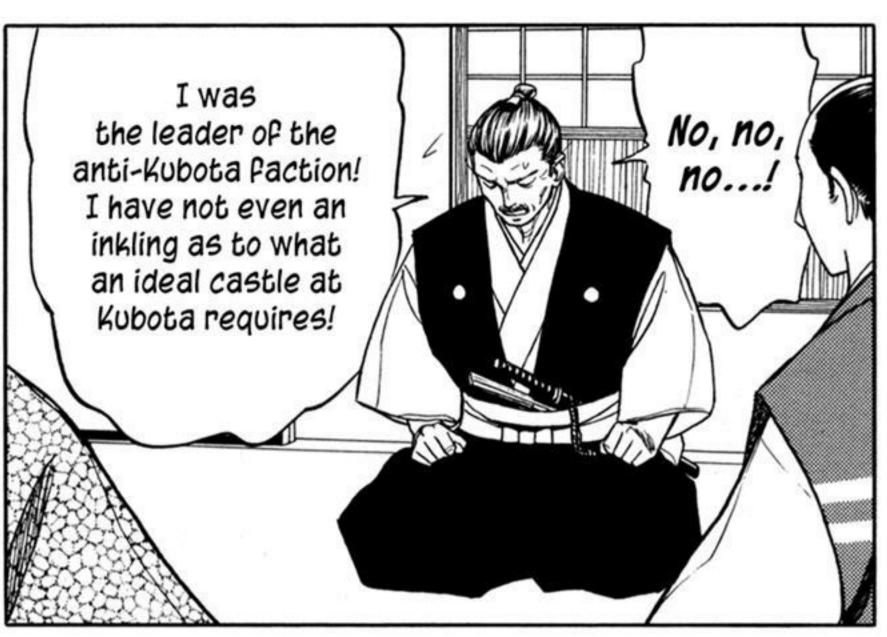














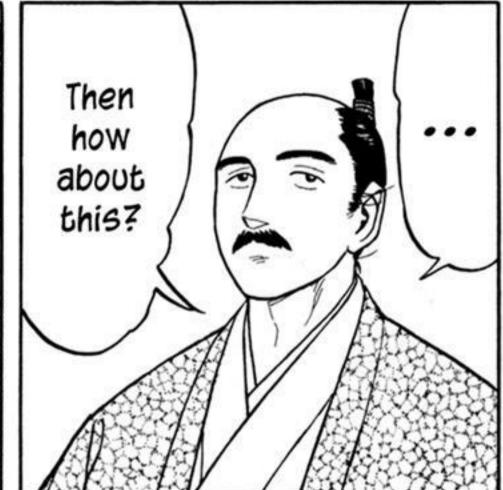




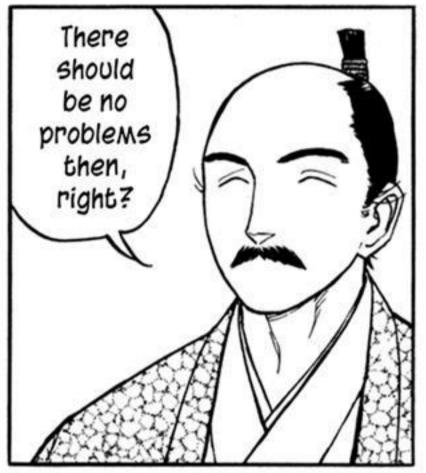




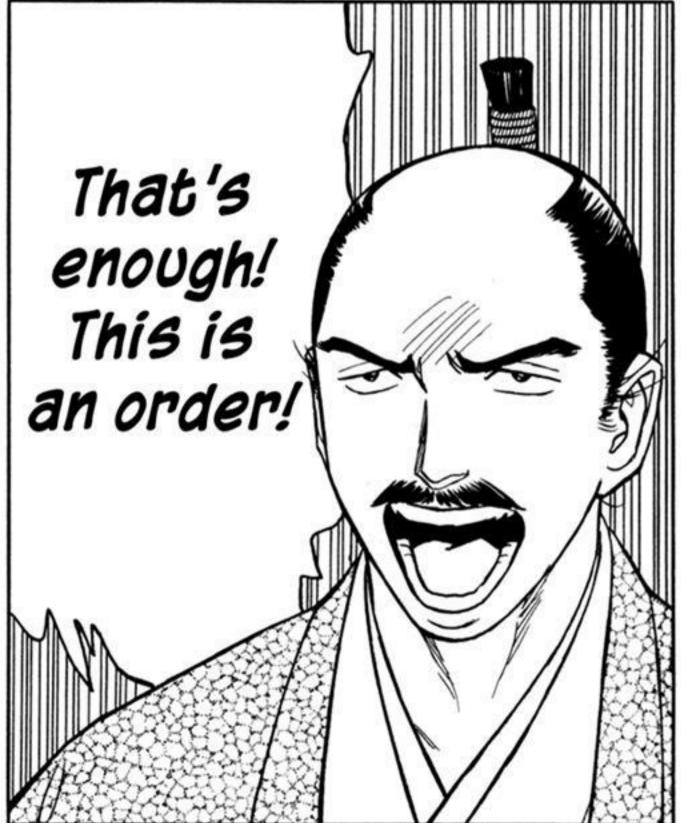




















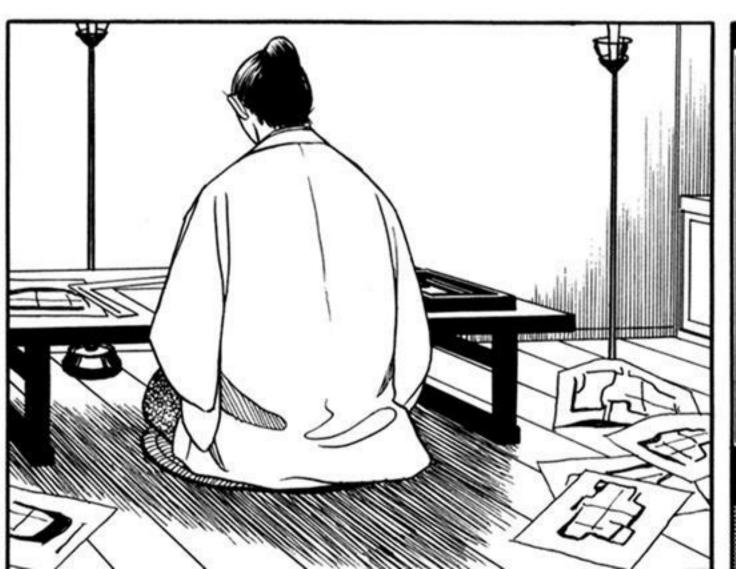


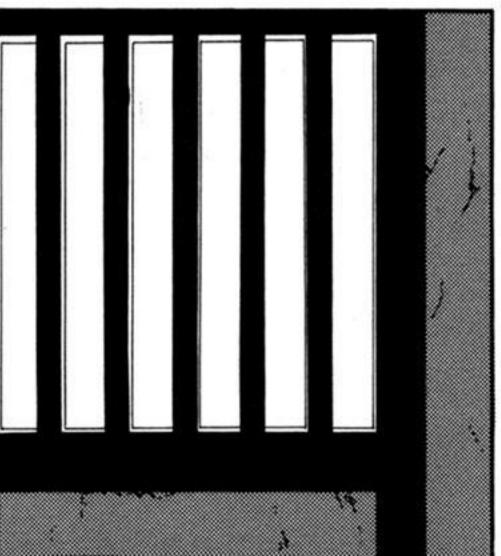


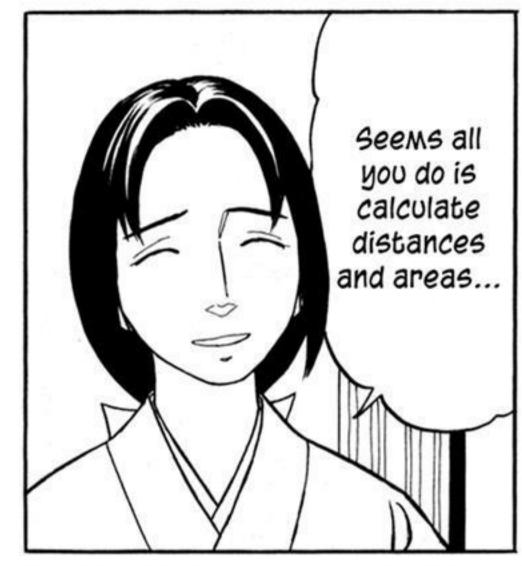




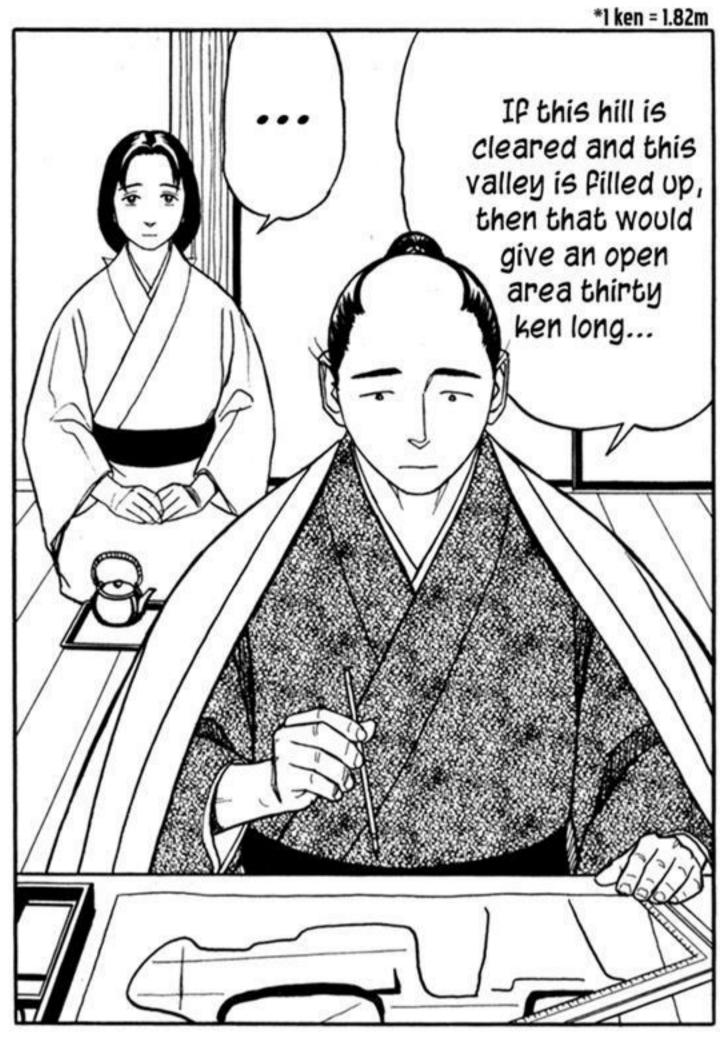


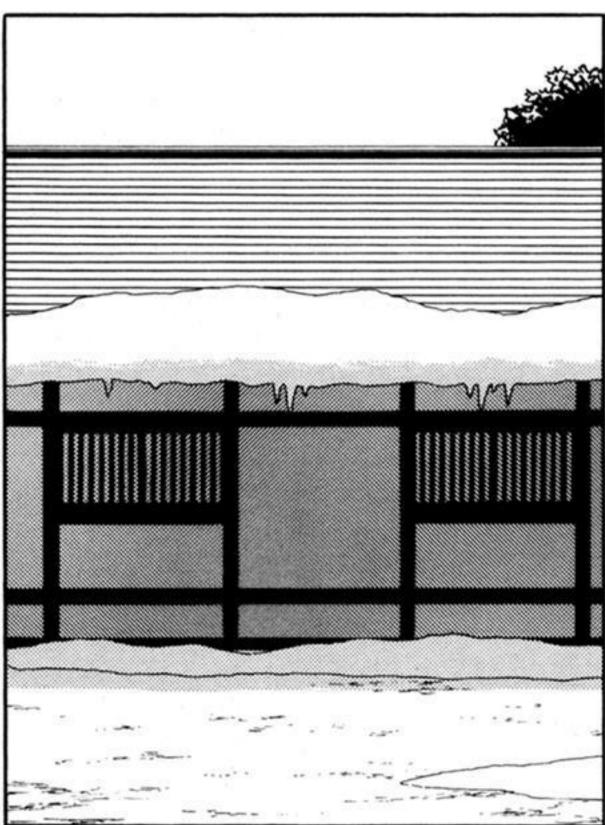






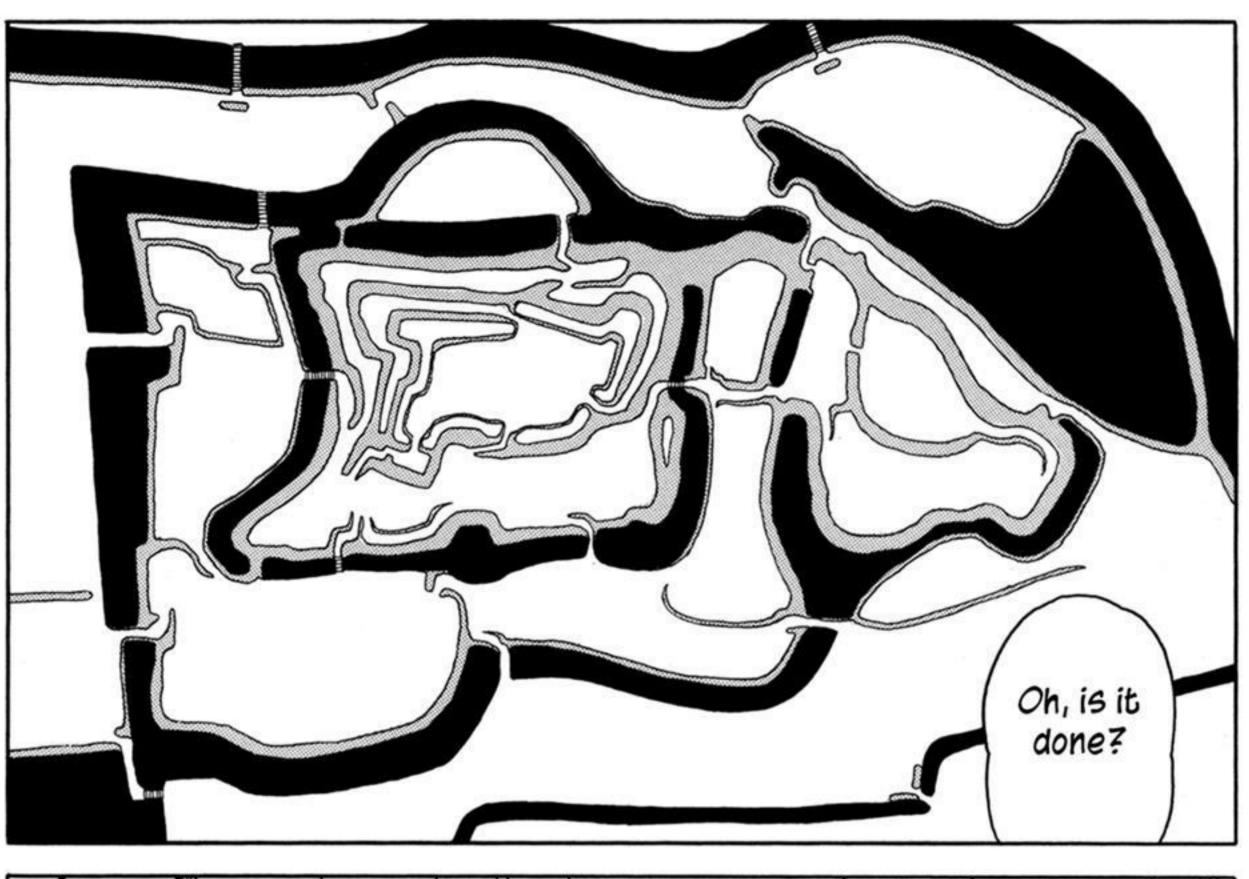






















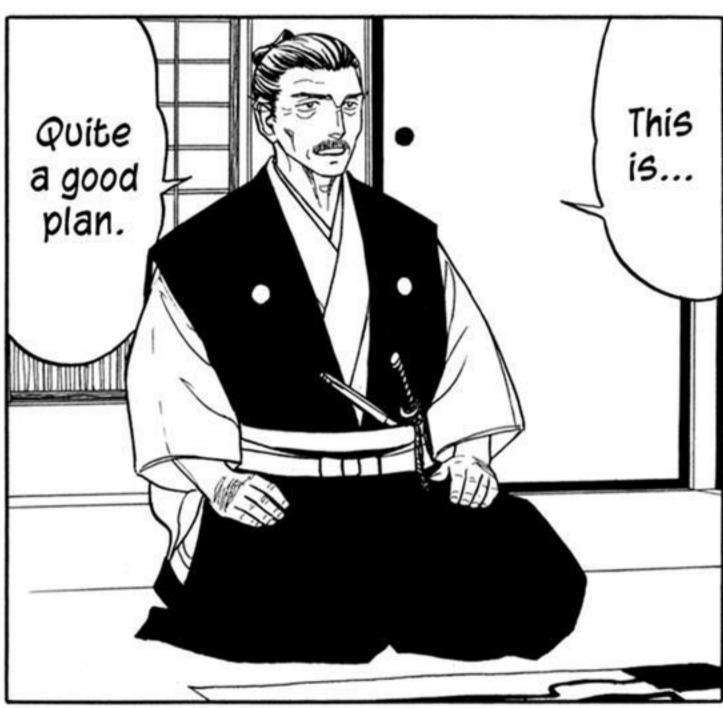












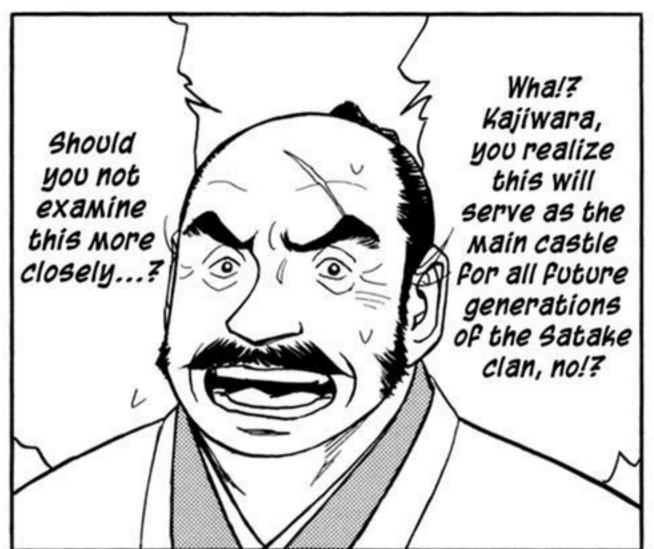














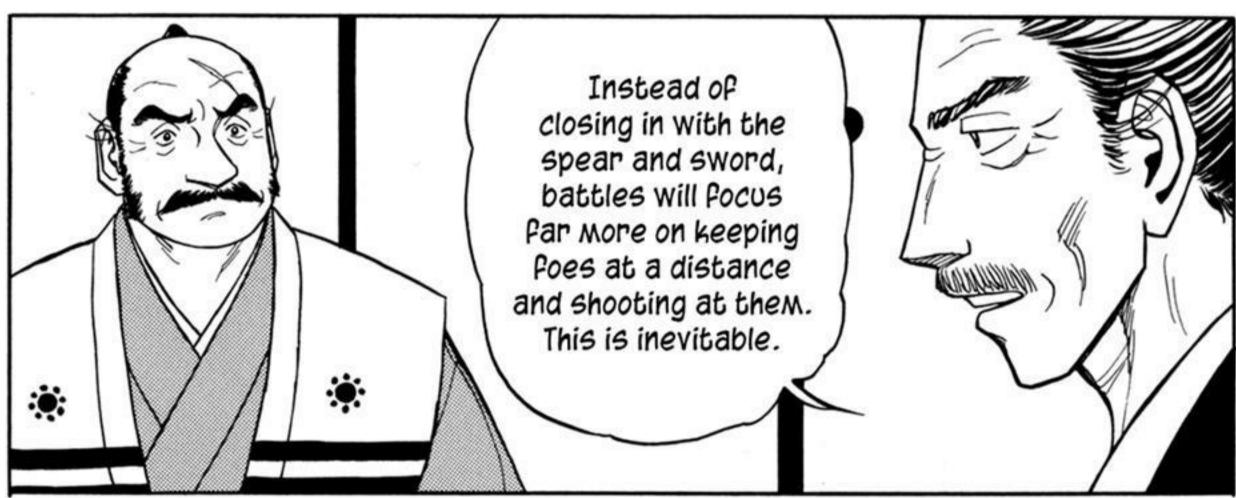






*Yokoya: Sections of the castle wall from which arrows and guns can be fired to flank enemies attempting to scale or breach the walls.







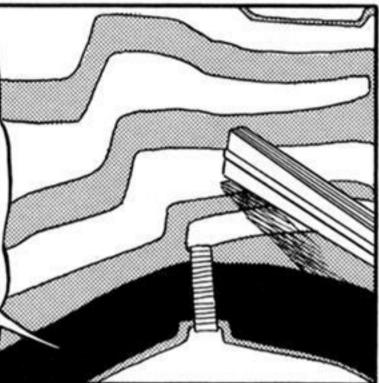








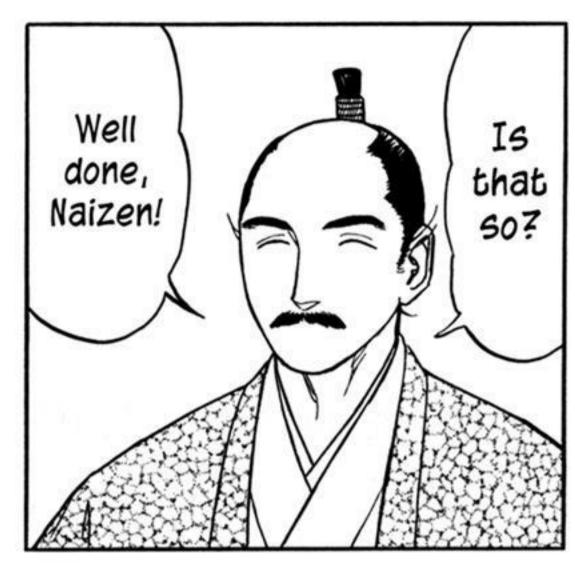
















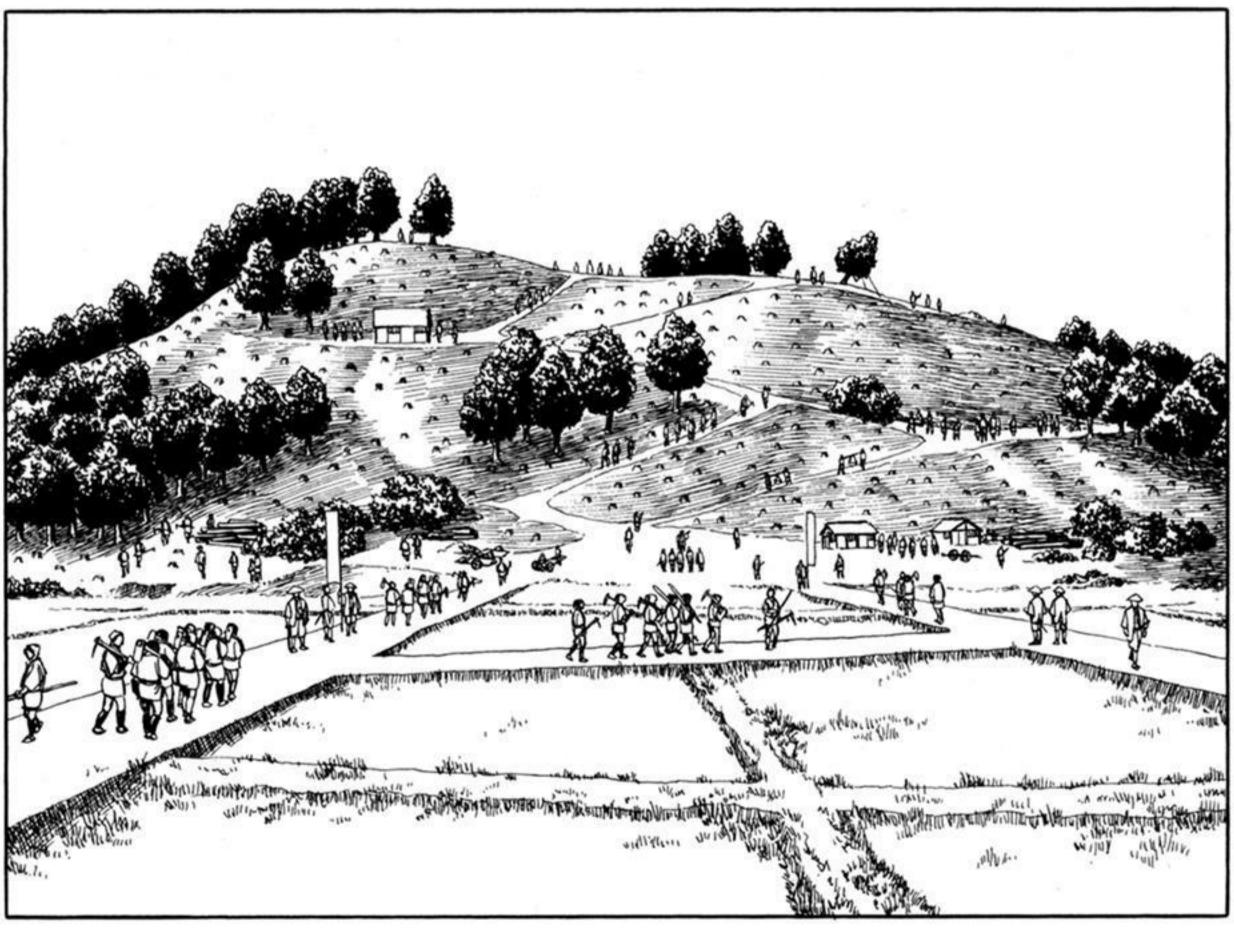
















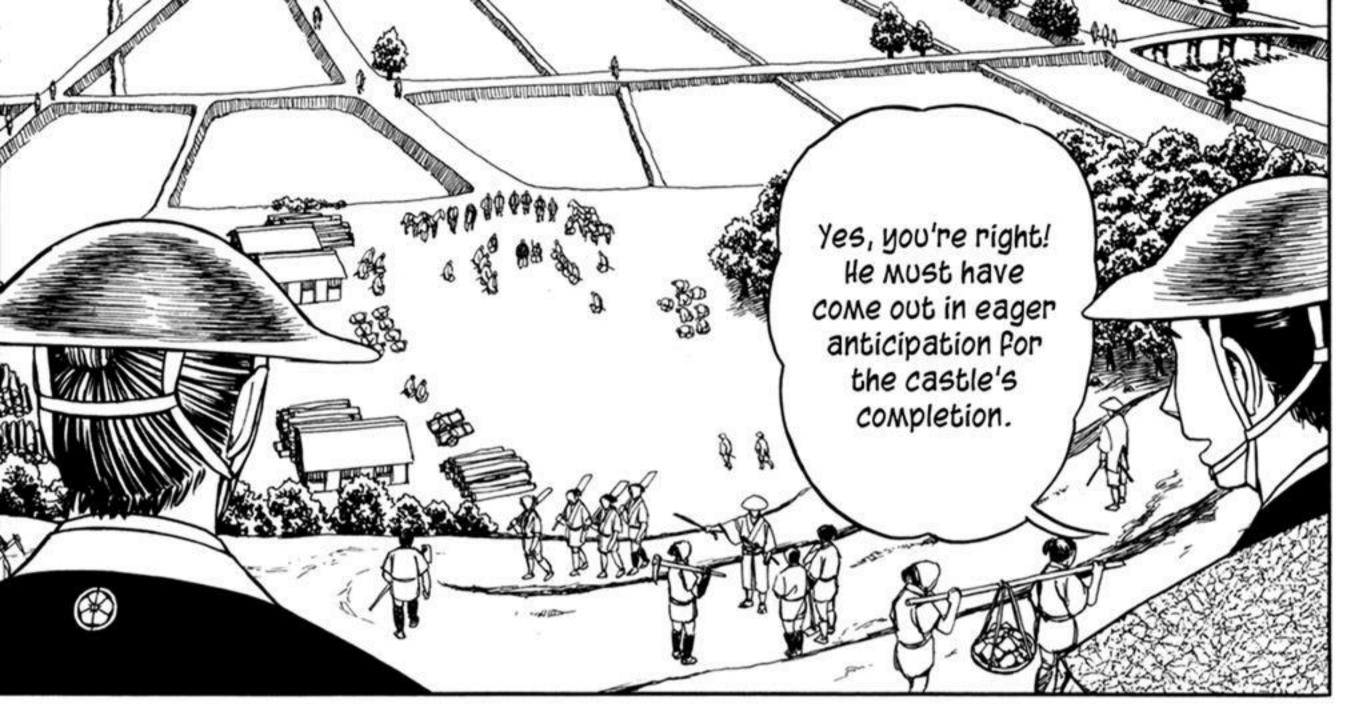
















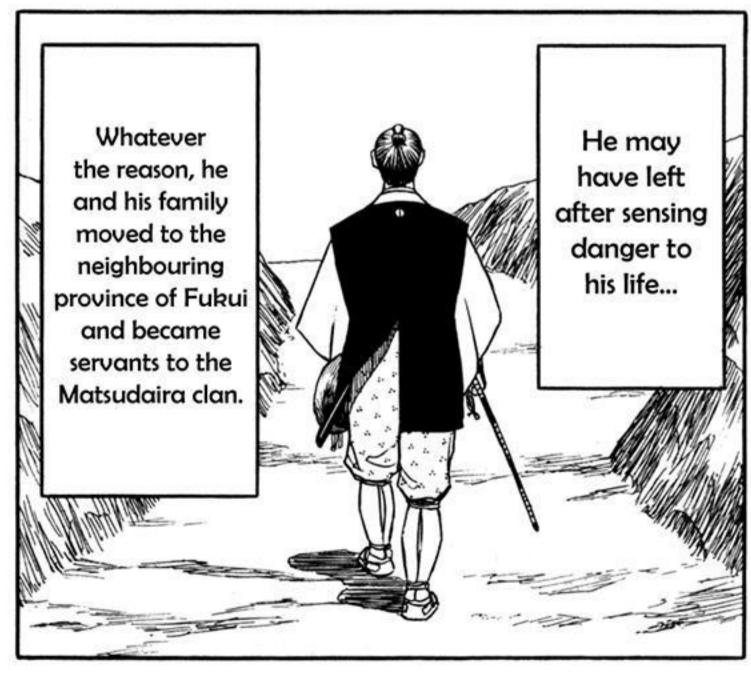




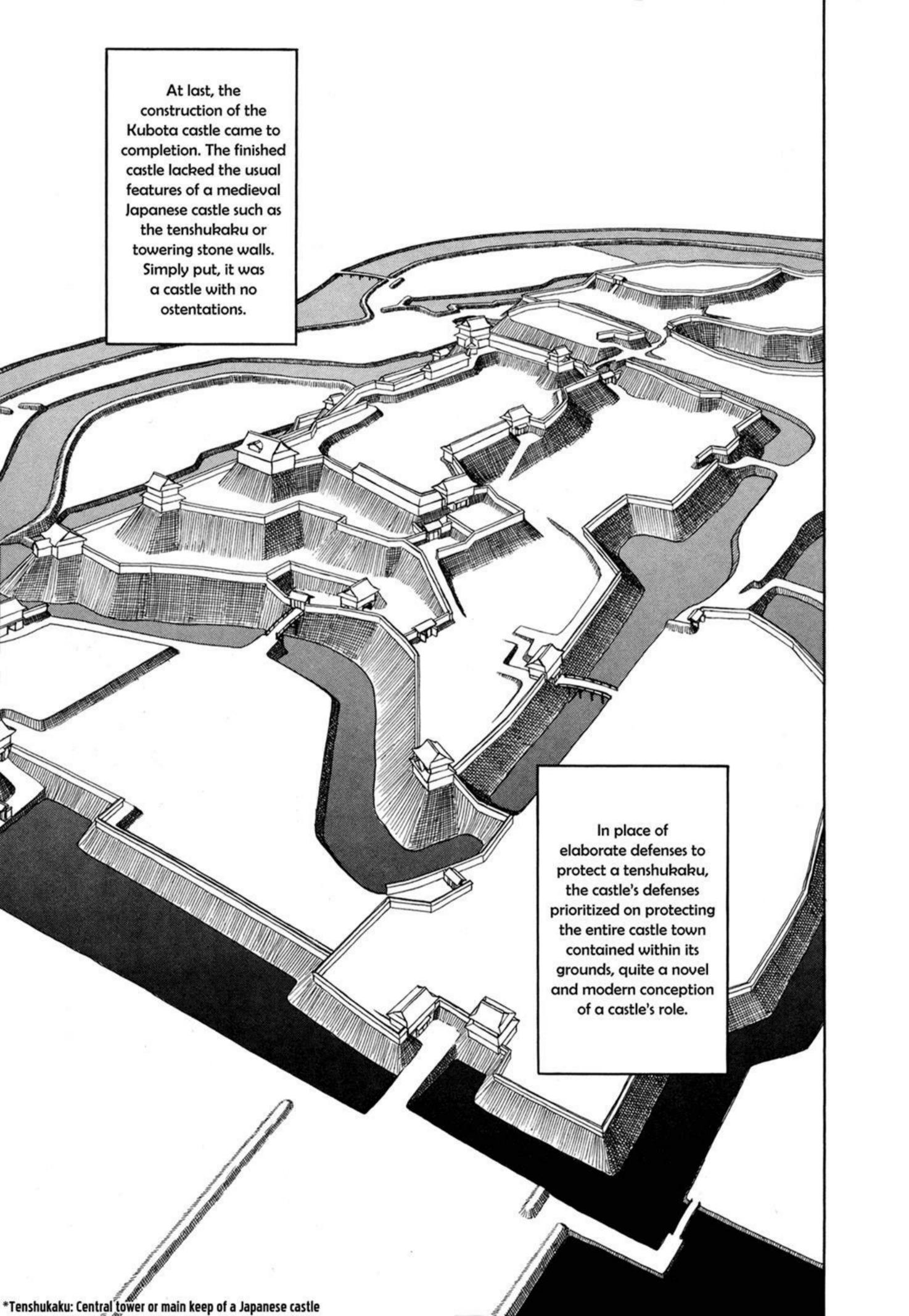


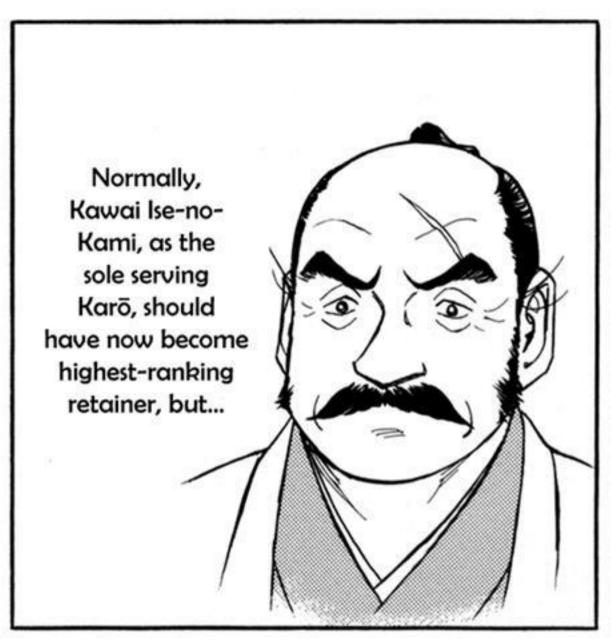


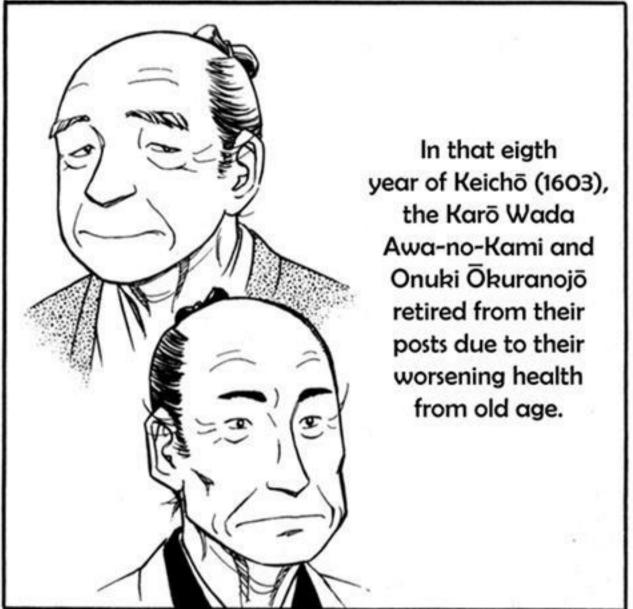












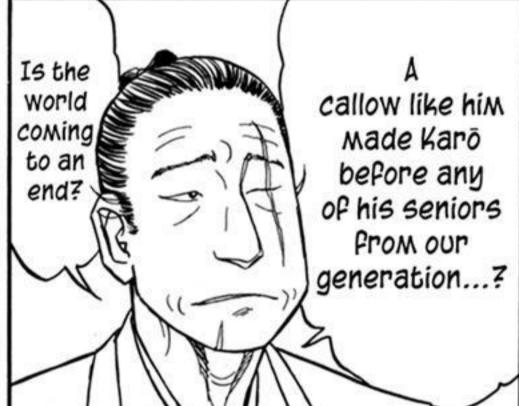




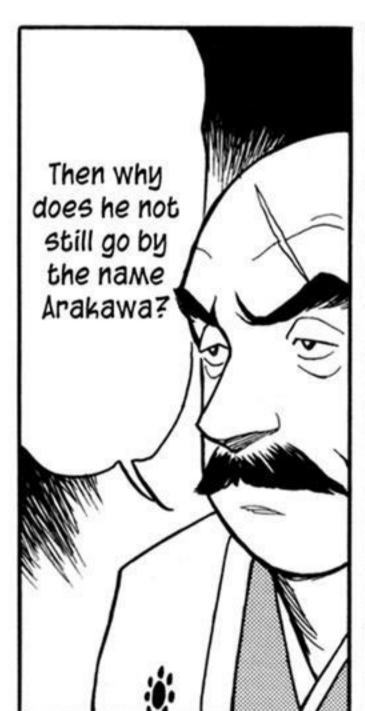










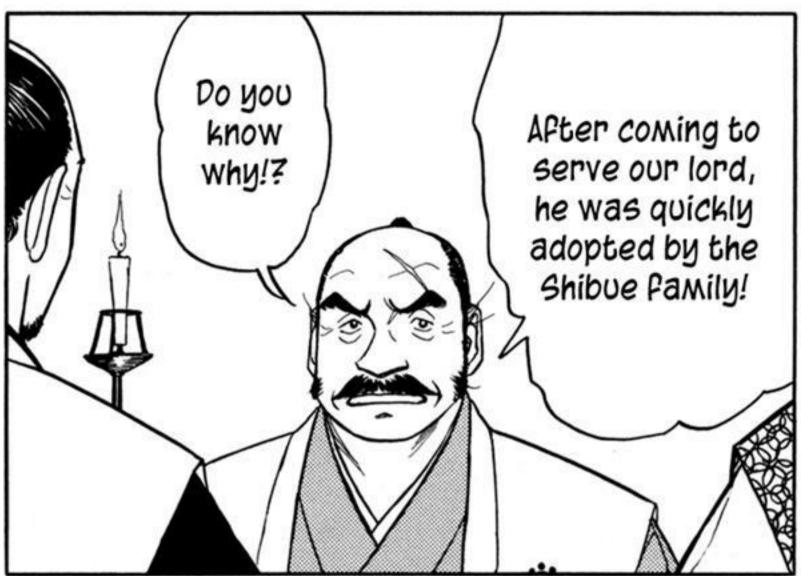














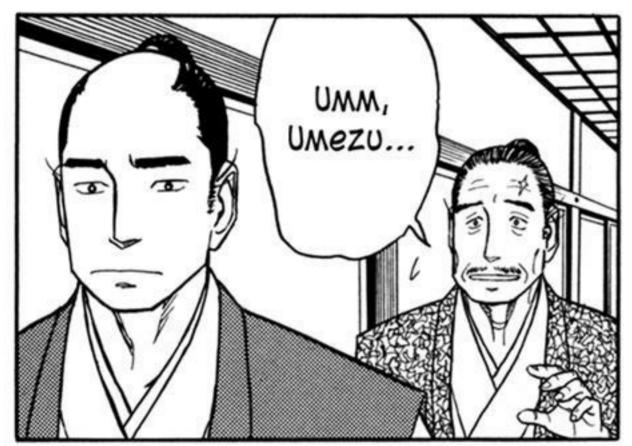






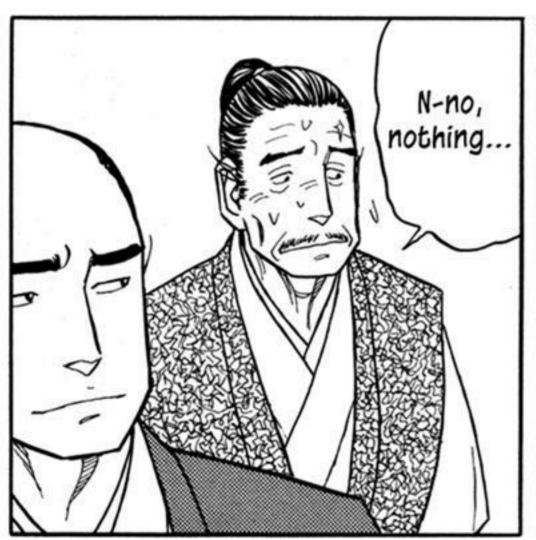




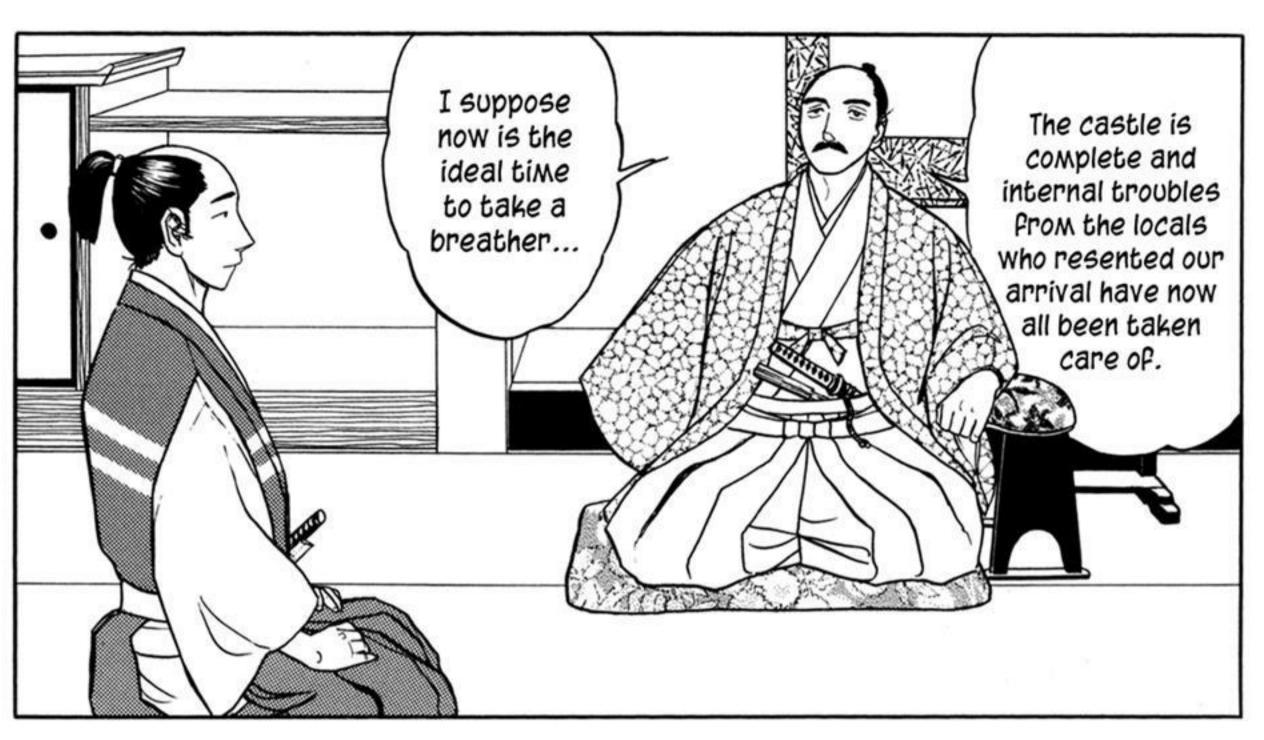


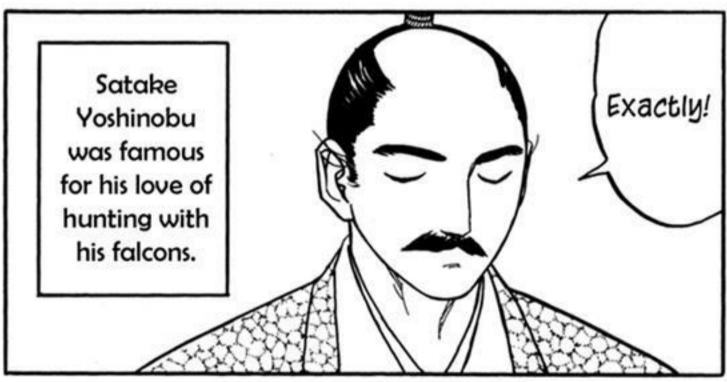








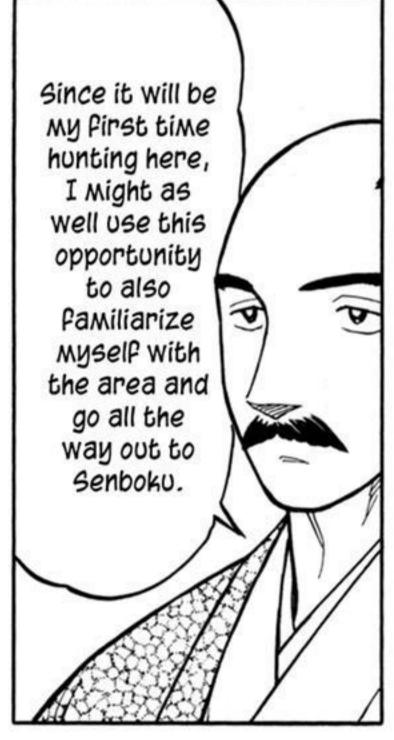




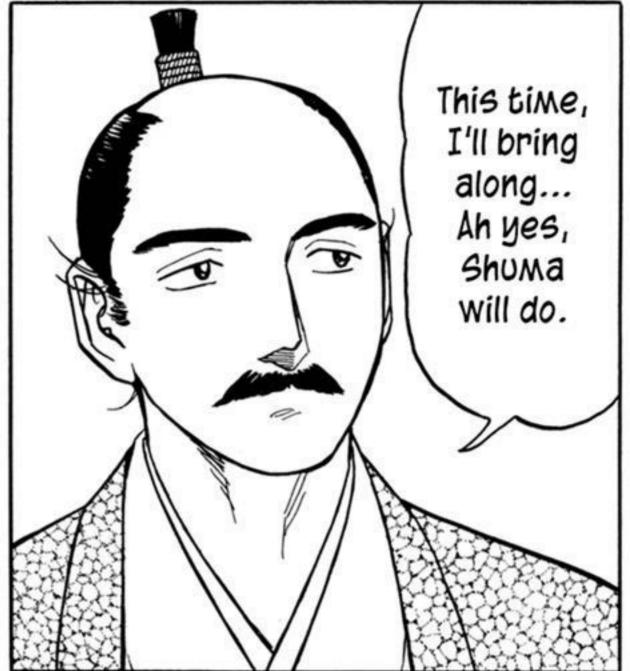


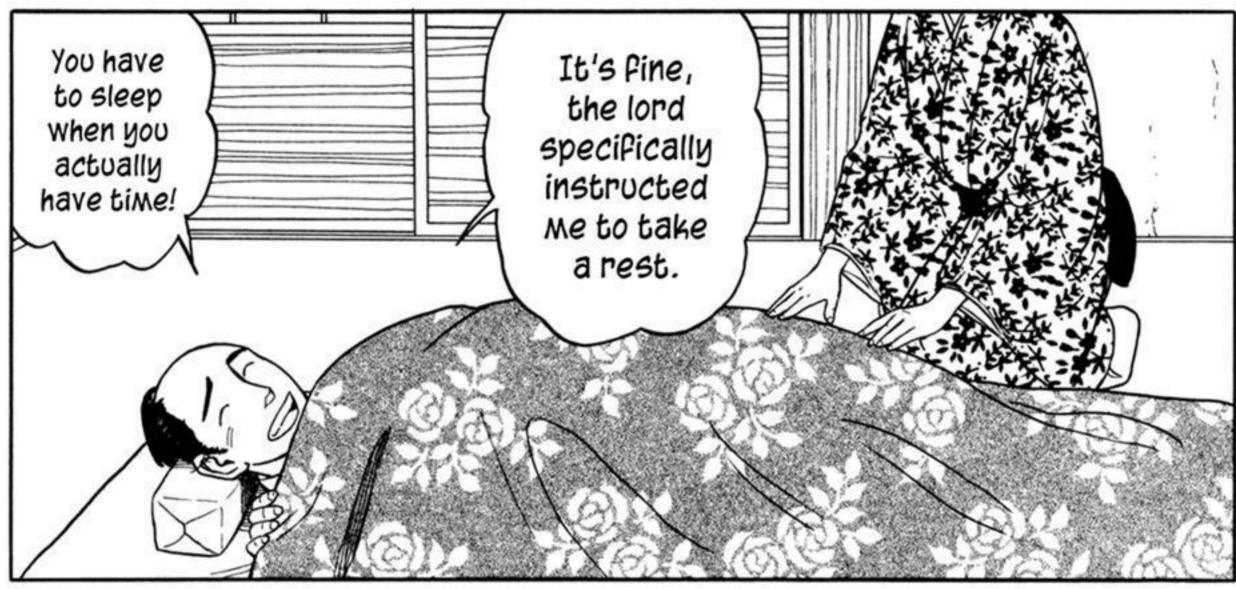










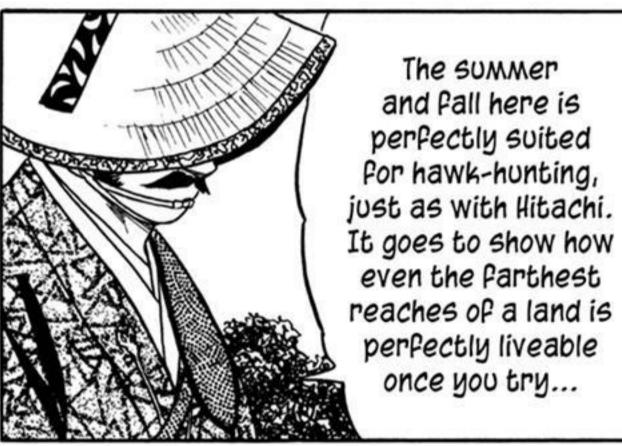


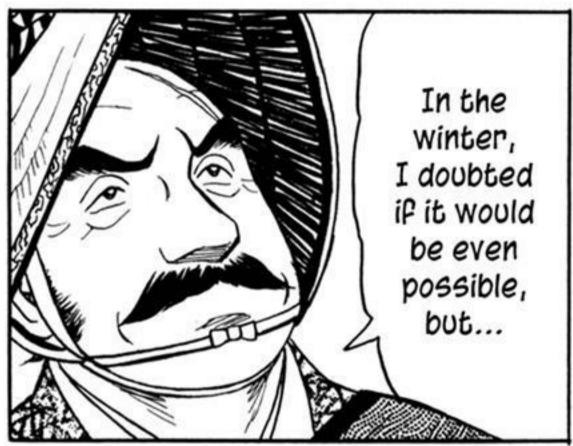




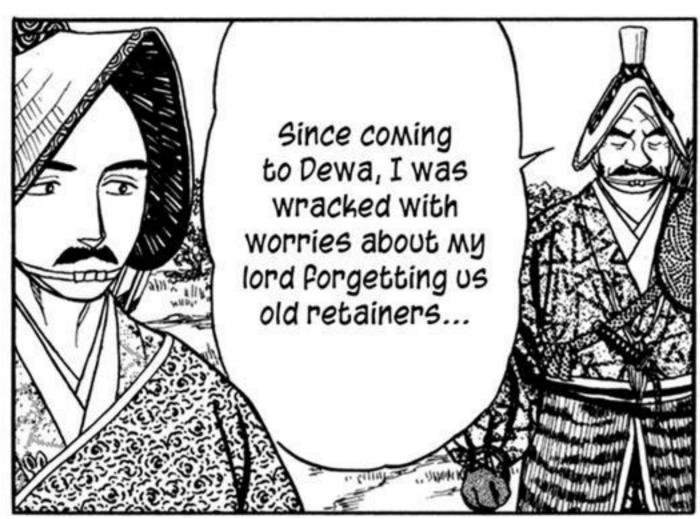


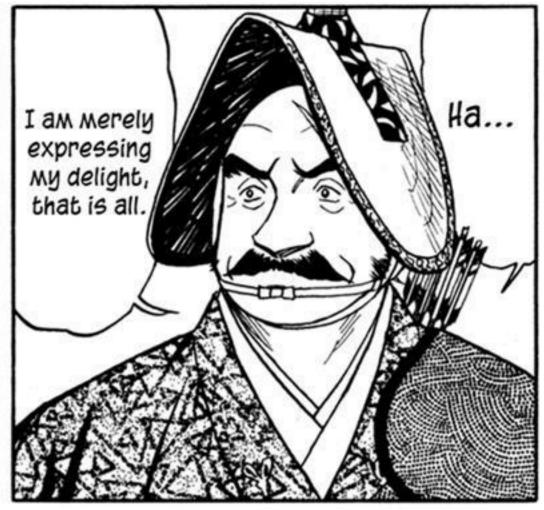






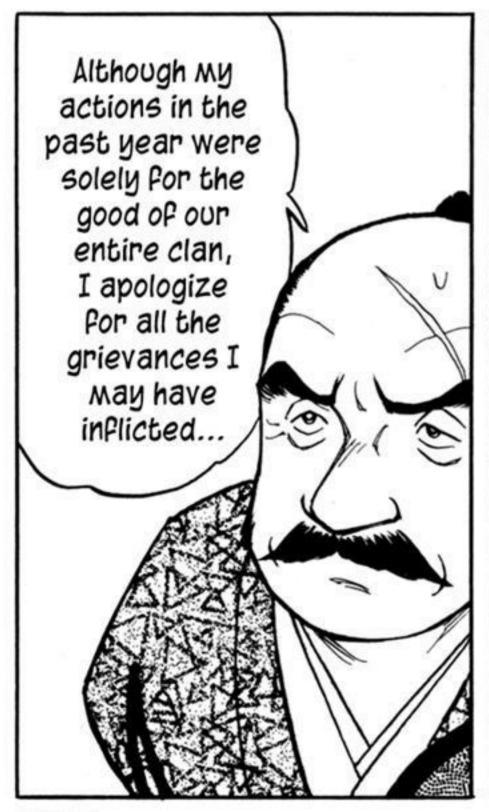










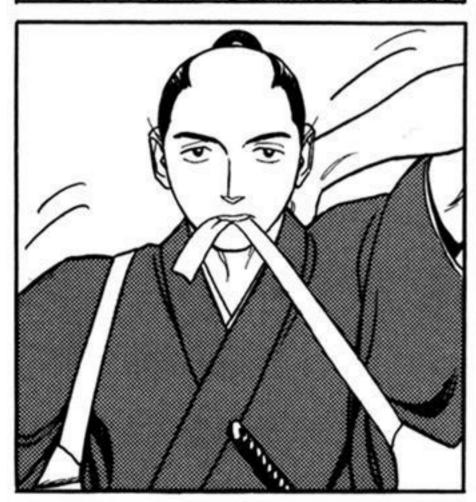














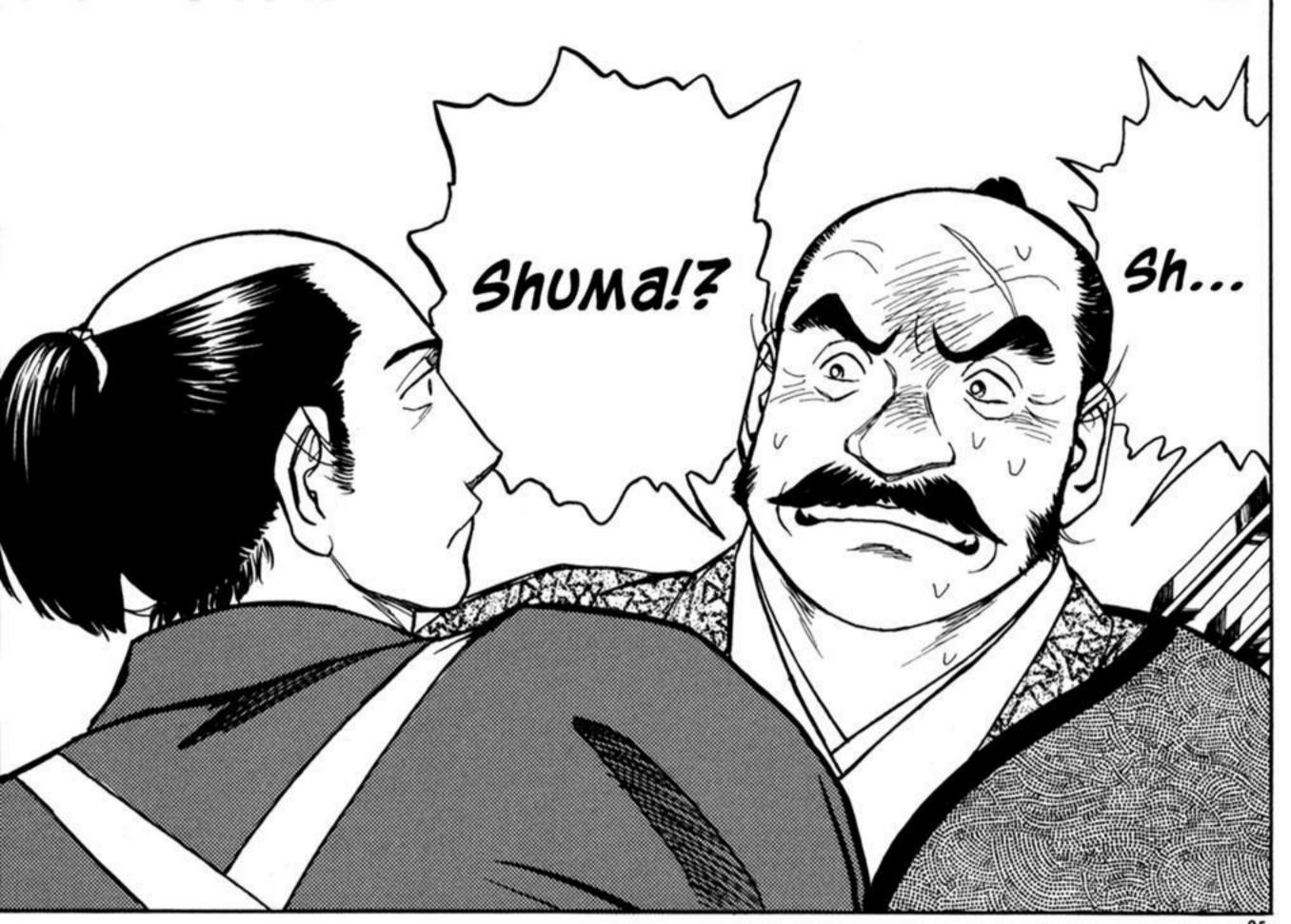






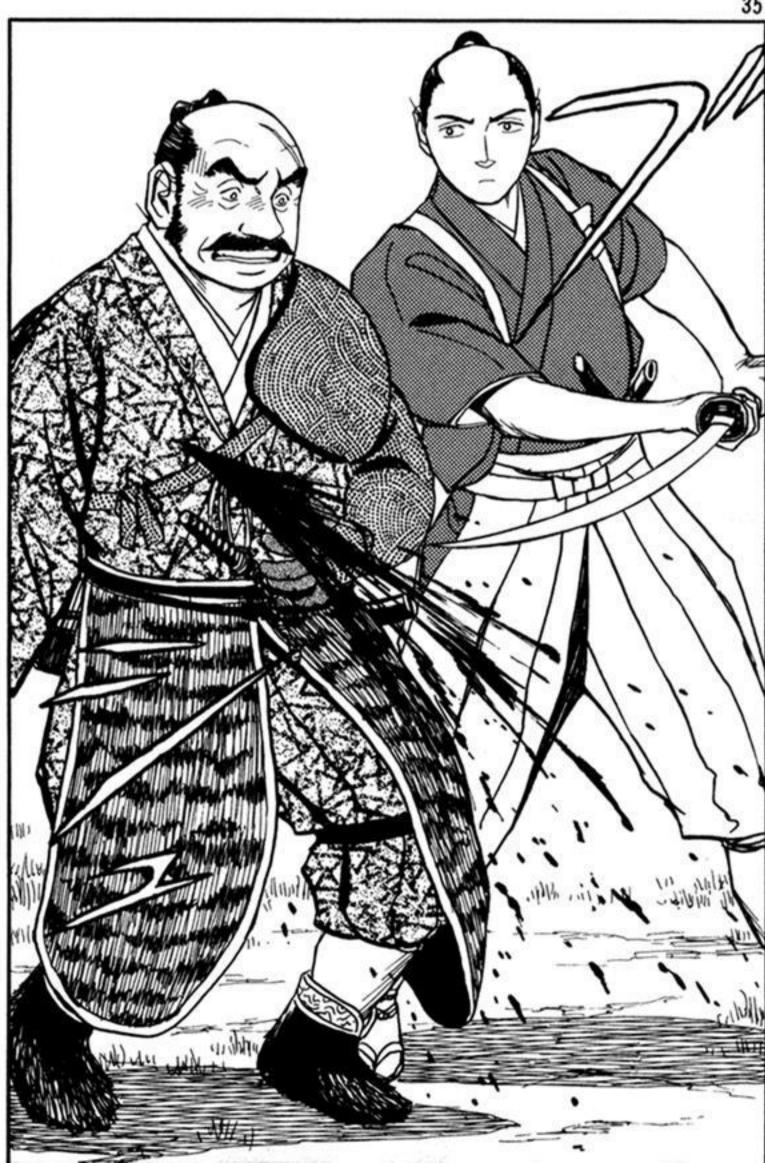






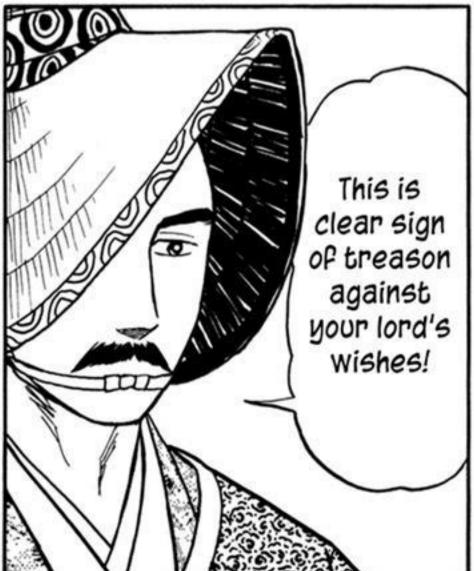


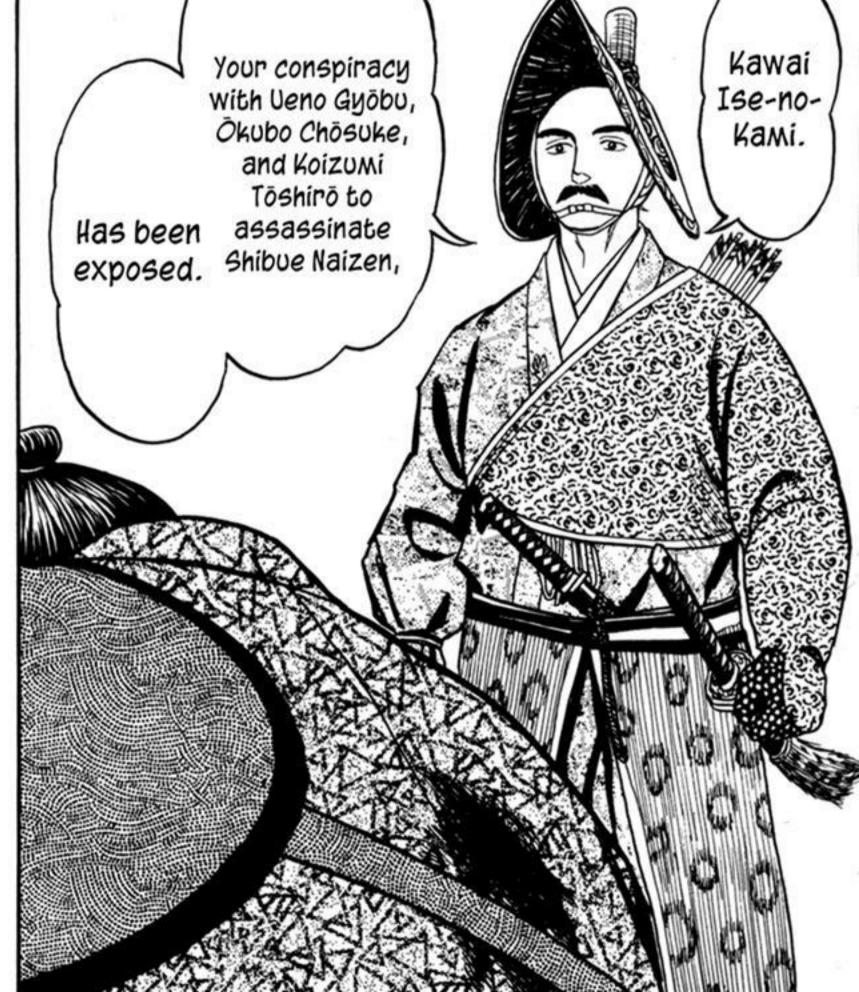






















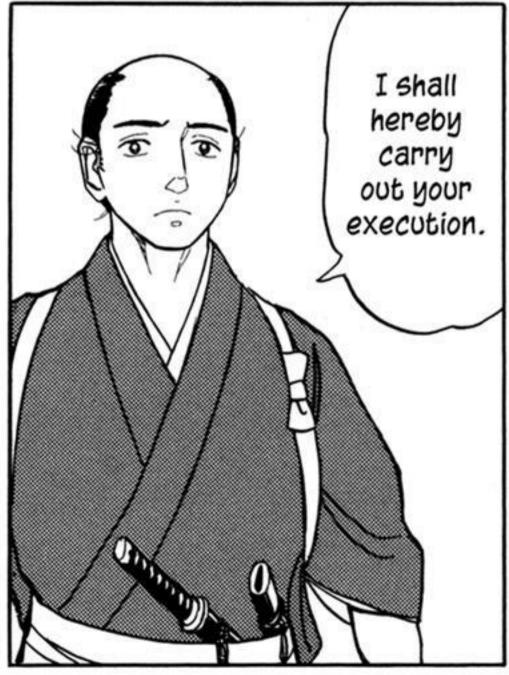








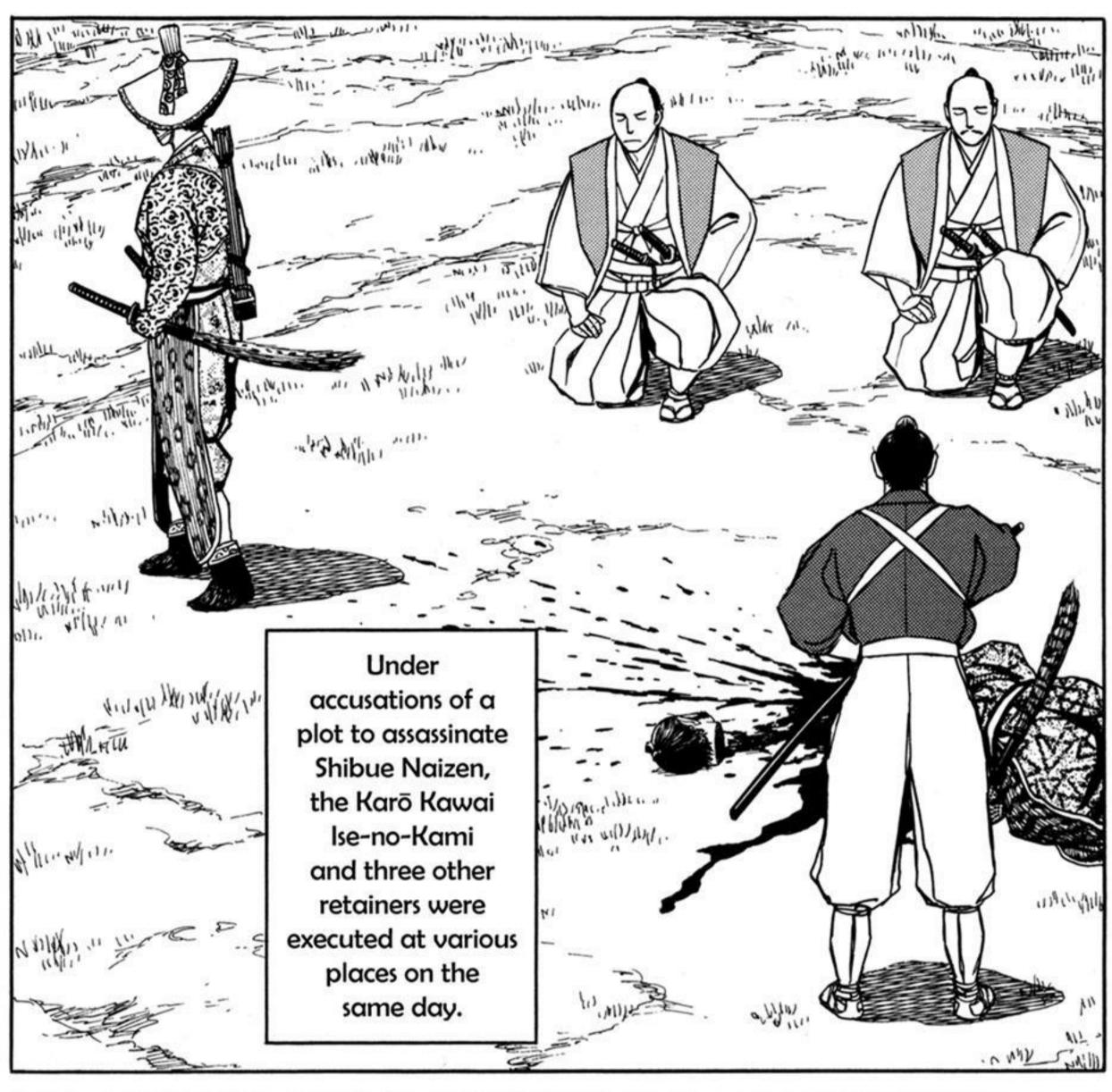








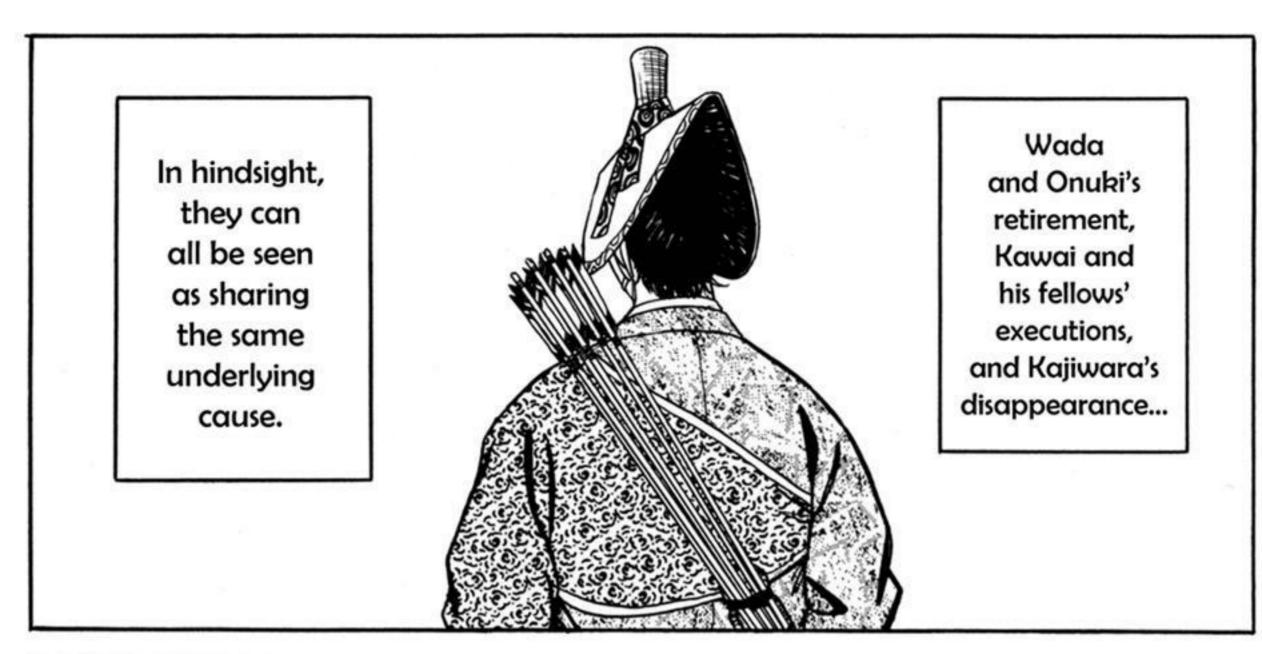




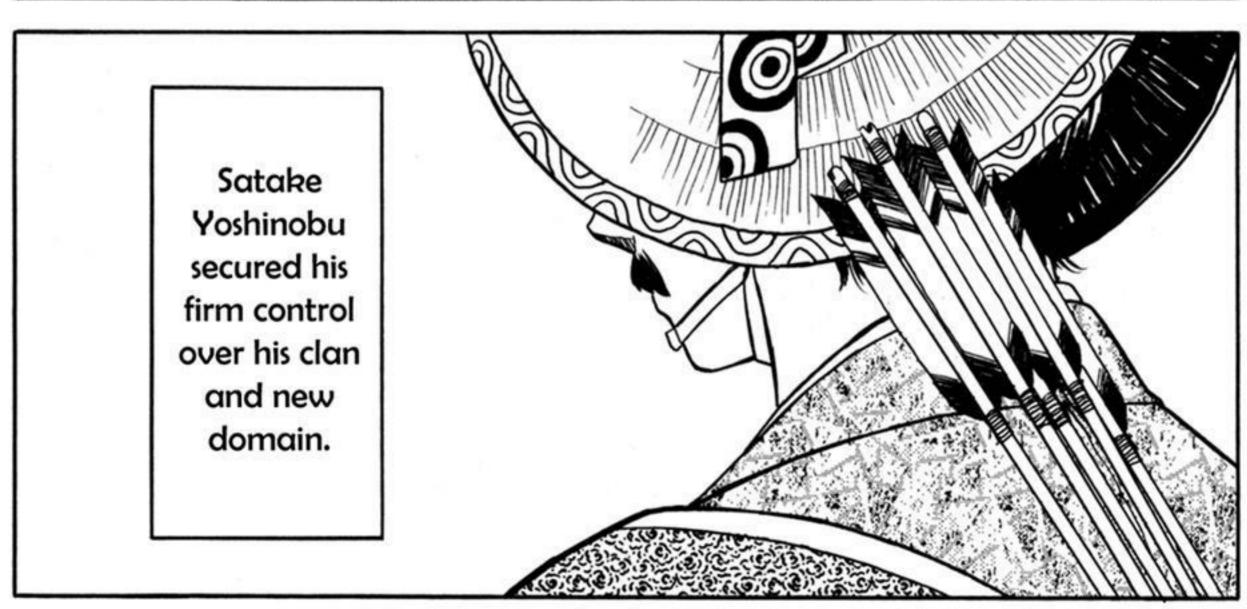


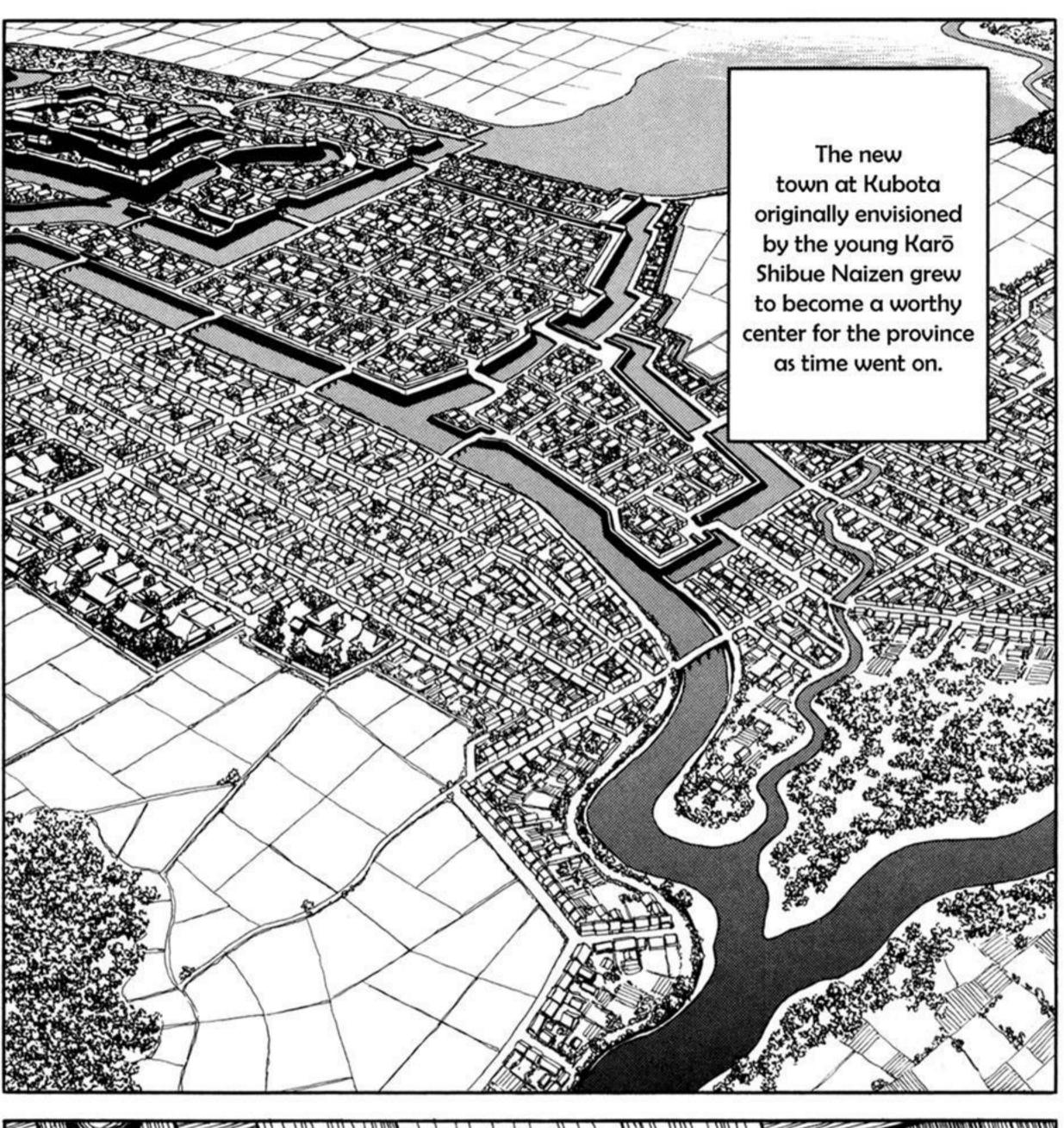






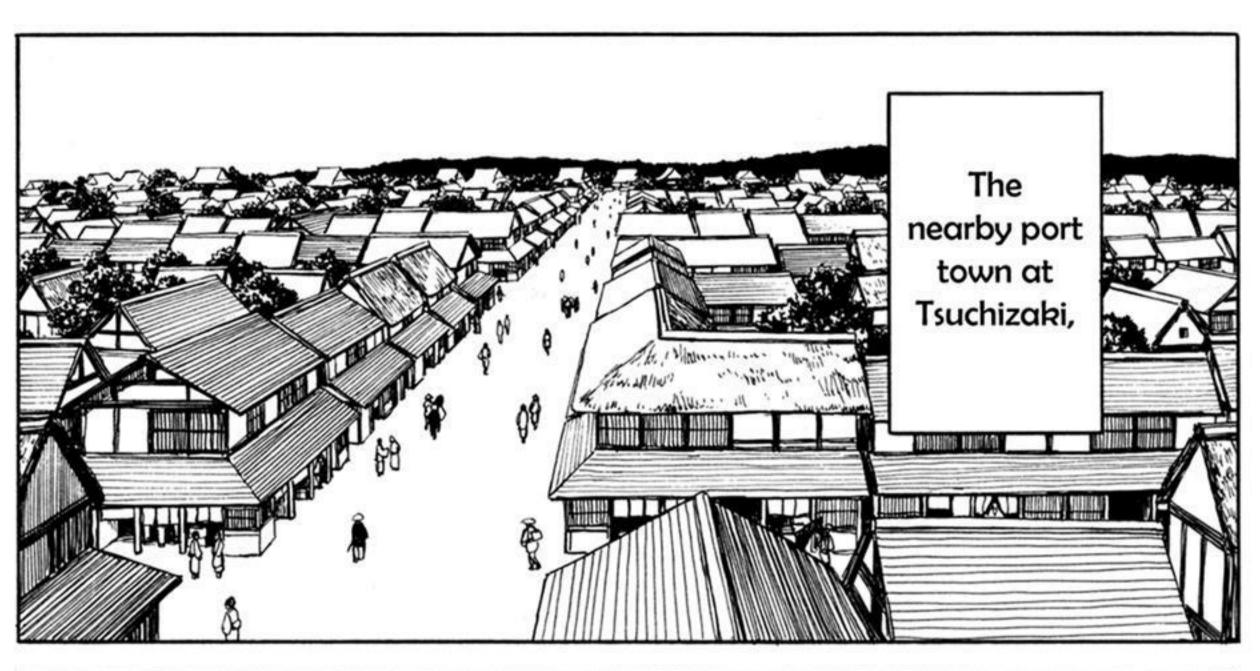


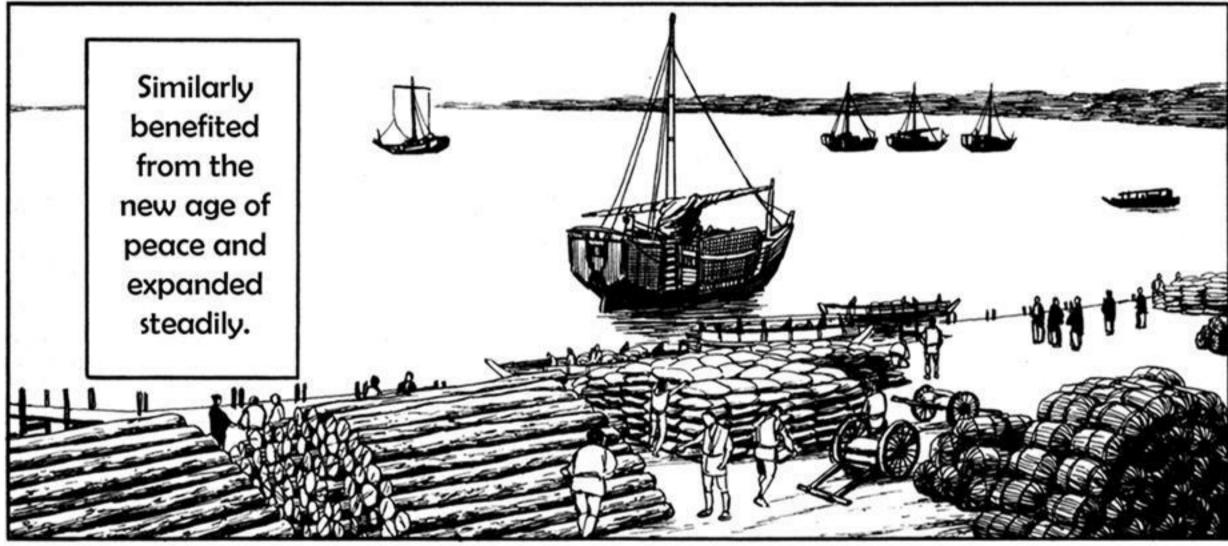




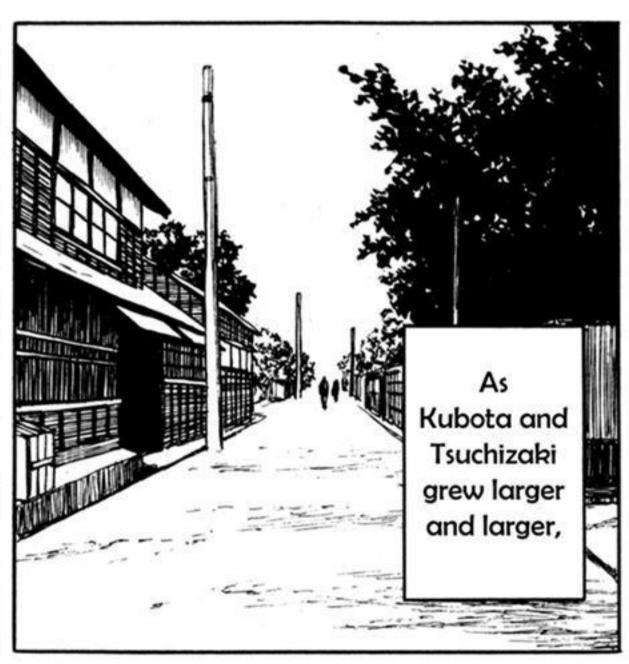


*Plate reads "Kubota province"

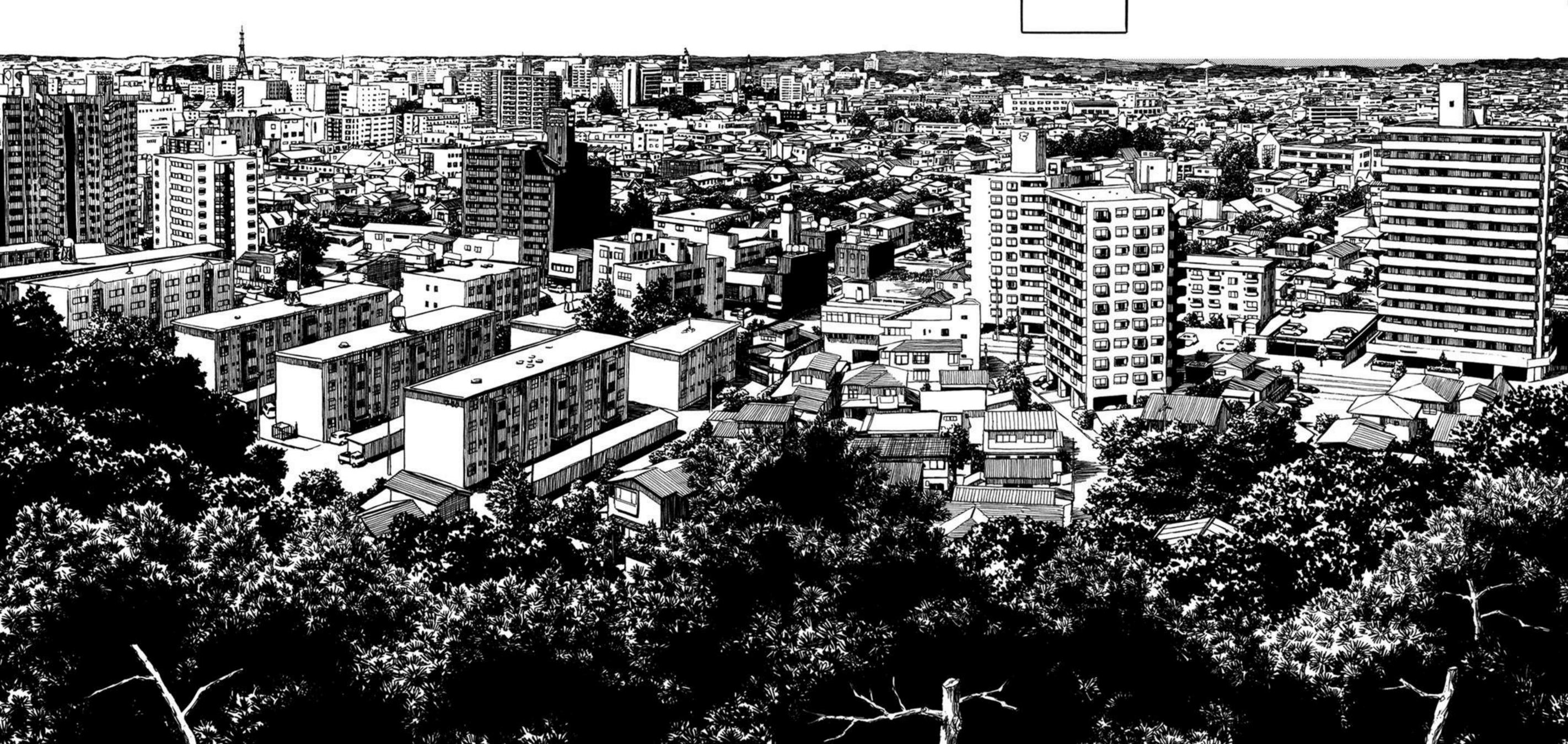








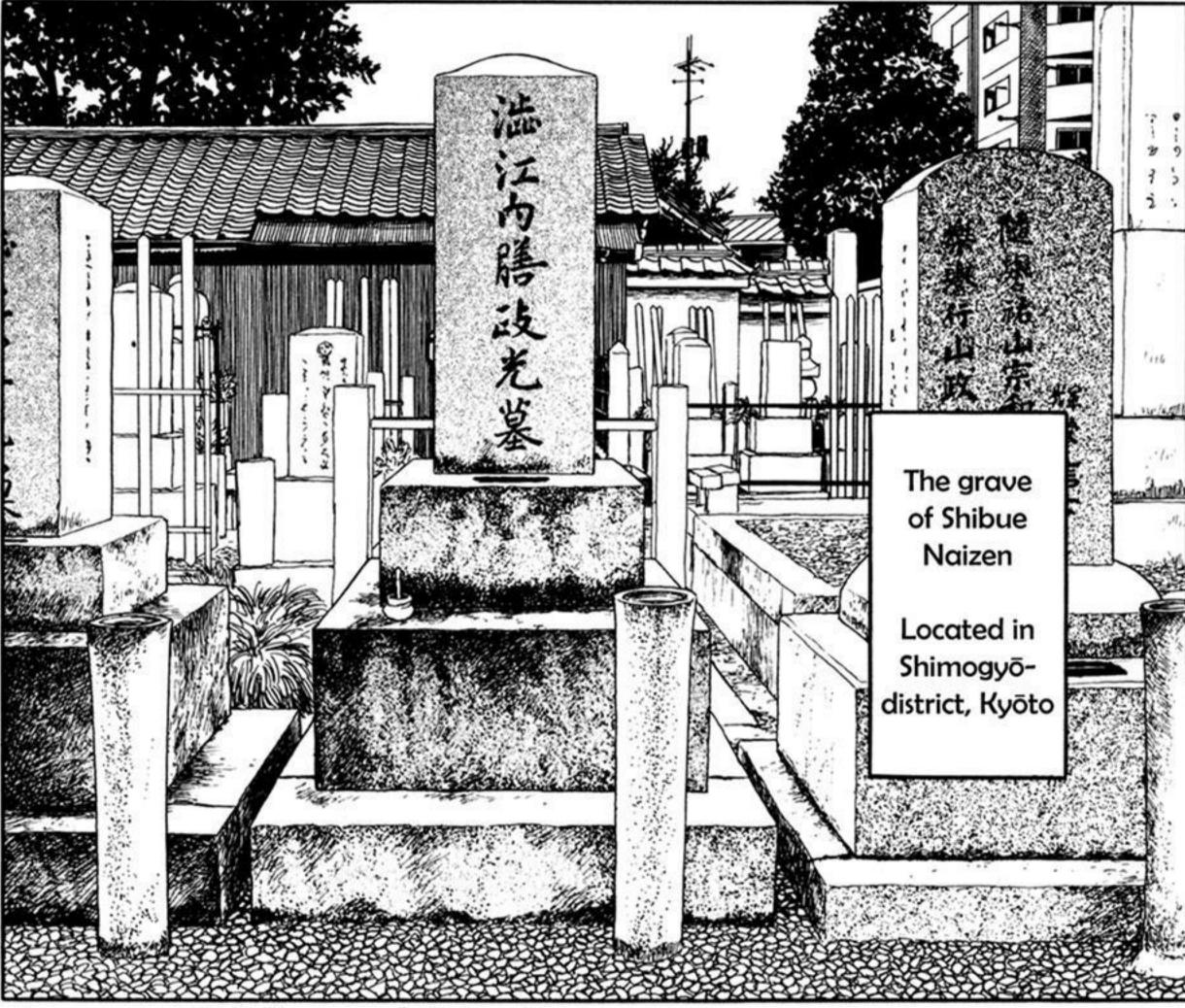
It is known to us in the modernday as Akita city.



Scanlated by Illuminati-Manga & Hox

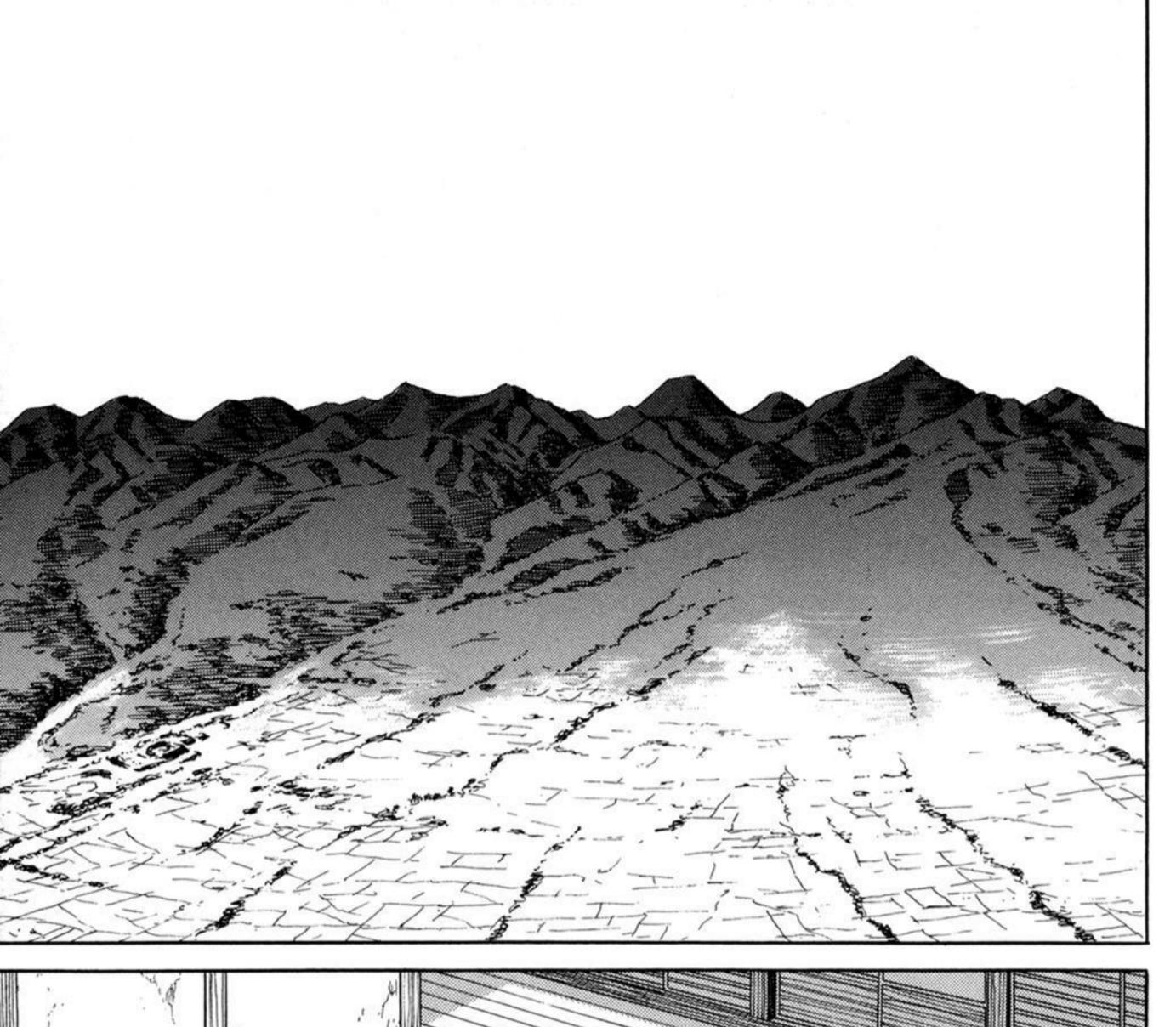




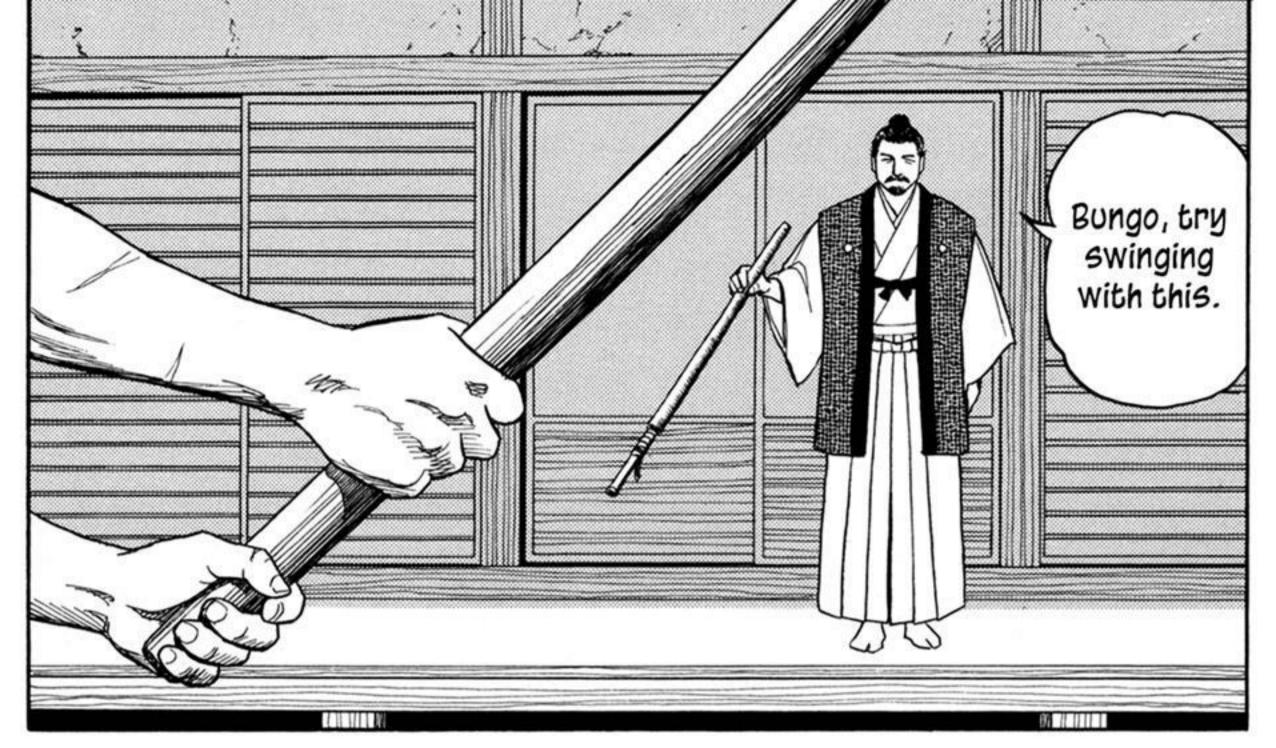


Snow Ridge / End



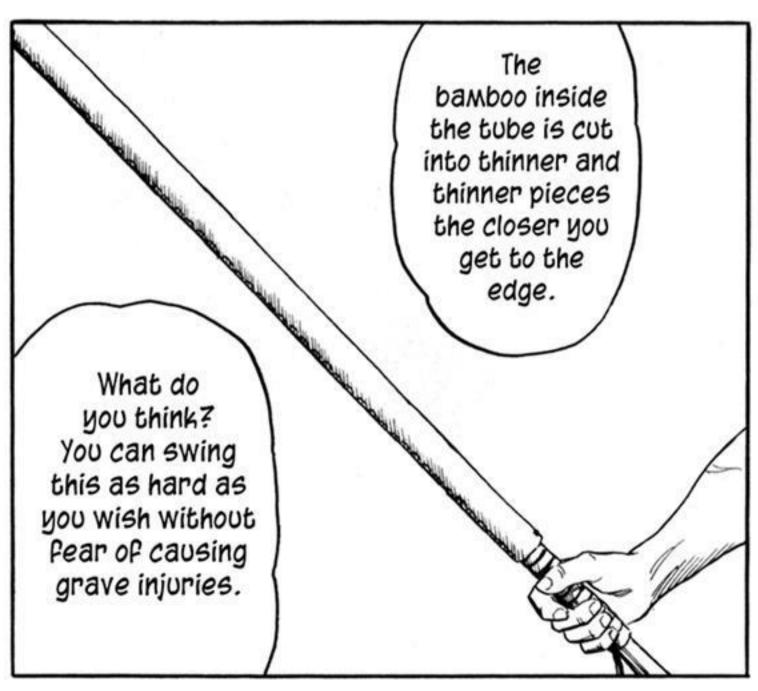




















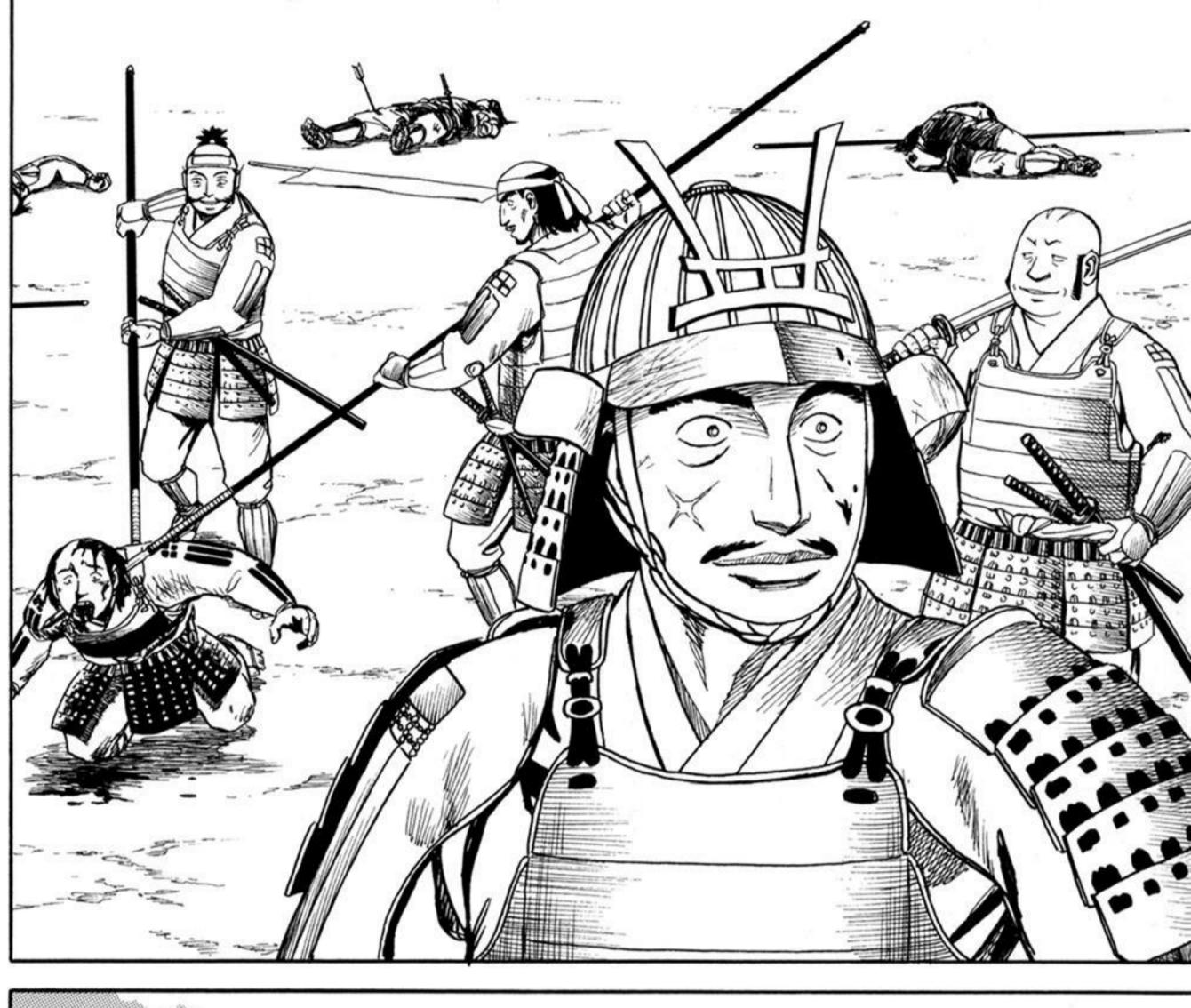
I doubt it can be very useful in training for true warfare.

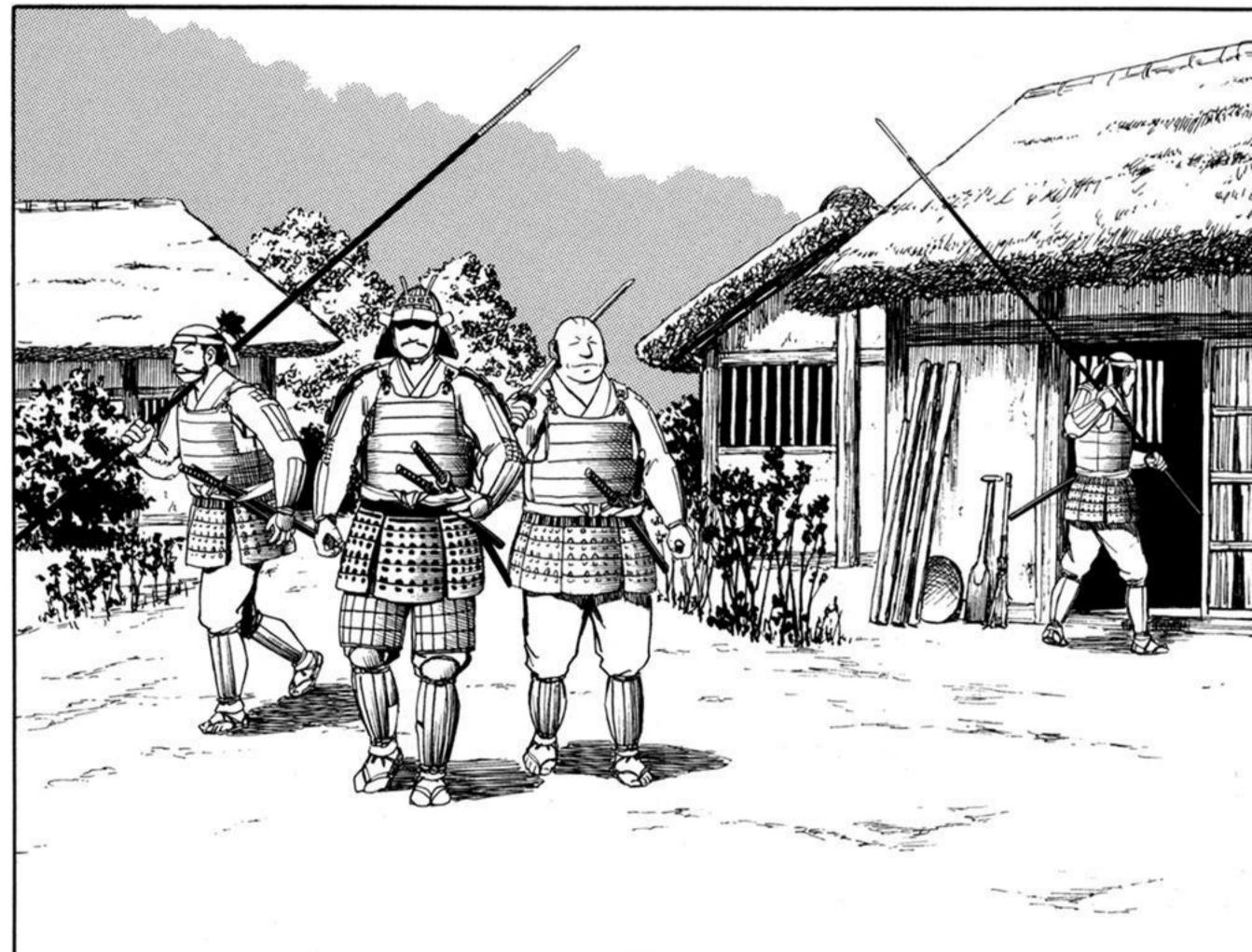
But this thing is... closer to a whip than a sword. It's far too light compared to an actual sword.





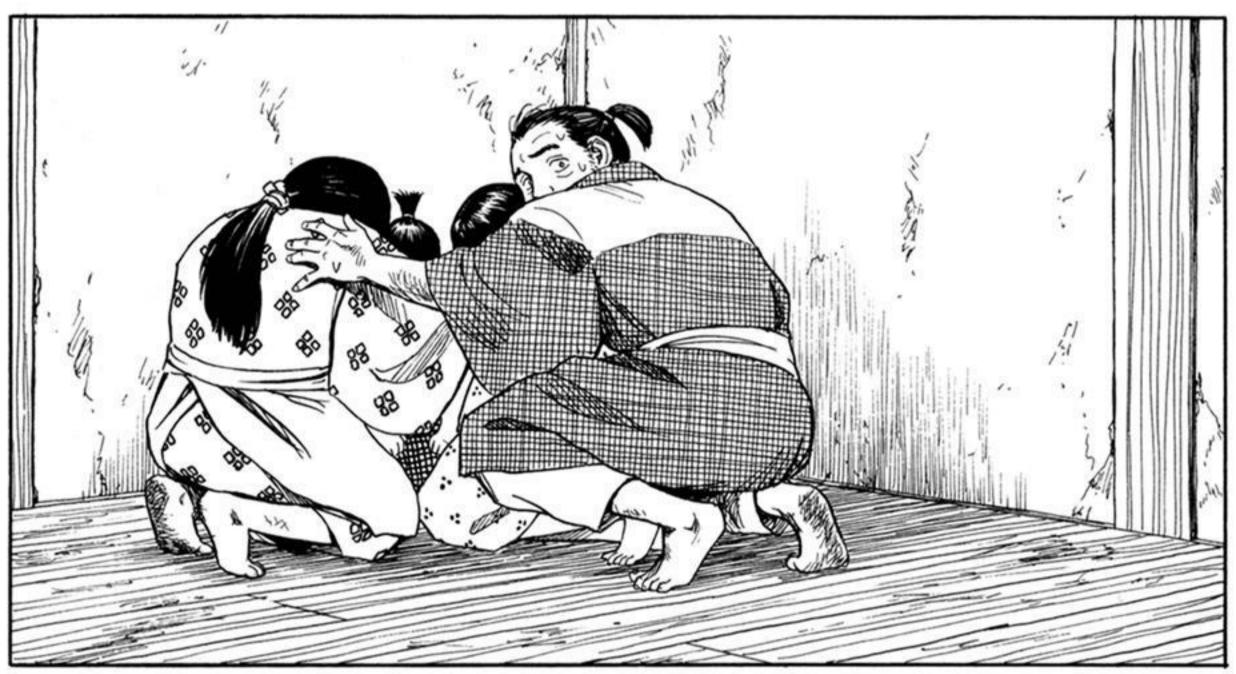


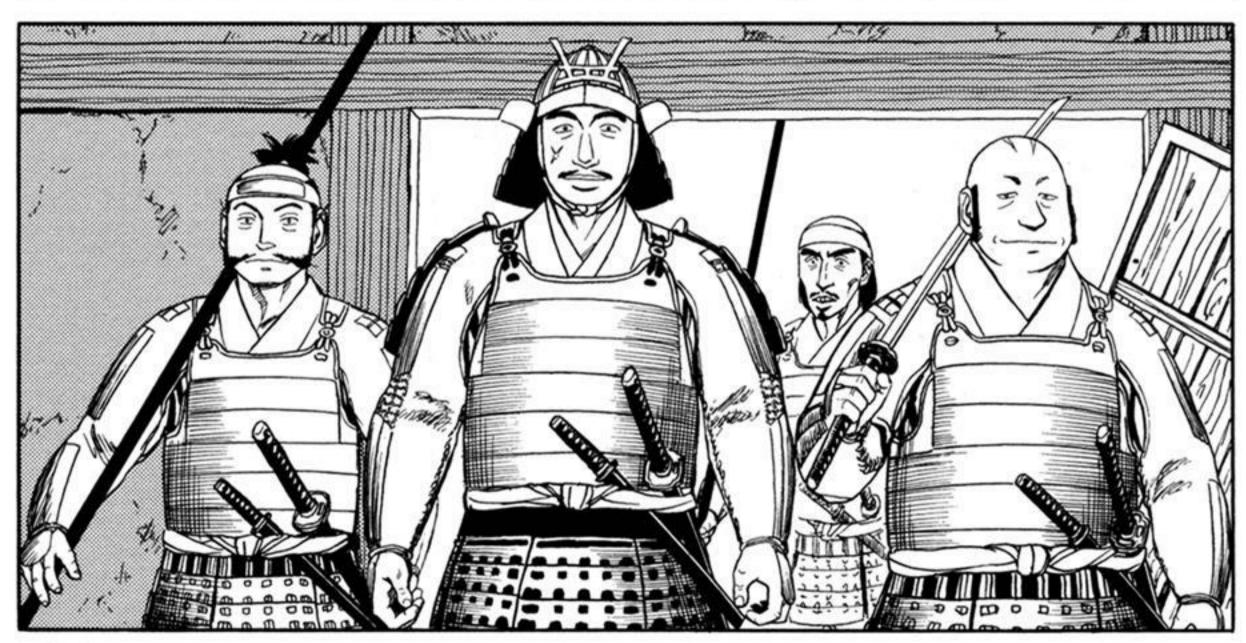














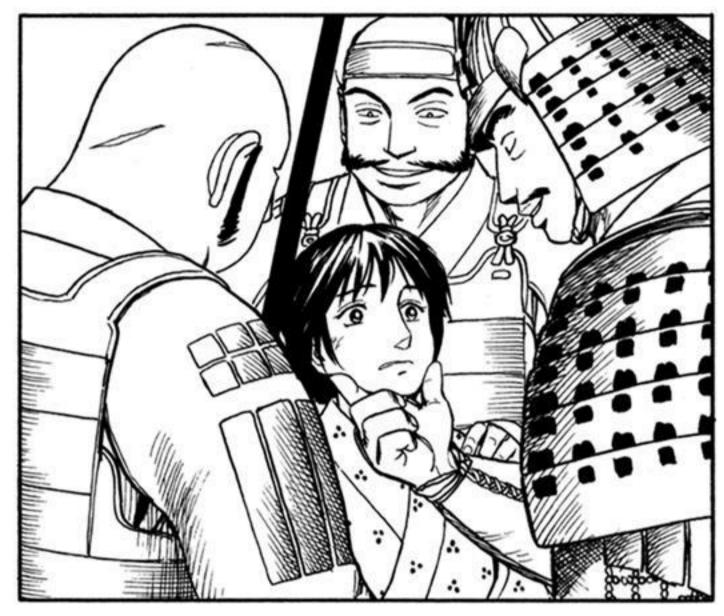




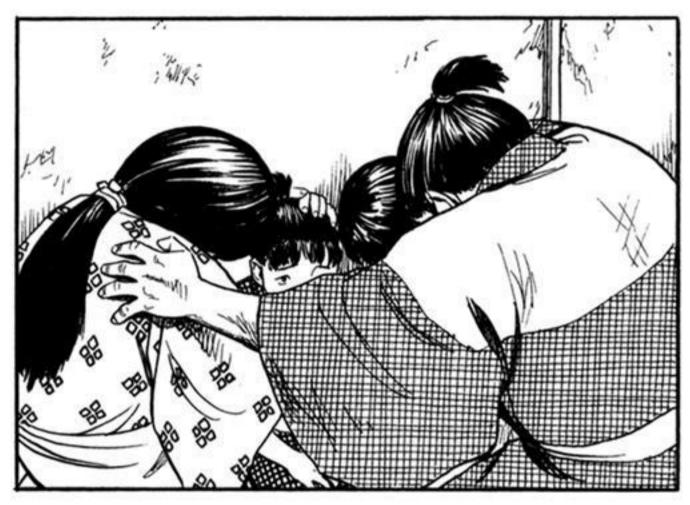


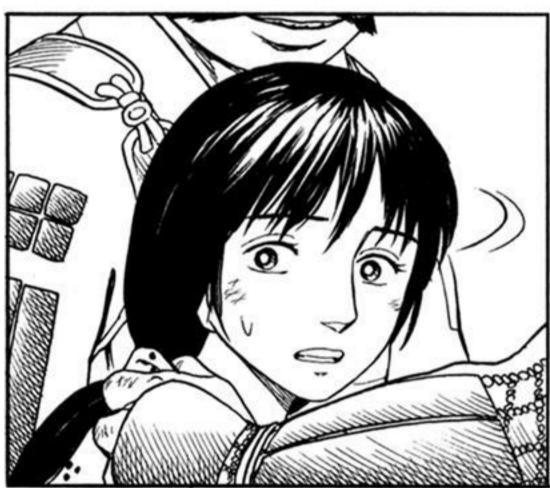




















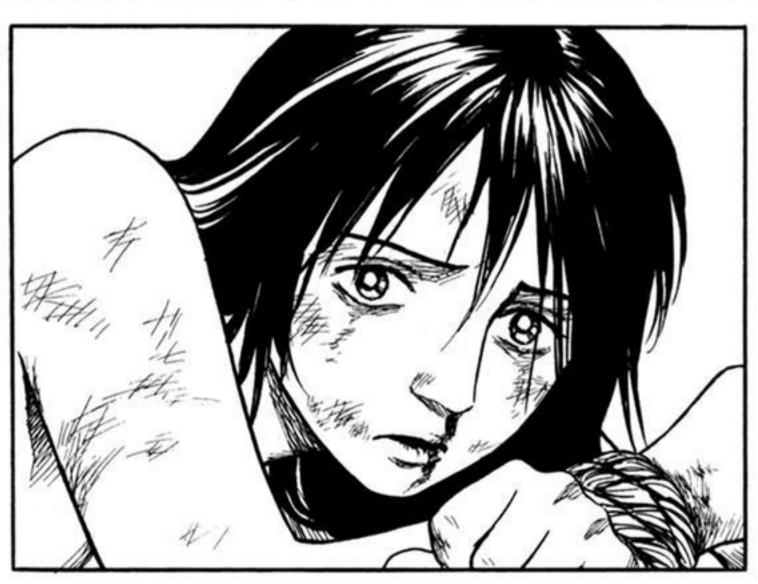


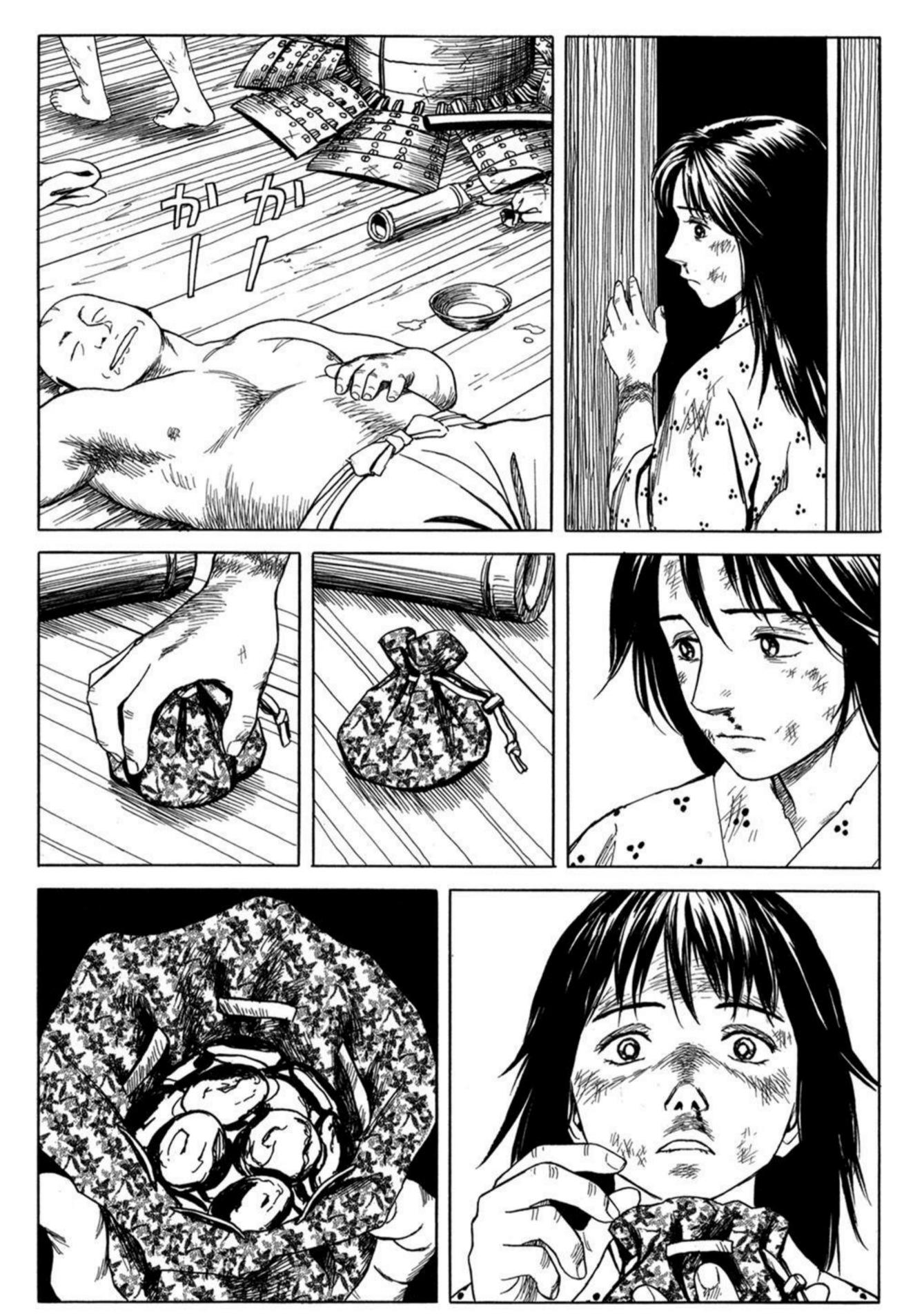










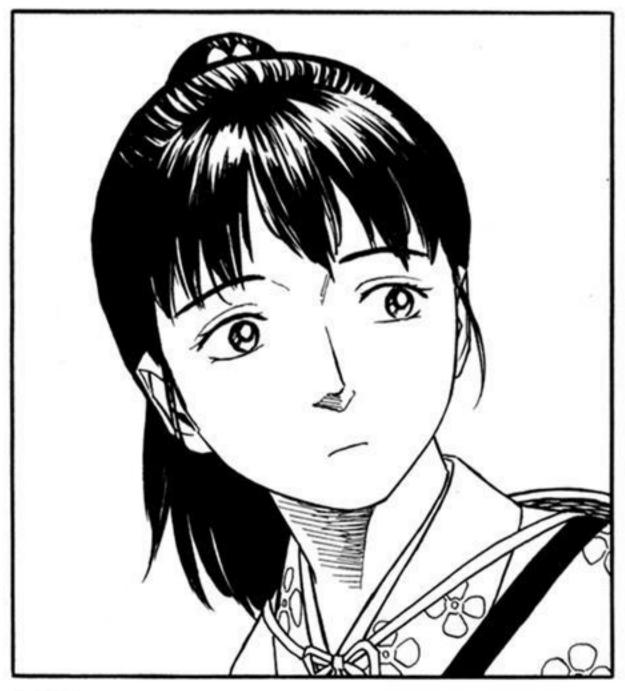














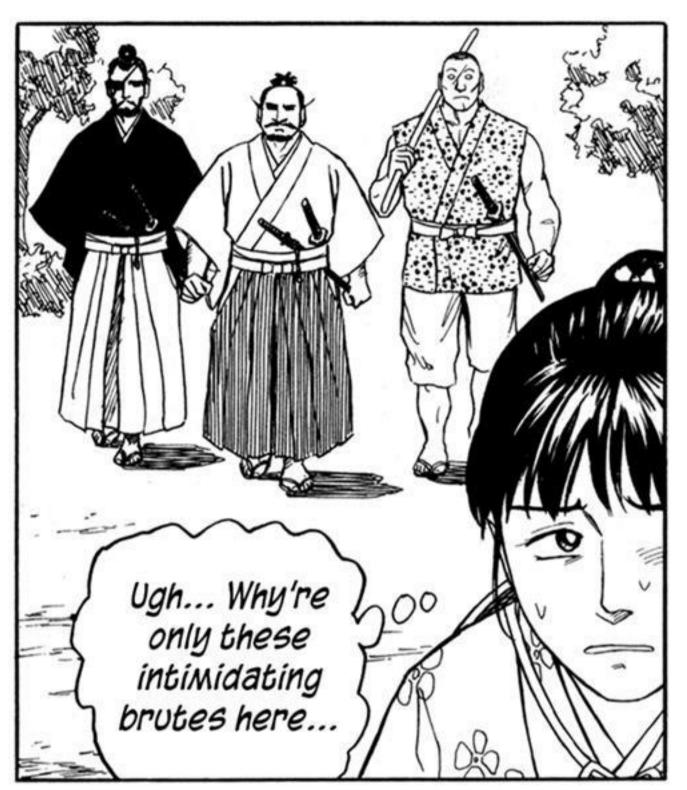












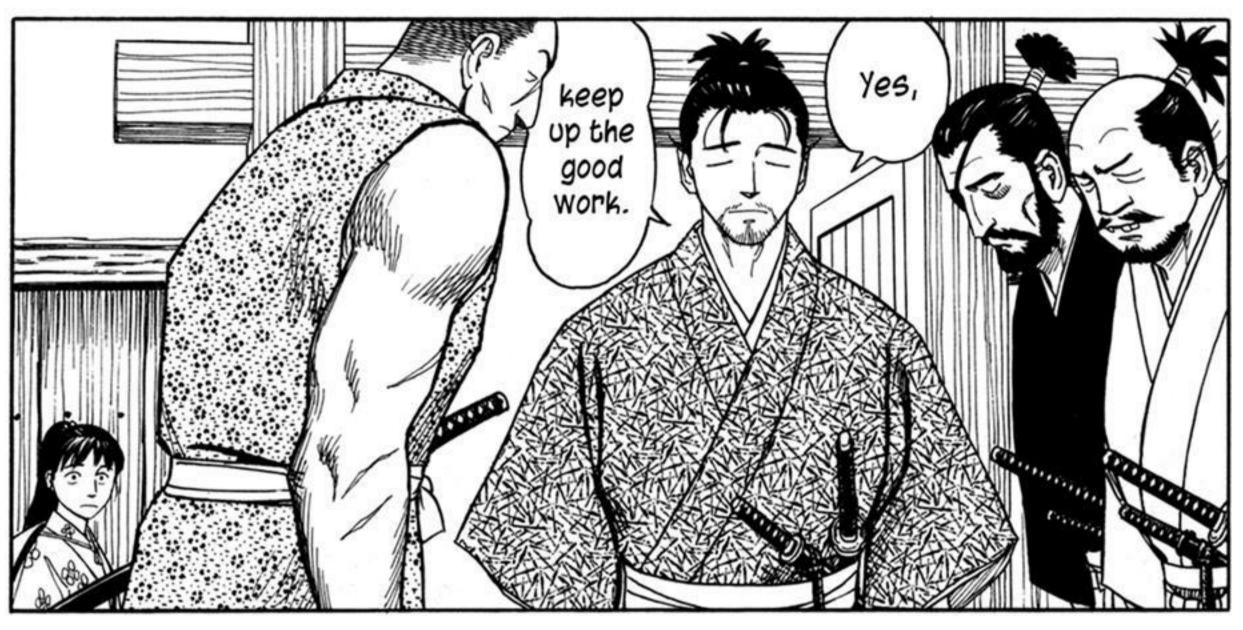


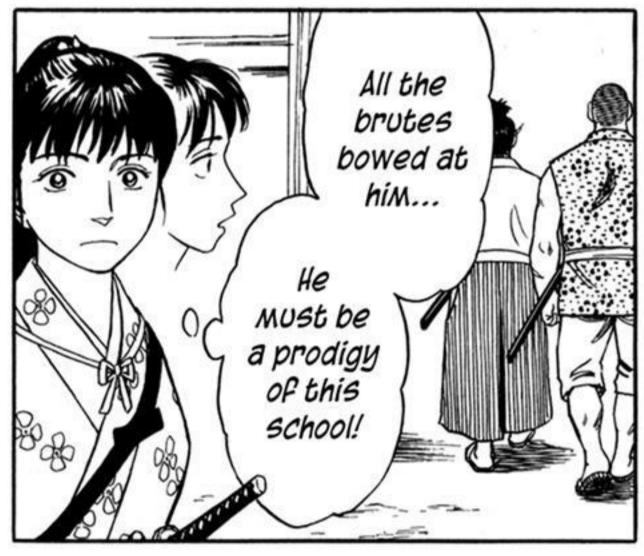








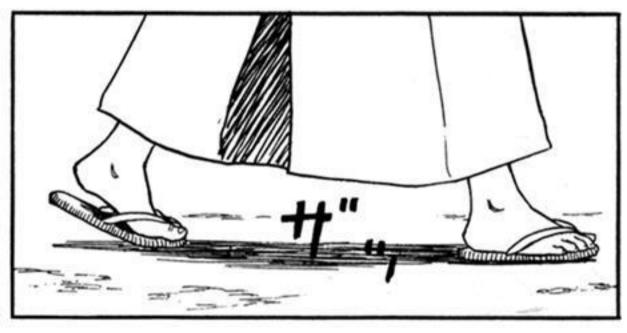




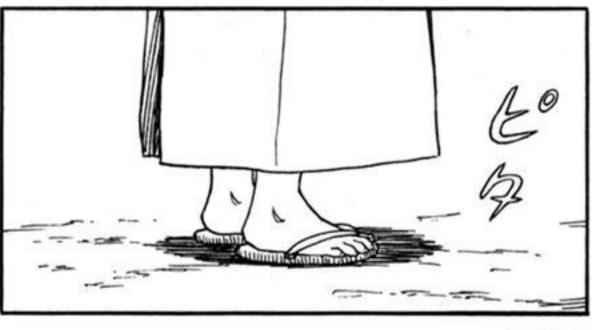




































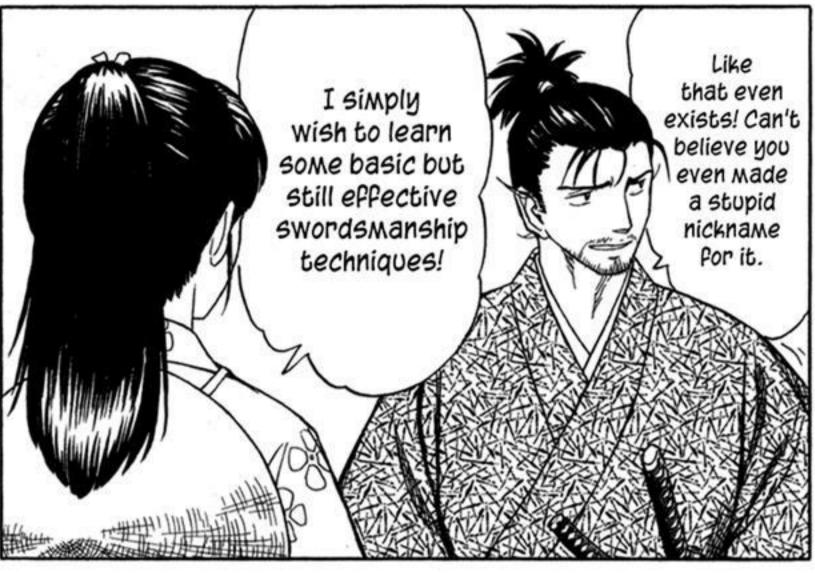






*-sama: respectful honorific, usually for those of higher social standing than the speaker











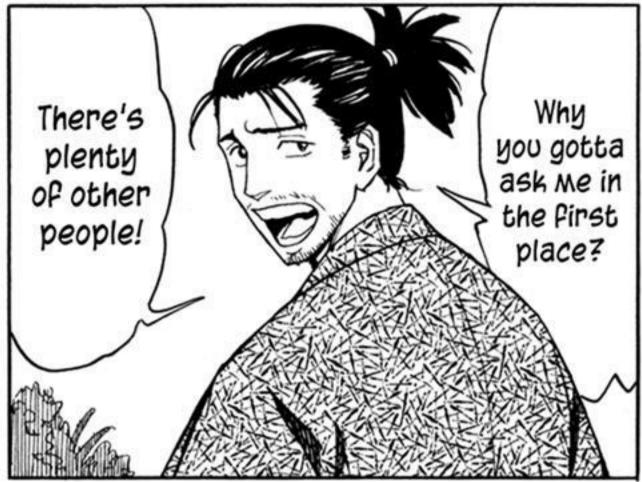
*Gold coins used in the Sengoku period whose shape resembled stone pieces in go (go-ishi), hence the name goishikin (kin means gold)



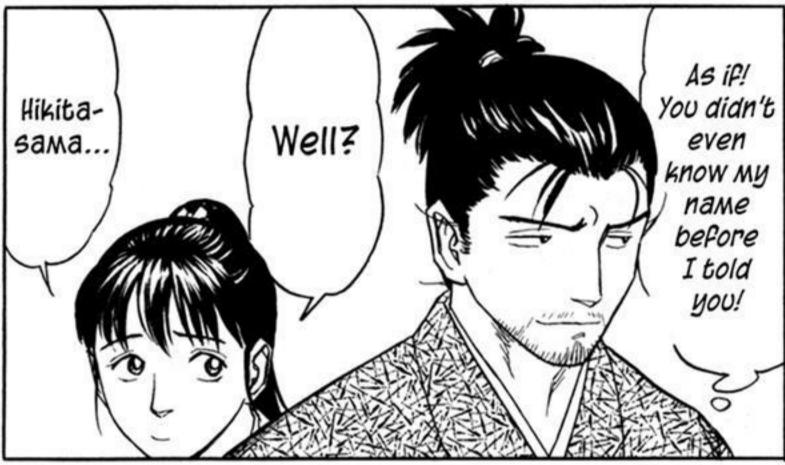
















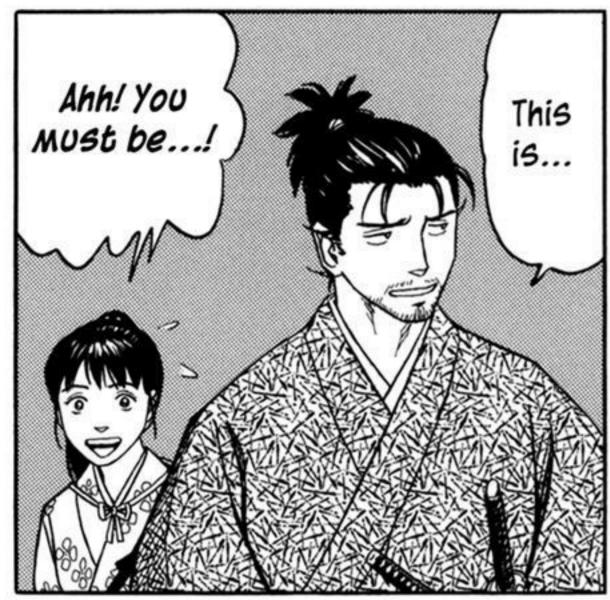




























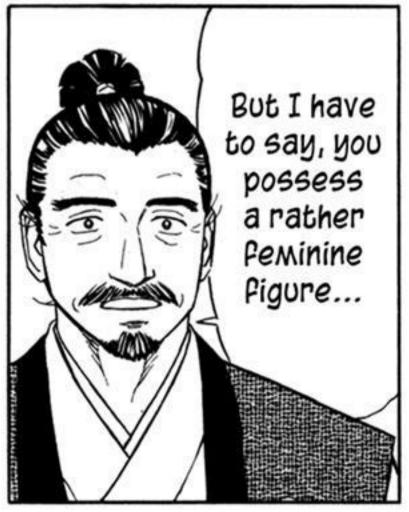








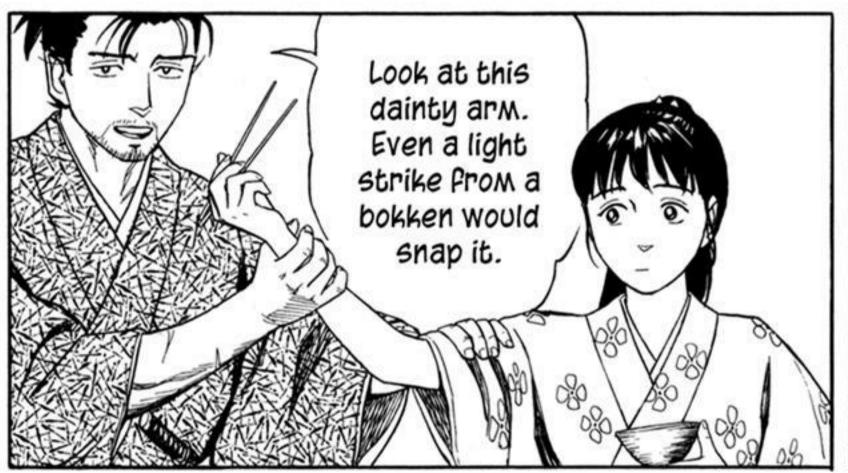










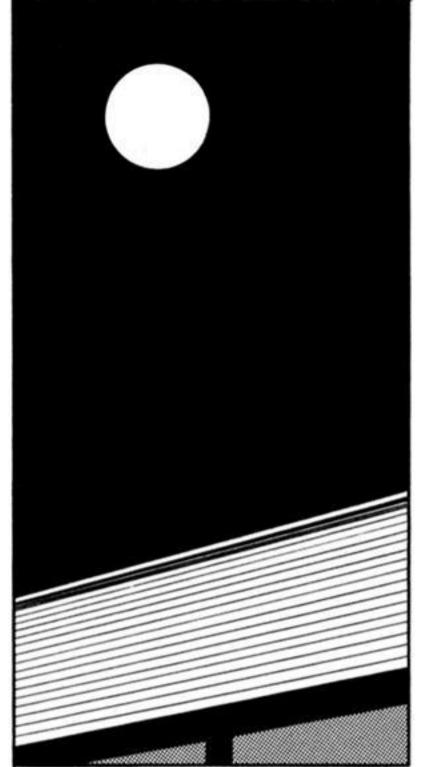












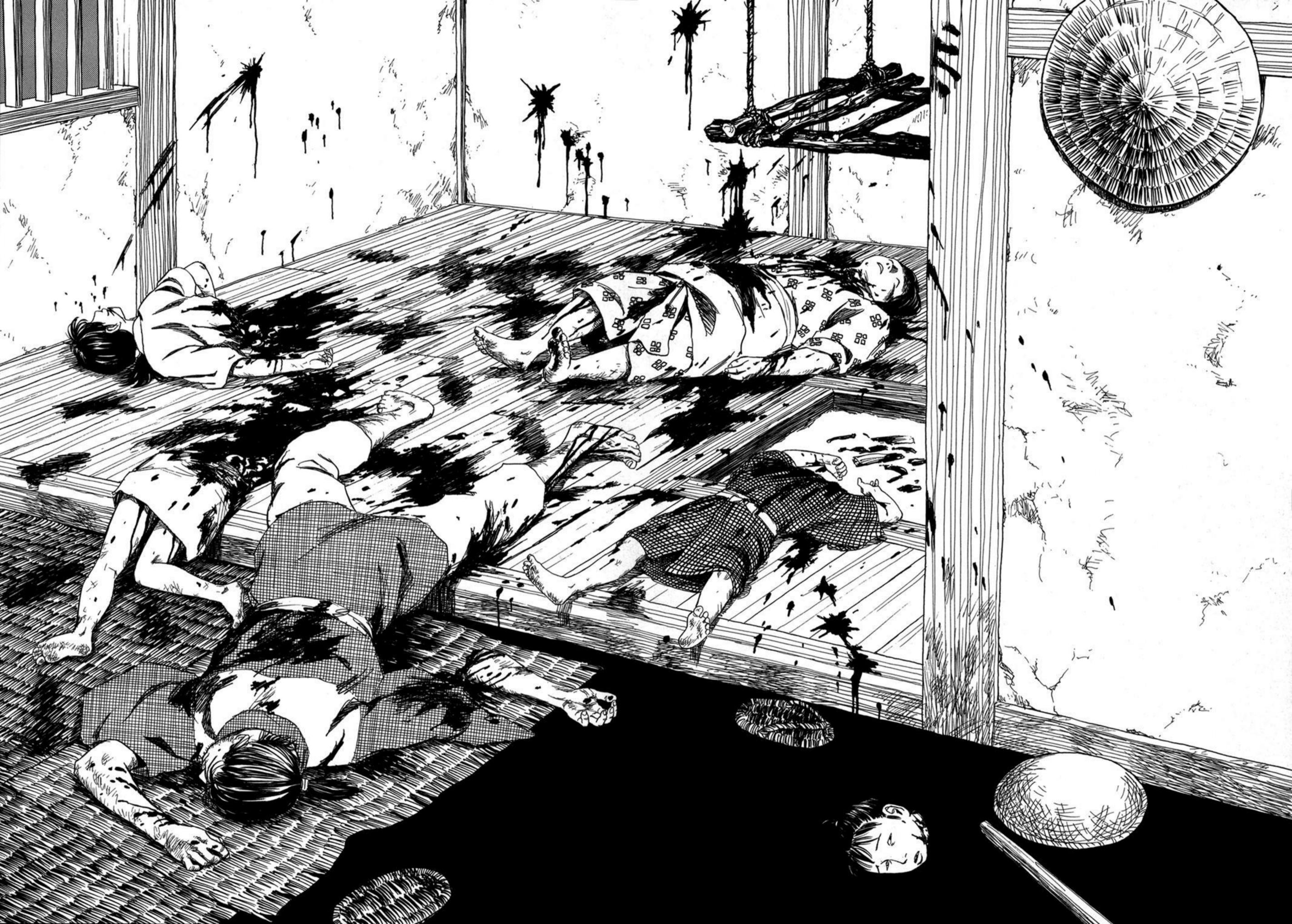


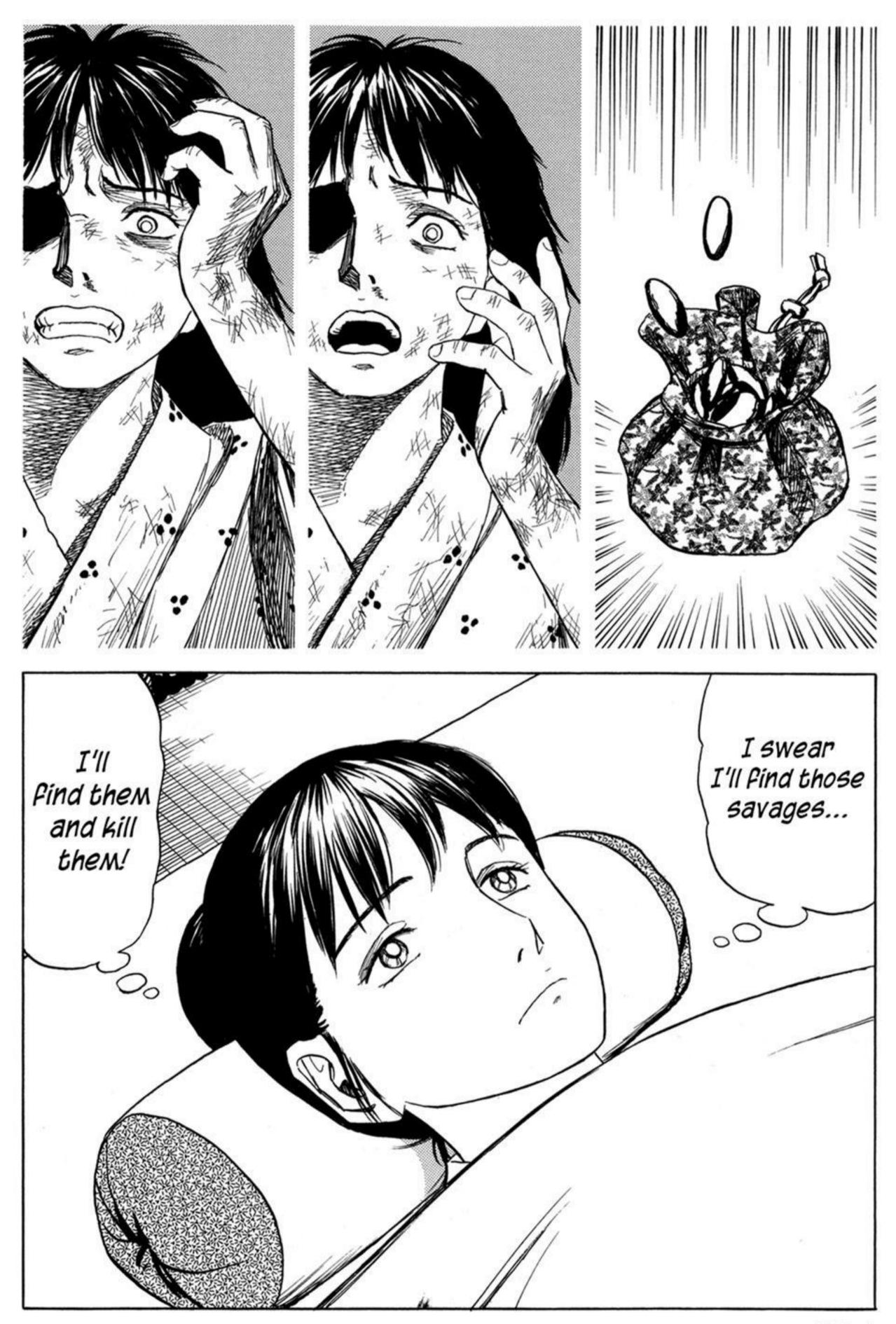








































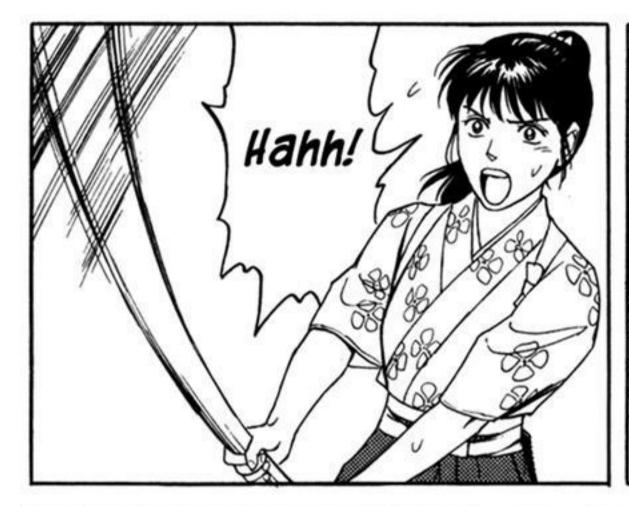




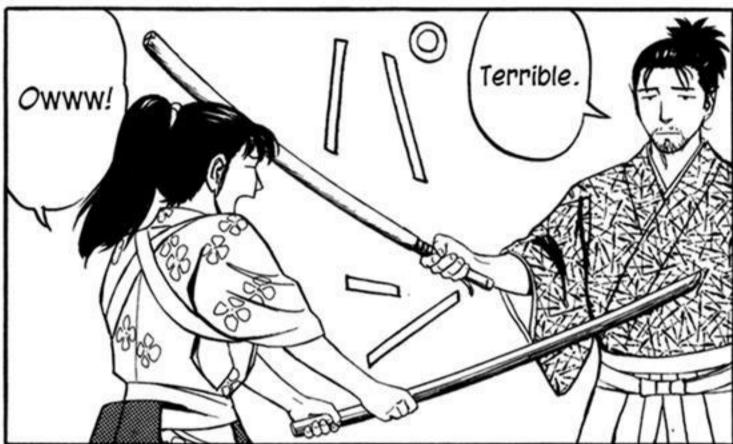


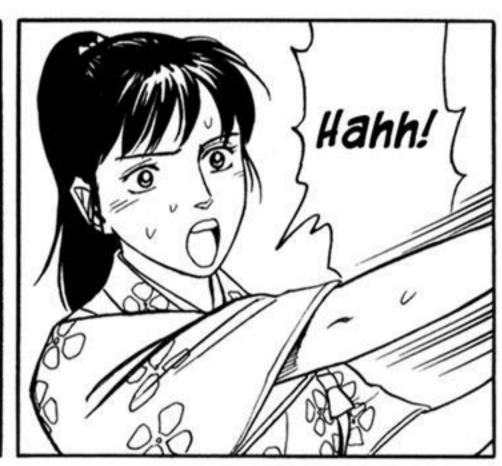


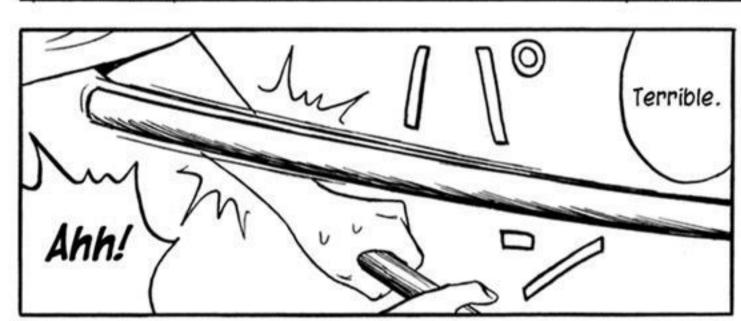


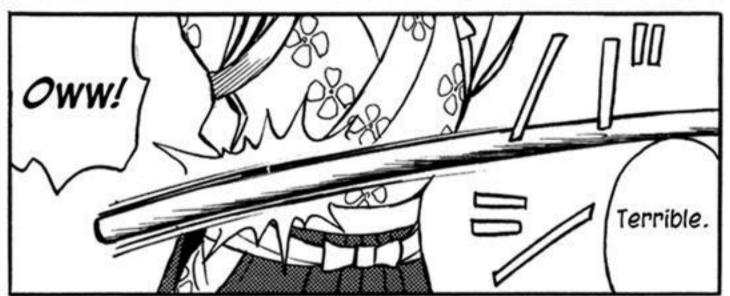




























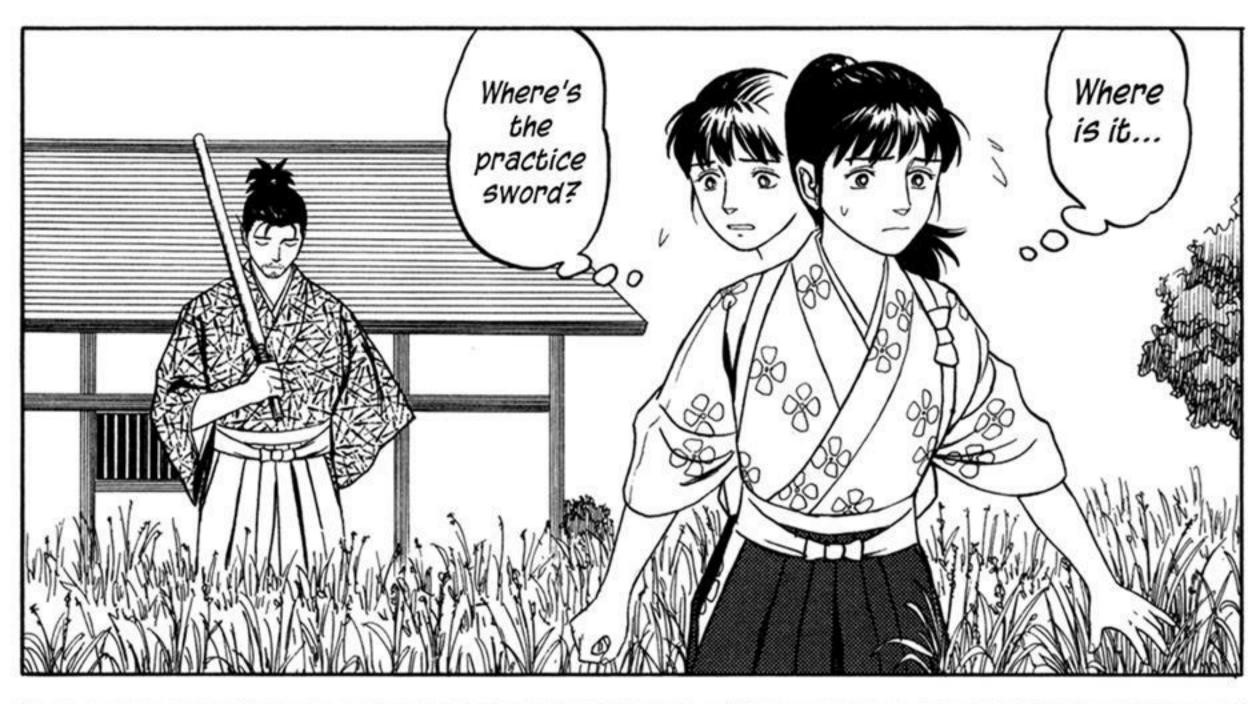














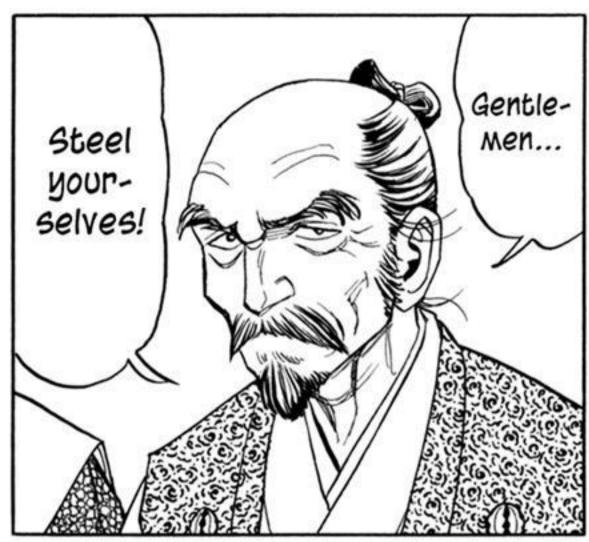


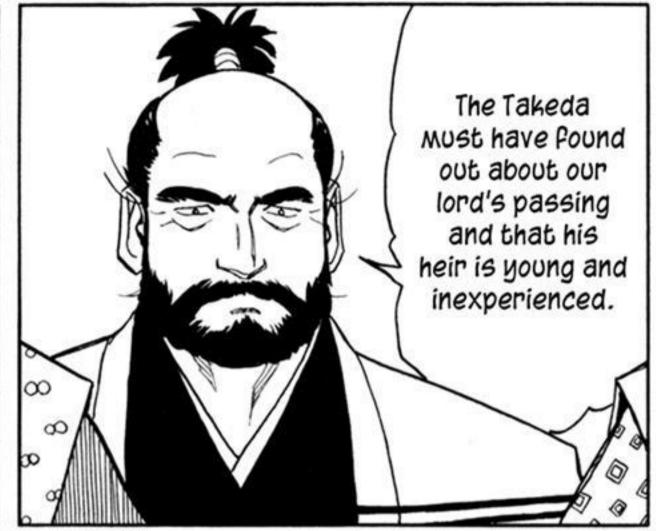


































Well, we'd
of course have
to follow master
Kamiizumi into
battle along with
the Nagano clan
in defense of
Minowa...

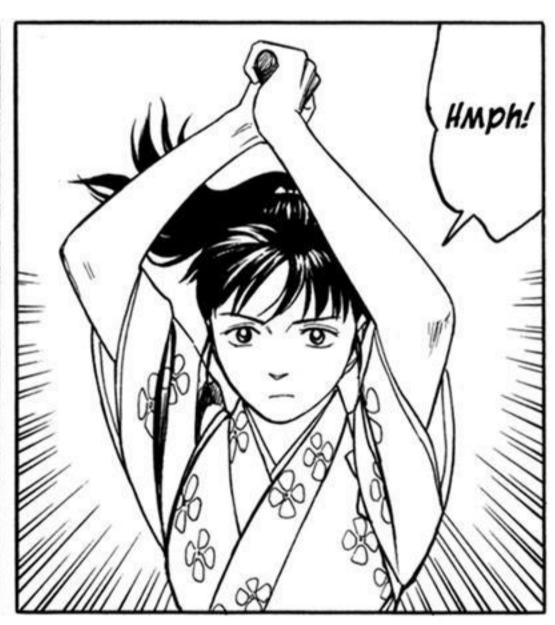


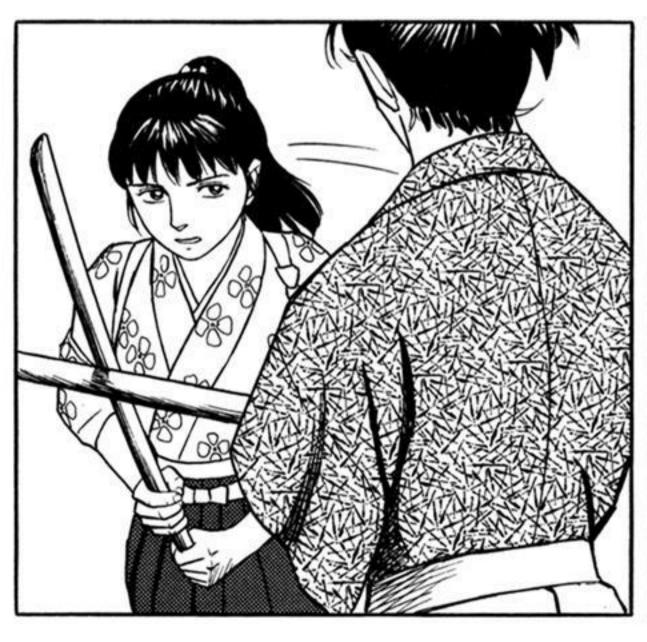






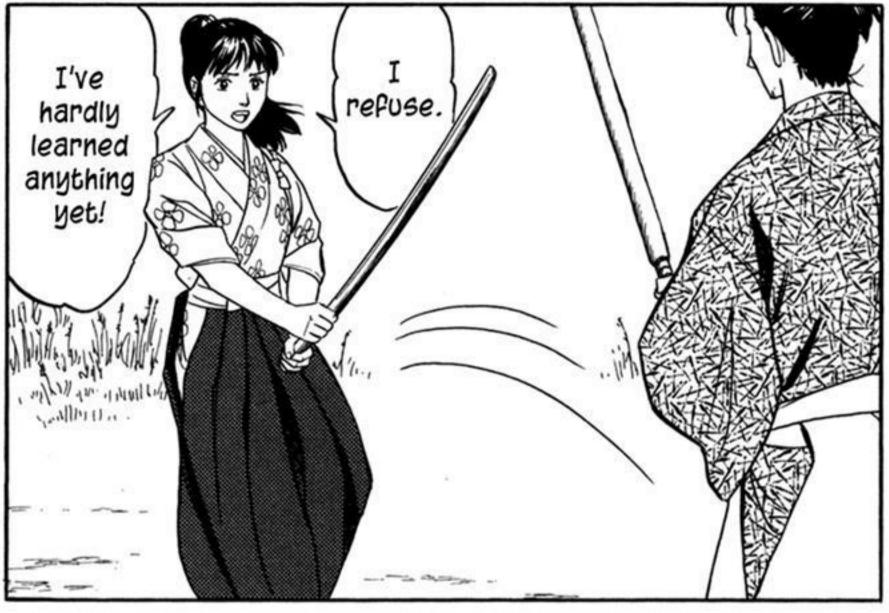






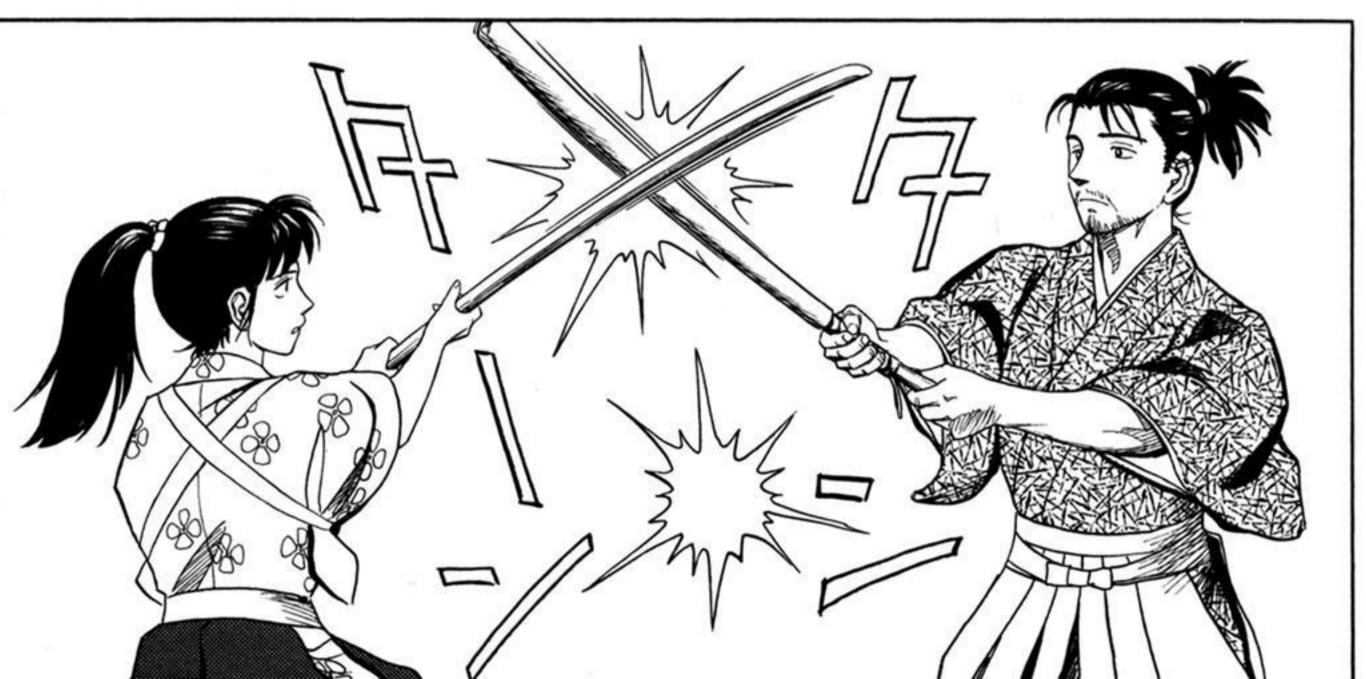














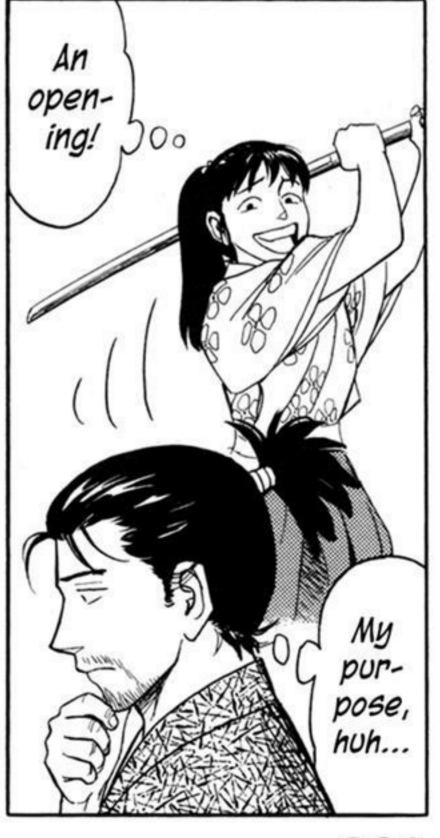


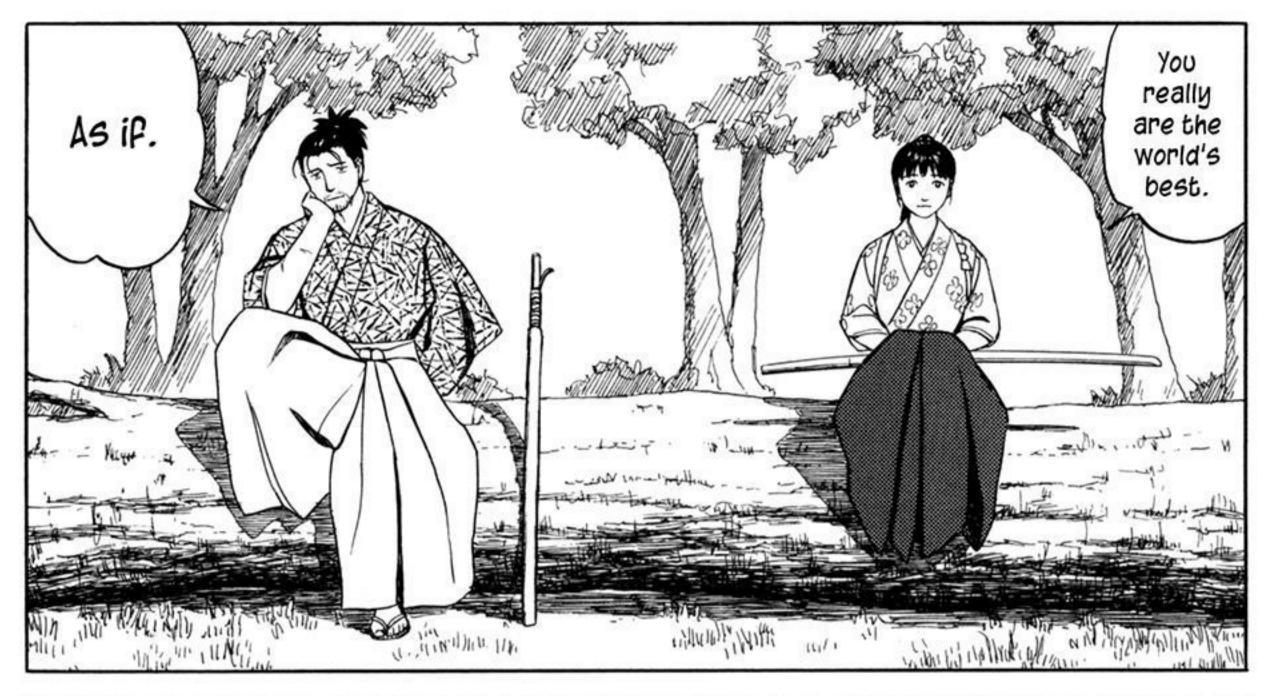


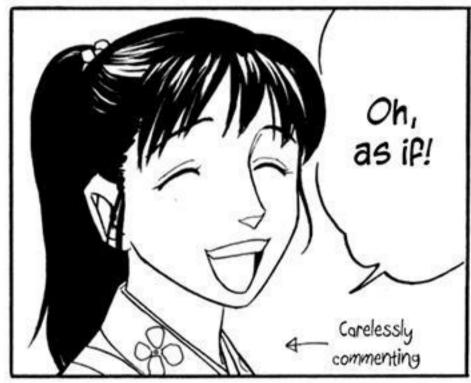




















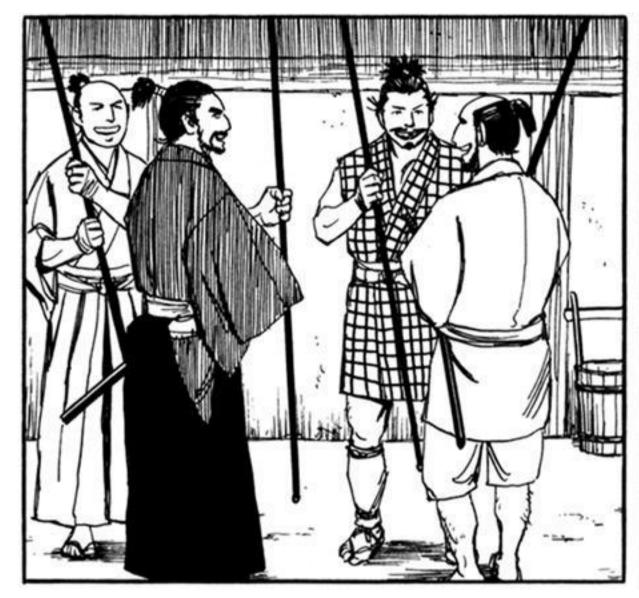




Mt. Haruna







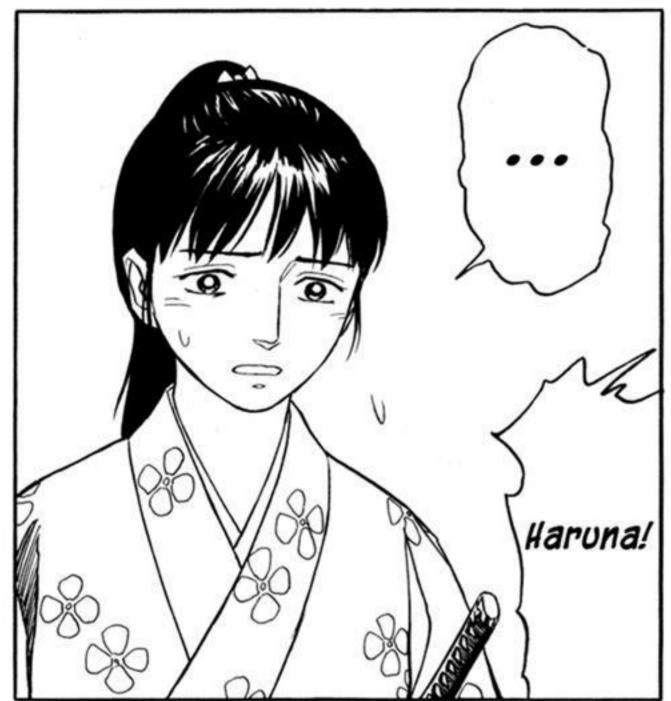






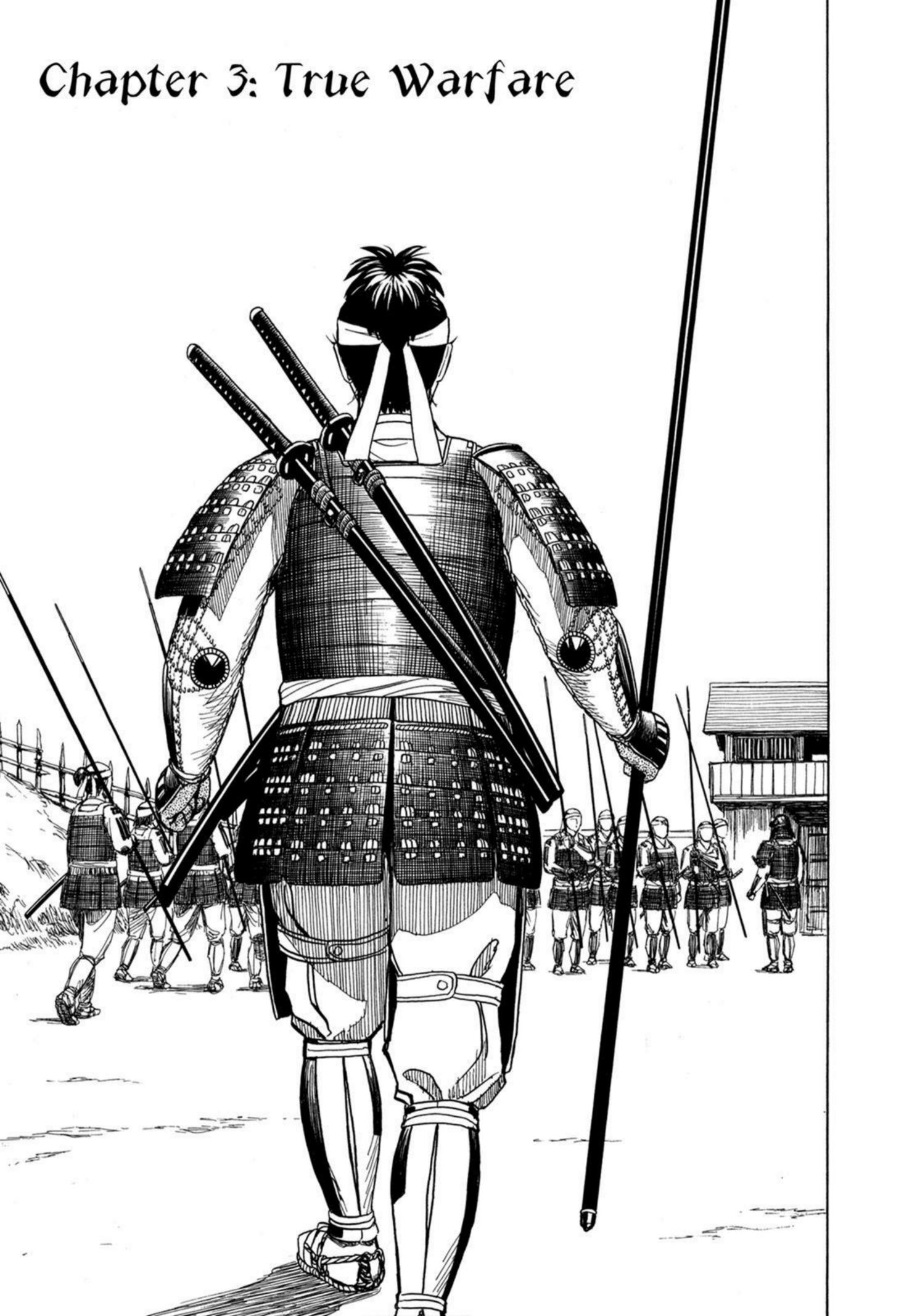






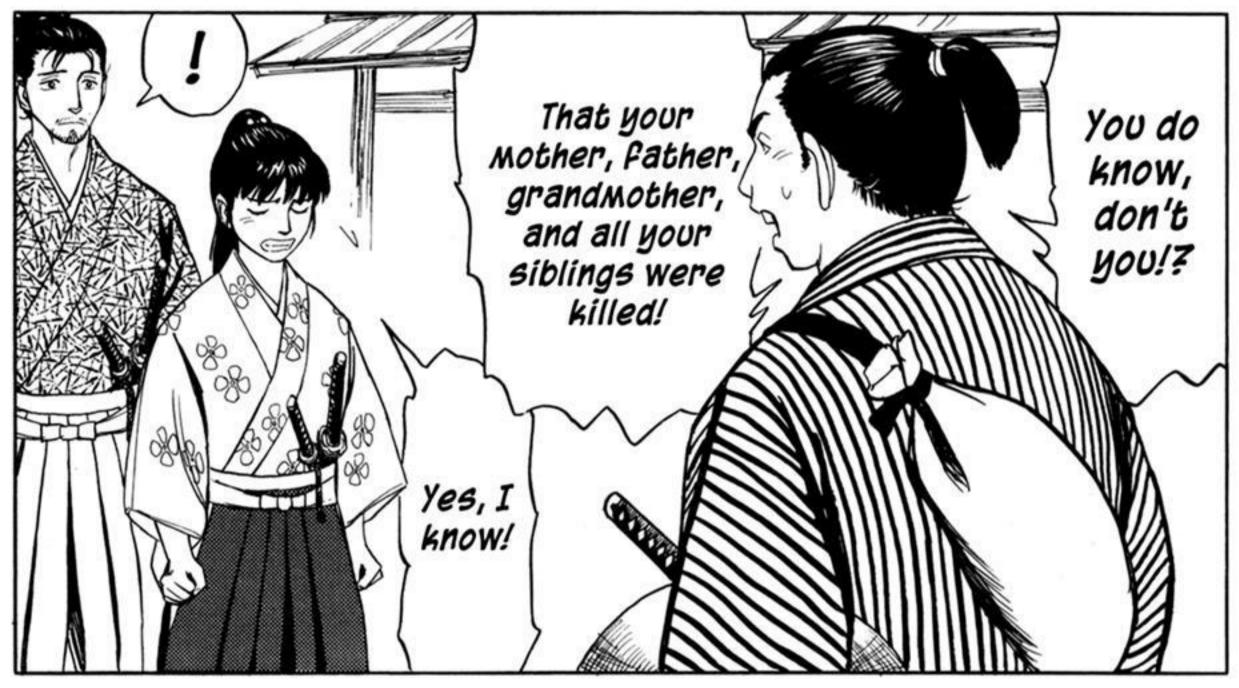


































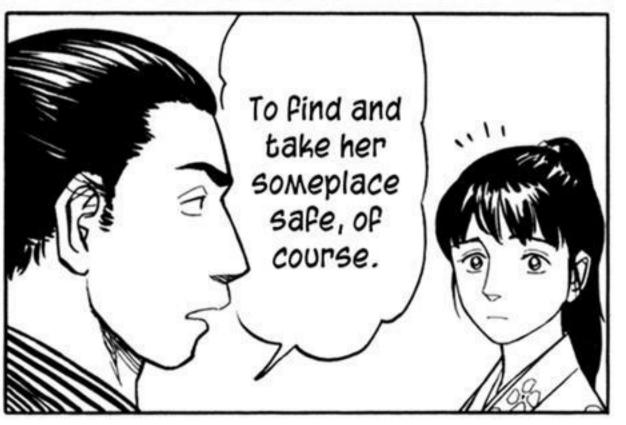


















*Commoners in feudal Japan usually did not have surnames

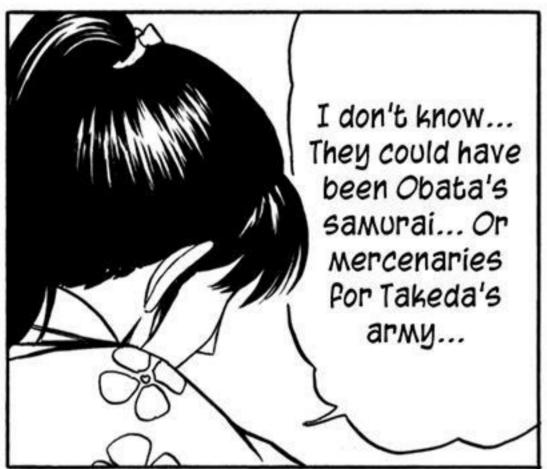


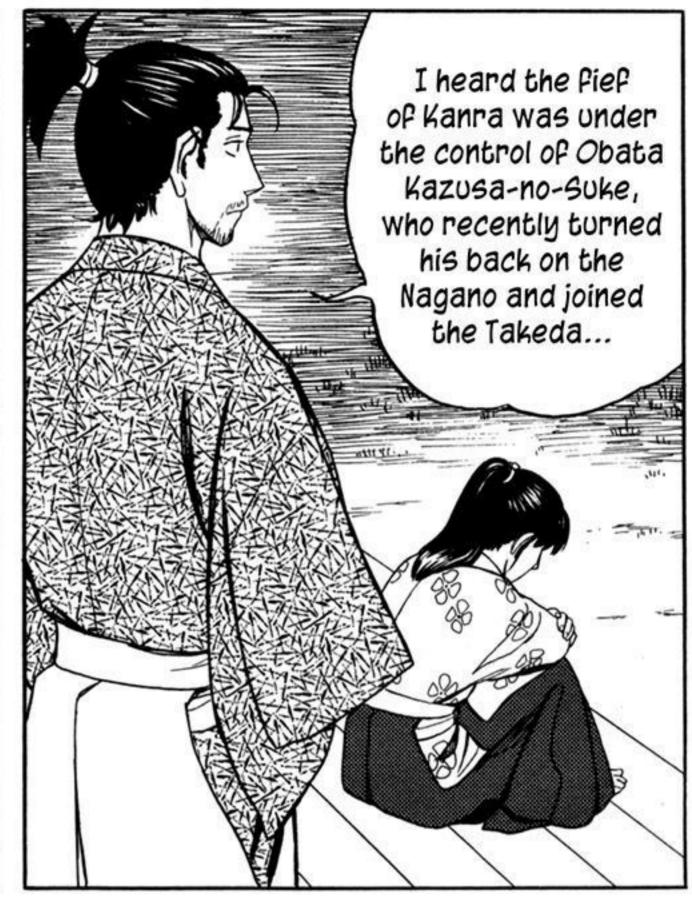






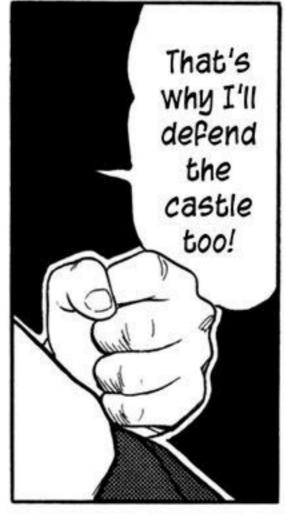
















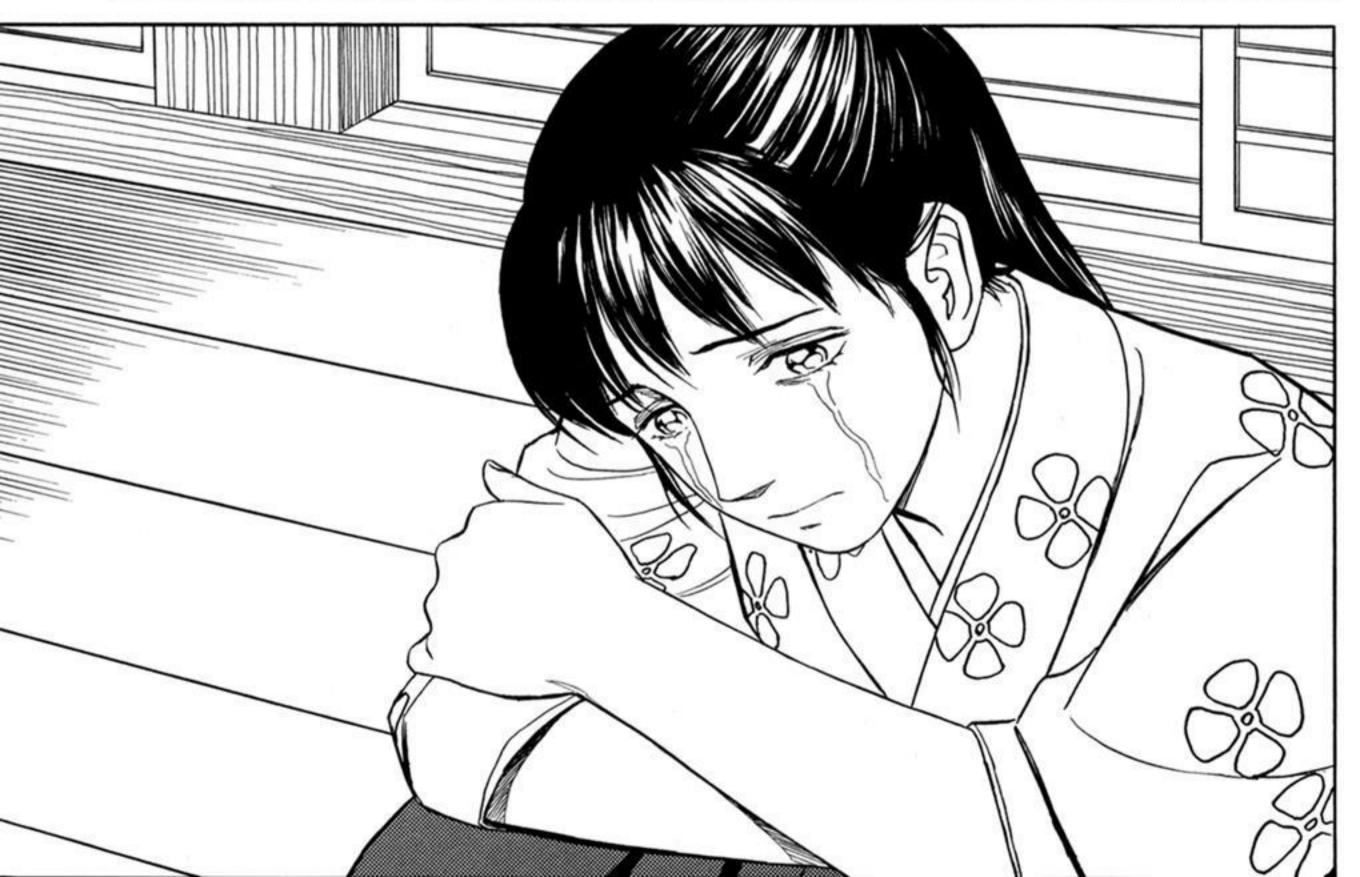


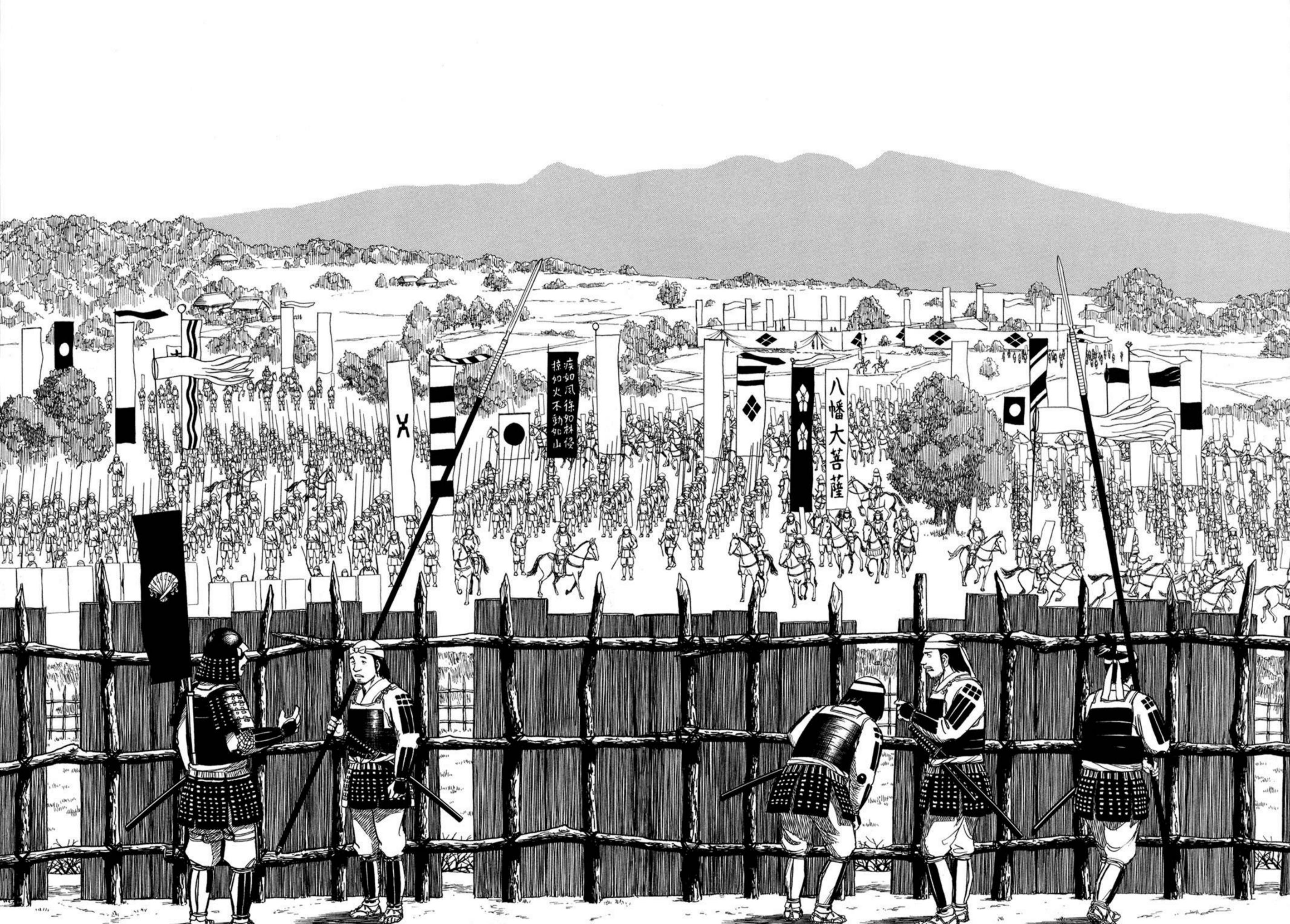






















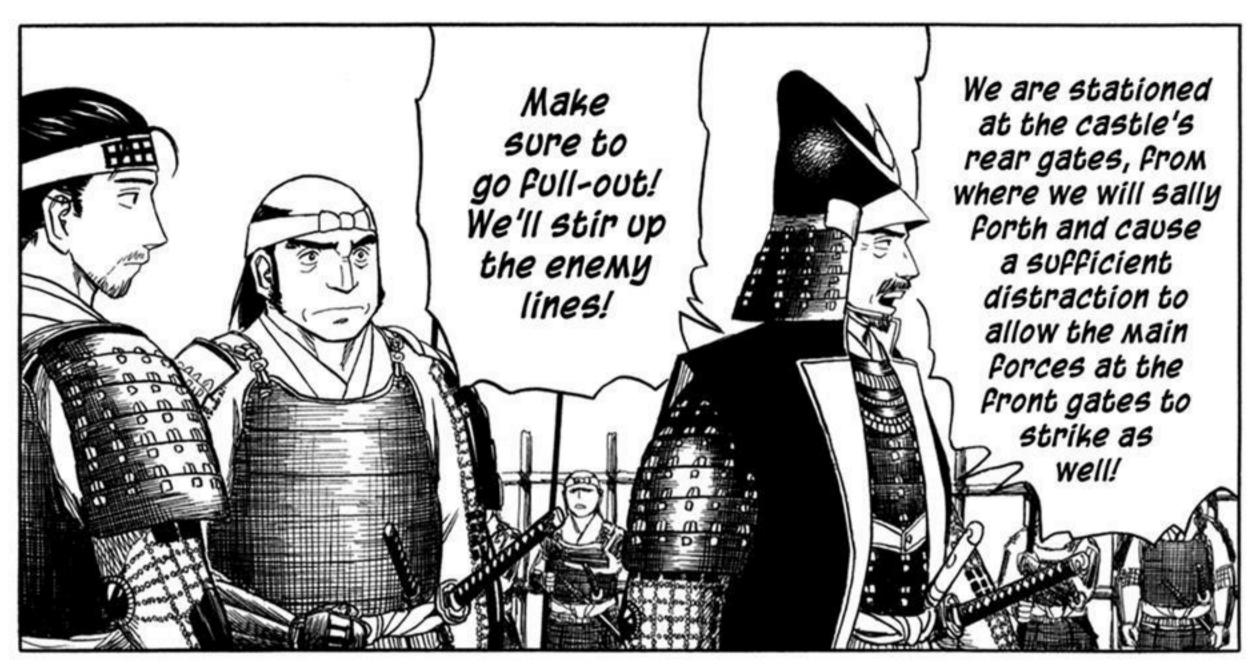










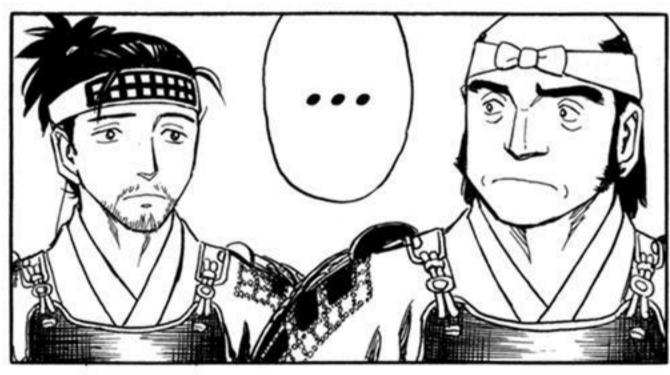


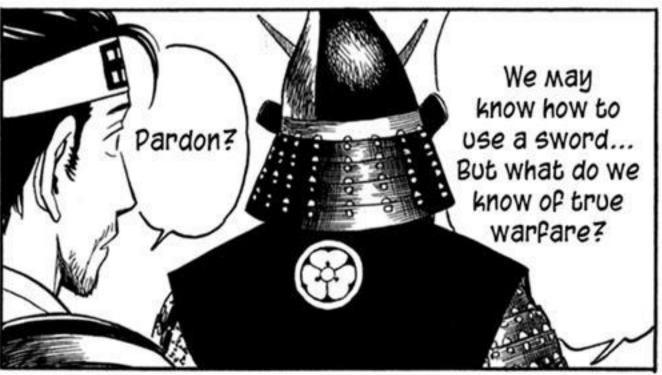










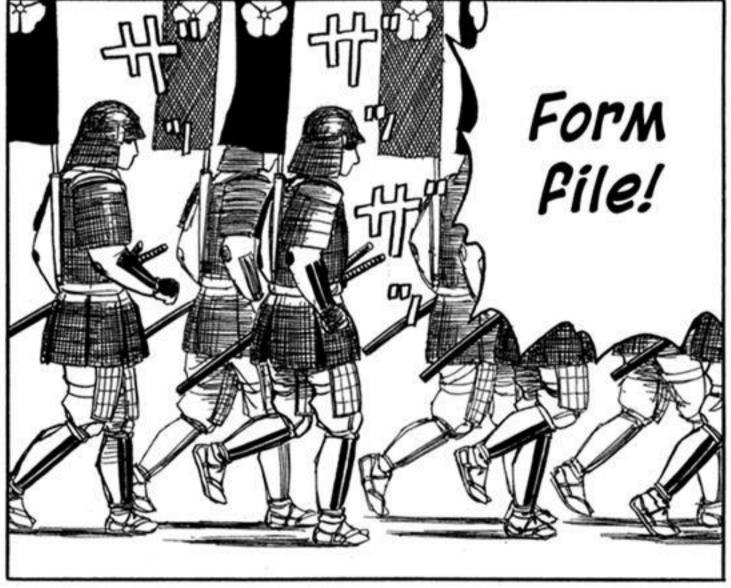






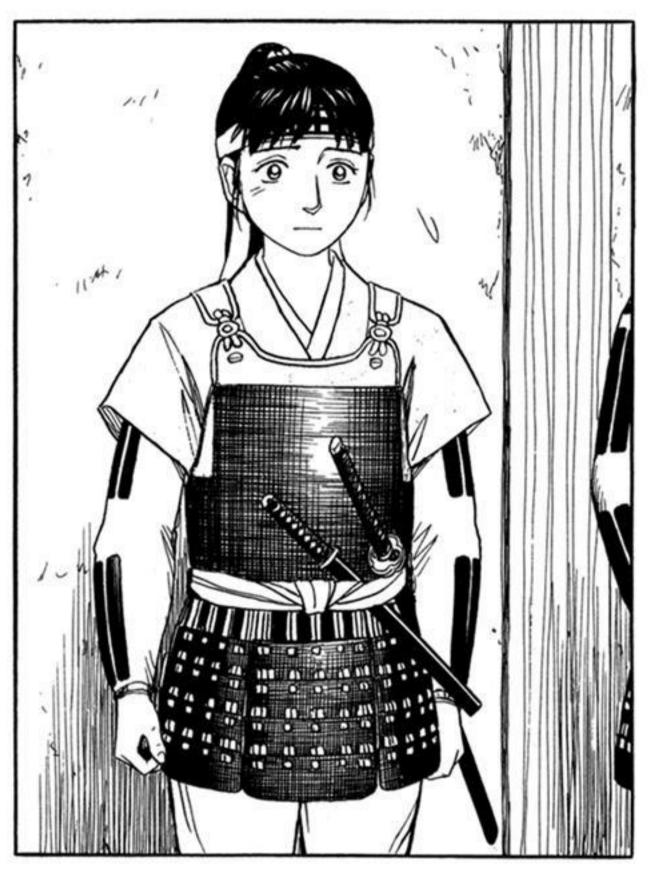












































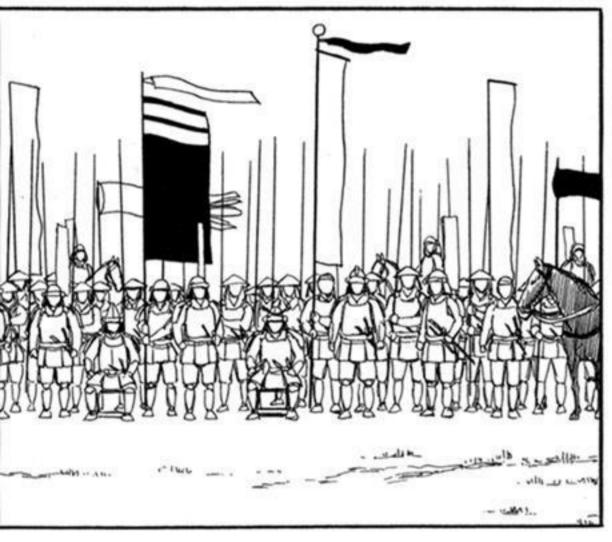


































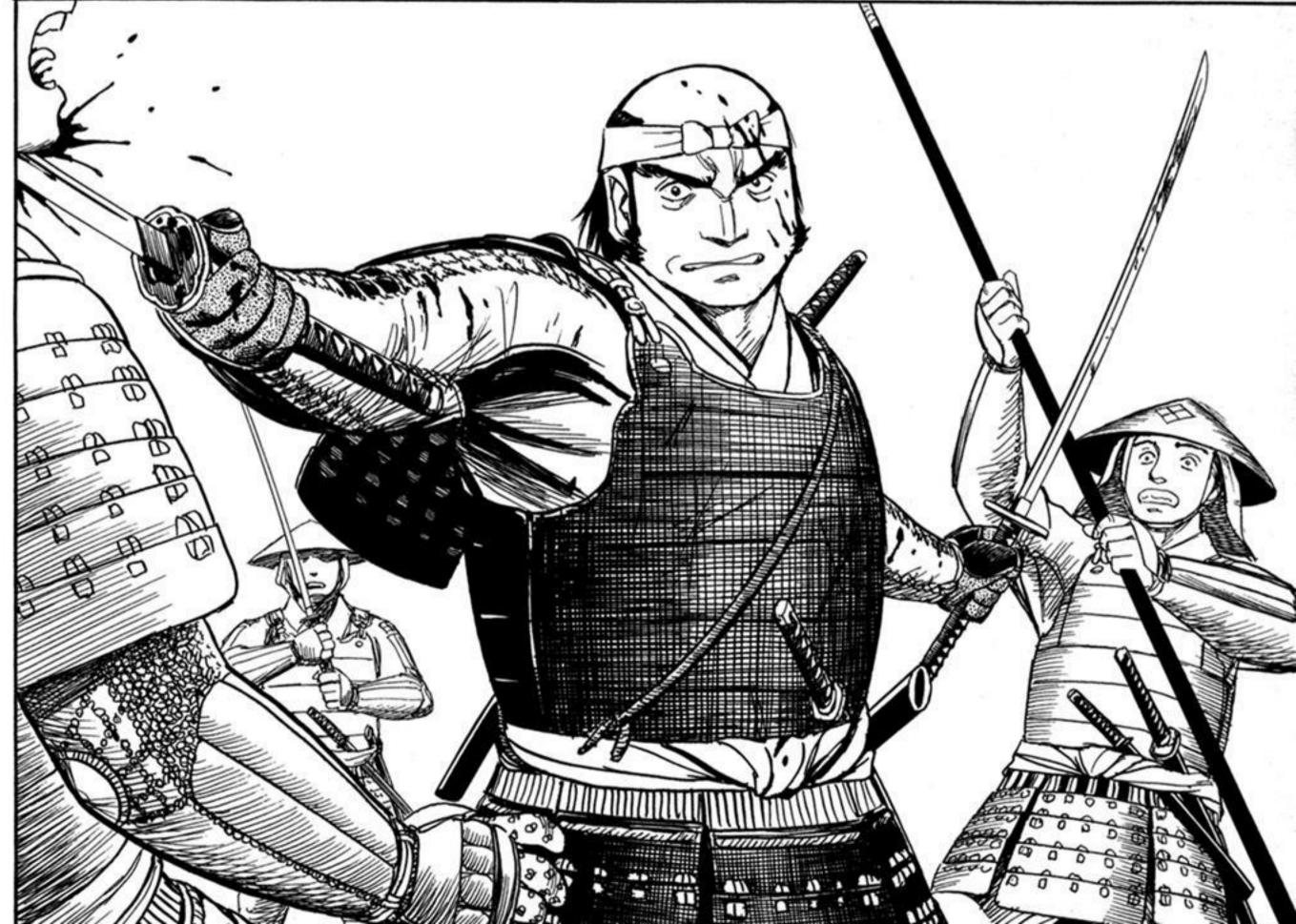
















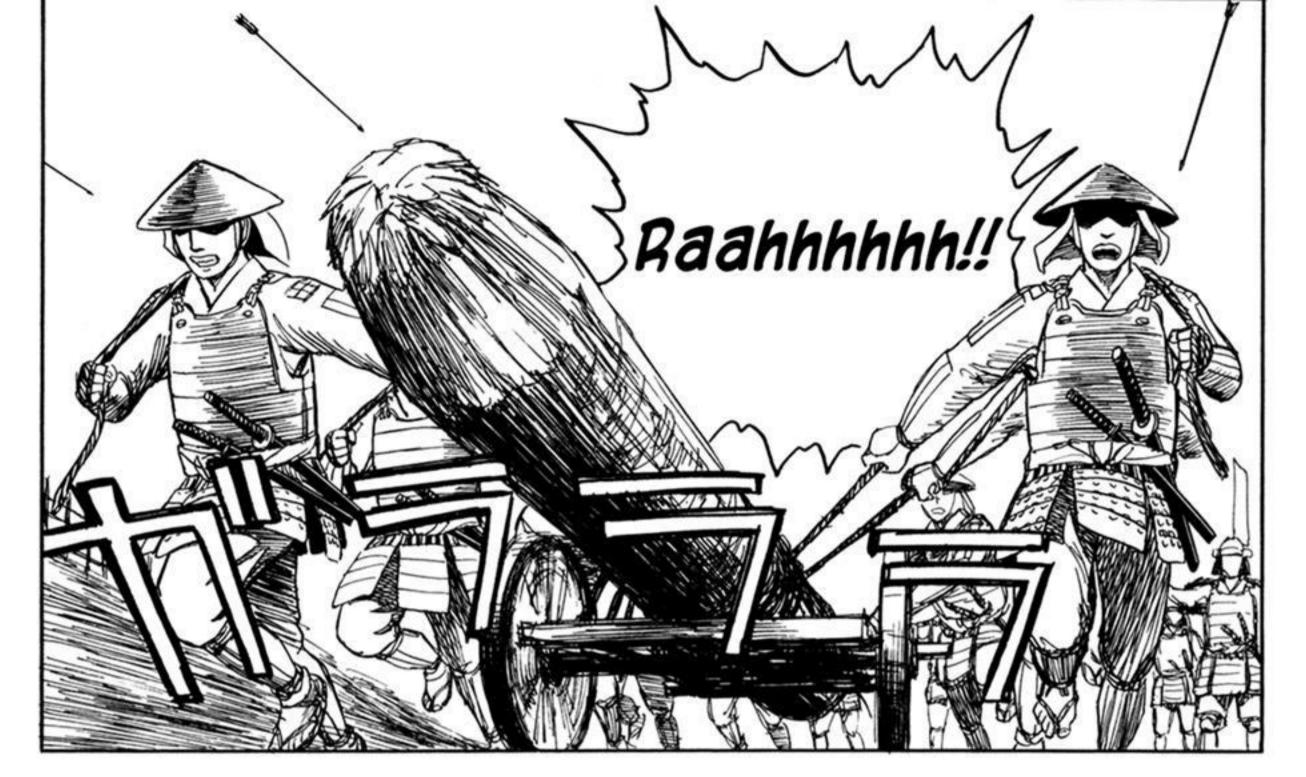


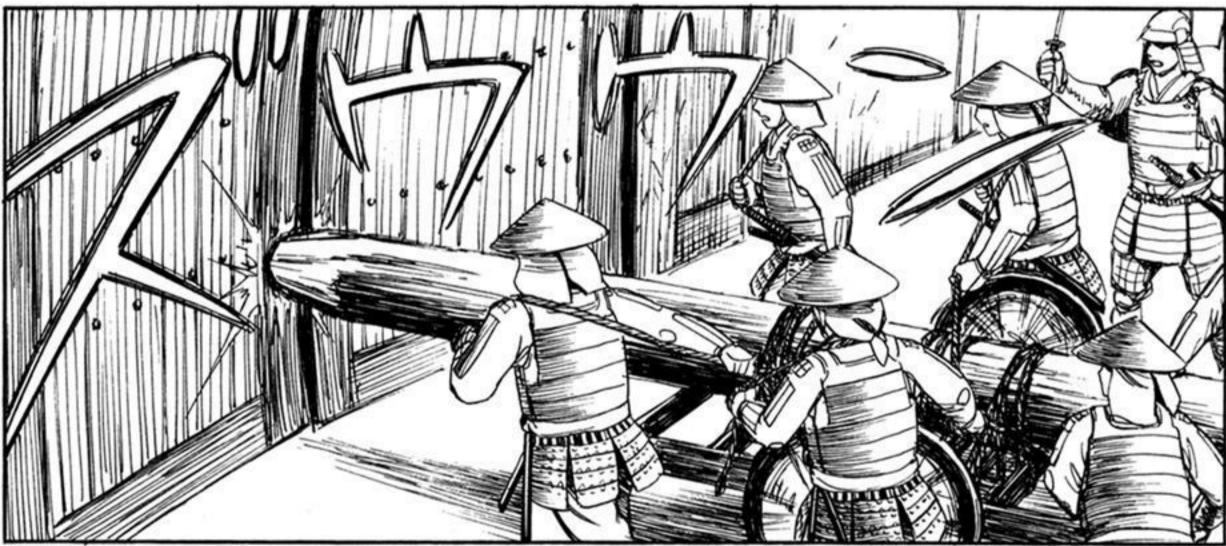










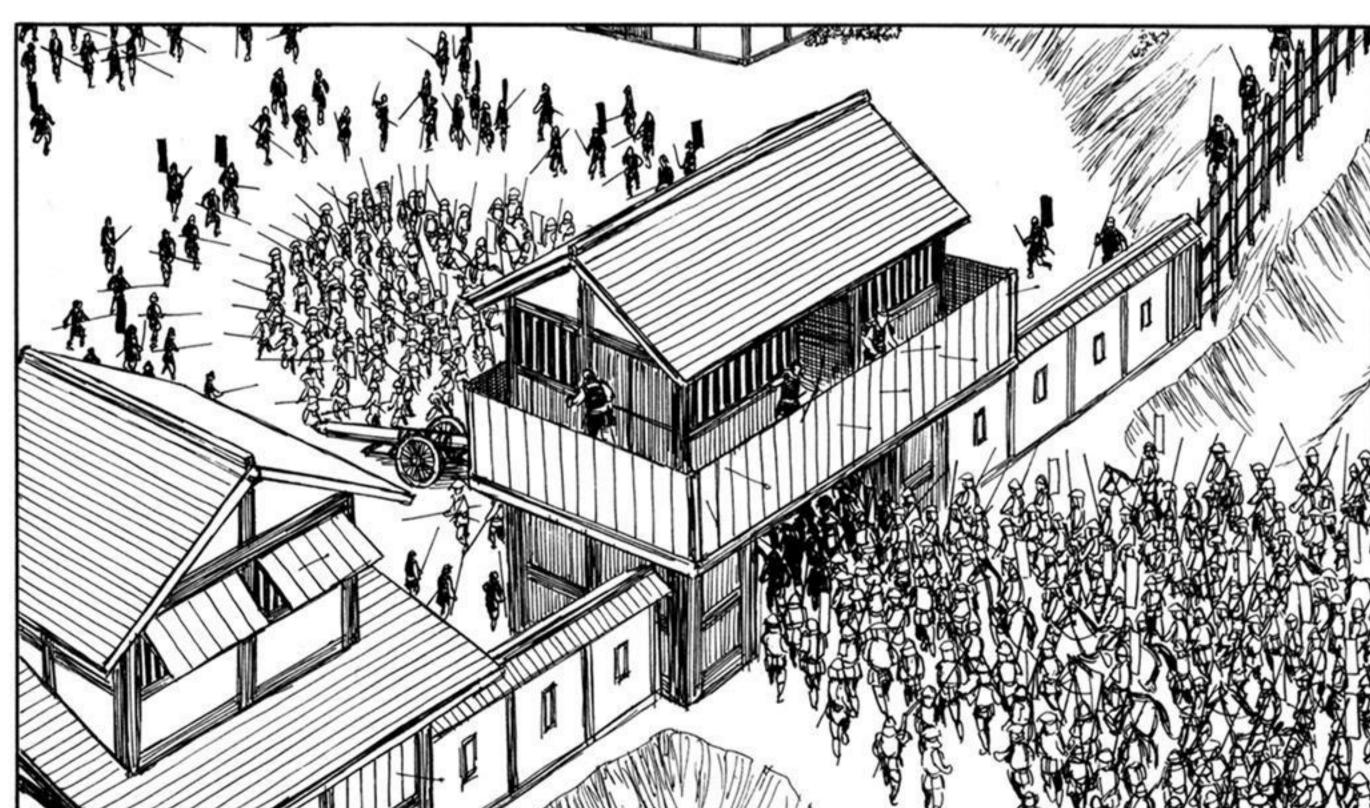


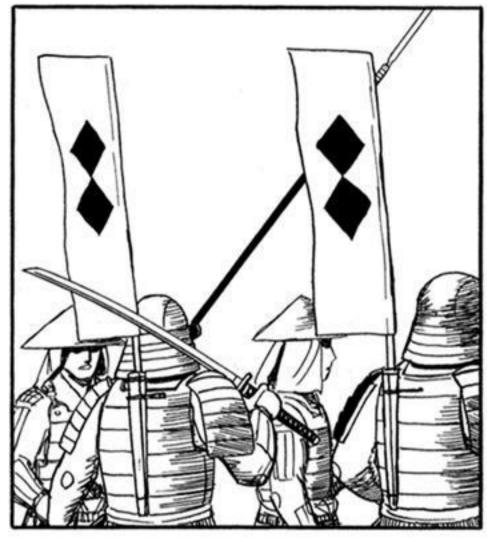










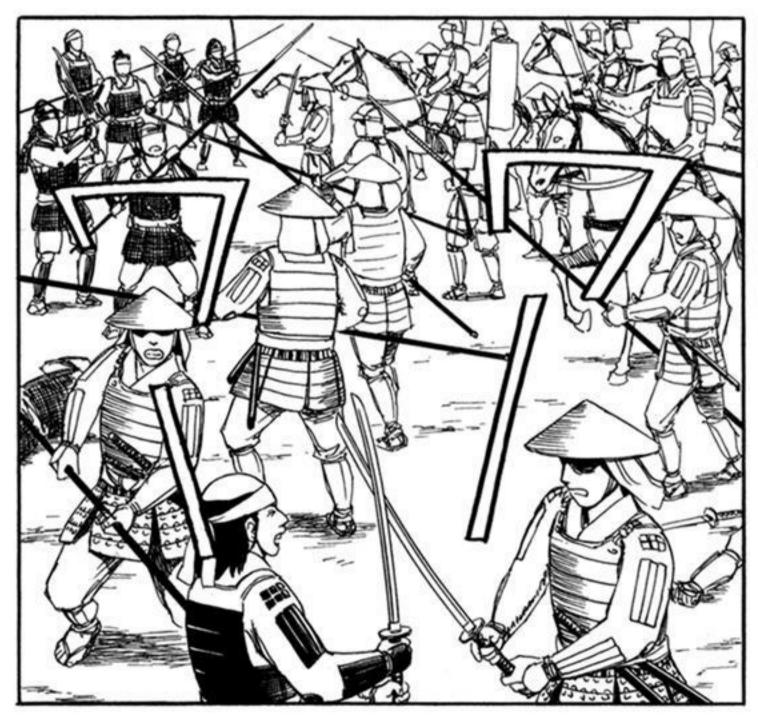




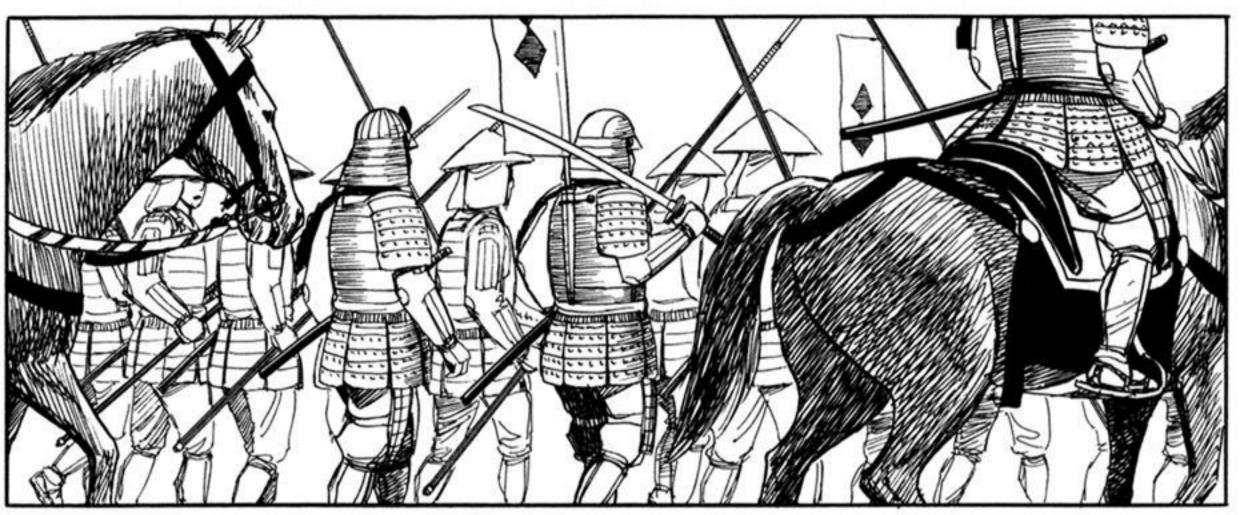


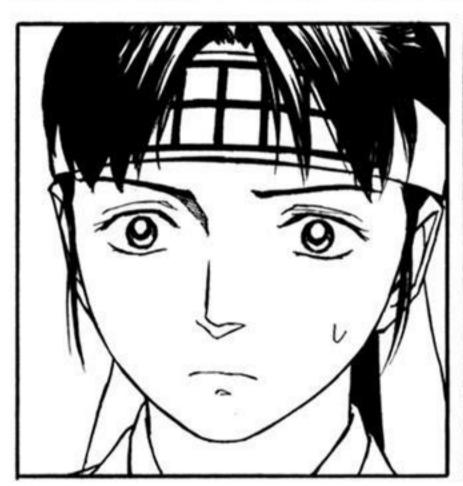












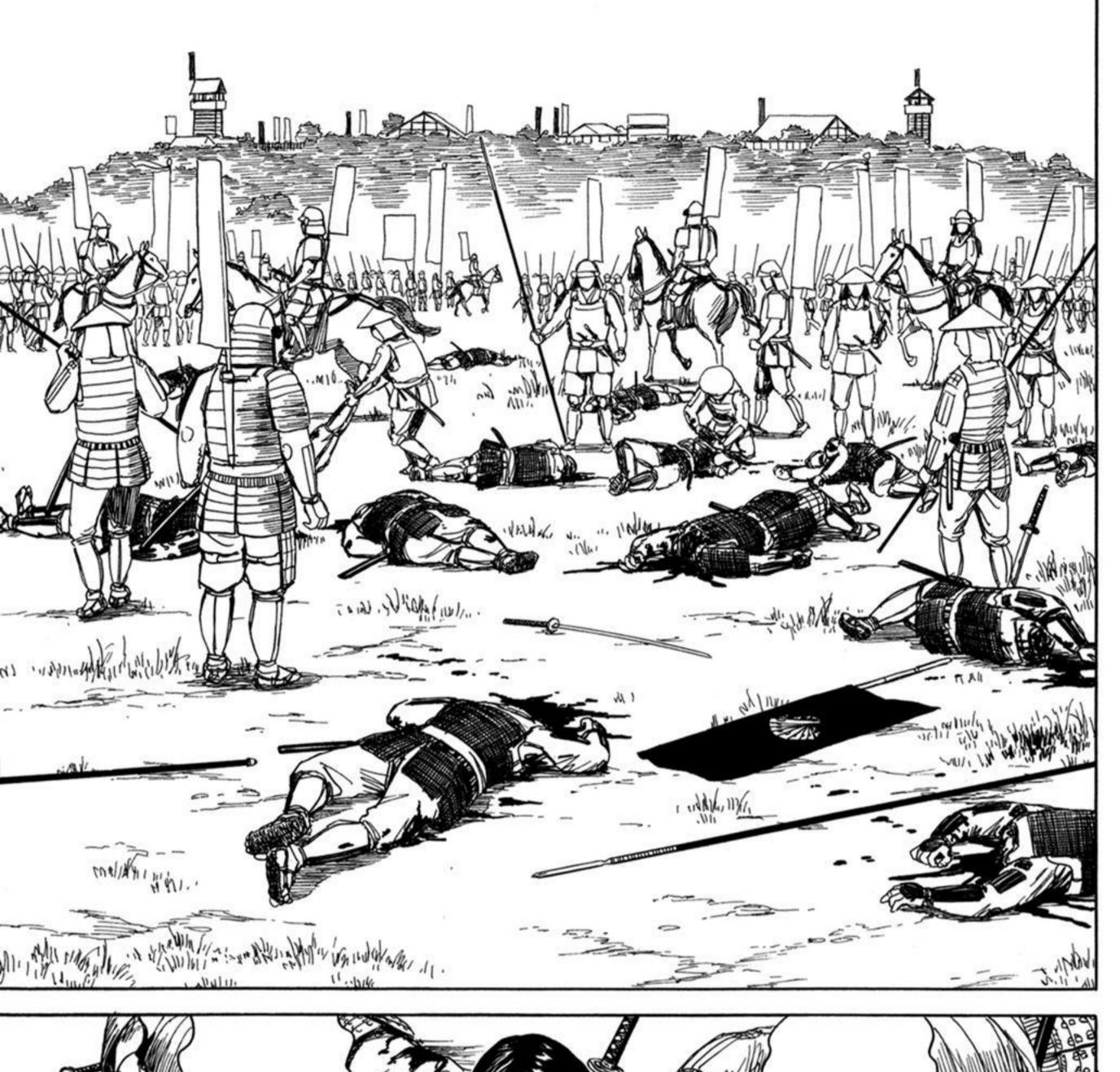


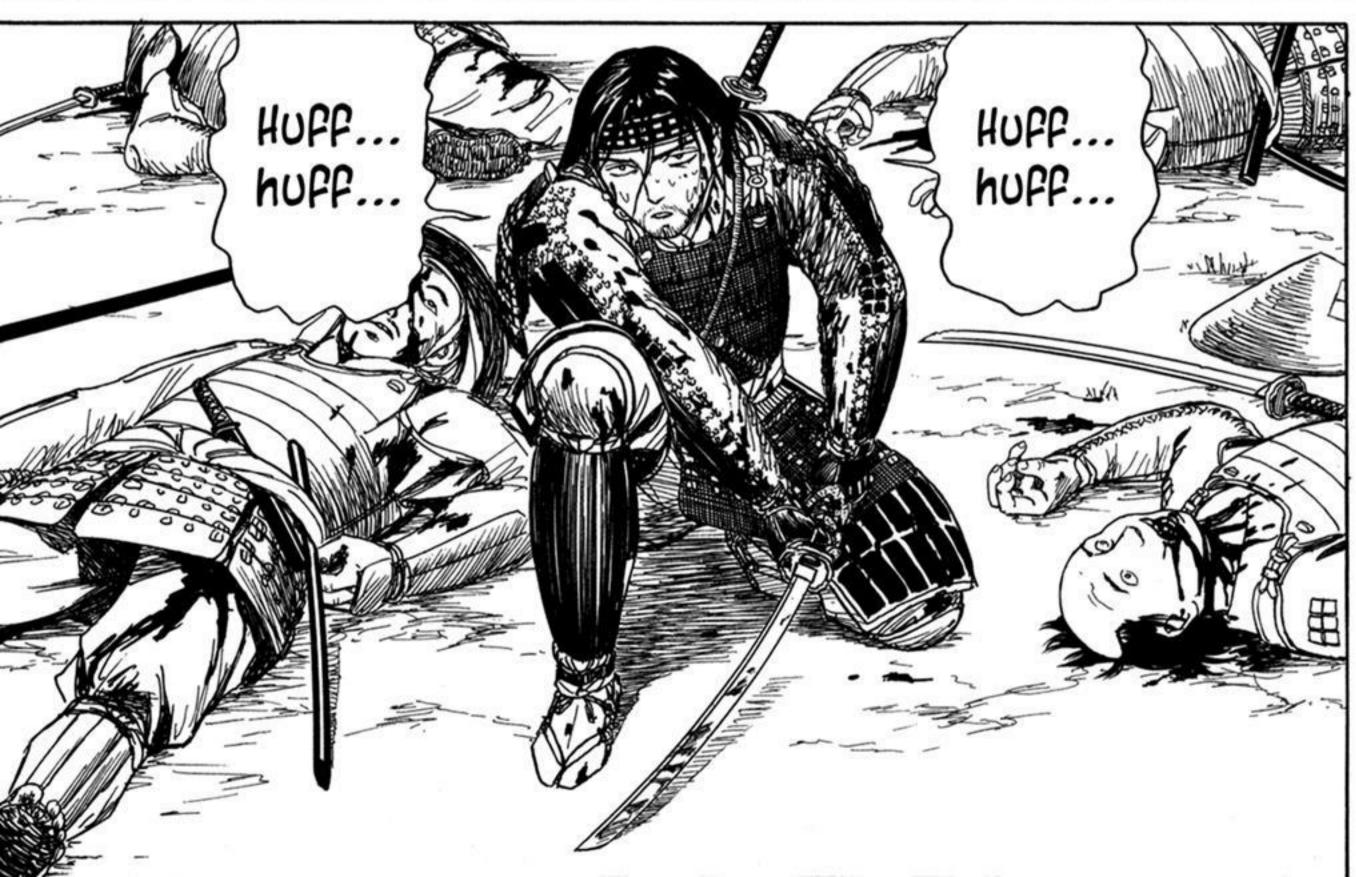


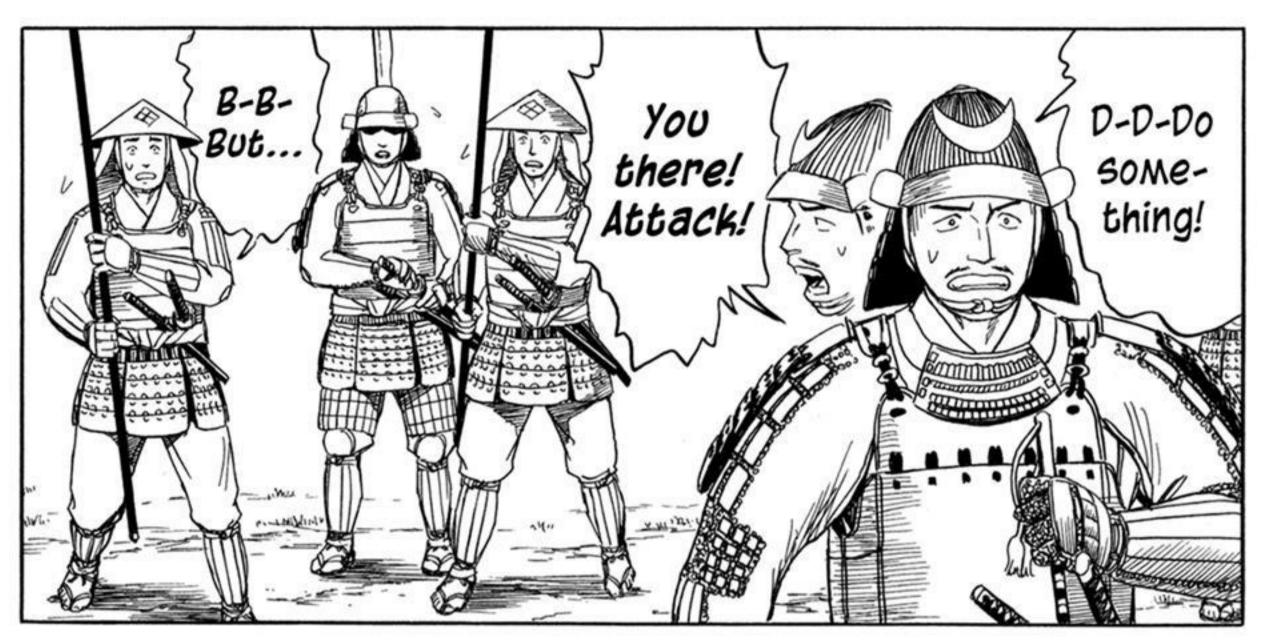




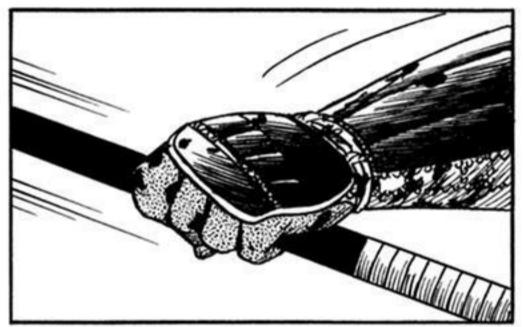




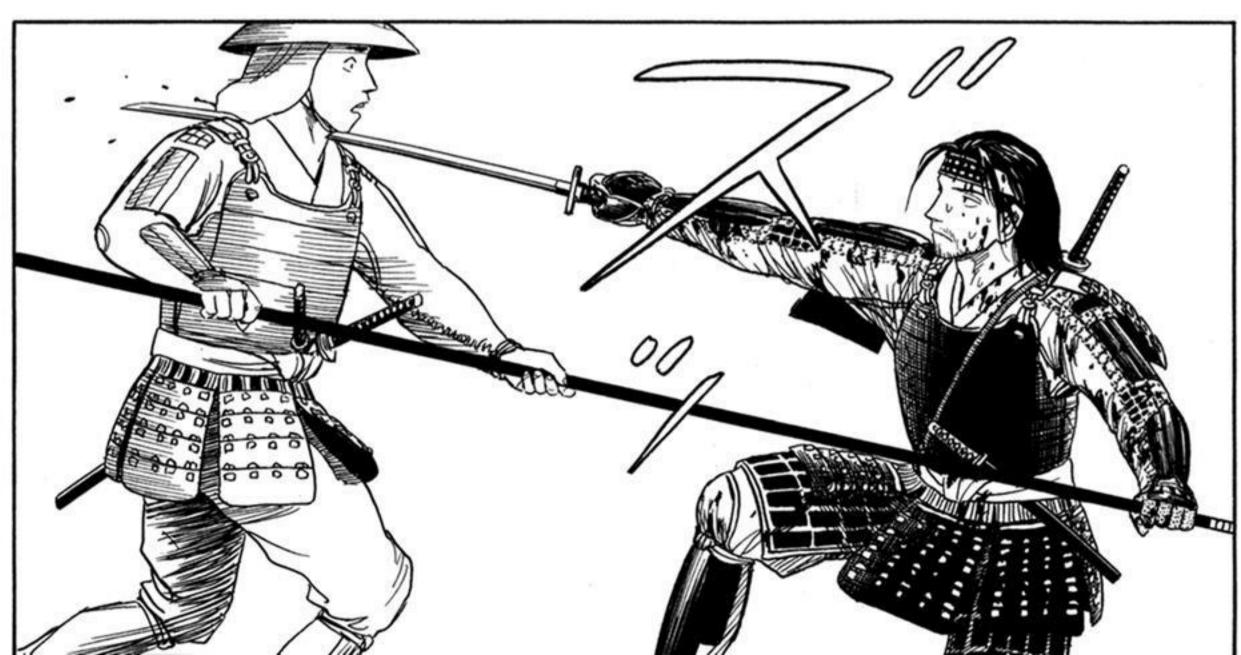








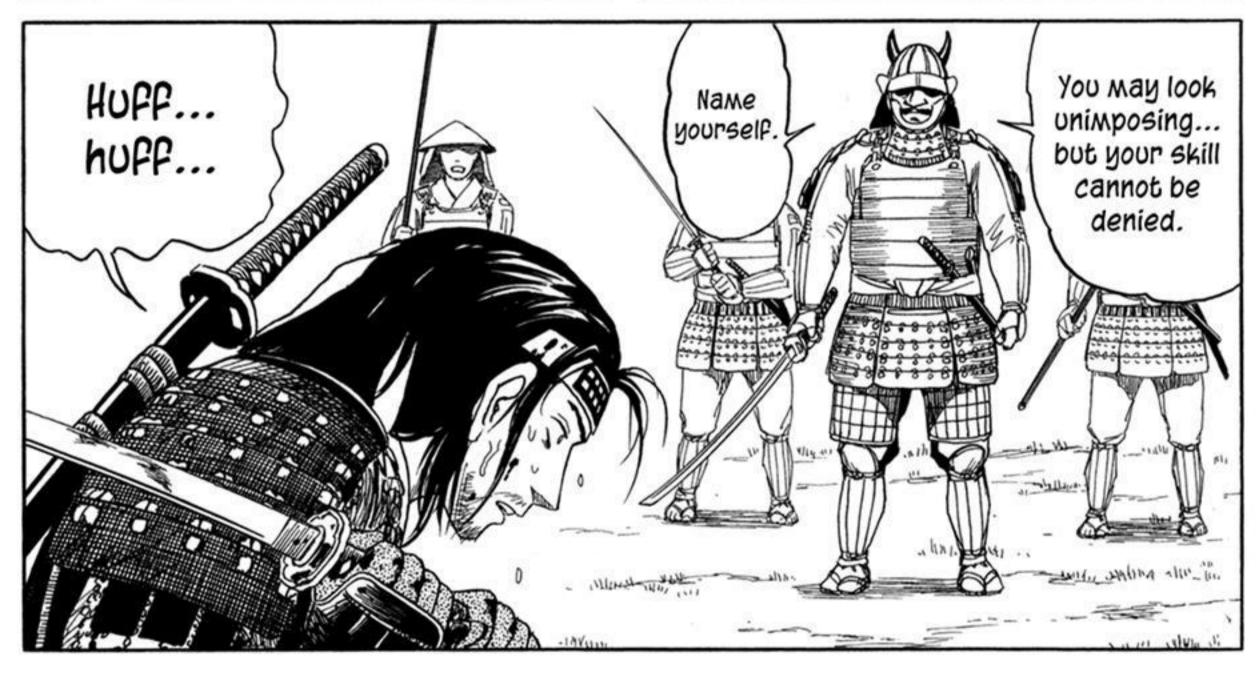






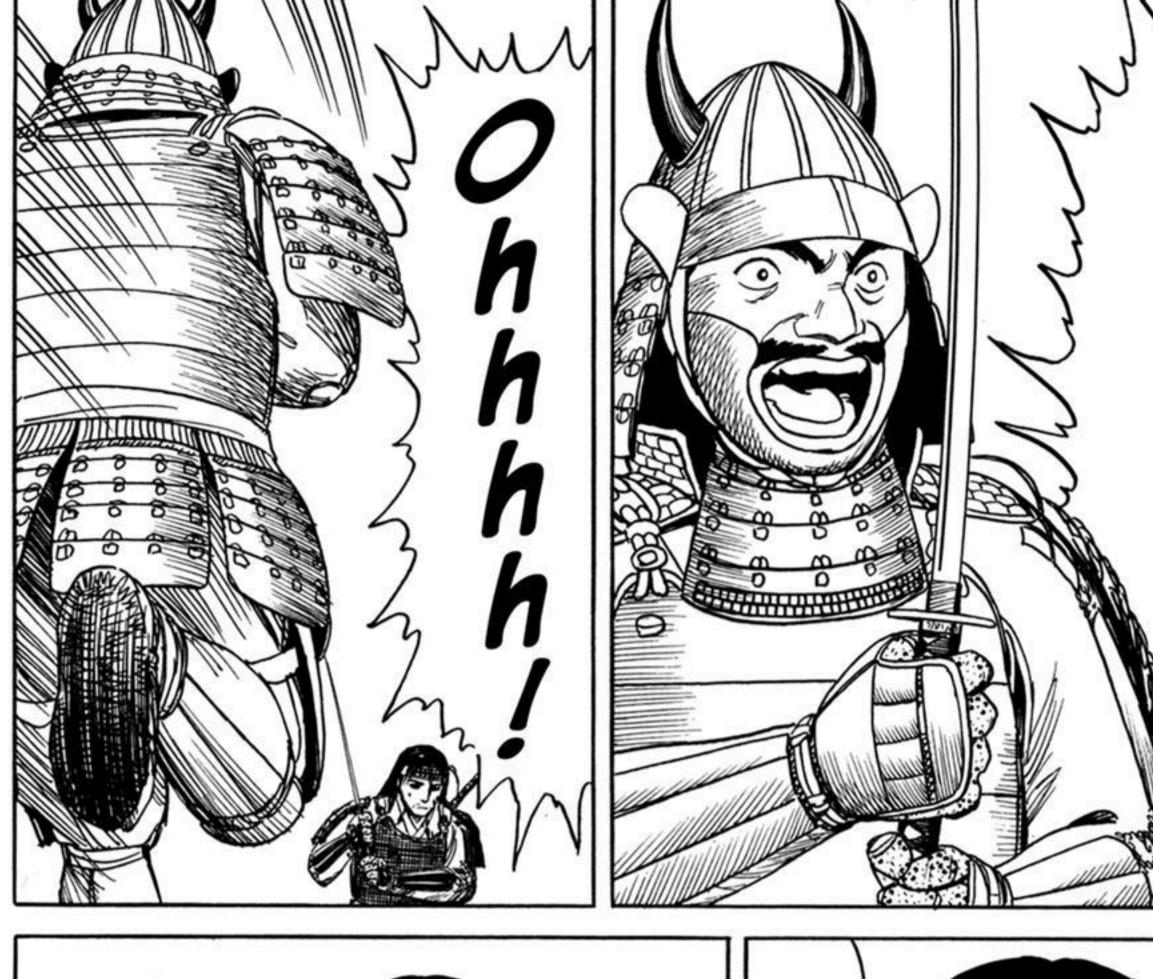






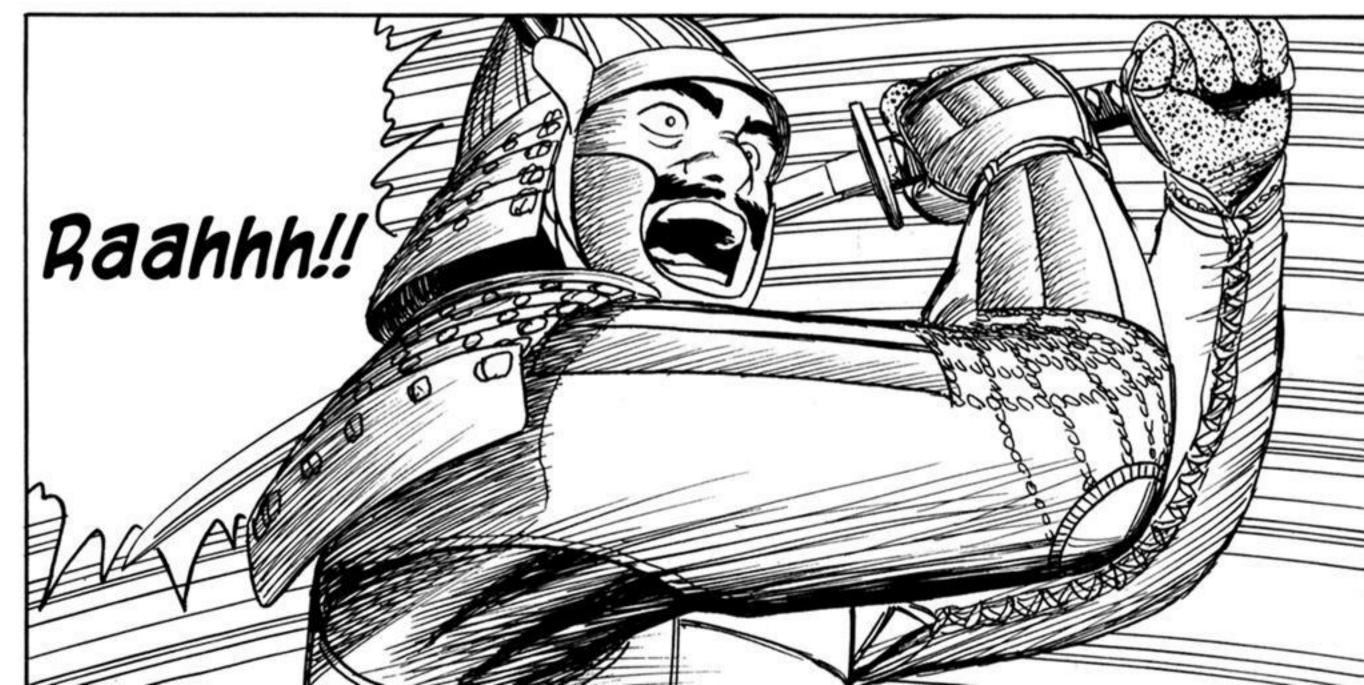


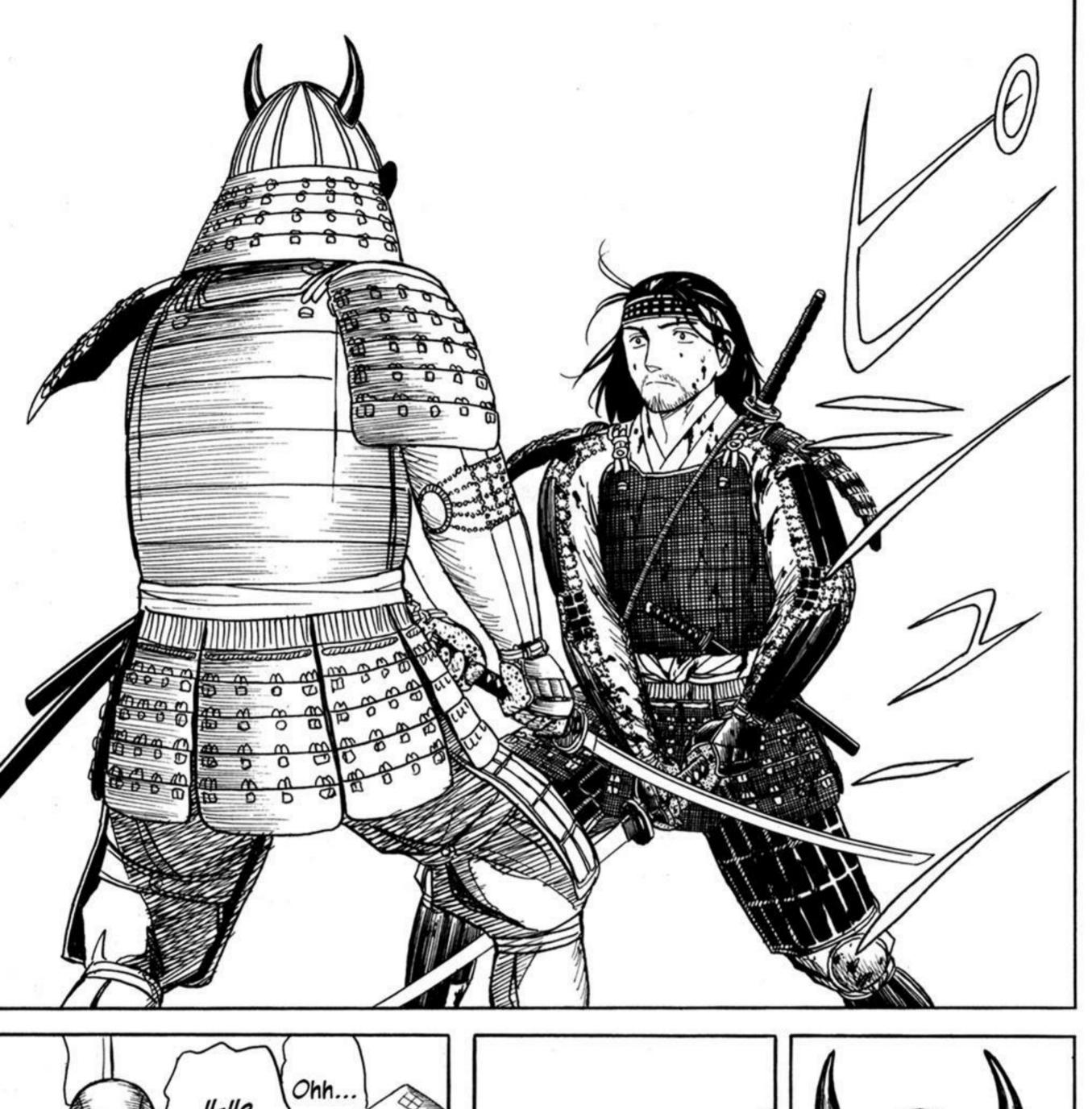




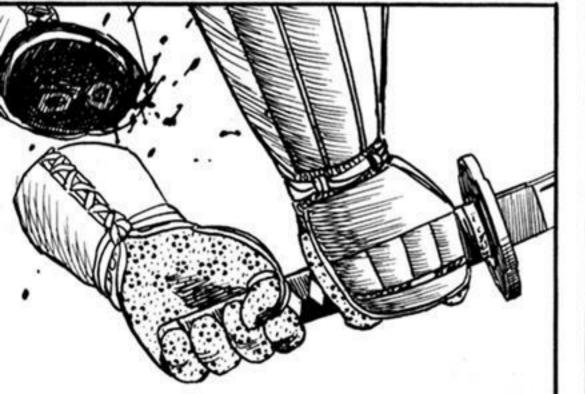










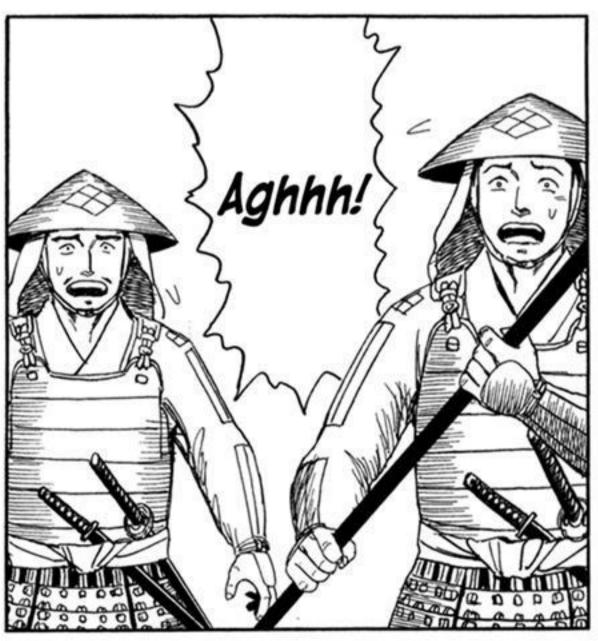


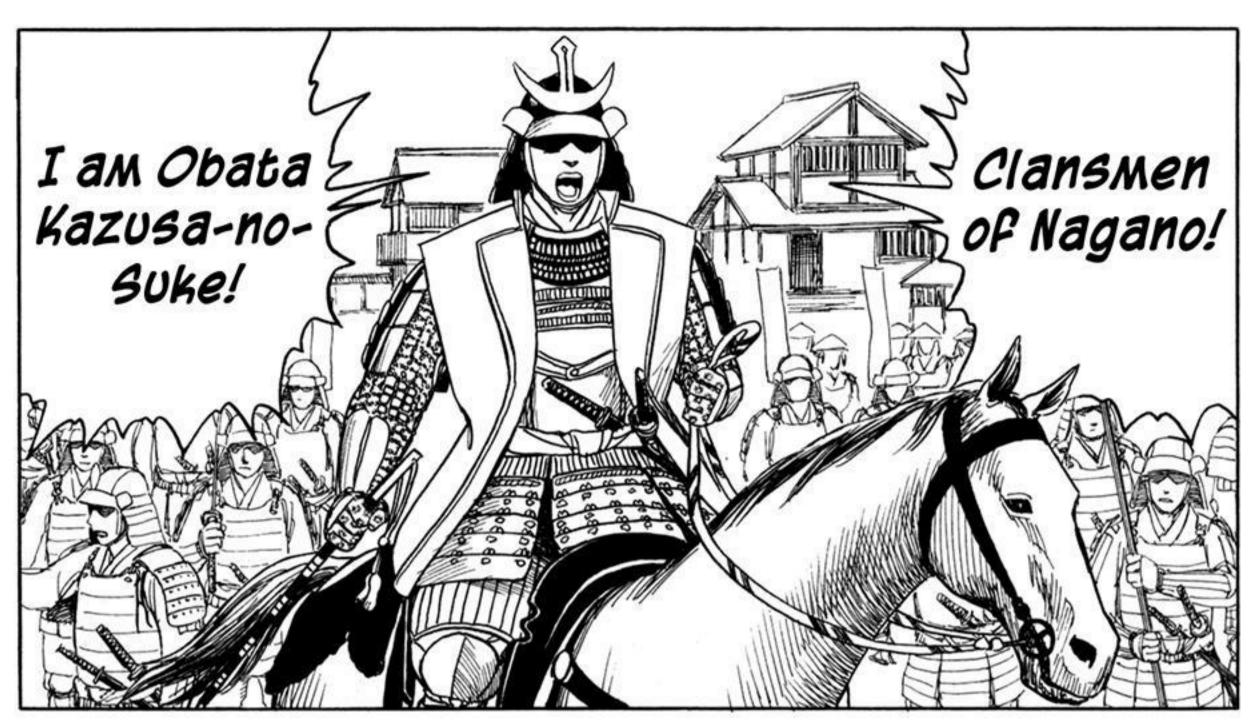












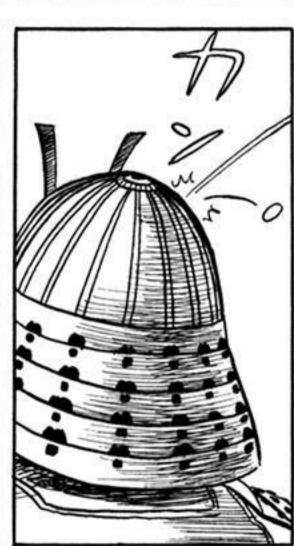
































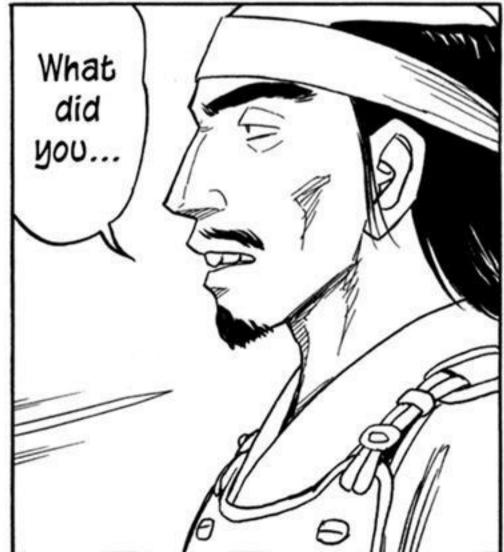






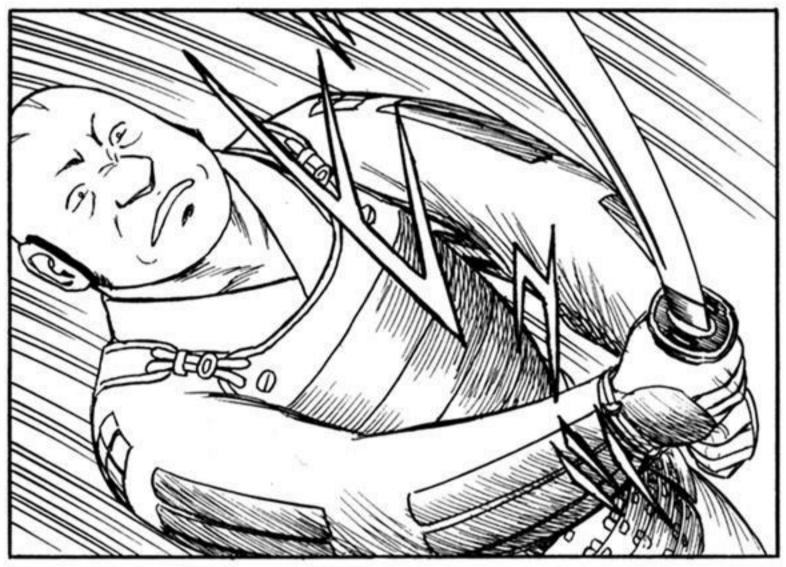


















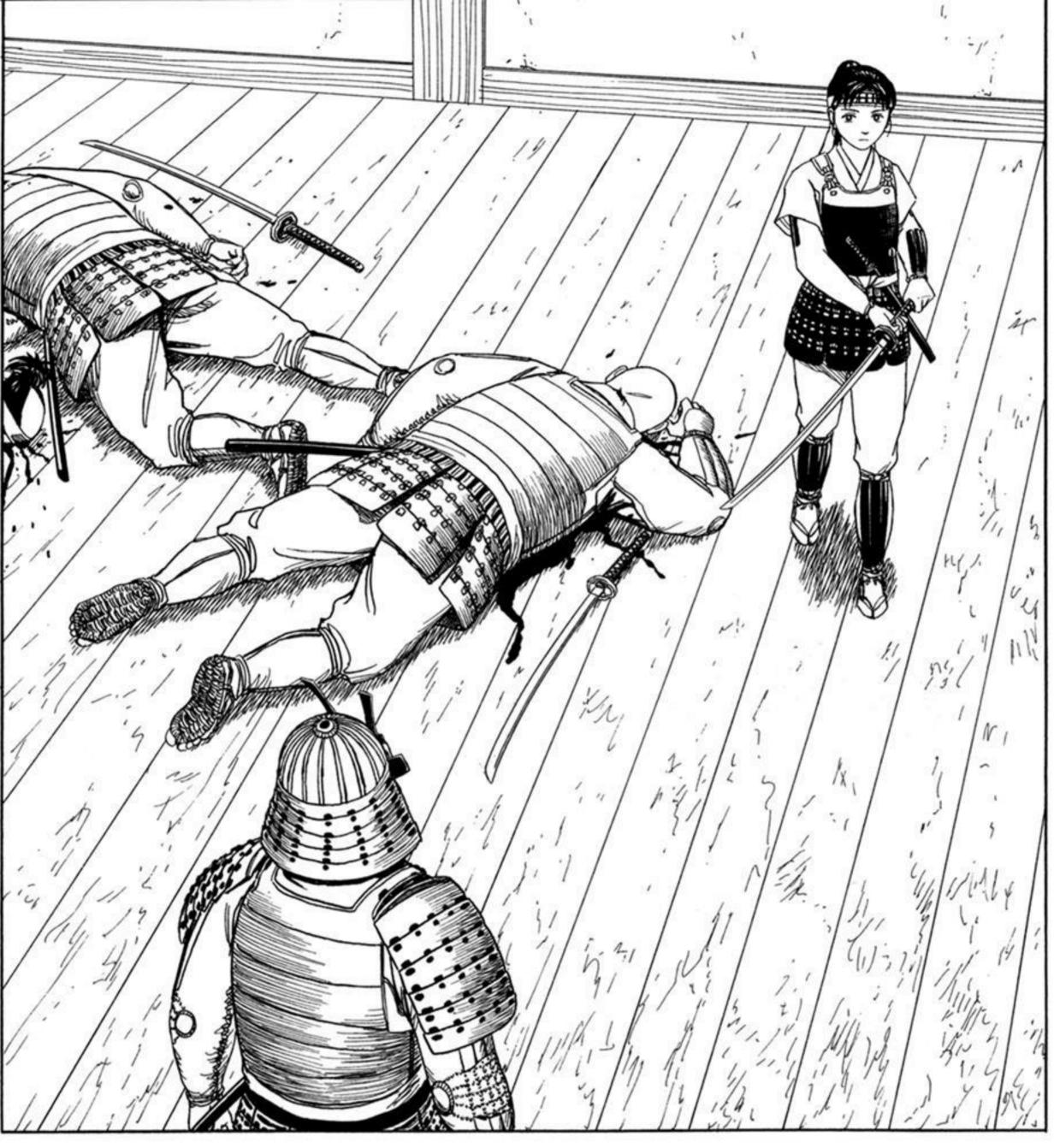
























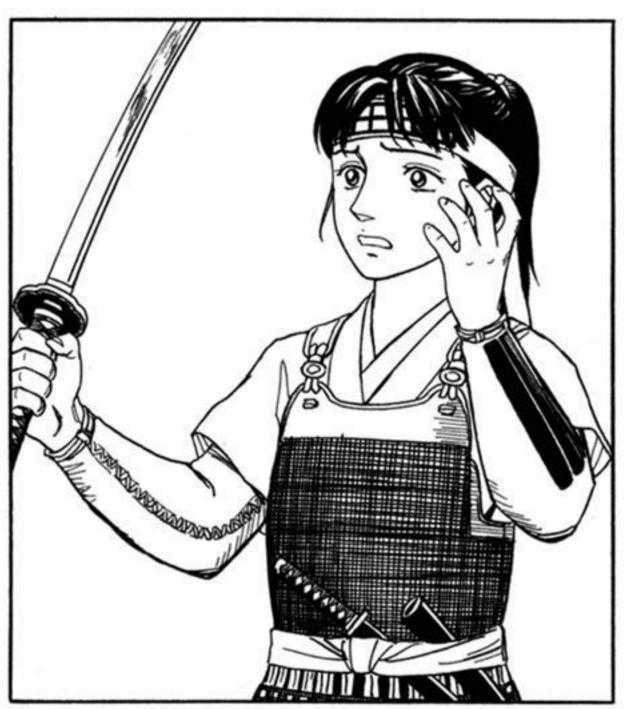




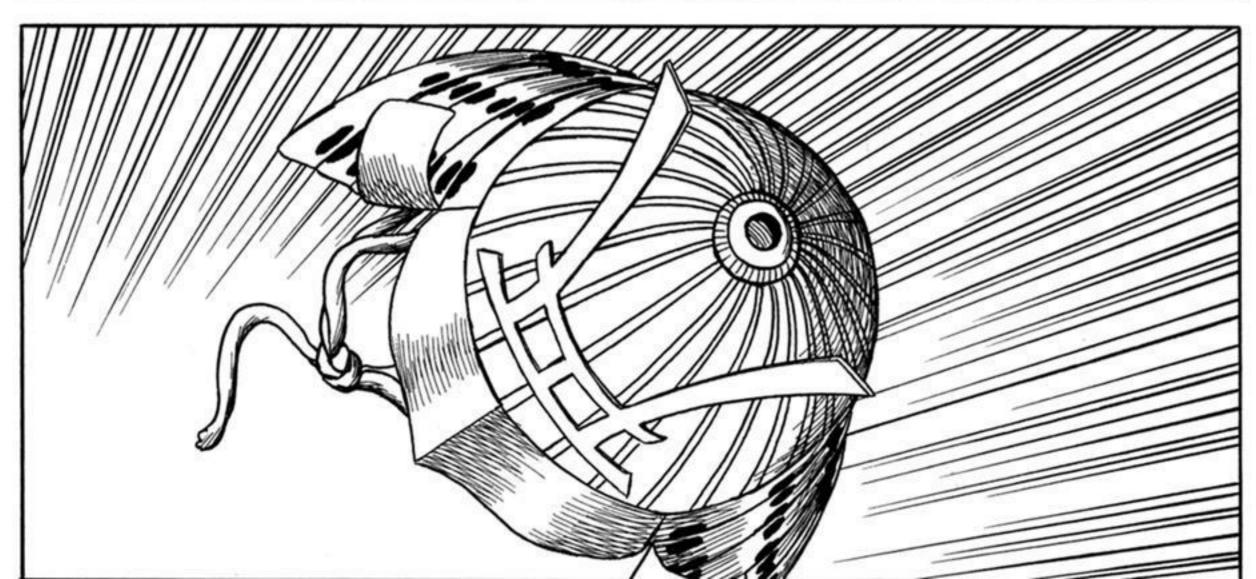




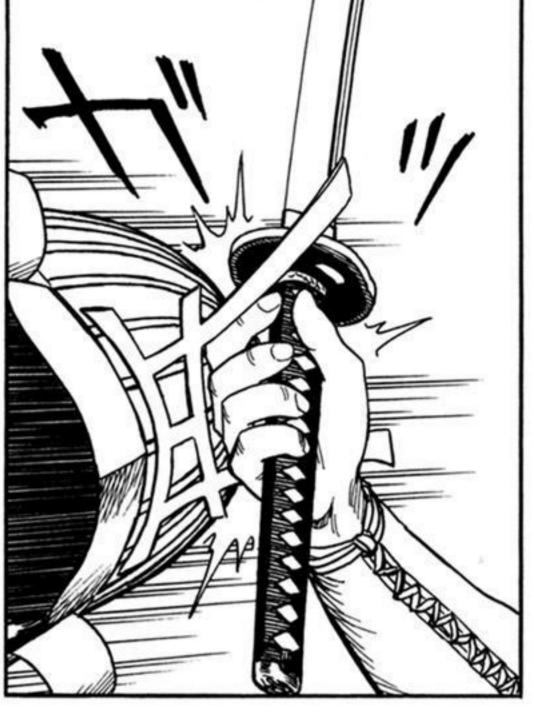




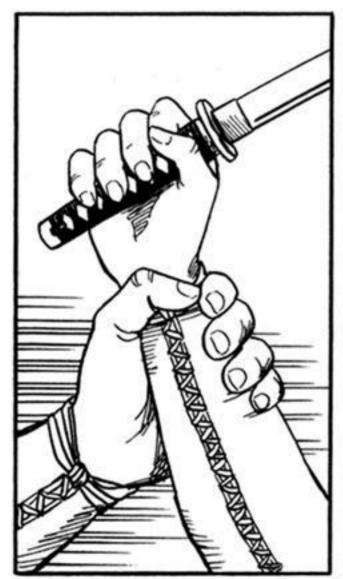






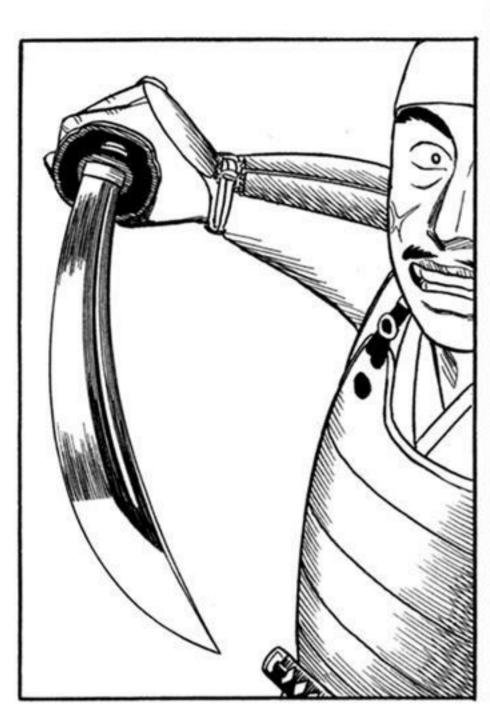


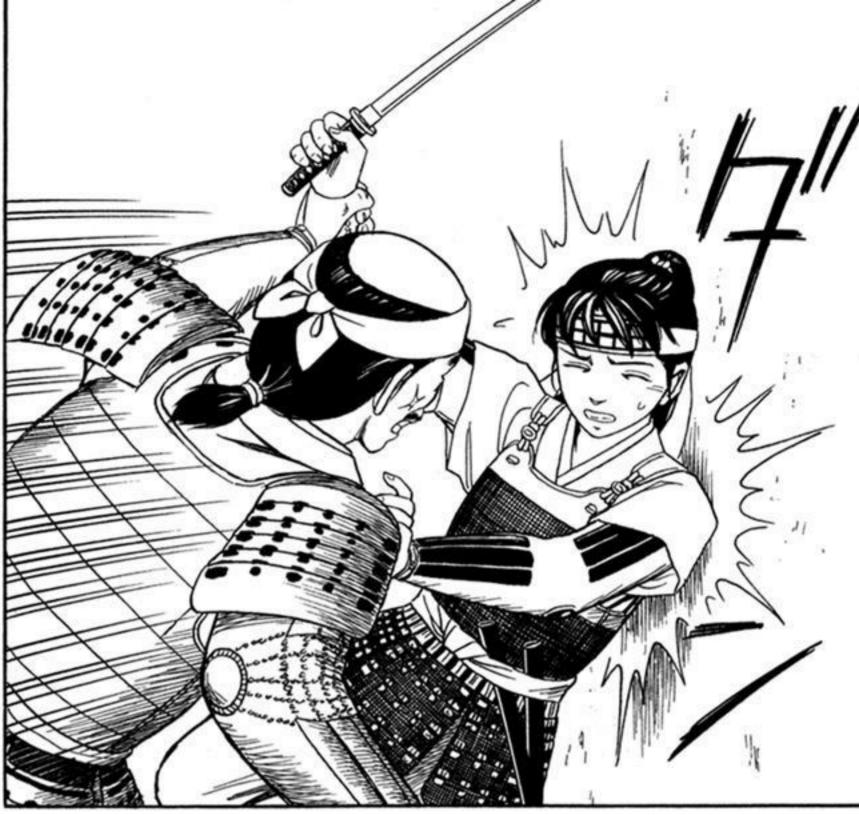


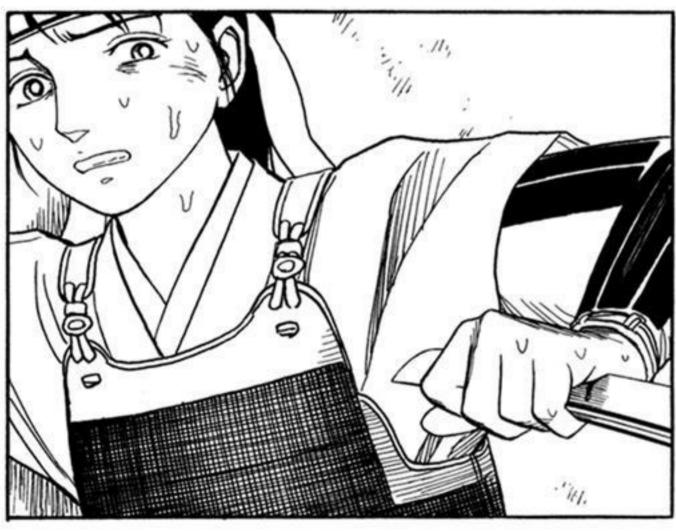


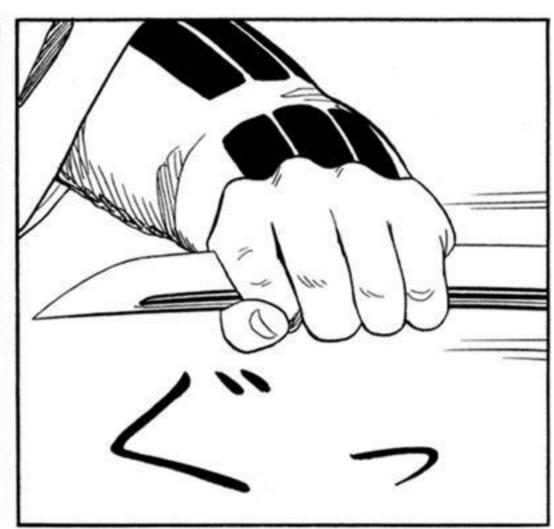










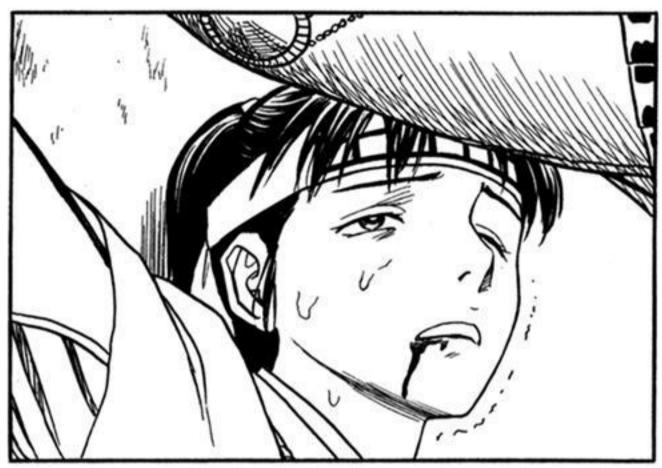








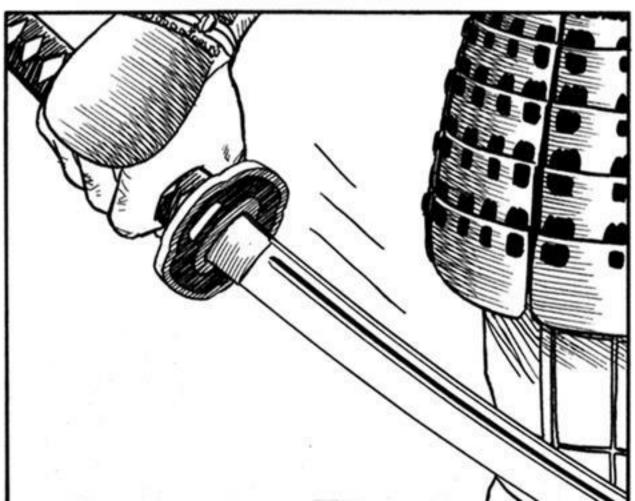




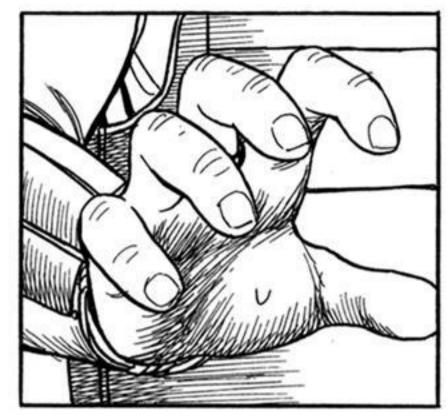


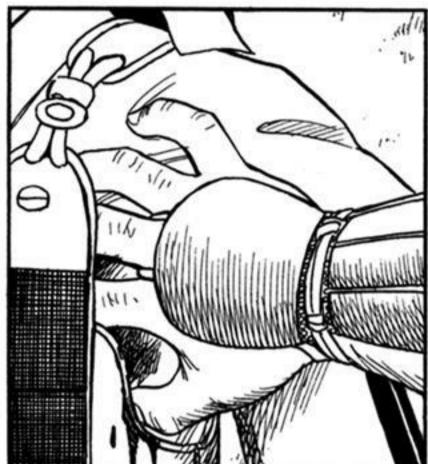








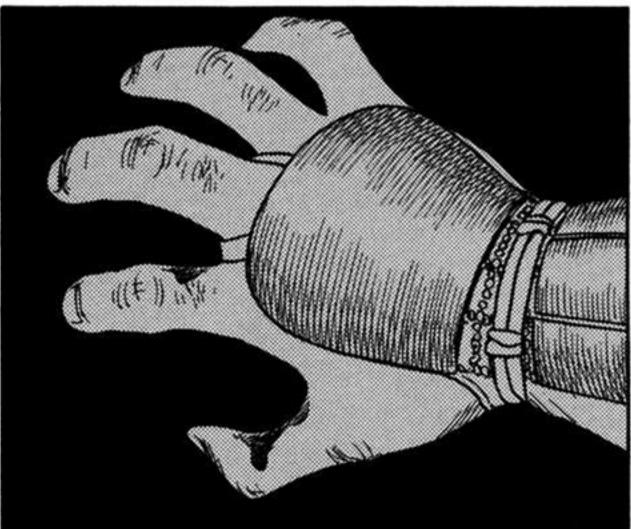


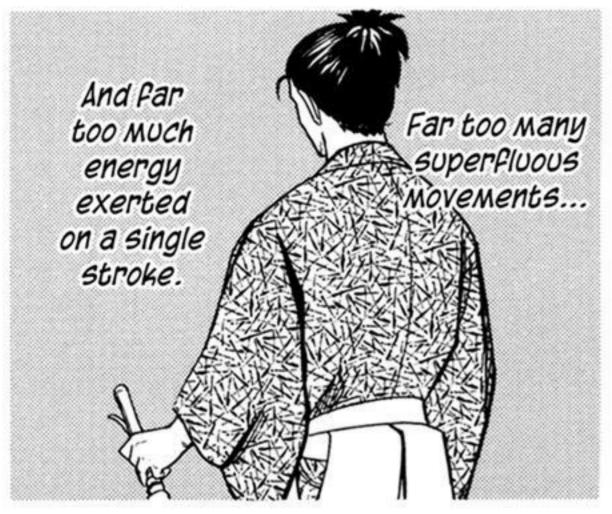








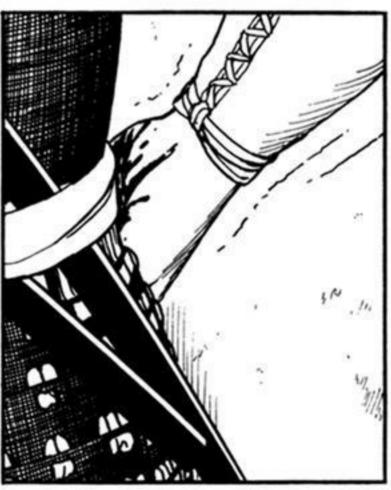








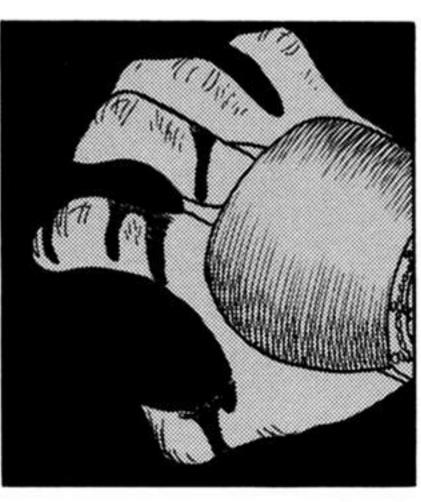




















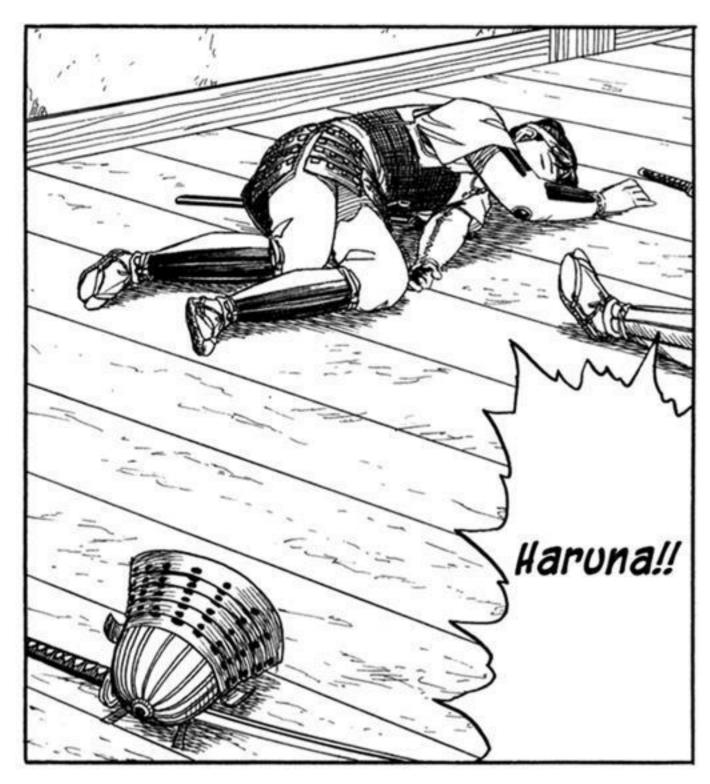
















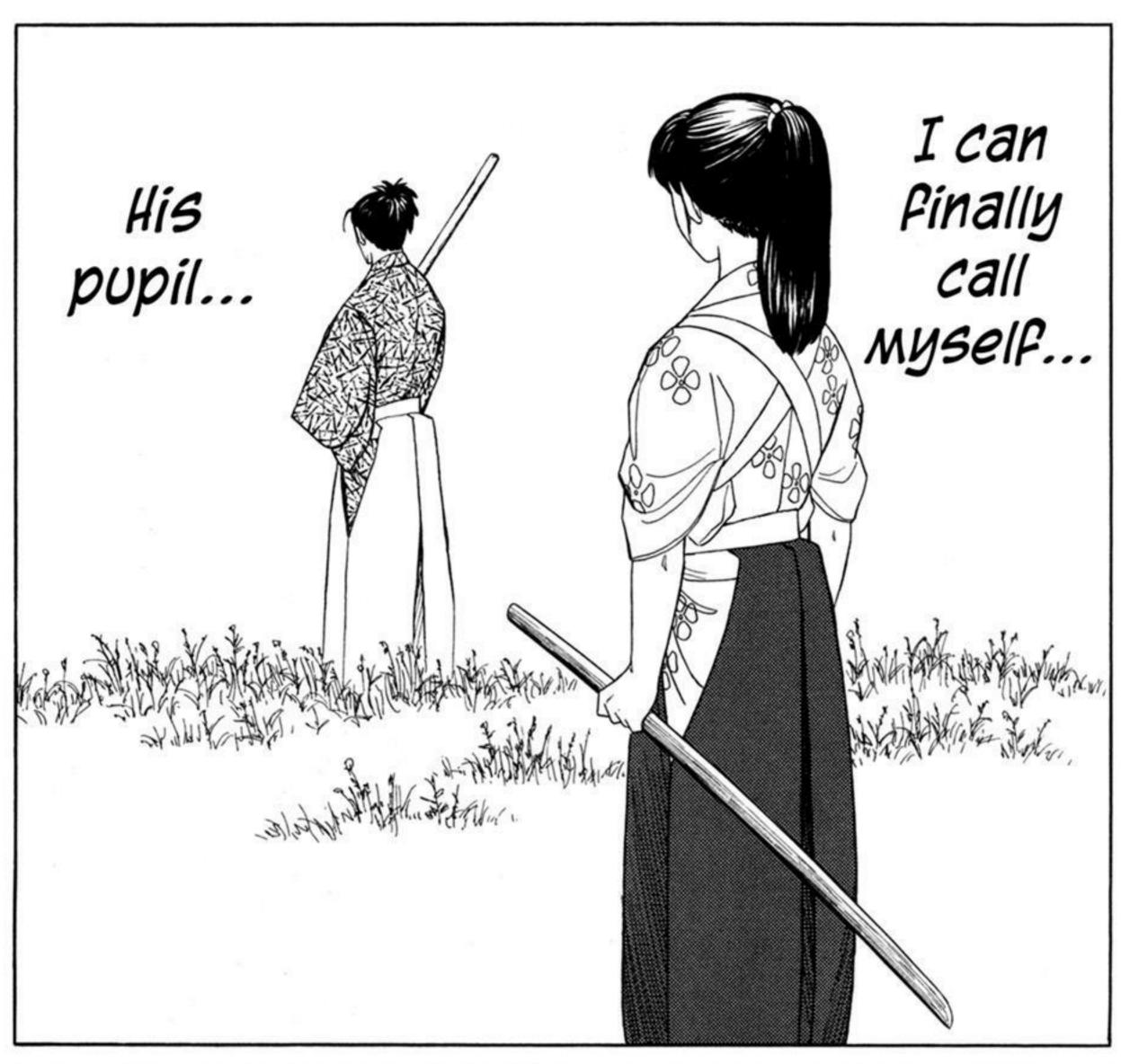




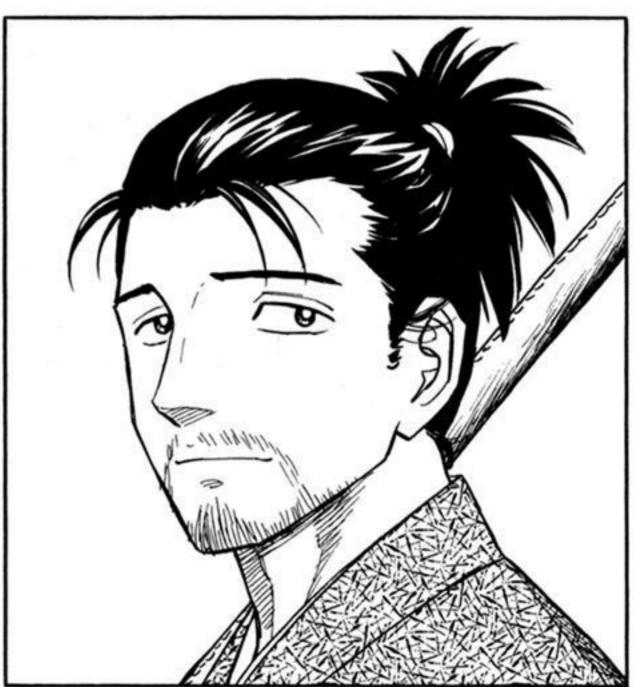




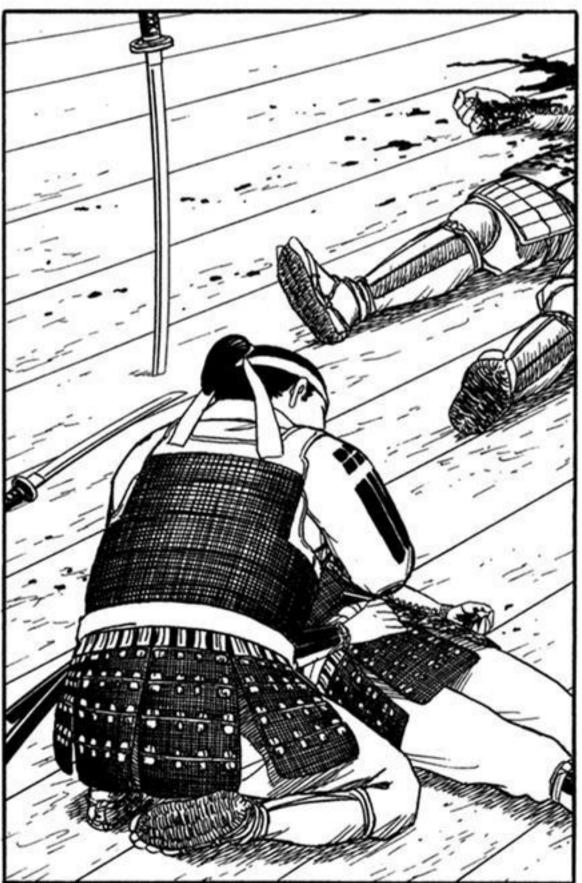










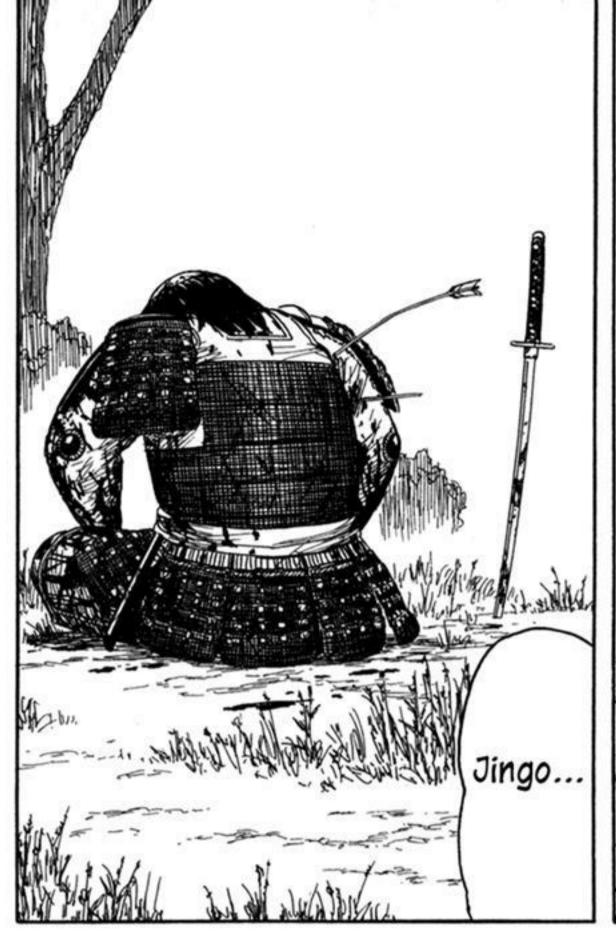






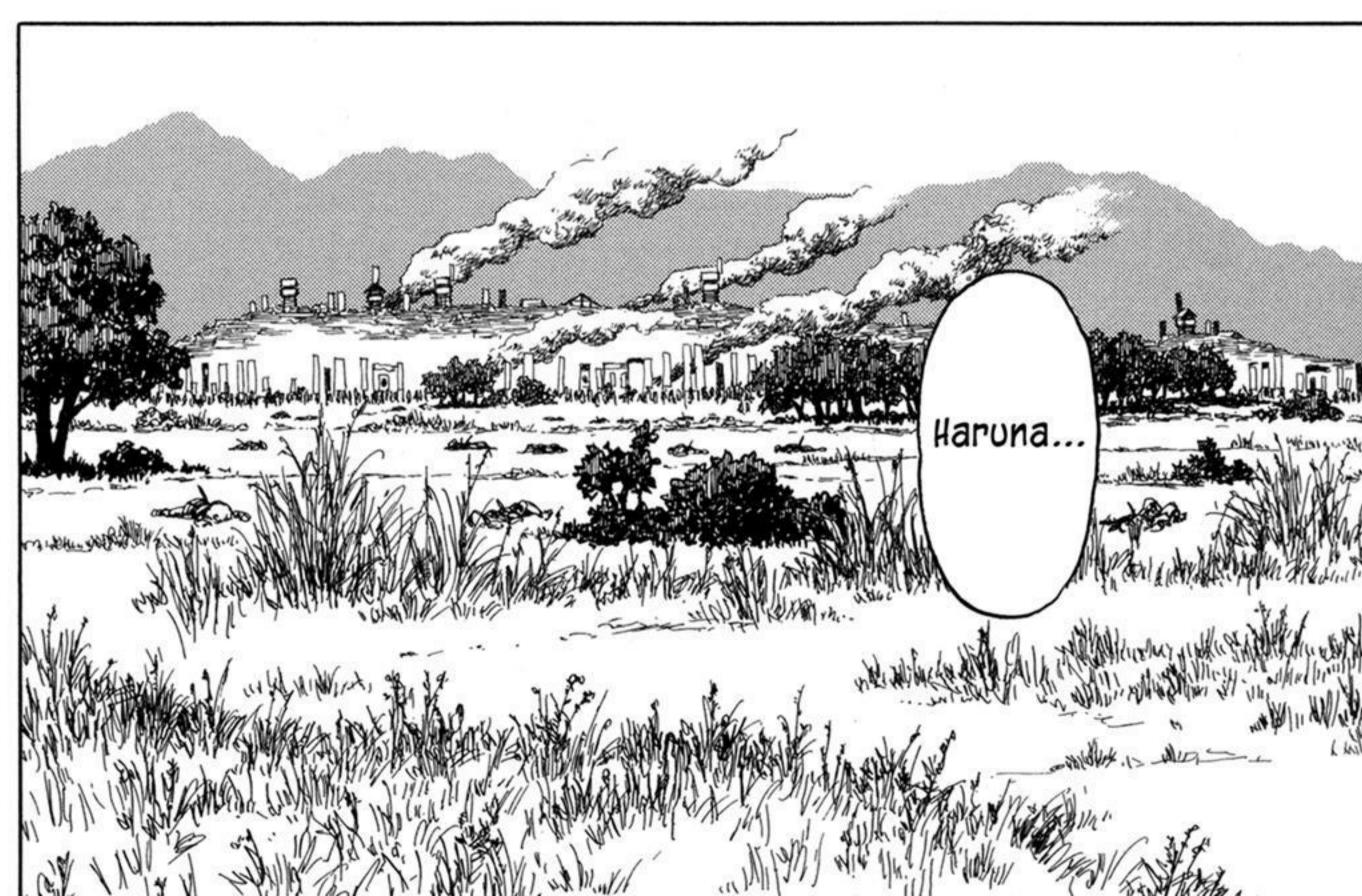
Did we... break through the besieging enemy lines...?





































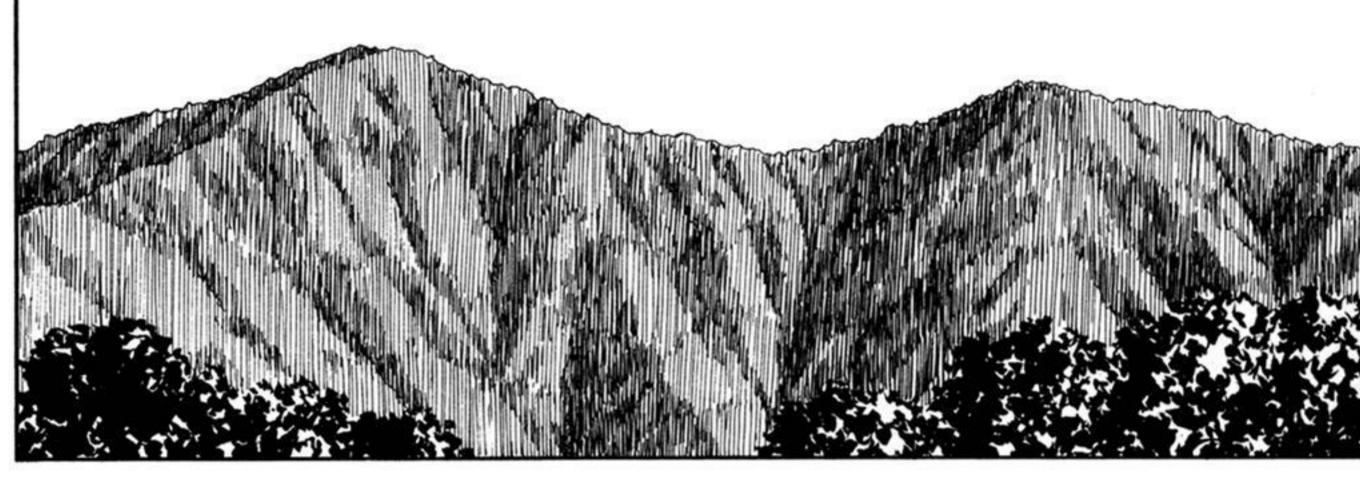










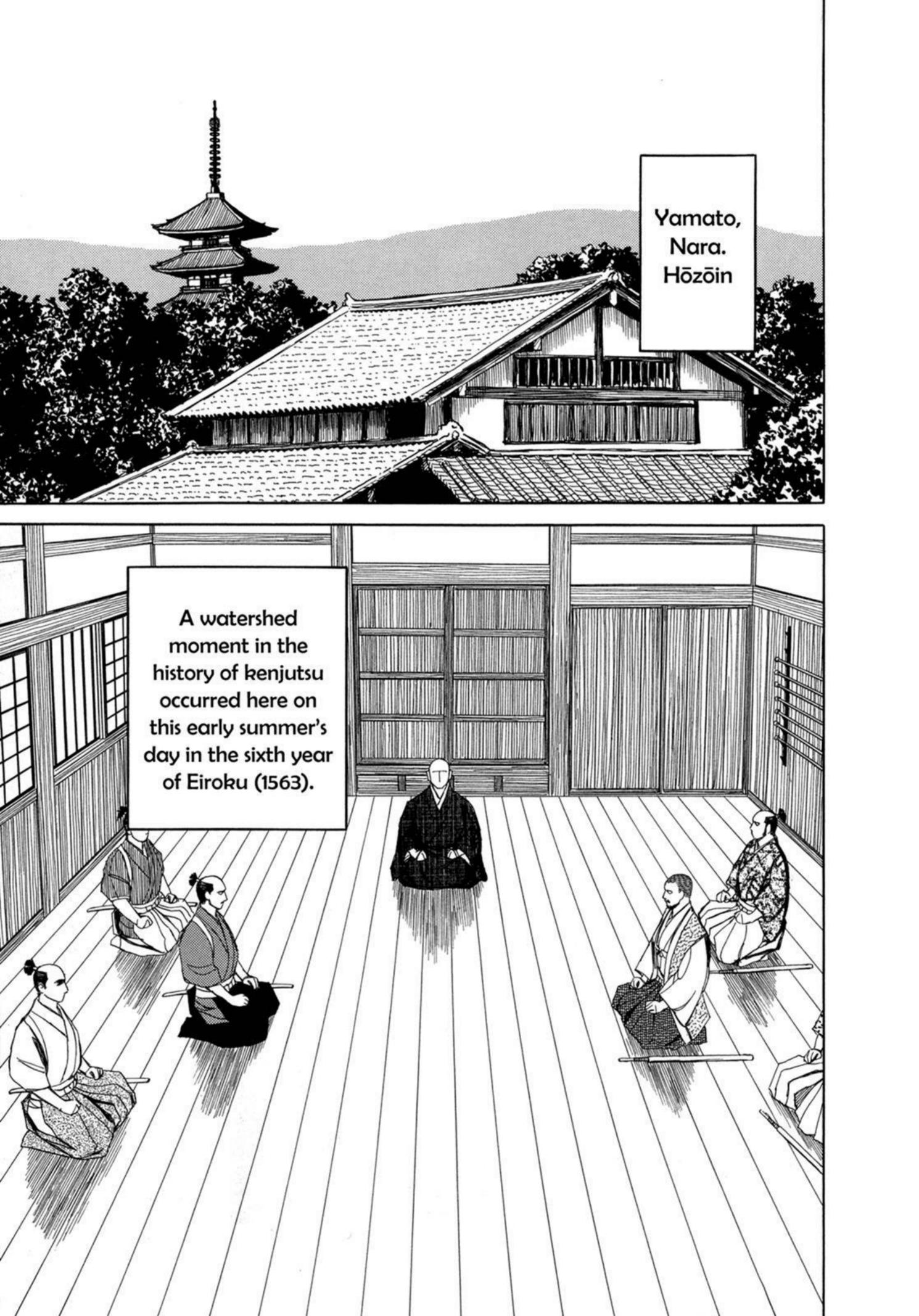




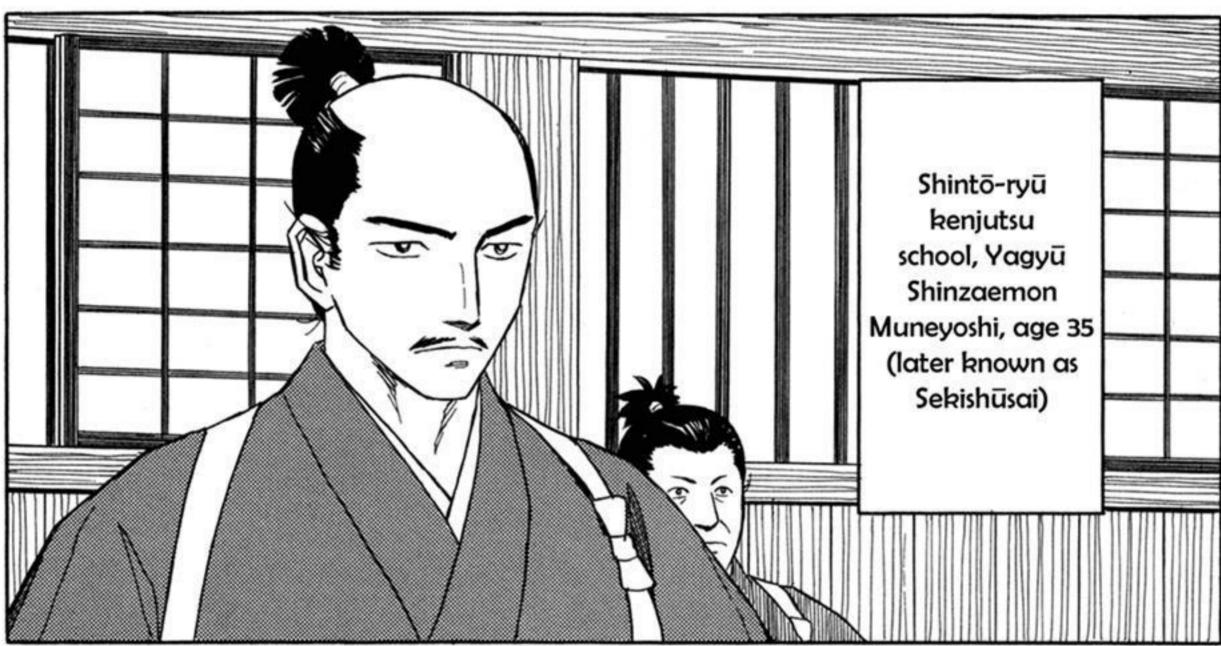




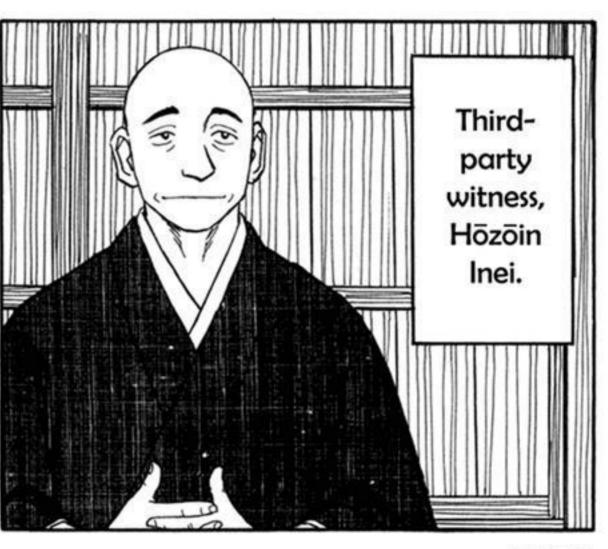






















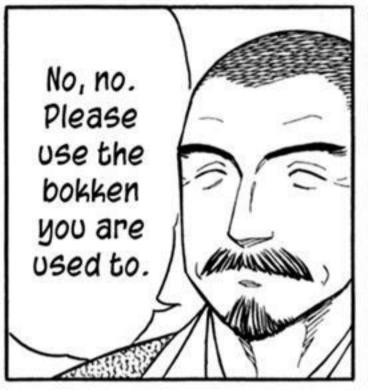






















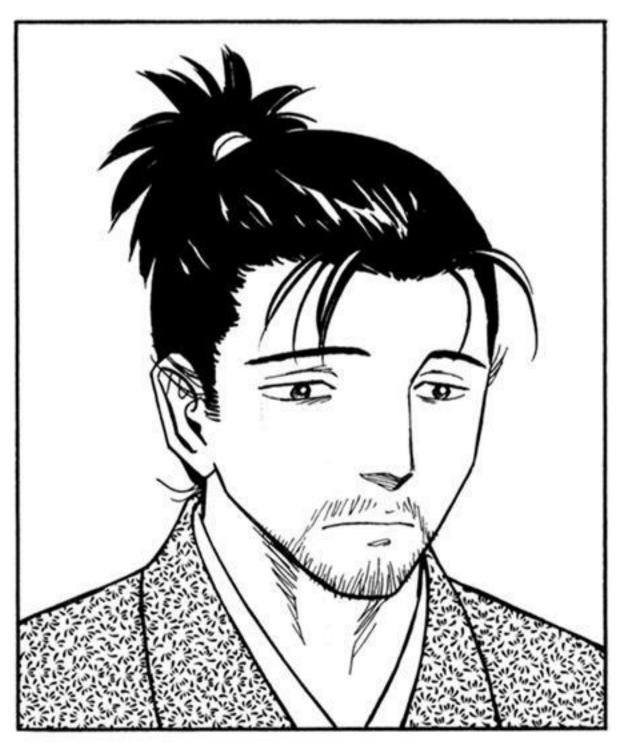










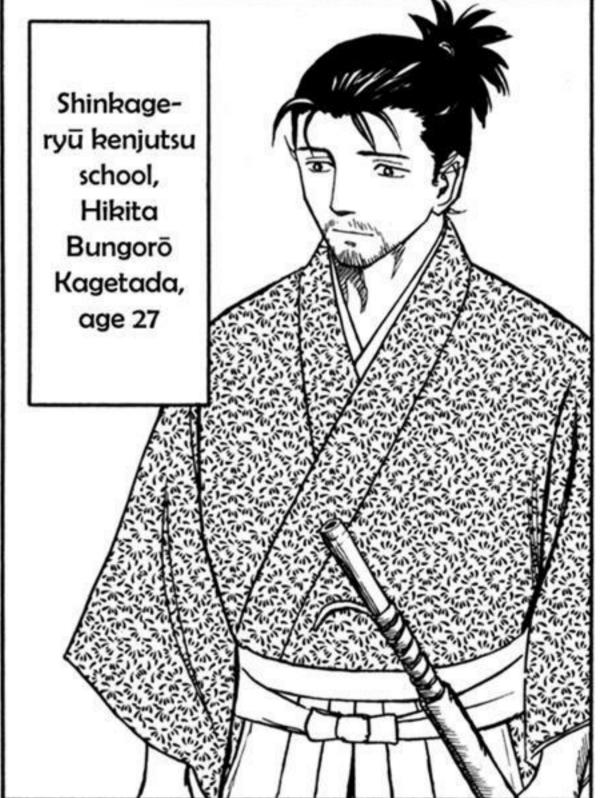












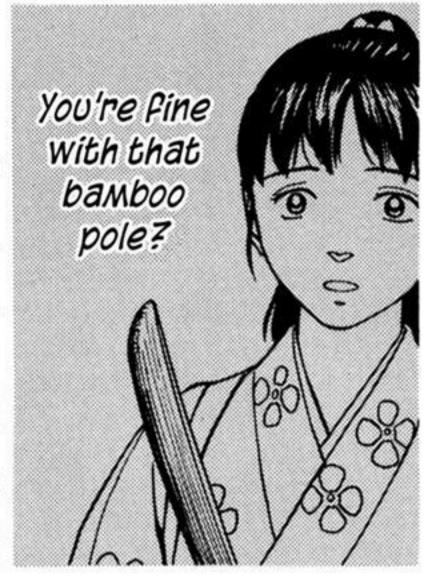












































It is said he always used a shinai and he never lost a match. Meanwhile,
Hikita Bungorō
separated with his
master and travelled
from province to
province, seeking
matches.

The great Yagyū
Shinzaemon failed to
take even a single point
from Kamiizumi's pupil
Hikita Bungorō. After this
humbling incident, Yagyū
studied Shinkage-ryū and
became its second head
after Kamiizumi's passing,
which is how the renowned
Yagyū Shinkage-ryū
school came to be.



雪の

梅津憲忠(半右衛門) 佐竹義宣の近習、後に家老。 家老となってからは藩政に辣腕をふるった。 雄偉を示す逸話がいくつか残り、 った観があるが、 渋江政光の後を引き継ぎ 一五七一~一六三〇 戦場のみならず 剛勇の士と

梅津政景 (主馬) 一天一一六三

は藩政初期の国情を知る上での重要史料とさ 町奉行を兼ねる。 五歳で家老格。兄の死後家老となり久保田の 憲忠の弟。 銀山奉行から勘定奉行を経て四十 彼の残した「梅津政景日記」

政景 |五四四~|六二三

という名も持つ。若い頃より文武にすぐれ父関東の戦国武将・太田資正の次男で太田資晴 をさほど大問題としなかったものと考えられ ての身分は変わらなかったらしい。しかし逆 にわたり同家に仕えるわけだが「客分」とし り城を追われ佐竹家に身をよせる。 母に愛されたが、 越前松平家では二千石。八十歳で没した。 佐竹家出奔および松平家への仕官 家督相続を危ぶんだ兄によ 以来長期

川井忠遠 (伊勢守) アー大〇三

後、渋江政光暗殺を企て梅津政景に討ち取ら 為とともに先発隊として土崎湊城を受け取る。 佐竹家譜代の家臣。 出羽へ国替の際は和田 昭

佐竹義重 |五四七~|六||

して死んだという。 川家康とも親しかったらしい。狩猟中に落馬った北条・伊達家には不利に働いた。実は徳と結び、それがために佐竹家と対立関係にあ とあだ名される程の勇将ぶりであったという 常陸を中心に勢力を張った戦国大名。「鬼義重」 情勢判断も的確で早期に織田・豊臣勢力

佐竹義宣 五七〇~一六三三

狩り以外に文もへつり、断派大名に襲撃された時これを救出する。鷹断派大名に襲撃された時これを救出する。鷹成と親しく、関ヶ原の戦いの前年に三成が武成と親しく、関ヶ原の戦いの前年に三成が武成と親しく、関ヶ原の戦い 評価がある一方で、猜疑心が強く残忍であっ能楽に通じていた。進歩的で英邁な名君との狩り以外に文芸への関心も高く、連歌、茶道、 たともいわれる。 建歌、茶道、鷹

渋江政光 (内膳) 一五七四~ 六四

佐竹義宣の近習からわずか三十歳で家老とな

り、禄は三千石。城の普請・城下町の整備のり、禄は三千石。城の普請・城下町の整備のり、禄は三千石。城の普請・城下町の整備のり、禄は三千石。城の普請・城下町の整備のり、禄は三千石。城の普請・城下町の整備の

(4)家康 一五四二~一六一六
 (4)家康 一五四二~一六一六
 (5) 東西決戦の折、佐竹軍の実戦闘は皆無であったが、家康が佐竹を完全な敵として強くあったが、家康が佐竹を完全な敵として強く対はむしろ控え目な処分と言えるかもしれない。また家康は佐竹義宣について「こり、い律儀者、律儀すぎても可が、真意も、

常陸領に入り水戸城受け取りの役を務めた。たれた。佐竹家国替に際しては軍勢を率いてえをもっとも理解し、水魚の交わりとまで言徳川家康の側近として深謀不明朗な主君の考本多正信(佐渡守) 一五三八~一六一六 後に 息子の本多正純 が失脚 竹 家に 預 17

られる身分となったのは少々皮肉である

為 (安房守)

帰国の主君を迎えた。朝鮮出兵の際は名護屋たが義宣が上洛中に和田昭為らが攻め落とし、本拠地となる水戸城はまだ他者の居城であっが豊臣秀吉に常陸領の支配を公認された時、 義宣の祖父の代から佐竹家に仕える。 の義宣から国元の全権を任される。 間もなく 31 退。 竹家

剣 1

小幡信貞 上総介) ?~ | 五九二

結果として武田と敵対する長野家を裏切る形の後、武田信玄の助力で旧領を回復するが、たが、一族の反乱により所領を追われる。そ本来は長野家の娘婿で上州甘楽郡の領主だっ となった。 対する長野家を裏切る形 2

上 泉信綱(伊勢守) 一五〇八~一五七七

新陰 は、長柄の槍を連ねた集団戦法の発達や鉄砲というより戦国武将として前半生を生きた彼 み」ではなく「かみいずみ」である。剣法家次男。現在も残る地名の読み方は「こういず 違いない。実戦からどんどん離れてゆく己がの普及等を他人事として無視できなかったに しまった。竹刀はその用具となる。信綱技を生かすにはと考え、結局スポーツに 流 0 創始者。上州上泉城主・上泉義綱 「こう

> ーツの振興活動をしたと見るのは穿ちすぎでった疋田景忠が竹刀片手に諸国を回り、スポあように思われてならない。信綱の手先となあるようだが、その出発点はこのあたりにあ唱えた「活人剣」について様々奥深い解釈が あろう

?

僧衣を授かったといわれる。 他衣を授かったといわれる。 問衣を授かったといわれる。 他立ち、後に鈴木意伯と名乗る。もともとは を野家の家臣で上泉信綱の最古参の弟子とい があるが、あれはもとは上泉信綱の逸 があるが、あれはもとは上泉信綱の逸 があるが、あれはもとは上泉信綱の逸 があるが、あれはもとは上泉信綱の逸 があるが、あれはもとは上泉に がら子供を救 がったといわれる。

疋田 景忠(文五郎 一五三七~ 0 五

想像できる。同様に指揮官であった上泉信綱に相談した所、信綱は弟子の足田景忠と柳生宗巌の二人を推薦した。家康は景忠を柳生宗巌の二人を推薦した。家康は景忠をが出一兵卒のものである」として退けた。一方は一兵卒のものである」として退けた。一方は一兵卒のものである」として退けた。一方は一兵卒のものである」として退けた。一次の領主として指揮官の資質をあわせ持つ柳生宗巌の方が家康と馬が合ったであるが所詮考えるは豊五郎、分五郎、景兼、興信、小伯、虎名は豊五郎、分五郎、景兼、興信、小伯、虎名は豊五郎、分五郎、景兼、興信、小伯、虎名は豊五郎、分五郎、景兼、興信、小伯、虎名は豊五郎、分五郎、景兼、興信、小伯、虎名は豊五郎、分五郎、景兼、興信、小伯、虎名は豊五郎、分五郎、景兼、興信、小伯、虎名は豊五郎、分五郎、景東、興信、小伯、虎名は豊五郎、 にと考えたかもしれない。さてあるいは新陰流興隆のためには めには柳生こそめった上泉信綱 ておき景忠

びせるのが彼のスタイルだったようだ。立ち合い前に相手に「それは悪し」と一声浴て相手を気絶させることさえあったという。の剣技は老年になっても衰えず、竹刀を用い

れる。

柳生宗厳 一五二九~一六〇六 明年に石舟斎。正式には新陰流で、柳生新陰 元というのは俗称だそうである。同門の疋田 景忠が疋田陰流の祖、神後宗治が神後流、丸 目蔵人がタイ捨流となり柳生宗巌のみが正統 で成功し、宗巌を選んだ上泉信綱の判断は正 で成功し、宗巌を選んだ上泉信綱の判断は正 で成功し、宗巌を選んだ上泉信綱の判断は正 がと考えてはどうか。つまり柳生が徳川家に 逆と考えてはどうか。つまり柳生が徳川家に がとあることもできる。しかし順序を がと考えてはどうか。つまり柳生が徳川家に がと考えてはどうか。つまり柳生が徳川家に 気に入られ剣術指南役となったために、他の 気に入られ剣術指南役となったために、他の 気に入られ剣術指南役となったために、他の 気に入られ剣術指南役となったために、他の 気に入られ剣術指南役となったために、他の 気に入られ剣術指南役となったために、他の

(岩明 均

参考資料

「佐竹氏物語」(渡部景一著·無明舎出版)

「『梅津政景日記』読本」(渡部景一著·無明舎出版)

「佐竹氏と久保田城」(渡部景一著・無明舎出版)

「三百藩家臣人名事典」(家臣人名事典編纂委員会編·新人物往来社)

「出羽諸城の研究」(沼舘愛三編著・伊吉書院)

「武州松山城」(長澤士朗著·吉見町)

「関八州古戦録」(霜川遠志訳·教育社)

「図説秋田県の歴史」(田口勝一郎責任編集・河出書房新社)

「雪の峠」

「剣の舞」

講談社 モーニング新マグナム増刊 平成11年8号~11号

秋田書店 ヤングチャンピオン 平成12年8号~12号

ご感想をお待ちしております。また、 編集部ではこの作品に対する皆様のご意見 お知らせください。 本にまとめてほしい作品がありましたら、

りご?80うと、5巻)、ごよ、。へお渡しすることがありますので、あらかじは、ご記入いただいた個人情報を含めて著者*なお、お送りいただいたお手紙・おハガキ お送りください

東京都文京区音羽二丁目一二番二一号

N.D.C. 726

アフタヌー ン編集部 〈郵便番号ーーニーハ〇〇一〉 アフタヌーンKC係

K デラ " クス 3 8 7

第五刷発行 第一刷発行

二〇〇一年

三 月二十三日

1010年十二月二十二日

(定価はカバーに表示してあります)

均管

岩岩 明さ

著

者

発行者 清 水 保 雅

発行所 株式会社講談社

講談社

東京都文京区音羽二—一二—二

郵便番号

=

編集部

販売部

東京(〇三)五三九五

東京(〇三)五三九五

上四六三

丁 (A)

房

19cm

装

印刷所 义 書 印 刷株 式会 社

製本所 株式会社 玉 宝

社

304p

©HITOSHI IWAAKI 2001

〔本書の無断転写(コピー)は著作権法上での例外を除き、禁じられています〕

お取り替えいたします。(電話03-5395-3603) なお、落丁本・乱丁本は小社業務部宛にお送りください。 この本についての 送料小社負担にて